取扱説明書

FOMA® F902i

'05.11

おサイフケータイ

mode

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA F902i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA F902iは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう→P39
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→P45、P47
3. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P26
4. 画面に表示されるマーク（アイコン）の意味を確認しましょう→P29
5. メニューの操作方法を確認しましょう→P33
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P50、P59

- この「FOMA F902i取扱説明書」の本文中においては、「FOMA F902i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではminiSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途miniSDメモリーカードが必要です。
  miniSDメモリーカードについて→P327
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

※「安全上のご注意」は、P12に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

本書の見かた／引きかた

<クイックマニュアル記載→P492>

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

P2で例をあげて説明しています。

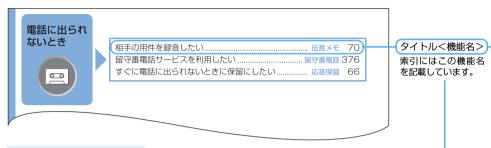
操作手順とキーの表記

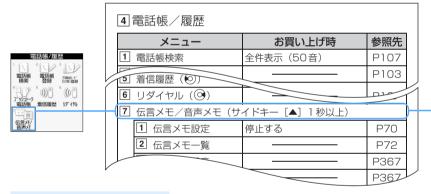
- 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。
  本書で使用しているキーのイラスト→P26「各部の名称と機能」
- 操作の方法は、主にショートカット操作で説明しています。操作方法が複数ある場合には、代表的な操作方法以外のショートカット操作を、タイトル右端に記載しています。
- 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
menu（1秒以上）	menuを1秒以上押し続ける。
menu ▶ 8 1 7 ▶ 設定する項目を選択 ▶ 1～5	menuを押した後、8 1 7を順番に押す。続けて、設定する項目にカーソルを合わせて●を押し、設定したい番号に対応する1から5のいずれかのダイヤルキーを押す。

- 特に断りがないかぎり、待受画面からの操作手順を記載しています。
- 基本的な操作手順において◎◎◎◎（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、●（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。また、画面の入力欄に文字を入力する操作においては、最後に●［確定］を押す操作を省略しています。
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（入力欄に文字を直接入力する方法）で説明しています。→P422

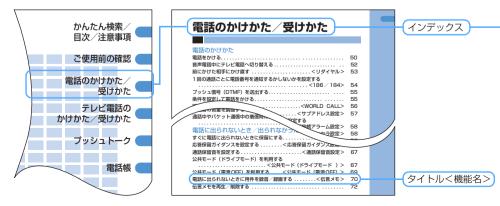
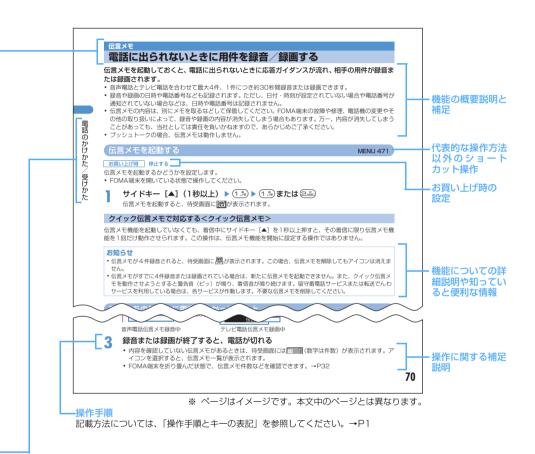
かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が目的別に分類されています。

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。

表紙インデックスから探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。
章扉には詳しい目次も掲載されています。

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

操作手順
記載方法については、「操作手順とキーの表記」を参照してください。→P1

- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ディスプレイと背面ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせて初期設定されています（トータルコーディネイト）。→P125
  本書では、主にトータルコーディネイトの設定がメタルブロンズの場合で説明しています。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
  端末暗証番号→P142　指紋認証→P145

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・ランプ色・振動を変える

画面表示を変える

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

メールを使いこなす

カメラを使いこなす

安心して使うために

こんなこともできます

● その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1
● よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P492

CONTENTS 目次

FOMA F902iの特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

●●● iモードだからスゴイ！ ●●●

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応のインターネットホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

●●● F902iの主な機能 ●●●

プッシュトーク

電話帳から相手を選んでプッシュトークキーを押すだけのかんたん操作で、複数の人（自分を含めて最大5人）と通話することができます。
グループ内での連絡や用件を伝える短い通話などで、便利にご利用いただけます。 →P92

iチャネル※

ニュースや天気などをグラフィカルな情報として受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、iチャネル対応キーを押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
また、iチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。 →P294

※：お申し込みが必要な有料サービスです。

PDF対応ビューア

地図、カタログ、時刻表などのPDFをiモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードし、ディスプレイに表示できます。検索機能やしおり機能も備えています。 →P204、P348

大容量iアプリ、iアプリDX

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、複雑で迫力あるゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。
また、3D×3D対応コンテンツでは、3Dグラフィックと3Dサウンドの相乗効果によって、カーレースゲームなどのiアプリを臨場感いっぱいで体感することもできます。
さらにiアプリDXでは、電話帳やメールなどFOMA端末内の情報と連動することで、iアプリの楽しみかたが広がります。 →P278

おサイフケータイ　iモードFeliCa対応

おサイフケータイ対応iアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。 →P298

トルカ

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などとして便利にご利用いただけます。トルカは読み取り装置（リーダー／ライター）やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信、miniSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。 →P300

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。外側カメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることができたり、自分の映像の代わりにキャラクタを表示させることも可能なキャラ電にも対応しています。また、音声電話中でも、電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。初期設定では相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているので、すぐに会話を始めることができます。 →P76

デコメール

文字のサイズを変更する、色を変える、背景色を変更するなどの装飾に加え、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真の挿入など、表現力豊かなiモードメールを作成し、送信できます。プリインストールされている豊富なテンプレートやサイトからダウンロードしたテンプレートを利用すれば、楽しいiモードメールがあっという間に完成します。 →P229

●●● 豊富なネットワークサービス ●●●

留守番電話サービス（有料）※1 →P376
転送でんわサービス※1 →P379
キャッチホン（有料）※1 →P378
SMS（ショートメッセージ）※2 →P271
デュアルネットワークサービス（有料）※1 →P382

※1：お申し込みが必要です。
※2：お申し込みは不要です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

その他の優れた機能

充実のカメラ・ビデオ機能

アウトカメラには有効画素数200万画素（記録画素数400万画素）、オートフォーカス機能を備えたスーパーCCDハニカムカメラを搭載。被写体を最大28倍まで拡大できるリニアズーム機能を持ち、最大4Mピクセル（1728×2304ドット）の静止画を撮影できます。接写やフレーム付き撮影、連続撮影、パノラマ撮影など、さまざまな撮影方法が選択できます。→P164

1秒間に30コマの高画質撮影ができるビデオ機能を備えています。→P172

JANコードやQRコードの内容を簡単に電話帳に登録したり、iモードサイトに接続したりできるバーコードリーダーの機能も備えています。
→P183

マルチアクセス／マルチタスク

音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できるマルチアクセスに対応しています。これによって、iモード中に音声電話を受けることなどができます。また、複数の機能を同時に実行し、切り替えながら操作できるマルチタスクに対応しています。たとえば、通話中にスケジュールの画面に切り替えて操作することなどができます。→P458、P460

あんしん設定

大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防いだりする各種のロック機能を備えています。

指紋認証機能→P145　オールロック→P148
遠隔ロック→P149
プライバシーモード→P152
開閉ロック→P153　ICカードロック→P303

高精細ディスプレイと背面のラウンドディスプレイ

240×320ドット、2.4インチのTFT液晶画面を搭載。細かい画像や文字などを全画面で美しく表示します。遊び心のある円形の背面ディスプレイには、アナログ時計を違和感なく表示でき、電話の着信やメールの受信を円形ディスプレイならではの楽しいアイコン表示で知ることができます。
→P29、P32

自動時刻補正

FOMA端末の電源を入れたときなどに、ドコモのネットワークからの時刻情報を基に時刻が正しく補正されます。→P46

赤外線通信と赤外線リモコン

赤外線通信機能が搭載された機器との間で、電話帳データやメール、画像、メロディ、スケジュールなどの送受信ができます。また、FOMA端末をテレビやビデオなどのリモコンとして使うこともできます。→P340

トータルコーディネイト

待受画面、メニューアイコン、スクリーン設定、電池マーク、背面ディスプレイの時計表示や発着信画像などは、FOMA端末のカラーに合わせて統一感のあるデザインにあらかじめ設定されています。「アドバンストモード」は、照明を明るくし、大きな文字でメールやサイトを表示する設定です。個別に変更することもできるので、オリジナルコーディネイトも楽しめます。→P125

ミュージックプレイヤー

専用メニューから、miniSDメモリーカード内の音楽データを再生することができます。メール作成中やサイト表示中に音楽を聴けるのはもちろん、スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）によるリモコン操作、シャッフル再生、イントロ再生などもできる本格的なミュージックプレイヤー機能です。→P324

使いやすくなったメール機能

圏外にいるときに作成したiモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信することができます。→P239

あらかじめ登録された文章を使って、受信メールに簡単に返信できます（クイック返信）。→P263

ATOK+APOT日本語入力システムと豊富な定型文や絵文字が、効率的な文字入力を可能にします。

「miniSDメモリーカード」対応

FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどのデータをバックアップできます。→P332

外部機器で作成した動画（音楽データ含む）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます（一部条件下では再生できない場合があります）。→P463

FOMA端末を、FOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンに接続すれば、FOMA端末に挿入されているminiSDメモリーカードをパソコンのリムーバブルディスクとして利用できます。
→P391

4つの機能を持つデータリンクソフト

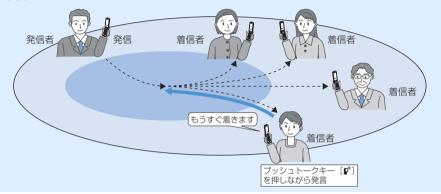
FOMA端末の電話帳やメールなどのデータをパソコンにバックアップや編集をするための「データリンクソフト」、それらをMicrosoft® Outlook®と同期させる「データシンクロソフト」、FOMA端末に挿入されているminiSDメモリーカードの電話帳やブックマークのデータを編集したり、パソコンにバックアップしたりする「miniSDユーティリティ」、画像データなどを管理、編集する「Fアルバムソフト」。データリンクソフト※には、FOMA端末のデータを有効に活用するためのこれら4つの機能があります。
→P462

※：添付のCD-ROMに収録されています。

F902iを使いこなす！

F902iの優れた機能を実際の画面表示で紹介します。

プッシュトーク

プッシュトークキー［］を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで再びプッシュトークキー［］を押すだけのかんたん操作で、複数の人（自分を含めて最大5人）と通話することができます。
→P92

トルカ

トルカは読み取り装置（リーダー／ライター）やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信、miniSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。
→P300

おサイフケータイを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてトルカを取得します。

取得したトルカは「生活ツール」メニューの「トルカ」内に保存されます。

トルカ一覧から取得したトルカを選択します。

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

ｉチャネル

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。また、ｉチャネル対応キー（chクリア）を押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することもできます。
→P294

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

表現豊かなデコメール

パソコンのメール機能のように、簡単な操作でメール本文を装飾できます。文字のサイズ変更、色付け、文字飾りだけでなく、静止画や罫線の挿入、位置指定、メロディの添付などができます。楽しいｉモードメールが簡単に作成できるテンプレートも、多数搭載されています。 →P229、P237

文字色、サイズ変更

静止画挿入

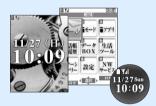
背景色変更、テロップ

テンプレート利用

画面のカスタマイズ

静止画や動画／ｉモーション、ｉアプリ、キャラ電、Flash画像を待受画像として設定できます。待受画面に未読メールやカレンダー、スケジュールなどを重ねて表示させることで（カスタム待受画面）、メニュー操作なしにそれらの詳細画面を表示させられます（フォーカスモード）。 →P36
また、メニューアイコンの変更や静止画を背景画像に設定することで、オリジナリティあふれるメニュー画面を作成できます。 →P135
トータルコーディネイト設定で、画面を統一感のあるデザインに変更できます。照明を明るくし、大きな文字でメールやサイトを表示する「アドバンストモード」などがあります。 →P125

キャラ電を設定

カレンダーと
スケジュールを設定

アドバンストモード

Gガイド番組表リモコン搭載

テレビ番組表とAVリモコン機能がひとつになった月額利用料が無料の便利アプリです。地上アナログあるいは地上デジタルのテレビ番組情報を知ることができます。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコンとしても使えます。

ジャンルやキーワードで番組情報を検索できたり、ブックマーク登録も簡単にできます。

番組詳細画面は、指定した番組の詳細情報を通信により取得して表示しています。
※ 詳細情報がある場合のみ取得できます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合、FOMA端末や電池パック、その他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F07　　卓上ホルダ　F10　　FOMA ACアダプタ　01
FOMA DCアダプタ　01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなどの窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。

また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

注意

指示

乳幼児の手の届かない所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

禁止

湿気やほこりの多い所や高温になる所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、iモード、iアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れると、お客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となるおそれがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。車載ハンズフリー機器をご利用の場合でも、車を安全な所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モード（ドライブモード）または留守番電話サービスをご利用ください。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
難聴になる可能性があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

警告

禁止

ワンタッチパワーライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

指示

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

材　質	使用箇所
クロムメッキ	◉キー
マグネシウム合金	表示側フロントケース※

※：樹脂コートされていますが、はがれると肌に触れる可能性があります。

禁止

FOMAカード挿入口やminiSDメモリーカードスロットには、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、故障、感電の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

誤ってディスプレイ、カメラのレンズを破損したときは、割れたガラスなどにご注意ください。
けがの原因となります。
ディスプレイ、カメラのレンズの表面は、ガラス板上にプラスチックパネルを取り付け、ガラスが飛散しにくい構造になっていますが、万一、切断面などに触れますとけがをすることがあります。

禁止

内蔵のカメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。
レンズの集光作用により、火災が発生する原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液体が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
失明の原因になります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなどの窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ）の取り扱いについて

⚠警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い所では使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。
ACアダプタ ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ
：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した所に置いてください。
また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ）の取り扱いについて（つづき）

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や故障の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

⚠ 注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

⚠ 注意

FOMAカードを取り外す際にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

満員電車の中など混雑した所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱上の注意について

■ 共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証の対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
  - FOMA端末のディスプレイは、特殊コーティングを施してあります。お手入れの際に、乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような所に置かないでください。
  - 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 指紋センサーは時々乾いた柔らかい布で清掃してください。
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤作動したりすることがあります。

■ FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような所には入れないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- FOMA端末を異物のある机上などに置かないでください。
  - 破損の原因となります。
- 通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。
- ディスプレイは金属などでこすったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあります。
- ディスプレイ面やダイヤルキーのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障、破損の原因となります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、電池パックの寿命は、使用状態などによっても異なります。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい所に保管してください。
  - 長時間使用しないときは、使い切った状態で FOMA 端末またはアダプタ（充電器含む）から外し、お買い上げ時の梱包袋に保管してください。
- 電池パックの金属部分（端子）が汚れると、端末との接触が悪くなり電源が切れたりすることがあります。汚れたら乾いた布や綿棒などで拭いてからご使用ください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。
  - 長時間放置される場合は FOMA 端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に 1 回程度、電池パックの補充電を行ってください。
- 電池パックは、長期間使用しない場合でも6か月に一度は充電してください。
  - 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

■ アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。また、次のような所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い所
  - 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

■ FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライター（外部装置）などにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  - 故障の原因となります。

■ カメラについて

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリサーチ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「ｉメロディ」「ｉアニメ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「クイックキャスト」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「ビジュアルネット」「公共モード」「プッシュトーク」「プッシュトークプラス」「トルカ」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「おサイフケータイ」ロゴ「プッシュトーク」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask ／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- NetFront®および NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品はMacromedia, Inc. のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2005 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™およびminiSDロゴはSDアソシエーションの商標です。
  （miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。）
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaマークはフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2005 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- 「Gガイドモバイル」およびそのロゴ、「Gガイド」およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd ©1998-2005 よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbianおよびSymbian OS はSymbian Ltd. の商標です。
- リュウミンは株式会社モリサワの登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  - Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
  - Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
  - Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
  - Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0の略です。
  - Windows XP、2000、Me、98のように併記する場合があります。
  - Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はAdobe Systems Inc.のAdobe Readerを搭載しています。

  Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
  AdobeおよびReaderは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- 「Edy（エディ）」はビットワレットが管理する電子マネーサービスのブランドです。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
    プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

本体付属品および主なオプション品について

<本体付属品>

FOMA F902i
（リアカバー F12、保証書含む）

取扱説明書

※ P492にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F902i 用CD-ROM

<主なオプション品>

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F10
（取扱説明書付き）

電池パック F07
（取扱説明書付き）

その他のオプション品→P462

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここではFOMA端末の各部の名称と、キーに割り当てられている主な操作の説明をします。

サイズ（mm）：高さ106×幅50×厚さ25
※高さ、厚さは折り畳み時
質量（g）　：約131
※電池パック装着時

① **赤外線ポート**
赤外線でデータを送受信するときに使います。

② **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

③ **インカメラ**
カメラやビデオカメラで自分の映像を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信したりするときに使います。

④ **ディスプレイ**→P29

⑤ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声がここから聞こえます。

⑥ **MENU／左上ソフトキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、サイドキーロックの起動／解除ができます。

⑦ **テレビ電話開始／▲（スクロール）／A/a／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、メールやサイト画面の1画面スクロール、大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、スピーカーホン機能でテレビ電話をかけられます。

⑧ **ch／クリアキー**
iチャネル一覧の表示、文字の消去や1つ前の画面に戻るときに使います。
1秒以上押すと、セルフモードの起動／解除ができます。

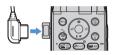
⑨ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の通話切り替え、文字入力モードの切り替えに使います。
1秒以上押すと、スピーカーホン機能で音声電話をかけられます。

⑩ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行に使います。
1秒以上押すと、次の機能を実行できます。
1～9：カスタムメニューに登録されている機能を実行できます。
0：国際電話をかけるとき、国際ダイヤル自動付加設定を利用できます。

⑪ ＊／**公共モード（ドライブモード）キー**
「＊」の入力、カメラ使用時の画面モード切り替えに使います。
1秒以上押すと、公共モードの起動／解除ができます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

⑫ **送話口／マイク**
自分の声をここから伝えます。
※ 送話口／マイクをふさぐと、通話中の相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が正常に録音されなくなったりする場合があります。
⑬ **指紋センサー**
指紋の登録や認証時に指をスライドさせます。
⑭ **マルチカーソルキー**
決定キー
操作の実行、フォーカスモードの実行に使います。
1秒以上押すと、ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリを起動できます。
カメラ／↑キー
カメラの起動、音量の調整、上方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、ビデオカメラを起動できます。
ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、音量の調整、下方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、「ｉアプリ」フォルダ一覧を表示できます。
着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、プライバシーモードの起動／解除ができます。
リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動に使います。
1秒以上押すと、ICカードロックの起動／解除ができます。
⑮ **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳の表示やガイド行右上に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、スケジュール帳を表示できます。
⑯ **メール／▼（スクロール）／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、メールやサイト画面の1画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すと、メール作成画面を表示できます。
⑰ **電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、応答保留、通話／操作中の機能の終了、シークレットモードの解除に使います。カスタム待受画面の表示／非表示の切り替えにも使います。
⑱ **#／マナーモード／改行キー**
「#」の入力、文字入力時の改行、アウトカメラ使用時の接写撮影ON／OFFの切り替えに使います。
1秒以上押すと、マナーモードの起動／解除ができます。
⑲ **マルチタスクキー**
通話中や操作中に別の機能を実行するときに使います（マルチアクセス／マルチタスク）。
⑳ **外部接続端子**
各種オプション品の接続に使います。
㉑ **充電端子**
㉒ **アンテナ部分**
アンテナは本体に内蔵されています。
※ 通話中や通信中、プッシュトーク通信中はアンテナ部分を指で覆わないようにしてください。
㉓ **着信ランプ／充電ランプ／セキュリティランプ**
電話の着信時やメールの受信時、開閉ロック設定時などに点灯または点滅します。
※ イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定すると、新着情報があるときに点滅してお知らせします。
カメラ撮影時や充電中に赤色に点灯します。
㉔ **背面ディスプレイ****→P31**
㉕ **ワンタッチパワーライト**
アウトカメラ使用時に補助光として利用します。
㉖ **アウトカメラ**
カメラやビデオカメラで撮影したり、テレビ電話で映像を送信したりするときに使います。
㉗ **ストラップ取付口**
㉘ **FeliCaマーク**
ICカードが搭載されていることを示しています。FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしておサイフケータイを利用します。なお、ICカードは取り外せません。
㉙ **リアカバー**
㉚ **イヤホンマイク端子**

スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

※ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタP001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。
㉛ **プッシュトークキー［ ］（サイドキー）**
プッシュトーク電話帳の表示や、プッシュトークの発信や応答に使います。プッシュトーク通信中は、発言権の取得や開放に使います。
㉜ **miniSDメモリーカードスロット****→P331**
㉝ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声がここから聞こえます。
㉞ **サイドキー［▲］／メモ****→P28**
※ オートフォーカスの説明時は「サイドキー［AF▲］」と表記しています。
㉟ **サイドキー［▼］****→P28**

お知らせ
- 操作の説明では各キーをここで説明したイラストで表しています。
- マルチカーソルキーは、使用するキーによって次のように表記する場合があります。
  - またはを押すとき…
  - またはを押すとき…
  - 、、、のいずれかを押すとき…

サイドキーでできる主な操作

機　能		FOMA端末の状態	操　作	機能を操作する主な状態	参照先
伝言メモ、音声メモ、動画メモ	伝言メモ／音声メモメニューの表示	開	サイドキー［▲］を1秒以上押す	待受画面表示中	P70 P367
	クイック伝言メモ起動	開／閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	着信中	P70
	通話中音声メモ、動画メモの起動／停止	開／閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	通話中	P366
	音量調整	開	サイドキー［▲▼］を押す	伝言メモ／音声メモ再生中	P72 P367
プッシュトーク	プッシュトーク電話帳の起動	開	プッシュトークキー［ ］を押す	待受中	P95 P96
	発信	開	プッシュトークキー［ ］を押す（1秒以上押すとスピーカーホン機能で発信）	電話番号入力中、FOMA端末電話帳またはプッシュトーク電話帳を起動	P92 P96
	応答	開／閉	プッシュトークキー［ ］を押す	プッシュトーク着信中	P95
	発言権の取得	開／閉	プッシュトークキー［ ］を押し続ける	プッシュトーク通信中	P92
	発言権の開放	開／閉	プッシュトークキー［ ］から手を離す	プッシュトーク通信中	P92
音	受話音量調整	開／閉	サイドキー［▲▼］を押す	通話中、通話中着信中、 通話中音声メモ録音中	P64
	音量調整	開	サイドキー［▲▼］を押す	待受ｉモーション再生中※1 動画／ｉモーション再生中 動画／ｉモーション編集中 メロディ再生中※2 ミュージックプレイヤー再生中	P127 P312 P315 P322 P326
	着信音の停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	着信中、 メール／メッセージ受信時	P65
	アラームの停止	開／閉	サイドキー［▲］／プッシュトークキー［ ］を押す	アラーム鳴動中	P357 P360
カメラ	オートフォーカス	開／閉	サイドキー［AF▲］を半押しする	カメラ撮影待機中	P167
	撮影		サイドキー［AF▲］を全押しする		
	ワンタッチパワーライトの点灯／消灯	閉	サイドキー［▼］を押す		P178
	接写撮影ON／OFFの切り替え	閉	プッシュトークキー［ ］を押す		
	ガイドラインの表示／非表示	開	サイドキー［▼］を押す		P165
その他	背面ディスプレイの表示	閉	サイドキー［▲▼］／プッシュトークキー［ ］を押す	待受中	P31
	バイブレータの停止	開／閉	サイドキー［▲］を押す	着信中、アラーム鳴動中※3、 メール／メッセージ受信中	P65 P357
	ｉモード問合せ	開／閉	サイドキー［▼］を1秒以上押す	待受画面表示中	P243
	マナーモードの起動／解除	閉	サイドキー［▲］を1秒以上押す	待受画面表示中	P123
	前後の音楽データ再生	開／閉	サイドキー［▲／▼］を1秒以上押す	メロディ再生中 ミュージックプレイヤー再生中	P322 P326

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

開：FOMA端末を開いた状態　　閉：FOMA端末を折り畳んだ状態
※1：マナーモード中は音量調整できません。
※2：メールに添付されたメロディを除き、FOMA端末を折り畳んだ状態で操作できます。
※3：プッシュトークキー［ ］を押しても操作できます。

お知らせ
- サイドキー［▲］には、カメラのオートフォーカス機能で撮影するための半押しと全押しがあるため、サイドキー［▼］と比べて押したときの感触が異なります。

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上下に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

① ：電池残量表示→P43
／／／／／／／：文字入力モード表示→P423
② ：受信レベル→P45
圏外：圏外表示→P45
Self：セルフモード中→P150
：データ転送モード中→P327、P340
miniSDモード中→P391
データリンクソフトの使用中→P462
③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）→P193
：ｉモード中（パケット通信中）→P193
④ ：赤外線通信中→P340
赤外線リモコン使用中→P344
⑤ ：スピーカーホン機能利用中→P51
※1 ：ハンズフリー対応機器で通信中→P58
：積算通話料金が上限を超過→P369
⑥ ：プッシュトーク通信中→P92
※1 ：ネットワーク上の電話帳ページ取得中→P92
：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※2→P210、P241
／／：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯→P210、P241
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり→P210、P241
／／：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり→P210、P241
⑦ ：未読ｉモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯→P241、P272
※1 ：未読ｉモードメール、SMS満杯→P241、P272
：FOMAカードにSMS満杯→P272
：未読ｉモードメールとSMSあり→P241、P272
：未読ｉモードメールあり→P241
：未読SMSあり→P272
⑧ R／R（青／赤）
：未読メッセージRあり／満杯→P210
⑨ F／F（青／赤）
：未読メッセージFあり／満杯→P210
⑩ ：ｉアプリ動作中→P280
：ｉアプリ待受画面表示中（αがグレー）→P288
：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中（αがオレンジ）→P288
：ｉアプリDX動作中→P280
：ｉアプリDX待受画面表示中（dxがグレー）→P288
：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中（dxがオレンジ）→P288
⑪ ：SSLページ表示中→P194
※1 SSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中→P194
：圏内自動送信失敗メールあり→P239
：圏内自動送信メールあり→P239
⑫ ：シークレットモード中→P154
⑬ ：ｉアプリ自動起動失敗→P288
※3
⑭ ：フォーカスモードアイコン→P36
⑮ ：マナーモード中→P123
：オリジナルマナーモード中→P124
⑯ S：電話着信音消音設定中→P65
V：音声電話着信のバイブレータ設定中→P122
SV：電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P65、P122

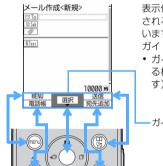
次ページへ続く

⑰ ：公共モード中→P67
⑱ ：伝言メモ設定中→P70
：伝言メモ満杯→P70
⑲ ：開閉ロック中→P153
⑳ ：USBケーブルで外部機器と接続中→P88、P391
㉑ ／ ：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P36
㉒ ：miniSDメモリーカードあり→P331
㉓ ：FOMA カード読み込み中→P37
※1 ：ICカードロック中→P303
㉔ ：PIM ロック中→P150
※1 ：ダイヤル発信制限中→P151
：サイドキーロック中→P153
㉕ ：アラーム設定中→P356
：スケジュールアラーム設定中→P359
：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中→P356、P359
㉖ ：ソフトウェア更新予約中→P476
※1 ：最新パターンデータの自動更新失敗→P478
：最新パターンデータの自動更新成功→P478

※1： 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2： ｉモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメールやメッセージがある場合にも表示されます。
※3： 待受画面以外では、時刻が表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

〈例〉メール作成画面表示中のガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

- ガイド行のは、マルチカーソルキーの に対応しています（使用する機能や表示しているサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。

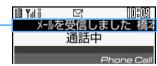
タスクバーの見かた

タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。また、メールやメッセージを受信すると、タスクバーに受信結果がスクロール表示されます。

〈例〉音声電話中にカメラを起動したとき

タスクバー

〈例〉音声電話中にメールを受信したとき

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

タスクバーに表示されるアイコン一覧

：音声電話
／ ：テレビ電話（64K／32K）
：プッシュトーク
：64Kデータ通信
：メール
：ｉモードメール受信中
：SMS受信中
：チャットメール
：メッセージR/F
：ｉモード／SMS問合せ中
：ｉモード
：Bookmark／Internet／ラストURL／画面メモ／ツータッチサイト
：ｉアプリ
：トルカ
／ ：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：メロディ
：キャラ電
：マイドキュメント
：ミュージックプレイヤー
：サウンドレコーダー
：カメラ
：ビデオカメラ
：バーコードリーダー
：電話帳
：伝言メモ／音声メモ
：メモ帳
／ ：スケジュール帳／スケジュールアラーム鳴動中
：電卓
：着信履歴
：リダイヤル
：外部データ連携中
：赤外線通信の受信設定中・INBOX表示中
／ （青／グレー）： miniSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
／ （青／グレー）： miniSDモード中で通信可能な状態／miniSDメモリーカード未挿入・USBケーブル未接続
：アラーム鳴動中
：プロフィール情報
／ （青／グレー）： 各機能の設定中／保留中
／ ：ソフトウェア更新中／更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：ネットワークサービス設定中
：外部機器によるテレビ電話

一覧画面の見かた

〈例〉色選択画面

色選択 1/3
1 オーシャン
2 アクア
3 メロン
4 アパタイト
5 ターコイズ
6 ライム
7 ミント
8 スカイ
9 ルビー
選択

一覧が複数ページにわたる場合、現在表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。
- を押してカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で を押すと、次ページが表示されます。
  ページの先頭の項目で を押すと、前ページが表示されます。

◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。
- を押してページを切り替えます。
  ※ アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を折り畳んでいても、日付や新着情報、設定中の機能や使用中の機能など、さまざまな情報を確認できます。

- 主な表示内容は次のとおりです。
  - 音声電話やテレビ電話、プッシュトーク、伝言メモの状態表示
  - ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの問合せ中・受信中
  - アラームやスケジュールアラーム鳴動中
  - パケット通信や64Kデータ通信、USB経由での通信、赤外線通信の状態表示
- オールロック、遠隔ロック、サイドキーロック中は、サイドキー［▲▼］やプッシュトークキー［ ］を押すとロックが設定されている旨のメッセージが表示され、しばらくたつと日付･時刻表示画面に切り替わります。
- 背面ディスプレイを利用して、静止画や動画を撮影したり、ミュージックプレイヤーを操作したりできます。
  静止画や動画の撮影→P178
  ミュージックプレイヤー→P326
- 約30秒間、何も操作しないでいると背面ディスプレイは自動的に表示されなくなります（省電力）。省電力の状態になったときは、サイドキー［▲▼］やプッシュトークキー［ ］を押すと、情報を表示できます。ただし、背面常時時計表示設定を「ON」に設定しているときは、省電力中でも時計や新着情報を表示できます。

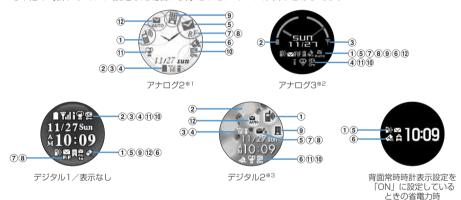
背面ディスプレイに表示されるアイコン一覧

- アイコンは、背面画像設定の時計デザインによって異なります。アイコンの意味は時計デザインがアナログ1（またはトータルコーディネイト設定がメタルブロンズの場合）の場合に表示されるアイコンを例に説明しています。

① ：不在着信／伝言メモ／センター留守電あり→P63、P70、P377
② ：電池残量表示→P43
③ ：受信レベル→P45
：圏外表示→P45
：セルフモード中→P150
：データ転送モード中→P327、P340
④ ／ ：iモード中（iモード接続中）／（パケット通信中）→P193
⑤ ／ （赤）：未読iモードメール、SMSあり／満杯→P241、P272
⑥ ：未読トルカあり→P300
⑦ ／ （赤）：未読メッセージRあり／満杯→P210
⑧ ／ （赤）：未読メッセージFあり／満杯→P210
⑨ ／ （赤）：センターにiモードメール、メッセージR/Fあり／満杯→P210、P241
⑩ ：ICカードロック中→P303
⑪ ：マナーモード中→P123
：オリジナルマナーモード中→P124
⑫ ／ （赤）：圏内自動送信メールあり／失敗メールあり→P239

- その他の時計デザインに設定した場合に表示されるアイコンは次のとおりです。

アナログ2※1　アナログ3※2

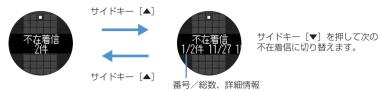
デジタル1／表示なし　デジタル2※3　背面常時時計表示設定を「ON」に設定しているときの省電力時

※1： アイコン⑤⑦⑧⑨の満杯、⑫の失敗メールありを濃い紫色で示します。
※2： アイコン②の電池残量をメーターの目盛で示します（最上部がレベル3）。レベル1になると電池残量表示のアイコンが赤くなります。アイコン③の受信レベルをメーターの目盛で示します（最上部が受信レベル3）。
※3： アイコン②の電池残量を、画面左半分に表示されている電球の点灯している数で示します。レベル3は電球3つが点灯、レベル1になると電球1つが赤く点灯します。

背面ディスプレイの表示を切り替える

FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▼］を押すと、不在着信などの新着情報がある場合に件数が確認できます。件数表示中に［▲］を押すと、詳細情報が確認できます。

- 背面常時時計表示設定を「OFF」に設定していて省電力の状態になったときは、サイドキー[▼]を押すと背面ディスプレイが点灯し、もう一度サイドキー[▼]を押すと不在着信などの新着情報が表示されます。
- 詳細情報が複数件ある場合は、［▼］を押すと次の詳細情報に切り替わります。ただし、10件を超える詳細情報は表示できません。FOMA端末を開いて確認してください。
- 上記の操作で確認できる主な内容は次のとおりです。
  - 不在着信
  - 伝言メモ
  - 未読メール
  - 未読メッセージR/F
  - センター留守電（件数表示のみ）

〈例〉不在着信件数を表示しているとき

受けられなかった電話（不在着信）の件数が表示されているときにサイドキー［▲］を押すと、電話がかかってきた日時と電話をかけてきた相手の情報がスクロール表示されます。

- 電話番号やメールアドレスが電話帳に登録されているときは、詳細情報に名前が表示されます。
- 件数／詳細情報表示中に約5秒間操作をしないでいると、日付・時刻表示に戻ります。

メニューから機能を選択する

機能を選択する

待受中に(menu)を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。
機能を実行するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押す方法と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法の2とおりがあります。
メニューの表示形式は、メニュー設定で次の3種類から選択できます。

リスト

タイルアイコン
（お買い上げ時）

3Dアイコン

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

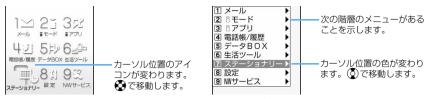
メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられています（項目番号）。対応するダイヤルキー（(1)～(9)）を押してメニュー項目を選択できます。本書では主にこの方法で操作の説明をしています。

〈例〉「メモ帳」を選択するとき

1 (menu)▶(7)(2)

マルチカーソルキーでメニューを選択する

〈例〉「メモ帳」を選択するとき（タイルアイコン、リストの場合）

1 menu ▶「ステーショナリー」にカーソルを合わせて●

タイルアイコン　リスト

- 表示形式が「リスト」の場合は、カーソルを合わせて を押しても次の階層が表示できます。

2 「メモ帳」にカーソルを合わせて●［選択］

- 表示形式が「リスト」の場合は、カーソルを合わせて を押してもメニューが選択できます。

〈例〉「メモ帳」を選択するとき （3Dアイコンの場合）

1 menu ▶「ステーショナリー」にカーソルを合わせて●

：時計回りで回転し、カーソルの右のアイコンがカーソル位置に移動
：反時計回りで回転し、カーソルの左のアイコンがカーソル位置に移動
：反時計回りで回転し、奥のアイコンがカーソル位置に移動
：時計回りで回転し、奥のアイコンがカーソル位置に移動

カーソル位置は中央最前面に固定されています。
でメニュー項目をここに移動します。

2 「メモ帳」にカーソルを合わせて●［選択］

メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

メニュー項目にカーソルを合わせてしばらくたつと、機能説明が表示されます。

機能説明

- 機能説明は、しばらくたつと自動的に消えます。
- メニュー設定の機能説明表示を「OFF」に設定している場合は、表示されません。

待受画面や1つ前のメニューに戻すには

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

（電源）: 待受画面に戻ります。

（ch クリア）: 1つ前のメニューに戻ります。表示形式が「リスト」の場合は を押しても戻ります。

サブメニューの操作方法

ガイド行の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 リダイヤル一覧画面で(menu) ▶ サブメニューの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて(●)または(○)を押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面により異なる場合があります。
- (menu)または(ch クリア)を押すと、サブメニューが閉じます。

画面の各項目の操作方法

プルダウンメニューの操作方法

〈例〉電話の着信音を設定するとき

1 設定する項目にカーソルを合わせて(●) ▶ プルダウンメニューの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- プルダウンメニューの項目にカーソルを合わせて(●)を押しても選択できます。

チェックボックスの操作方法

〈例〉スケジュール登録で繰り返しの曜日選択をするとき

1 チェックボックスの項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルキーを合わせて(●)を押しても選択できます。
- ダイヤルキーまたはカーソル位置で(●)を押すたびに、チェックボックスが☑(選択)と□(解除)に切り替わります。
- 機能によっては(menu)を押すと、すべての項目を選択または解除できます。

確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

〈例〉電話帳データを削除するとき

1 「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて◉［選択］

- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

情報をすばやく表示する<フォーカスモード>

待受画面で新着情報が表示されているときや、待受カレンダー、カスタム待受を設定して表示しているときは、待受画面で◉を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

〈例〉新着情報を表示するとき

待受画面の下部に表示される5種類のアイコンから、新着情報を確認できます。アイコン内の数字は新着情報の件数を示します。

：不在着信
選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

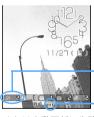
：伝言メモ
選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

：留守番電話サービスの伝言メッセージ
選択すると、メッセージ再生確認画面が表示されます。

：未読メール
選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

：未読トルカ
選択すると、トルカのフォルダ一覧が表示されます。

1 ◉▶アイコンにカーソルを合わせて◉

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

- 最新のパターンデータが自動更新された、または自動更新に失敗したことをお知らせするアイコンが表示された場合も、同様に操作できます。
- フォーカスモードを解除するには、(ch クリア)または(電源)を押します。

お知らせ

- アイコンにカーソルを合わせて(ch クリア)を1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- フォーカスモード中は、(menu)を押してメニューを表示できません。

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

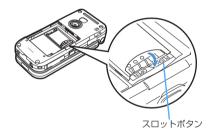
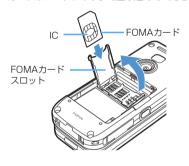
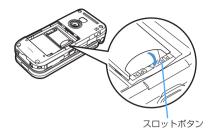
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

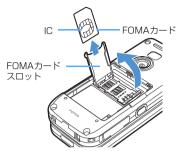
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

- FOMAカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMAカードの取り付け／取り外しを行うときは、IC部分に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P39

取り付けかた

①FOMAカードスロットのスロットボタン（PUSH △OPEN）を押します。

②FOMAカードスロットを持ち上げ、図のような向きでFOMAカードをスロットのミゾに差し込みます。FOMAカードはスロットの下まで差し込んでください。

③FOMAカードスロットを「パチッ」と音がするまで閉めます。

取り外しかた

①FOMAカードスロットのスロットボタン（PUSH △OPEN）を押します。

②FOMAカードスロットを持ち上げ、FOMAカードをまっすぐ静かに引き抜きます。取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。

お知らせ
- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードが壊れる場合があるため、ご注意ください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。→P144

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信やminiSDメモリーカードへのコピーや移動ができません。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画面メモ
  - デコメール本文中に挿入されている画像
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - 画像（アニメーション、Flash を含む）
  - メロディ
  - トルカ（詳細）の画像
  - メッセージR/F
  - ｉモードメールに添付されているファイル
  - ｉモーション
  - キャラ電
  - PDFデータ
- FOMAカード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、次の操作ができなくなります。
  - 起動
  - 自動起動
  - バージョンアップ
  - ソフト詳細情報の表示
  - 自動起動設定の変更
  - ソフト動作設定
  - ｉアプリ待受画面の設定

お知らせ
- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信、miniSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、FOMAカード動作制限機能は設定されません。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

- 次の設定の項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている内容が表示されます。
  - プロフィール設定　- SMS設定　- 証明書表示／使用設定
  - バイリンガル　- FOMAカード（UIM）　- 電話番号設定

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大26 桁	最大20 桁	P105
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P214
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	P39
サービスダイヤル	利用可	利用不可	P382

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。
WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。
※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、WORLD WINGをご利用される場合、別途お申し込み手続きが必要となります。
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

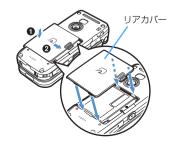
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックの交換や取り付け／取り外しは、電源を切ってからFOMA端末を折り畳み、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、背面ディスプレイが破損するおそれがあります。

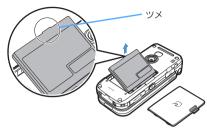
取り付けかた

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

②電池パックの印字面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

取り外しかた

①親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

②電池パックのツメを持って、矢印方向に持ち上げて取り外します。

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- リアカバー裏面に貼り付けられているシールをはがさないでください。シールをはがすとICカードが認識されず、おサイフケータイがご利用できない場合があります。また、リアカバーの取り付け／取り外しを行う際は、シールがはがれないようご注意ください。

携帯電話を充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- 電池パック単体での充電はできません。
- FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パックをご利用ください。
- 電池パックF07の取り扱いについては、電池パックの取扱説明書をご覧ください。

充電時間（目安）

FOMA端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。
FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA AC アダプタ　01	約135分
FOMA DC アダプタ　01	約135分

十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間（静止時）	約540時間
連続待受時間（移動時）	約380時間
連続通話時間（音声電話時）	約180分
連続通話時間（テレビ電話時）	約100分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間はFOMA端末を折り畳んで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、プッシュトーク通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーション（音楽データ含む）の再生などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。

お知らせ

- ｉアプリによっては、FOMA端末を折り畳んでも常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明設定の照明方法を「点灯」に設定し、点灯時間を「常時」に設定した状態でFOMA端末を開いたまま充電するなど、照明設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。充電を完了させるには、FOMA端末を閉じて充電することをおすすめします。

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **電池パックの寿命は？**
  電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すたびに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分以下になったら、電池パックの寿命とお考えください（電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります）。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion

充電時の留意事項

- 充電を開始すると、充電ランプが赤く点灯します。ただし、環境によっては、充電開始時に充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。
- 高温環境下で充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末が高温になり、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にメールを受信したり、カメラ撮影をしたりして着信ランプが使用されると、充電ランプは一時的に消灯しますが、しばらくたつと赤色に点灯します。また、イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定しているときに不在着信や未読情報がある場合、ディスプレイが省電力の状態になった場合などは、定期的に他の色で点滅しますが異常ではありません。
  これらの理由以外で充電中に充電ランプが点滅する場合→P464「故障かな？と思ったら、まずチェック」
- 通話中や通信中、プッシュトーク通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音設定を「OFF」に設定しているときは、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、充電ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。

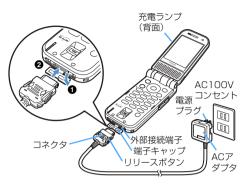
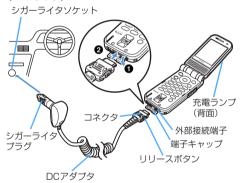
ACアダプタ／DCアダプタで充電する

必ずFOMA ACアダプタ 01（別売）またはFOMA DCアダプタ01（別売）の取扱説明書もご覧ください。

① FOMA端末に電池パックを取り付けます。
② FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にしてFOMA端末と水平に差し込みます（❷）。
③ **〈ACアダプタの場合〉**
ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
〈DCアダプタの場合〉
DCアダプタのシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。
④ 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
- 充電中はディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。

⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
- ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。

⑥ ACアダプタをコンセントから抜き、シガーライタプラグの場合はシガーライタソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押して、FOMA端末から水平にコネクタを外します。
⑦ 端子キャップを閉じます。

〈ACアダプタ〉

〈DCアダプタ〉

お知らせ
- DCアダプタはマイナスアース車（12V/24V）専用です。
- DCアダプタはエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させてしまう場合があります。
- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- FOMA端末を使用しないとき、または車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダを組み合わせて充電する

必ず卓上ホルダ F10（別売）の取扱説明書もご覧ください。

- FOMA端末を卓上ホルダへ取り付けるときは、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。
- 正しく取り付けるために、端子キャップは閉じた状態で卓上ホルダに取り付けてください。
- 卓上ホルダだけでは充電できません。ACアダプタが必要です。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。また、卓上ホルダへの取り付け／取り外しを行うときは、FOMA端末を折り畳んだ状態で行ってください。

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに接続します。
② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込みます。
③ 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダの充電端子に合わせ（❶）、FOMA端末を矢印方向（❷）にカチッと音がするまで押し込みます。
④ 充電開始音が鳴り、充電ランプが点灯したことを確認します。
  - 充電中はディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。
⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、充電ランプが消灯します。
  - ディスプレイ、背面ディスプレイの電池マークの点滅も止まります。
⑥ FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。
  - 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ（❶）、矢印方向（❷）に引き抜きます。

お知らせ
- ACアダプタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に電池残量の目安が3段階で表示されます。

	電池残量3（十分残っています）	電池残量2（少なくなっています）	電池残量1（充電が必要です）
お買い上げ時			
マーク変更時 →P136	（緑色）	（黄色）	（赤色）

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイで電池残量を確認できます。

電池残量を音と表示で確認する

1 MENU ▶ 8 4 3

（電池残量3）

「ピッピッピッ」

（電池残量2）

「ピッピッ」

（電池残量1）

「ピッ」

電池残量が表示され、残量に応じてキー確認音が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池アラームでお知らせします。充電を開始すれば電池アラームは止まりますが、電池アラームをすぐに止めたい場合は（電源）を押してください。

〈例〉通話中

受話口から電池アラームが聞こえ、電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。●、（クリア）、（電源）のいずれかを押すと、メッセージが消えます。電池アラームが聞こえてから約20秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その約1分後に自動的に電源が切れます。

〈例〉待受中

電池残量がない旨のメッセージがディスプレイに表示されます。このメッセージは●を押すと消えますが、しばらくたつと電池アラームが鳴り、再びメッセージが表示されます。このとき、左図のようにディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約1分後に自動的に電源が切れます。

- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池アラームが鳴らないようにする<電池アラーム音設定>

お買い上げ時　ON

待受中に電池が切れそうになっても、電池アラームが鳴らないようにするかどうかを設定します。

1   MENU ▶ 8 1 5 ▶ 1   **または** 2

お知らせ
- 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても受話口から電池アラームが鳴ります。

電源を入れる／切る

- 初めて電源を入れると、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示されます。実行する場合は、電池が十分に充電されている必要がありますのでご注意ください。
  実行前に、必ず「ソフトウェアを更新する」をご覧ください。**→P474**

電源を入れる

1 **電源（2秒以上）**

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

受信レベル表示				圏外
状態	強	中	弱	サービスエリア外や電波の届かない所

待受画面

■ 初めて電源を入れたとき

① メール本文、ｉモードサイト、メニューアイコンなどの文字を大きいサイズに変更するかどうかの確認画面で「はい」または「いいえ」を選択

- 「はい」を選択すると、トータルコーディネイト設定がアドバンストモードに設定されます。
- chクリアまたは電源を押してキャンセルすると、次に電源を入れたときに、再度この画面が表示されます。

② ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面で「YES」を選択

- FOMAカードが取り付けられていない場合、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。
- PIN1コードON／OFFを「ON」に設定した場合は、PIN1コードの入力が必要です。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定した場合は、PIN2コードの入力が必要です。
- 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。●を押して、日付時刻設定をしてください。
- 待受画像、電池マーク、日付・時刻の表示形式は変更できます。→P126、P136、P138

電源を切る

1 **電源（2秒以上）**

お知らせ

- が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作しないでいると、ディスプレイが自動的に表示されなくなります（省電力）。音声電話中も同様です。省電力中は着信ランプが白になり、6秒間隔で点滅します。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。ただし、次の場合は省電力の状態になりません。
  - 照明設定の点灯時間を「常時」に設定している場合
  - 照明設定のACアダプタ接続時動作を「常時点灯」に設定し、充電中の場合

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時　自動時刻補正：ON

自動で時刻を補正する<自動時刻補正>

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に時刻を補正します。

1 MENU ▶ 8 5 1

• 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定した場合は、認証操作が必要です。

2 **自動時刻補正欄を選択 ▶ 1 ▶ 📖［登録］**

お知らせ

• 電源を入れたときなどに補正を行います。ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
• FOMAカードを取り付けていないときや、電波状態によっては、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。
• 数秒程度の誤差が生じる場合があります。
• 時計を5分進めるなど時刻をずらして設定する場合は、日付・時刻を手動で設定してください。

日付・時刻を手動で設定する

1 MENU ▶ 8 5 1 ▶ **自動時刻補正欄を選択** ▶ 2

2 **日付の入力欄にカーソルを合わせて日付を入力**

日付時刻設定	
自動時刻補正	OFF
日付	2005/01/01(土)
時刻	00時00分

西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

• 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。

3 **時刻の入力欄にカーソルを合わせて時刻を入力 ▶ 📖［登録］**

24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

お知らせ

• 設定した時刻は電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、もう一度日付・時刻の設定を行ってください。
• 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
  - SSL通信（認証）
  - 時刻設定を必要とするｉアプリDX
  - 再生制限が設定されているｉモーションの取得→P314
  - 自動電源ON設定、自動電源OFF設定
  - スケジュール帳
  - スキャン機能のパターンデータ更新
  - ユーザ証明書の操作
  - ｉアプリの自動起動→P287
  - データ（スケジュール）送受信→P341、P342
  - アラーム設定
  - ソフトウェア更新
• 日付・時刻を設定していないと、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ、待受中音声メモ、通話中音声メモ
  - カメラで撮影した静止画や動画の日時→P162
  - バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時→P186
  - ダウンロードした画像やメロディ、キャラ電、ｉモーション、メールテンプレートなどの保存日時→P238、P338
  - 送信メール、未送信メールの日時→P251
  - ｉアプリのダウンロード日時→P281
  - トルカの受信日時→P300

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話またはテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させせます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話などで、発信者番号表示ができる場合に表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知／非通知にするには、次の方法があります。

通知／非通知の方法	説　明	参照先
あらかじめ一括して設定（ネットワークサービス）	電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。	P47
電話帳データに設定	電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P115
電話をかけるときに設定	1回の通話ごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P54、P55

発信者番号の通知／非通知を一括して設定する

- 圏外では、発信者番号通知設定の操作はできません。電波状態のよい所で行ってください。
- 詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 MENU ▶ 9 5 1

- 設定内容を確認するときは、MENU 9 5 2 を押し、「はい」を選択します。

2 **ネットワーク暗証番号を入力**

入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。

3 **1 または 2 を押す**

発信者番号通知の優先順位について

複数の番号通知方法を同時に設定したり操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

①発信時に発信条件で番号通知方法を設定した場合
②相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合
③電話帳データに発番号設定をした場合
④発信者番号通知設定をした場合

お知らせ

- プッシュトークの発信者番号通知については、プッシュトーク番号通知設定で設定します。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときや番号通知お願いの映像ガイダンスが表示されたときは、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。

プロフィール情報

自分の電話番号を確認する

お買い上げ時　あなたの名前、メールアドレス：－　自局電話番号：ご契約電話番号

プロフィール情報で自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

1 MENU ▶ 0

- 自局電話番号には、現在挿入しているFOMAカードのご契約電話番号が表示されます。
- ｉモードのメールアドレスを確認するには、待受画面で ｉ 1 を押してｉMenuを表示し、「オプション設定」→「メール設定」→「アドレス確認」を選択します。

お知らせ

- 通話中に自分の電話番号（自局電話番号）を確認するには、MULTI 0 を押します。

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。

- ポーズ（「P」）とタイマー（「T」）の操作については音声電話のみ有効です。
- 通話中はアンテナ部分を手で覆わないでください。

1 電話番号を入力

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 • 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHSにかける	070 － XXXX － XXXX

- 電話番号は最大80桁入力できます。12桁を超える場合は2行で表示されます。24桁を超えた場合は最後から24桁の電話番号が表示されます。
- 電話番号を訂正するときは［ch/クリア］を押します。
- ［ch/クリア］を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 ［発信/文字］を押す

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。ディスプレイには通話時間が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。［終話/電源］を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 相手の携帯電話やPHSの電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない所にいるときには、接続できない旨のガイダンスが流れます。

3 通話が終わったら［終話/電源］

- FOMA端末を折り畳んでも電話が切れます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

お知らせ

- マルチナンバーを契約している場合は、登録した付加番号を選択して電話をかけることができます。→P55、P383
- 操作2→操作1の順でも電話をかけられます。［発信/文字］を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- 電話帳データの画像選択に動画／ｉモーションを設定した相手に電話をかけると、発信中の画面に動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。→P103
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

通話中に保留にする<通話中保留>

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
- 保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に● [保留]

通話が保留になり、着信ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にはテレビ電話中保留画像が表示されます。

音声電話保留中

テレビ電話保留中

- 音声電話の保留を解除するときは、●または📞を押します。
- テレビ電話の保留を解除するときは、次のいずれかの操作を行います。
  ●　　　　：保留前に送信していた画像に戻ります。
  📷／📞：カメラ映像が送信されます。
  ✉　　　　：代替画像が送信されます。

お知らせ
- 通話中クローズ設定で「保留」に設定すると、FOMA端末を折り畳むことにより保留にできます。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。
- テレビ電話をかける場合には、テレビ電話に接続されたときに自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替わります。自動的に切り替わらないようにするには、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を変更します。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

1 電話番号を入力▶📞（1秒以上）または📷

- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときに、スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかける場合は、📷を1秒以上押します。
- 発信中や通話中は、📞を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。
- スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイ上部に🔊が表示されます。
- 電話帳一覧、リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

お知らせ
- スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- 周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにして通話してください。
- マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット 01（別売）を接続しているときは、接続した機器を使って音声をやりとりします。

音声電話中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 着信履歴	着信履歴を表示します。	P62
2 リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P53
3 日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P46
4 再接続アラーム設定※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。	P58
5 通話品質アラーム設定※	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラームで知らせるように設定します。	P123
6 通話中クローズ設定	FOMA端末を折り畳んで電話を切るかどうかを設定します。	P61
7 ダイヤル入力	キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P378

※：アラームが鳴っているときでも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に、変更した設定が反映されます。

- 音声電話中には、次の操作もできます。
  - ：電話帳の起動
  - サイドキー［▲］（1秒以上）：通話中音声メモの起動／停止
  - ／サイドキー［▲▼］：受話音量調整
  - ：着信履歴の表示
  - ：リダイヤルの表示
  - ：カメラの起動

音声電話中にテレビ電話へ切り替える

音声電話中にテレビ電話に切り替えることができます。切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替機能通知サービスを開始している必要があります。→P88

1 通話中に ▶「はい」を選択

相手が切り替えに対応している場合に表示

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 「いいえ」を選択すると音声電話中の画面に戻ります。

2 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

画面には相手側の操作により、相手の映像または代替画像が表示されます。→P61

- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合は、テレビ電話に切り替わると、自動的にスピーカーホン機能を利用した通話になります。

お知らせ

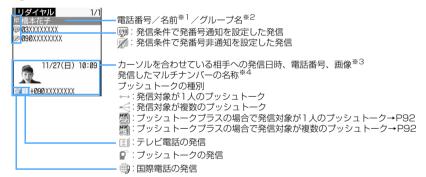
- 切り替えには5秒間程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 電波状態によっては、音声電話からテレビ電話に切り替えられず、電話が切れる場合があります。
- テレビ電話から音声電話に切り替えられます。→P79
- 音声電話とテレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- 切り替え中に別の電話がかかってきたときは、着信は拒否されます。
- パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 音声電話接続中、テレビ電話接続中、通話中保留や応答保留中、伝言メモや音声メモの録音中、プッシュ信号（DTMF）送出中、キャッチホンでの通話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 相手側がパケット通信中は、切り替えができない旨のメッセージが表示され、音声電話が継続されます。
- スピーカーホン機能は、テレビ電話から音声電話に切り替えるたびに解除されます。
- カメラの切り替えやフレーム選択、静止画の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P82

リダイヤル　MENU 46

前にかけた相手にかけ直す

相手にかけた音声電話、テレビ電話およびプッシュトークを発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直せます。

- リダイヤルは最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルに日時が記録されません。
- 同じ電話番号にかけた場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件のみが記録されます。
- プッシュトークのリダイヤル→P94

1 〔◯〕▶ **かけ直す相手にカーソルを合わせる**

※1：電話番号を電話帳に登録している場合（プッシュトークで複数のメンバーを選択して発信したときは、メンバー一覧で先頭に表示されているメンバーの名前）に表示されます。
※2：プッシュトークでグループ発信した場合に表示されます。
※3：電話帳に登録している場合（プッシュトークでグループ発信したときは、メンバー一覧で先頭に表示されているメンバーの画像）に表示されます。
※4：マルチナンバーを契約している場合に、発信した基本契約番号の名称または付加番号の名称が表示されます。

2 〔発信〕**を押す**

音声電話がかかります。

- テレビ電話をかけるときは〔テレビ電話〕を押します。
- 〔●〕を押すと、選択しているリダイヤルの発信方法（音声電話、テレビ電話）と同じ方法で電話をかけられます。

お知らせ

- マルチナンバーをご利用の場合、◉を押すと前にかけたときと同じ発信番号を通知して発信します。発信番号を選択して発信することもできます。→P55、P383
- 条件を設定して電話をかけられます。→P55
- 32Kテレビ電話で発信したリダイヤルの場合でも、◉を押すと64Kテレビ電話で発信されます。

リダイヤルを利用する

リダイヤル一覧から電話番号を電話帳に登録したり、iモードメールやSMSを作成したりできます。

■電話帳に登録するとき

①**登録するリダイヤルにカーソルを合わせて**menu▶1

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、menu 2を押します。

②**1または2**

③**名前やメールアドレスなどを登録**

電話帳登録→P103、P105

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。→P112

■iモードメールを作成するとき

①**宛先にするリダイヤルにカーソルを合わせて**✉

リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、その1件目に登録しているメールアドレスを宛先にしたiモードメール作成画面が表示されます。それ以外の場合は、電話番号が宛先になります。

■SMSを作成するとき

①**宛先にするリダイヤルにカーソルを合わせて**✉**（1秒以上）**

リダイヤルの電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

■着信履歴一覧に切り替えるとき

①**📖を押す**

- 押すたびにリダイヤル一覧と着信履歴一覧の画面が切り替わります。

リダイヤルを削除する

1件ずつ、またはすべてのリダイヤルをまとめて削除できます。

1 ◎▶**削除するリダイヤルにカーソルを合わせて**menu▶6▶1**または**2

2 **「はい」を選択**

186／184

1回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- 番号通知方法の優先順位→P47

「186」／「184」を付けて電話をかける

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■発信者番号を通知するとき

音声電話　：1 8 6▶相手の電話番号を入力▶📞

テレビ電話：1 8 6▶相手の電話番号を入力▶📺

■発信者番号を通知しないとき

音声電話　：1 8 4▶相手の電話番号を入力▶📞

テレビ電話：1 8 4▶相手の電話番号を入力▶📺

お知らせ

- 「186」の代わりに「＊31#」、「184」の代わりに「#31#」を付けてダイヤルしても同じ機能となります。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときや番号通知お願いの映像ガイダンスが表示されたときは、「186」を付けてからおかけ直しください。
- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

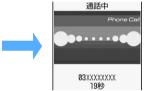
FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送出して、ご自宅の留守番電話の操作や各種のプッシュホンサービスなどを利用できます。また、電話をかけるときにポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力することにより、番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出できます。

- 電話帳にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めた電話番号を登録することもできます。

ポーズ「P」を入力する

ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ（「P」）が入力された箇所で電話番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1　電話番号を入力▶＊（1秒以上）▶送出する番号を入力▶発信

電話がつながった後に●を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

- ポーズ（「P」）を電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1　電話番号を入力▶#（1秒以上）▶内線番号を入力▶発信

- タイマー（「T」）は連続して入力できます。
- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）を電話番号の先頭に入力すると発信できません。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要があるときにスピーカーホン機能を利用すると便利です。その場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

条件を設定して電話をかける

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、発信方法や発信者番号の通知／非通知、マルチナンバーの発信番号の選択、プレフィックスを付加するかどうかを設定できます。

- 条件を設定してプッシュトークを発信する→P94
- 番号通知方法の優先順位→P47
- マルチナンバーの付加番号の登録→P383

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

次ページへ続く

1 電話番号を入力▶MENU▶3

• 伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

2 下記の各項目を選択して設定

発信方法：「音声電話」「64Kテレビ電話」「32Kテレビ電話」のいずれかを選択します。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、発信者番号通知設定に従って動作します。

マルチナンバー：発信番号を基本契約番号または付加番号1～2から選択します。「指定なし」を選択すると、通常発信番号設定に従って動作します。
• 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」にすると、発信番号を選択できません。

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
• お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。

3 MENU▶「はい」を選択

設定した内容で電話がかかります。

• 発信方法で「64Kテレビ電話」または「32Kテレビ電話」を選択した場合には、「キャラ電選択発信」を選択して、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

お知らせ

• リダイヤル一覧、着信履歴一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧、プッシュトークのメンバー一覧やグループ一覧画面から操作する場合は、MENUを押し「電話」から条件を設定します。
• FOMA端末電話帳の電話帳一覧または詳細画面のTOP画面、電話画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、プロフィール情報の電話画面から操作する場合は、MENUを押し、「電話／メール」または「電話」から条件を設定します。
• 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

• 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
• 通話方法は次のとおりです。

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶国番号▶市外局番▶相手の電話番号▶発信
※ 上記の電話番号をFOMA 端末の電話帳に登録できます。
※ 市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

• 通話先は世界約220の国と地域です。
• 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
• 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
• 一部ご利用になれない料金プランがあります。
• 国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合の入力手順が変更となりました。従来の入力手順（上記入力手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
• WORLD CALLについての詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
• 接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
• 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する<国際ダイヤル自動付加設定>

お買い上げ時　自動付加

国際ダイヤル自動付加を利用するかどうかを設定します。
国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定すると、「+」の後に国番号からの電話番号を入力することで、国際電話用の「009130010」を自動的に付けて国際電話を簡単にかけられます。
• 「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定していても、国際電話用の「009130010」は付加されません。

1 MENU ▶ 8 6 8 3

2 1 または 2

国際ダイヤル自動付加設定を利用して国際電話をかけるとき

1 0（1秒以上）▶ 国番号、電話番号の順に入力 ▶ 発信

「WORLD CALL」以外の番号を設定する<プレフィックス設定>

お買い上げ時　プレフィックス1：009130010

電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定しておくと、電話番号を入力した後でも、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけられます。
• お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。「009130010」は、他のプレフィックスに変更もできます。

1 MENU ▶ 8 6 8 2 ▶ プレフィックスの入力欄にカーソルを合わせて番号を入力 ▶ ⊞［登録］
- 最大3件、1件につき最大10桁入力できます。
- 電話番号（プレフィックス）にはポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めないでください。ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

プレフィックスを選択して国際電話をかけるとき

1 国番号、電話番号の順に入力 ▶ MENU ▶ 3 ▶ プレフィックス欄を選択 ▶ プレフィックス番号を選択

2 MENU ▶「はい」を選択

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時　ON

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかどうかを設定します。
• サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN 回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
また、映像配信サービス「 Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 MENU ▶ 8 6 8 4 ▶ 1 または 2

サブアドレスを指定して電話をかけるとき

- 相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

1 電話番号を入力▶*▶サブアドレスを入力▶発信
- テレビ電話をかけるときはテレビ電話キーを押します。

お知らせ
- サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

再接続アラーム設定
途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時　アラーム高音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話、プッシュトークを、電波状態がよくなったときに再接続する際のアラームを設定します。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 MENU▶8692▶1～3

ノイズキャンセラ設定
周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時　ON

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を設定することにより、自分の声と相手の声を明瞭にして通話できます。
- 通常は、「ON」に設定した状態で使用することをおすすめします。

1 MENU▶8691▶1または2

車載ハンズフリー
車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載 ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ
- 着信時のディスプレイの表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらず、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、通話中クローズ設定の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ設定の設定に関わらず、FOMA端末を折り畳んでも通話は継続されます。
- 公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手には代替画像が送信されます。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、テレビ電話と共通の操作を説明します。

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けられません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅します。ディスプレイには、音声電話着信中の画面が表示されます。

- マルチナンバーを契約している場合は、着信した基本契約番号の名称（プロフィール情報で名前を設定しているとき→P366）または付加番号の名称（マルチナンバーの電話番号設定で名称を登録しているとき→P383）が表示されます。

2 [文字]を押す

お話しください。通話時間が表示されます。

- ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。
- [電源]を押すと応答保留になります。
- 通話中、[●]を押すと通話中保留になります。
- 通話中、[文字]を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

3 通話が終わったら[電源]

- FOMA端末を折り畳んでも電話が切れます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

お知らせ

- 電話帳に登録していない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。→P156、P157
- 電話帳に登録している相手に対して、着信拒否を設定できます。→P154
- ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へ電話をかけられません。

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、相手の電話番号や名前、画像、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、電話番号と電話着信設定またはテレビ電話着信設定で設定した画像が表示されます。

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、名前と電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは、電話帳に設定している画像または動画／ｉモーションが表示されます。→P133

次ページへ続く

■相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。
- テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話着信設定に従って動作します。

お知らせ

- FOMA端末から転送された電話を着信したとき、転送元の電話番号を電話帳に登録していない場合は電話番号が、登録している場合は名前が、着信画面の左下に表示されます。ただし、転送元によっては、電話番号や名前が表示されない場合があります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時に動画／ｉモーションを設定していても、音声電話中に音声電話の着信があった場合は、動画／ｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。

着信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。
通話中着信動作選択やプッシュトーク通信中着信設定を「通常着信」に設定しているときは、通話中やプッシュトーク通信中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。
2留守番電話※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3転送でんわ※2	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※1：留守番電話サービスをご利用いただき、音声電話がかかってきた場合に有効です。
※2：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

- 着信中には、次の操作もできます。
  サイドキー［▲］（1秒以上）：伝言メモ録音（クイック伝言メモ）
  サイドキー［▲］：着信音、バイブレータの停止
  ◎：着信音量調整

FOMA端末を折り畳んでいるときの動作について

着信ランプの点灯または点滅と背面ディスプレイの表示、および着信音で、電話がかかってきたことをお知らせします。

- 発信者番号が通知された場合は、電話番号やFOMA端末電話帳に登録されている名前などが背面ディスプレイに表示されます。発信者番号が通知されていない場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 背面情報表示設定で「相手情報表示なし」に設定すると、電話番号の通知／非通知に関わらず、相手の電話番号や名前などは表示されません。
- 着信中の画像は、背面画像設定で変更できます。

通話中に「ププ･･･ププ･･･」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続します。	P376
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P378
転送でんわサービス※	転送先へ転送します。	P379

※：通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定したときのみ選択できます。

- キャッチホンを契約されていない場合は、通話中着信音「ププ･･･ププ･･･」が鳴っても電話は受けられません。

テレビ電話への切り替えに応じる

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

- 切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
- テレビ電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知サービスを開始しておく必要があります。
→P88

1 音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 「はい」を選択

テレビ電話に切り替わり、相手にカメラ映像が送信されます。

- 「いいえ」を選択すると代替画像が送信されます。

3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

画面には相手の設定により、相手の映像または代替画像が表示されます。

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時　ON

電話がかかってきたとき、[通話]以外に[0]～[9]、[*]、[#]を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。

- 音声電話とプッシュトークに有効です。
- 通話中の着信に対しては無効です。

1

通話中クローズ設定

FOMA端末を折り畳んで通話を切断／保留／継続するように設定する

お買い上げ時　切断

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は動作しません。
- プッシュトーク中クローズ設定→P100

1 MENU ▶ 8 6 9 5 ▶ 1 〜 3

切断：通話を終了します。
保留：通話を保留し、相手には通話保留音が流れます。
通話継続（マイクミュート）：通話を継続します。

お知らせ

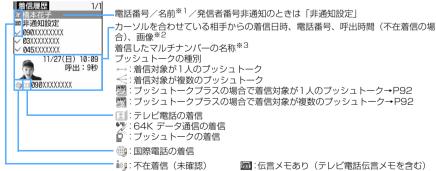
- 「保留」に設定してFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに相手の情報と、音声電話の場合は「保留中」が、テレビ電話の場合は「テレビ電話保留中」が表示されます。
- 「通話継続（マイクミュート）」に設定してFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに相手の情報と、音声電話の場合は「通話中」が、テレビ電話の場合は「テレビ電話通話中」が表示されます。
- 次の場合は、FOMA端末を折り畳んでも本設定に関わらず通話は継続されます。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中
  - ハンズフリー対応機器接続中で、接続中の機器から音を鳴らす設定にしているとき
  - 伝言メモ録音または録画中
  - 通話中にFOMA端末を折り畳んだ状態で平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー対応機器を外したとき
- 「保留」に設定してテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、次のとおりです。
  - カメラ映像またはカメラ映像にフレームを重ねて送信中は、相手にはテレビ電話中保留画像が送信されます。ただし、フレームは解除されます。
  - 静止画を送信中は、静止画を解除して、相手には保留中画像が送信されます。
- 「保留」を設定していても、プッシュ信号（DTMF）の送出中、または音声電話とテレビ電話の切り替え中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、通話が継続されます。プッシュ信号（DTMF）の送出、または音声電話とテレビ電話の切り替えが終了すると保留になります。
- 「通話継続（マイクミュート）」に設定している場合や、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー対応機器を接続してテレビ電話中にFOMA端末を折り畳んだときの動作は、次のとおりです。
  - カメラ映像またはカメラ映像にフレームを重ねて送信中は、相手には代替画像が送信されます。ただし、フレームは解除されます。
  - 代替画像や静止画を送信中は、相手には継続して代替画像や静止画が送信されます。
- 通話中音声メモ録音中または動画メモ録画中にFOMA端末を折り畳んだ場合は、本設定に従って動作します。「保留」に設定している場合、保留直前までに録音または録画していた内容が保存されます。

着信履歴　MENU 45

かかってきた相手にかけ直す

かかってきた音声電話、テレビ電話およびプッシュトークに応答した履歴や、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音または録画されたときの履歴も記録されます。

- 着信履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、着信履歴に日時が記録されません。
- プッシュトークの着信履歴→P94

1 ▶ **目的の着信履歴にカーソルを合わせる**

※1：電話番号を電話帳に登録している場合（プッシュトークで着信対象者が複数のメンバーのときは、メンバー一覧で先頭に表示されているメンバーの名前）に表示されます。
※2：電話帳に登録している場合（グループ発信のプッシュトークのときは、メンバー一覧で先頭に表示されているメンバーの画像）に表示されます。
※3：マルチナンバーを契約している場合、着信した基本契約番号の名称または付加番号の名称が表示されます。

2 を押す

音声電話がかかります。
- テレビ電話をかけるときはを押します。
- を押すと、選択している着信履歴の着信方法（音声電話、テレビ電話）と同じ方法で電話をかけられます。

着信履歴を利用する

着信履歴一覧から電話番号を電話帳に登録したり、ｉモードメールやSMSを作成したりできます。

■ 電話帳に登録するとき

①**着信履歴にカーソルを合わせて ▶ 1**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは 2 を押します。

② 1 または 2

③**名前やメールアドレスなどを登録**

電話帳登録→P103、P105
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。→P112

■ ｉモードメールを作成するとき

①**宛先にする着信履歴にカーソルを合わせて**

着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたｉモードメール作成画面が表示されます。それ以外の場合は、電話番号が宛先になります。

■ SMSを作成するとき

①**宛先にする着信履歴にカーソルを合わせて（1秒以上）**

着信履歴の電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

■ リダイヤル一覧に切り替えるとき

①**を押す**
- 押すたびに着信履歴一覧とリダイヤル一覧の画面が切り替わります。

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）

待受画面に 2（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
- 待受画面のアイコンを選択して着信履歴などをすばやく確認できます。→P36
- FOMA端末を折り畳んだ状態で、不在着信件数などを確認できます。→P32
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

お知らせ
- 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信を表示する場合は、着信履歴一覧で 7 3 を押します。元の着信履歴に戻す場合は、 7 2 を押し、すべての着信履歴を表示する場合は、 7 1 を押します。
- 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信のみ着信履歴に記録されている場合、待受画面でを押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- マルチナンバーをご利用の場合、を押すと着信した基本契約番号または付加番号と同じ電話番号を通知して発信します。発信番号を選択して発信することもできます。→P55、P383
- 条件を設定して電話をかけられます。→P55
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。

着信履歴を削除する＜着信履歴削除＞

1件ずつ、またはすべての着信履歴をまとめて削除できます。

1 ▶削除する着信履歴にカーソルを合わせて MENU ▶ 6 ▶ 1 または 2

2 「はい」を選択

受話音量調整

相手の声の音量を調整する

お買い上げ時　LEVEL4

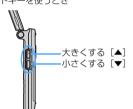
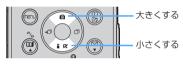
- LEVEL1（最小）〜LEVEL6（最大）の6段階で調整できます。
- キー確認音、伝言メモ、音声メモの再生音の音量にも反映されます。
- 通話中や待受中に変更した音量は、電源を切っても保持されます。

通話中に調整する

1 通話中にサイドキー［▲▼］または

を押すか、キーの操作を止めてしばらくたつと、音量が設定されます。

- 次のキーで音量を調整できます。

サイドキーを使うとき

マルチカーソルキーを使うとき

- テレビ電話中は、サイドキーでのみ音量調整ができます。このとき、調整音量は画面右下に一時的に表示されます。

待受中に調整する

1 MENU ▶ 8 1 3 ▶サイドキー［▲▼］または

2 ［選択］を押す

着信音量調整

着信音の音量を調整する

お買い上げ時　LEVEL4

着信中や待受中に、電話の着信音の大きさを調整します。待受中には、メールやメッセージの着信音やトルカ取得時の音の大きさも調整できます。

- Silent（消音）、LEVEL1〜LEVEL6の7段階で調整できます。待受中はSTEPTONE（3秒ごとに、Silent→LEVEL1…→LEVEL6で着信音が鳴る）も設定できます。
- 電話着信音量は、電池レベル表示時の確認音、ｉアプリ、スケジュールアラームの音量にも反映されます。ただし、「STEPTONE」に設定した場合のｉアプリの音量は「LEVEL4」です。
- 電話着信中に変更した着信音量は、電話を切ると元に戻ります。
- 待受中に変更した着信音量は、電源を切っても保持されます。

着信中に調整する

1 着信中に[キー]

お知らせ
- 着信中にサイドキー［▲］を押すと、着信音、バイブレータの動作が止まります。
- 電話着信音量調整を「STEPTONE」に設定している場合、着信中に調整を行うと、LEVEL6からの変更になります。

待受中に調整する

1 MENU ▶ 8 1 2 ▶ 1〜3

電話着信音量調整　：電話着信時の音量を調整します。
メール着信音量調整：メール着信時の音量を調整します。
トルカ取得音量調整：トルカ取得時の音量を調整します。

2 サイドキー［▲▼］または[キー]

3 ●［選択］を押す

- LEVEL6のときに[キー]、[キー]、サイドキー［▲］のいずれかを押すと、「STEPTONE」になります（「トルカ取得音量調整」の場合を除く）。また、LEVEL1のときに[キー]、[キー]、サイドキー［▼］のいずれかを押すと、「Silent」になります。

お知らせ
- 電話着信音量調整を「Silent」に設定した場合は、待受画面に S（サイレント）が表示されます。また、同時に電話のバイブレータを設定した場合は、SV が表示されます。
- 本機能でトルカ取得音量を調整した場合は、トルカ取得設定のトルカ取得音量にも反映されます。

優先通信モード設定

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

お買い上げ時　設定なし

音声電話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 MENU ▶ 8 6 8 1 ▶ 1〜3

設定なし　　　　　：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。
音声通話表示優先　：音声電話中の画面を表示します。
パケット通信表示優先：パケット通信中の画面を表示します。

- ｉモードのパケット受信時は、本設定に関わらず、音声電話中の画面が優先して表示されます。

表示される画面について

優先通信モード設定の設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

設定内容	音声通話中のパケット受信時（ｉモード以外）※1	パケット通信中の電話着信時※2
設定なし	音声電話中の画面	音声電話着信中の画面
音声通話表示優先	音声電話中の画面	音声電話着信中の画面
パケット通信表示優先	パケット通信中の画面	ｉモード中の画面

※1：電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。→P383
　　ｉモード以外のパケット通信にはｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信は含まれません。
※2：ｉモード中にｉモード以外のパケット受信は受けられません。→P458

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

• 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に[電源]

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話の場合は、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。
• イルミネーション設定の通話中イルミネーションを「ON」に設定している場合、イルミネーションカラーの設定に従って着信ランプが点滅します。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

2 電話に出られる状態になったら[文字]

• テレビ電話の場合は[ ]を押しても電話に出ることができます。[ ]の代わりに[ ]を押すと、相手には代替画像が送信されます。→P87
• 応答保留中に[電源]を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

応答保留ガイダンス設定

応答保留ガイダンスを設定する

お買い上げ時　保留音：内蔵音（ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。）

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音できます。

• ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
• 音声電話、テレビ電話ともに、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

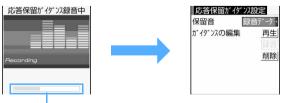
〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

1 [MENU] ▶ [8] [6] [4]

2 保留音欄を選択 ▶ [2]

• お買い上げ時のガイダンスに戻すときは[1]を押し、操作4に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択 ▶ 発信音の後に応答保留ガイダンスを録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

録音できる時間の目安

• 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
• 録音を途中で停止するときは[●]を押します。
• すでに録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。ガイダンスを録音し直すときは「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音をしてください。
• 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。
• 録音したガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 [登録]を押す

通話保留音設定
通話保留音を設定する

お買い上げ時　ENTERTAINER

- 音声電話、テレビ電話とも、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。
- 着信音設定の通話保留音にも反映されます。

1

お知らせ
- 通話保留音の音量は変更できません。

公共モード（ドライブモード）
公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モード（ドライブモード）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

- 公共モード（ドライブモード）の設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード（ドライブモード）中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中は利用できません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定しているときに「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。

公共モード（ドライブモード）を起動する

1 （1秒以上）

公共モード中のマーク

公共モード（ドライブモード）が設定され、待受画面にが表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 解除するときはを1秒以上押します。

公共モード（ドライブモード）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モード中である旨のメッセージが表示され、切断されます。プッシュトークが着信したときは、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示され、切断されます。グループ着信したときは、参加メンバーのディスプレイにお客様の状態を表す 運転中 が表示されます。どの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には 2（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。
  - 電話、プッシュトークおよび64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - アラームやスケジュールアラームの音
  - ｉアプリのサウンド
  - 通話料金上限通知
  - 電池アラーム
  - 充電開始音
  - 充電完了音
  - FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてデータを取得したときの音

次ページへ続く

- 公共モード中は、通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されず、アラームも鳴りません。
- メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、iモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージR/Fを受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果画面が更新されます。
- FOMA 端末を折り畳んでいる場合に、電話の着信、メールやメッセージ R/F を受信したときなどは、サイドキー［▼］を押すと背面ディスプレイで新着情報を確認できます。
- iチャネルのテロップは表示されません。

お知らせ

- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 公共モード中でも、遠隔ロックで発信元に設定している電話番号から着信があると、着信回数としてカウントされ、遠隔ロックが起動します。公共モードのガイダンスは流れずに、遠隔ロックが設定された旨のガイダンスが流れます。
- 公共モード中にiモードを利用している場合は、電話がかかってくると次の動作の後に切断されます。着信履歴には不在着信として記録されます。
  - 音声電話の場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れます。※
  - テレビ電話の場合は、相手に通話中である旨のメッセージが表示されます。

  ※：留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）中の着信動作

公共モード（ドライブモード）とネットワークサービスを同時に利用しているときは、次のように動作します。設定状態や相手の電話のかけかたによっては、ネットワークサービスが優先され、公共モード（ドライブモード）の動作や不在着信の記録や表示が行われません。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターにも接続されずに切断されます。
転送でんわサービス	相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。※2 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン	• 音声電話中の場合、相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、切断されます。 • テレビ電話中の場合、相手に話中音が流れます。	相手に公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。※3	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※3
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（ドライブモード）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、公共モード（ドライブモード）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※1：留守番呼出時間または転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定している場合は、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。
※2：転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定している場合は、着信履歴には記録されません。
※3：着信履歴には記録されません。

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

公共モード（電源OFF）を起動する

1 ＊ 2 5 2 5 1 ▶ 発信

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を解除するとき

① ＊ 2 5 2 5 0 ▶ 発信

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認するとき

① ＊ 2 5 2 5 9 ▶ 発信

公共モード（電源OFF）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モード中である旨のメッセージが表示され、切断されます。プッシュトークが着信したときは、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示され、切断されます。グループ着信したときは、参加メンバーのディスプレイにお客様の状態を表す ✕不参加 が表示されます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）中の着信動作

公共モード（電源OFF）とネットワークサービスを同時に利用しているときは、次のように動作します。設定状態や相手の電話のかけかたによっては、ネットワークサービスが優先され、公共モード（電源OFF）の動作や不在着信の記録や表示が行われません。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターにも接続されずに切断されます。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。※2 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れた後、切断されます。※3	相手を迷惑電話着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。※3
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

※1：留守番呼出時間または転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定している場合は、公共モード（電源OFF）のガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。
※2：転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定している場合は、着信履歴には記録されません。
※3：着信履歴には記録されません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音または録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音または録画できます。
- 録音や録画の日時や電話番号なども記録されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、日時や電話番号は記録されません。
- 伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音や録画の内容が消失してしまう場合もあります。万一、内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- プッシュトークの場合、伝言メモは動作しません。

伝言メモを起動する　MENU 471

お買い上げ時　停止する

伝言メモを起動するかどうかを設定します。

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 **サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 1 ▶ 1 または 2**

伝言メモを起動すると、待受画面に が表示されます。

クイック伝言メモで対応する<クイック伝言メモ>

伝言メモ機能を起動していなくても、着信中にサイドキー［▲］を1秒以上押すと、その着信に限り伝言メモ機能を1回だけ動作させられます。この操作は、伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

お知らせ

- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面に が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、新たに伝言メモを起動できません。また、クイック伝言メモを動作させようとすると警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。不要な伝言メモを削除してください。

伝言メモの起動中に電話がかかってくると

1 **電話がかかってくる**

伝言メモ応答時間設定（お買い上げ時の設定は8秒）に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。相手には伝言メモ応答ガイダンス設定に従って応答ガイダンスが流れます。

2 **相手のメッセージが録音または録画される**

音声電話伝言メモ録音中　　テレビ電話伝言メモ録画中

- 録音または録画の開始時と終了時に相手には確認音（ピーッ）が鳴ります。また、録音または録画開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 **録音または録画が終了すると、電話が切れる**

- 内容を確認していない伝言メモがあるときは、待受画面には 1（数字は件数）が表示されます。アイコンを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。
- FOMA端末を折り畳んだ状態で、伝言メモ件数などを確認できます。→P32

お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音または録画中でも [キー] を押すと音声電話またはテレビ電話（相手にはカメラ映像を送信）に、[キー] を押すと代替画像を送信してのテレビ電話に出ることができます。このとき、電話を受けるまでの録音内容や録画内容は記録されません。
- 圏外 が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。
- 電波の状態により、伝言メモの録音内容が途切れたり、録音画像が乱れる場合があります。
- 伝言メモ録音または録画中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音または録画を継続します。

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する＜伝言メモ応答時間設定＞ MENU 4713

電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの時間を設定します。

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 1 3 ▶ 応答時間を入力

- [キー] を押してカーソルを移動し、0～120秒の範囲で入力します。
- [キー] を押しても数字を増減できます。

お知らせ

- オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時）、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定、留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間設定より短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。その場合には、クイック伝言メモで応答してください。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

応答ガイダンスを設定する＜伝言メモ応答ガイダンス設定＞ MENU 4714

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

〈例〉録音データをガイダンスに設定するとき

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 1 4

2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択 ▶ 2

- お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作4に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択 ▶ 発信音の後に応答ガイダンスを録音する

録音できる時間の目安

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

録音操作の補足説明→P66「応答保留ガイダンスを設定する」操作3

4 [キー]［登録］を押す

お知らせ

- 内蔵音には次のガイダンスが登録されています。
「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。」

伝言メモを再生／削除する

伝言メモを再生する　MENU 472

- 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。→P36

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 2

電話番号、名前※1、または発信者番号非通知理由

カーソルを合わせている相手の録音または録画の日時、電話番号
国際電話の場合は、電話番号の前に と「+」を表示
マルチナンバーを契約している場合は、着信した基本契約番号対応の名称または付加番号対応の名称を表示

：未再生の音声電話伝言メモ　：再生済みの音声電話伝言メモ
：未再生のテレビ電話伝言メモ　：再生済みのテレビ電話伝言メモ

※1：電話番号を電話帳に登録している場合に表示されます。

2 再生する伝言メモを選択

伝言メモ再生中
Playing
橋本花子
090XXXXXXXX

伝言メモ再生中
橋本花子
090XXXXXXXX

時間経過の目安

音声電話伝言メモ再生中　テレビ電話伝言メモ再生中

- 再生中は次の操作ができます。
  ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  ：停止
  ：スピーカーホン機能ON/OFFの切り替え（音声電話伝言メモの再生中のみ）
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能がONに設定されて再生されます。スピーカーホン機能の切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、スピーカーホン機能がONに設定されて再生されます。「いいえ」を選択すると、消音で再生されます。

■ 電話帳に登録するとき

①**伝言メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 4**
- 登録済みの電話帳に追加するときは MENU 5 を押します。

②**1 または 2**

③**名前やメールアドレスなどを登録**
電話帳登録→P103、P105
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。→P111

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択

- 「はい」を選択すると、伝言メモが削除されます。

お知らせ
- 伝言メモ一覧で相手にカーソルを合わせて を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけられます。また、条件を設定して電話をかけられます。→P55

伝言メモを削除する　MENU 472

1件ずつ、またはすべての伝言メモを削除できます。

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 2

2 伝言メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶ 1 または 2

3 「はい」を選択

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの映像を見ながら通話できます。また、カメラ映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体

※2：3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話中の画面の見かた

①	**親画面**	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示
②	**通信速度**	[64K]：64K　[32K]：32K
③	**スピーカーホン機能**	[アイコン]：ON　表示なし：OFF
④	**子画面**	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示
⑤	**ズーム**	[×1]：標準～[×16]：16倍（アウトカメラ） [×1]：標準～[×2]：2倍（インカメラ）
⑥	**状態**	[アイコン]：カメラ映像送信中　[アイコン]：カメラオフ画像送信中 [アイコン]：キャラ電中　[アイコン]：フレーム送信中 [アイコン]：静止画送信中　[アイコン]：通話保留中 [アイコン]：応答保留中　[アイコン]：伝言メモ録画中 [アイコン]：動画メモ録画中
	アクションモード	[Action]：全体アクション　[Parts]：パーツアクション
⑦	**撮影モード**	[STD]：標準　[アイコン]：夕景　[アイコン]：逆光 [アイコン]：海・雪　[アイコン]：モノトーン　[アイコン]：セピア
⑧	**ワンタッチパワーライト**	表示なし：OFF　[アイコン]：ON
⑨	**送信画質**	表示なし：標準　[アイコン]：動き優先　[HQ]：画質優先
⑩	**音声・映像の送受信状態**	[A]：音声送受信中　[V]：映像送受信中 [AV]：音声・映像送受信中
	受話音量／スピーカーホン音量	[1]～[6]：受話音量／スピーカーホン音量調整中
⑪	**接写撮影**	表示なし：OFF　[アイコン]：ON（アウトカメラ）
⑫	**テレビ電話切替機能**	表示なし：切り替え不可　[アイコン]：切り替え可能
⑬	**通話時間**	HH:MM:SSの形式で表示

テレビ電話をかける

- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけられます。

1 電話番号を入力

- 音声電話の入力方法と同じです。

2 [テレビ電話キー]を押す

テレビ電話接続中は、カメラ映像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。[電源キー]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- マナーモード中のときは、スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、スピーカーから の通話になります。「いいえ」を選択すると、受話口からの通話になります。
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。→P87
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。

3 相手の映像を見ながら通話する

- [●]を押すと通話中保留になります。
- [スピーカーキー]を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。

4 通話が終わったら[電源キー]

- FOMA端末を折り畳んでも電話が切れます。折り畳んでも電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

お知らせ

- 操作2→操作1の順でもテレビ電話をかけられます。[テレビ電話キー]を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- 代替画像やキャラ電を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
公共モード	相手が公共モード（ドライブモード）または公共モード（電源OFF）を設定しています。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネットなどへの発信時）。
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスを設定している場合や、転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応のFOMA端末の場合に表示されます。
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合に表示されます。

- テレビ電話をかけたときに番号通知お願いの映像ガイダンスが表示された場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

次ページへ続く

・テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。音声自動再発信を「ON」に設定している場合も、32Kでの再発信が優先されます。→P86
※ 32Kで電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同じです。
・テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K → 32K → 音声
	OFF	64K → 32K → 切断
32K	ON	32K → 音声
	OFF	32K → 切断

マルチナンバーを指定してテレビ電話を発信した場合は、指定した発信番号で再発信されます。
・相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。→P86
・音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
・条件を設定してテレビ電話をかけられます。→P55
・テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
・テレビ電話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて A（音声のみ）または V（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続されることがあります。

テレビ電話中の操作について

テレビ電話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 **音声電話切替**	テレビ電話から音声電話へ切り替えます。	P79
2 **撮影モード**	送信する映像に特殊な効果をかけます。	P83
3 **カメラ調整**	送信する映像の明るさ、濃さや、ちらつきを調整します。	P83
4 **フレーム／代替画像**	送信する映像にフレームを付けたり、キャラ電やカメラオフ画像、静止画に切り替えます。	P81 P82
5 **接写撮影ON／OFF**	接写撮影と通常の撮影を切り替えます。	P84
6 **ワンタッチパワーライトON／OFF**	ワンタッチパワーライトのON／OFFを切り替えます。	P85
7 **インカメラへ切替／アウトカメラへ切替**	インカメラとアウトカメラを切り替えます。	P84
8 **画像品質設定**	送受信する画像の品質を設定します。	P84
9 **テレビ電話動作設定**	通話中に表示する画面の設定を変更します。	P85
0 **DTMF送信**	テレビ電話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。	P79

・サブメニューを使う操作以外に、次の操作もできます。
サイドキー［▲］（1秒以上）：テレビ電話動画メモの起動／停止
[メール]：送信映像（自画像／代替画像）の切り替え
[iモード]：親子画面の表示の切り替え
[iモード]（1秒以上）：親画面のサイズ切り替え
[カメラ]：インカメラ／アウトカメラの切り替え
[カメラ]（1秒以上）：ワンタッチパワーライトのON／OFF切り替え
[上下]：送信映像の表示倍率の切り替え
[左右]：送信画質の切り替え
サイドキー［▲▼］：受話音量調整
[スピーカー]：スピーカーホン機能のON／OFF切り替え

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話中に音声電話へ切り替える

テレビ電話中に音声電話に切り替えることができます。切り替えは、テレビ電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替機能通知サービスを開始している必要があります。→P88
- テレビ電話と音声電話を切り替える際の注意事項→P53「音声電話中にテレビ電話へ切り替える」のお知らせ

1 通話中に MENU ▶ 1 ▶「はい」を選択

相手が切り替えに対応している場合に表示

切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 「いいえ」を選択するとテレビ電話中の画面に戻ります。

2 音声電話の通話中画面が表示されたら、通話する

プッシュ信号（DTMF）を送出する<DTMF送出>

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話中で（カメラ映像送信中）、（カメラオフ画像送信中）、（キャラ電中）の場合のみプッシュ信号（DTMF）の入力ができます。

1 通話中に MENU ▶ 0 ▶ ダイヤルキー

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

- プッシュ信号（DTMF）送出を解除するときは ch/クリア を押します。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）を送出すると、カメラ映像に設定したフレームや代替画像に設定した静止画は解除されます。

テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅します。ディスプレイには、テレビ電話着信中の画面が表示されます。

- 相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／iモーションなどがディスプレイに表示されます。
- マルチナンバーを契約している場合は、着信した基本契約番号の名称（プロフィール情報で名前を設定しているとき→P366）または付加番号の名称が表示されます。（マルチナンバーの電話番号設定で名称を登録しているとき→P383）

2 [発信/文字]または[カメラ]

テレビ電話接続中は、カメラ映像がディスプレイに表示されます。

- テレビ電話の場合、エニーキーアンサーは無効です。
- [終話/電源]を押すと応答保留になり、相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。
- マナーモード中のときは、スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、スピーカーからの通話になります。「いいえ」を選択すると、受話口からの通話になります。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

① [メール]を押す

テレビ電話がつながったときから、相手に代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には代替画像設定の標準画像が送信されます。

3 相手の映像を見ながら通話する

- [●]を押すと通話中保留になります。
- [発信/文字]を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

4 通話が終わったら[終話/電源]

- FOMA端末を折り畳んでもテレビ電話が切れます。折り畳んでもテレビ電話が切れないようにするには、通話中クローズ設定の設定を変更します。

着信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。
2転送でんわ※	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

- 着信中には、次の操作もできます。
  サイドキー［▲］（1秒以上）：伝言メモ録画（クイック伝言メモ）
  サイドキー［▲］：着信音、バイブレータの停止
  [マルチカーソル]：着信音量調整

お知らせ

- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。

音声電話への切り替えに応じる

- 音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知サービスを開始しておく必要があります。→P88

1 テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受ける

- かけた側から切り替え操作が行われると、切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 通話中画面が表示されたら、通話する

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、カメラ映像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かせます。キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。

通話中にキャラ電を設定する

1 通話中に MENU ▶ 4 2

2 1 ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択

キャラ電

- 通話中に次の操作ができます。
  1 〜 9、# ：アクション
  ✉ ：アクション一覧の表示（アクションを選択すると、キャラクタがダイヤルキーに該当するアクションをします）
  0 ：アクションの中止

キャラ電の操作とアクション一覧→P320「キャラ電を表示する」操作3

お知らせ

- キャラ電を表示してからテレビ電話をかけるときや、キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定するときは、「キャラ電を表示する」を参照してください。→P319
- キャラ電によっては、アクションがないものがあります。

相手側に送信する映像について設定する

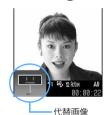
テレビ電話中に相手に送信する映像などを設定します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
映像を自画像／代替画像に切り替える	P82	インカメラ／アウトカメラを切り替える	P84
映像にフレームを重ねる	P82	接写撮影に切り替える	P84
静止画／カメラオフ画像を送信する	P82	画像の品質を設定する	P84
映像に特殊な効果をかける	P83	カメラ映像の表示倍率を切り替える	P85
映像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する	P83	ワンタッチパワーライトを点灯する	P85

映像を自画像／代替画像に切り替える

お買い上げ時　自画像

1 通話中に[代替画像キー]［代替画像］

代替画像

- 押すたびにカメラ映像（[アイコン]）と代替画像（[アイコン]または[アイコン]）が切り替わります。→P87
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、テレビ電話画像選択の標準画像（カメラオフ画像）が送信されます。→P87
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電の切り替えやアクションの選択ができます。
  キャラ電の操作とアクション一覧→P320「キャラ電を表示する」操作3

映像にフレームを重ねる

- カメラ映像送信中の場合のみフレームを重ねられます。
- 表示サイズが 176 × 144（QCIF）以下のフレームのみ選択できます。ただし、ダウンロードしたフレームは、表示サイズが176×144（QCIF）のフレームのみ選択できます。

1 通話中に[MENU] ▶ [4][1] ▶ フレームを選択

- インカメラを使用中は、ディスプレイに鏡像（左右逆向きの像）が表示され、相手には正像（正しい向きの像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ映像が相手にも送信されます。
- フレーム送信中に[●]を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時に登録されているフレーム→P438

静止画／カメラオフ画像を送信する

静止画、または「カメラオフ」という文字が表示されるカメラオフ画像を選択して送信します。

- フレーム送信中の場合、静止画またはカメラオフ画像は設定できません。
- 画像サイズが176×144（QCIF）以下で、FOMA端末外への出力ができる静止画のみ設定できます。
  FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P339「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

〈例〉カメラオフ画像を送信するとき

1 **通話中に MENU ▶ 4 3**

- カメラオフ画像を設定すると、テレビ電話画像選択で設定されている代替画像が送信されます。ただし、設定されている画像がキャラ電の場合は、標準画像（カメラオフ画像）が送信されます。

■ 静止画を送信するとき

①MENU ▶ 4 4 ▶ **フォルダを選択 ▶ 静止画を選択**

画像のフォルダや一覧の見かた→P306

- 静止画にカーソルを合わせて を押すと、静止画が表示されます。
- 静止画像送信中に を押すと、設定が解除されて元の画像が送信されます。

映像に特殊な効果をかける<撮影モード>

相手に送信する映像に次の効果をかけられます。カメラ映像送信中の場合のみ効果をかけられます。

項　目	アイコン	説　明
1 標準	STD	標準的な映像を送信します。
2 夕景		夕焼けをバックにした被写体を撮影するときに使用します。
3 逆光		逆光になる被写体を撮影するときに使用します。
4 海・雪		海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
5 モノトーン		白黒にするときに使用します。
6 セピア		セピア調にするときに使用します。

1 **通話中に MENU ▶ 2 ▶ 1 〜 6**

現在の効果のアイコン

映像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する<カメラ調整>

お買い上げ時　明るさ：3段階目　色の濃さ：3段階目　ちらつき調整：自動

映像の明るさや濃さを調整できます。映像のちらつきが気になるときは、お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えることにより、ちらつきが抑えられる場合があります。

- 明るさや色の濃さは5段階で調整できます。
- カメラ映像送信中の場合のみ調整できます。
- 通話終了後も設定内容は保持されます。

〈例〉明るさ／色の濃さを調整するとき

1 **通話中に MENU ▶ 3 1**

■ ちらつきを調整するとき

①MENU ▶ 3 2 ▶ 1 〜 3

- ちらつき調整の設定はカメラのちらつき調整の設定にも反映されます。

次ページへ続く

2 **で明るさ／色の濃さのスライダにカーソルを移動 ▶ で明るさ／色の濃さを調整**

- 調整中、画面にはカメラ映像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさ／色の濃さが確認できます。

3 **［登録］を押す**

- 調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

インカメラ／アウトカメラを切り替える

お買い上げ時　インカメラ

- カメラ映像送信中の場合のみ切り替えられます。

1 **通話中に［カメラ切替］**

切り替わったカメラからの映像が表示されます。

インカメラ選択時

アウトカメラ選択時

- 押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。

お知らせ
- カメラを切り替えても、次の設定は保持されます。
  - フレーム
  - 撮影モード
  - 画像の明るさ／色の濃さ／ちらつき

接写撮影に切り替える

約8～11cmのごく近い距離の映像を送信するときは、接写撮影に切り替えて映像のピントを合わせます。

- アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。接写撮影中にインカメラに切り替えると、接写撮影が解除されます。

1 **通話中にMENU ▶ 5**

- 接写撮影を解除するときは、MENU 5を押します。

画像の品質を設定する

お買い上げ時　送信画質、受信画質：標準

画像品質と動きとのどちらを優先するかを選択できます。受信中の相手の映像についても同様に選択できます。

- 「動き優先」に設定すると、映像の動きはなめらかになり、画質がやや粗くなります。
- 「画質優先」に設定すると、映像は細やかになり、動きがやや鈍くなります。

1 **通話中にMENU ▶ 8 1 ▶ 1～3**

- 相手の映像を設定するときは、通話中にMENU 8 2を押し、1～3を押します。

お知らせ
- 通話中にを押しても送信画質を切り替えられます。

カメラ映像の表示倍率を切り替える<ズーム>

お買い上げ時　標準

• カメラ映像送信中の場合のみ切り替えられます。

1 通話中に

• を押すたびに次の順に切り替わります。を押すと逆の順になります。
アウトカメラ：標準（×1）→2倍（×2）→4倍（×4）→6倍（×6）→8倍（×8）→10倍（×10）→12倍（×12）→16倍（×16）
インカメラ　：標準（×1）→2 倍（×2）

お知らせ
• インカメラとアウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

ワンタッチパワーライトを点灯する

夜間など周囲が暗い場合、相手に明るい画像を送信できます。
• アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

1 通話中に（1秒以上）

ワンタッチパワーライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。
• 押すたびに、ON（）／OFF（表示なし）が切り替わります。

お知らせ
• 通話中の設定操作などによって一時的にワンタッチパワーライトが消灯する場合があります。

テレビ電話中の画面表示について設定する

テレビ電話中にディスプレイに表示される画面について設定します。

親子画面の表示を切り替える

お買い上げ時　親画面：相手画像　子画面：自画像

• 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に［画面切替］

• 押すたびに交互に切り替わります。
親画面：相手画像／子画面：自画像　←→　親画面：自画像／子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時　大

• 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に（1秒以上）

• 押すたびに大→中→小→大→…の順に切り替わります。

通話中の画面表示を設定する<テレビ電話動作設定>

• 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に ▶ ▶ 各項目を選択して設定 ▶ ［登録］

• 各設定項目→P86「テレビ電話の設定を変更する」

テレビ電話動作設定

テレビ電話の設定を変更する

お買い上げ時 音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大
発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準） スピーカーホン設定：ON

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話中の画面について設定します。また、発信時に相手にカメラ映像を送信するかどうかを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN 同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2005年11月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 MENU ▶ 8 7 3 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ ⓜ［登録］

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。
テレビ電話画面設定：通話中に「自画像」または「相手画像」のどちらか一方を表示するか、「両方」を表示するかを設定します。
- 「自画像」または「相手画像」に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に「自画像」と「相手画像」のどちらを表示するかを設定します。
画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。
発信時自画像送信：発信時に相手にカメラ映像を送信するかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定すると、代替画像設定で設定した画像を送信します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。
照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。

スピーカーホン設定：テレビ電話がつながると同時に、自動的にスピーカーホン機能を利用した通話になるようにするかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定していても、通話中に（スピーカーキー）を押すとスピーカーホンに切り替えられます。

お知らせ

- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンとつないだパケット通信中にテレビ電話をかけると、テレビ電話には接続されずに再発信が行われ、音声電話に接続されます。音声電話中や64Kデータ通信中にはテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

テレビ電話で送信する画像を設定する<テレビ電話画像選択>

お買い上げ時 代替画像のイメージ表示：標準キャラ電
伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像のイメージ表示：標準画像

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ録画中画像、応答保留中画像、通話中保留画像、動画メモ録画中画像を変更します。

- 次の画像は設定できません。
  - サイズが176 × 144（QCIF）より大きい静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P339「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

代替画像を設定する

〈例〉標準キャラ電を設定するとき

1 MENU ▶ 8 7 4 1

2 **イメージ表示欄を選択**

3 **1 を押す**

©BVIG

「標準キャラ電（ブンブン（Dimo））」が設定されます。

■ 標準の静止画を設定するとき

① 2 **を押す**

「標準画像（カメラオフ画像）」が設定されます。

■ その他のキャラ電を設定するとき

① 3 ▶ **イメージ一覧欄を選択** ▶ **フォルダを選択** ▶ **キャラ電を選択**

キャラ電が設定されます。

キャラ電のフォルダや一覧の見かた→P319

- 設定するキャラ電にカーソルを合わせて を押すと、キャラ電が表示されます。

■ その他の静止画を設定するとき

① 4 ▶ **イメージ一覧欄を選択** ▶ **フォルダを選択** ▶ **静止画を選択**

静止画が設定されます。

画像のフォルダや一覧の見かた→P306

- 設定する静止画にカーソルを合わせて を押すと、静止画が表示されます。
- 相手には、選択した静止画に文字メッセージが重なって表示されます。

4 **［登録］を押す**

お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準のキャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像（カメラオフ画像）」に戻ります。

伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

1

〈例〉「伝言メモ画像」を選択したとき

2 **イメージ表示欄を選択** ▶ 2

- お買い上げ時の画像に戻すときは 1 を押し、操作4に進みます。
- 相手には、選択した静止画に文字メッセージが重なって表示されます。

3 イメージ一覧欄を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択

- 操作方法は、代替画像設定でイメージ表示の「イメージ」を設定する場合と同じです。

4 [登録]を押す

テレビ電話切替機能通知サービス

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

テレビ電話と音声電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替機能通知サービスを開始しておく必要があります。電話切替機能通知サービスとは、自分の端末がテレビ電話と音声電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替機能通知の設定を変更できません。
- 圏外では、テレビ電話切替機能通知サービスの操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知サービスは開始に設定されています。

1 MENU ▶ 8 7 6

2 1 または 2

- 設定内容を確認するときは 3 を押します。

3 「はい」を選択

テレビ電話使用機器設定

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

お買い上げ時　本体

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

※ 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。
　ドコモテレビ電話ソフト ホームページからダウンロードしてご利用ください。
　http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

1

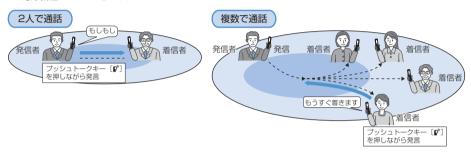
お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

プッシュトーク

プッシュトークとは

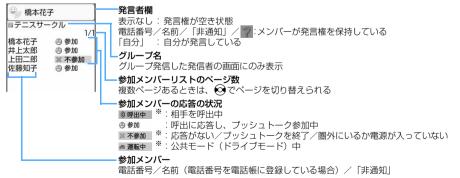
プッシュトークキー［ ］（サイドキー）を押してプッシュトーク電話帳を呼び出し、相手を選んで再びプッシュトークキー［ ］を押すだけのかんたん操作で、複数の人（自分を含めて最大５人）と通話することができます。プッシュトークキー［ ］を押し発言するたびにプッシュトーク通信料が課金されます。
プッシュトークキー［ ］を押し続けている間だけ発言することができ、発言者以外のメンバーはその間は聞くだけになります。
また画面では、誰が発言しているかなどメンバーの状態が確認できます。グループ内での連絡や、用件を伝える短い通話などで便利にご利用いただけます。
ドコモのプッシュトークに対応した端末どうしでのみご利用になれます。

※ プッシュトークサービスの詳細についてはプッシュトークのご案内をご覧ください。
※ 対応機種：902iシリーズ

プッシュトークプラス

プッシュトークプラスとは、あらかじめ登録されたネットワーク上の電話帳を利用し、自分も含め最大20人まで通話することができるサービスです。メンバーの状態を確認できるなど、プッシュトークをより便利にご利用いただけます。プッシュトークプラスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。
※ プッシュトークプラスの操作方法などの詳細についてはお申し込み時にお渡しするご案内をご覧ください。

プッシュトーク発信する

プッシュトーク画面

プッシュトーク画面の見かたは次のとおりです。

※：３人以上で通信している場合に表示されます。

プッシュトークで会話する

電話番号を入力したりFOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳を利用したりして、2人でプッシュトーク通信します。

1 電話番号を入力

- 音声電話の入力方法と同じです。

■ 電話帳を利用するとき

① (電話帳キー) ▶ **電話帳を検索** ▶ **発信する相手にカーソルを合わせる**

2 プッシュトークキー［P］を押す

相手が応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

- 電話帳を利用して発信したときに、電話番号を複数登録している場合は、発信先選択画面で電話番号を選択します。

■ スピーカーホン機能を利用して発信するとき

① **プッシュトークキー［P］（1秒以上）**

- 発信中や通信中は、(スピーカーキー)を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

3 発言者欄が空き状態であることを確認 ▶ プッシュトークキー［P］を押し続ける

発言権を取得すると発言権取得音が鳴り、発言者欄に「自分」と表示されます。

- 発言権取得音が鳴った時点から発言者にプッシュトーク通信料がかかります。

4 プッシュトークキー［P］を押したまま発言する

5 発言が終わったらプッシュトークキー［P］から手を離す

発言権開放音が鳴ります。

6 通信が終わったら(電源キー)

- FOMA端末を折り畳んでもプッシュトークは終了しません。折り畳んで終了するには、プッシュトーク中クローズ設定の設定を変更します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳のTOP画面から発信する場合は、1件目に登録している電話番号に発信します。
- プッシュトーク通信中に一定時間発言のやりとりが行われないと通信は切断され、待受画面に戻ります。
- プッシュトーク中着信設定を「通常着信」に設定している場合は、発言中に音声電話がかかってくると、発言権が開放されます。
- プッシュトーク通信中にｉモードは利用できません。
- 1回の発言権を取得している時間には、限りがあります。発言権を長く取得していると、発言権開放予告音が鳴り、その後発言権が開放されます。
- プッシュトークの終了には時間がかかる場合があります。
- プッシュトークでは、緊急通報（110番、119番、118番）はできません。
- FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、クイックダイヤルを利用してプッシュトークを発信できます。メモリ番号を入力してプッシュトークキー［P］を押すと、プッシュトーク電話帳に登録している場合はその電話番号に、プッシュトーク電話帳に登録していない場合は電話帳データの1件目の電話番号に、プッシュトークを発信します。

プッシュトーク通信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 再接続アラーム設定※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。	P58
2 プッシュトーク中クローズ設定	FOMA端末を折り畳んでプッシュトークを終了するか継続するかを設定します。	P100
3 プッシュトーク中着信設定	プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応対を設定します。	P99

※：アラームが鳴っているときでも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に、変更した設定が反映されます。

次ページへ続く

- プッシュトーク通信中には、次の操作もできます。
  ：受話音量調整

条件を設定してプッシュトークを発信する

プッシュトークを発信するたびに、発信者番号の通知／非通知を設定できます。

1 電話番号を入力 ▶ menu ▶ 3

2 発信方法欄を選択 ▶ 4

3 番号通知欄を選択 ▶ 1～3

発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、プッシュトーク番号通知設定に従って動作します。

4 menu ▶「はい」を選択

設定した内容でプッシュトークを発信します。

お知らせ
- プッシュトーク電話帳から操作する場合は、menuを押し、「電話」を選択します。

リダイヤルや着信履歴を利用する

- リダイヤル一覧画面→P53「前にかけた相手にかけ直す」
- 着信履歴一覧画面→P62「かかってきた相手にかけ直す」

〈例〉リダイヤル一覧からプッシュトーク発信するとき

1 ▶ 発信する相手にカーソルを合わせてプッシュトークキー［］

リダイヤルの発信対象が複数のときは、複数のメンバーに一斉発信します。
- 着信履歴から発信するときは、を押して発信する相手にカーソルを合わせてプッシュトークキー［］を押します。

■ スピーカーホン機能を利用して発信するとき
① ▶ 発信する相手にカーソルを合わせてプッシュトークキー［］（1秒以上）

■ メンバーを確認してから発信するとき
① ▶ 発信する相手を選択
メンバー一覧が表示されます。
② メンバーを確認 ▶ プッシュトークキー［］

■ プッシュトーク電話帳に登録するとき
① ▶ 登録する相手にカーソルを合わせて menu ▶ 3 ▶「はい」を選択
- FOMA端末電話帳に登録していないと、プッシュトーク電話帳に登録できません。

■ グループとして登録するとき
① ▶ 登録する相手にカーソルを合わせて menu ▶ 4 ▶ グループ名を入力 ▶
- 対象が1人のプッシュトークの場合は、グループとして登録できません。
- プッシュトーク電話帳に登録していないと、グループ登録できません。

■ FOMA端末電話帳に登録するとき
① ▶ 登録する相手にカーソルを合わせて menu ▶ 1
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、menu 2 を押します。

② 名前やアドレスなどを登録
電話帳登録→P103
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、登録先の電話帳データを選択します。→P112
- 登録後、プッシュトーク電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。電話番号を複数登録した場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。

プッシュトーク着信する

- プッシュトークは応答保留できません。
- プッシュトークが着信したときに自動応答するように設定できます。→P99

1 プッシュトークが着信する

が点滅します。
着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅します。ディスプレイには、参加メンバーが一覧表示されます。

- 一覧画面に表示しきれない参加メンバーを確認するときは、を押します。

2 プッシュトークキー［］を押す

応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

- またはダイヤルキーなどを押してもプッシュトークに応答できます（エニーキーアンサー）。
- を押した場合や、プッシュトーク呼出時間設定で設定した呼出時間内に応答しなかった場合は、着信を切断します。グループ着信の場合は、参加メンバーのディスプレイには 不参加 が表示され、着信を切断します。

3 プッシュトークで会話する

操作方法→P93「プッシュトークで会話する」操作3以降

- 通信中は、を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

お知らせ

- グループ発信に応答したプッシュトーク通信を切断しても、他のメンバー間で通信が継続している場合には、着信履歴からの発信によって再び参加できます。
  着信履歴からプッシュトーク発信する方法→P94「リダイヤルや着信履歴を利用する」

MENU 44

プッシュトーク電話帳に登録する

プッシュトーク通信をするメンバーを登録します。グループに分けて登録することもできます。

- プッシュトーク電話帳に登録するには、FOMA端末電話帳に電話番号を登録しておく必要があります。
- 最大700件登録できます（登録内容により、少なくなる場合があります）。

1 プッシュトークキー［］▶

2 「電話帳参照」を選択

- FOMA端末電話帳に登録していない電話番号を登録する場合は、「直接入力」を選択するとFOMA端末電話帳の登録画面が表示されます。各項目を設定しを押すと、プッシュトーク電話帳とFOMA端末電話帳の両方に登録されます。電話番号を複数登録した場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。

電話帳登録→P103

3 電話帳を検索▶登録する電話帳データを選択▶登録する電話番号を選択▶「はい」を選択

FOMA端末電話帳から登録する

1 ▶電話帳を検索▶登録する相手にカーソルを合わせて(MENU)▶(7)▶「はい」を選択

- 電話番号を複数登録している場合は、プッシュトーク電話帳に登録する電話番号を選択します。

お知らせ

- FOMA 端末電話帳の電話画面から操作する場合は、登録する電話番号にカーソルを合わせて (MENU) を押し、「プッシュトーク電話帳登録」を選択します。TOP画面から操作すると、1件目に登録している電話番号がプッシュトーク電話帳に登録されます。

グループに登録する

プッシュトーク電話帳に登録したメンバーをグループに登録します。

- グループは最大30件登録できます。
- 1つのグループには、メンバーを最大19人登録できます。ただし、グループに5人以上のメンバーを登録するとグループ一斉発信はできません。グループ一斉発信するには、メンバーを最大4人登録してください。

1 プッシュトークキー[P]▶

- 登録済みのグループにメンバーを登録するときは、操作3に進みます。

2 ▶グループ名を入力▶

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

■ グループ名を編集するとき

①編集するグループにカーソルを合わせて(MENU)▶(3)▶グループ名を編集▶

3 グループを選択▶

カーソルを合わせているメンバーの電話番号

4 メンバーを選択▶ [登録]

プッシュトーク電話帳を利用してプッシュトーク発信する

プッシュトーク電話帳のメンバー一覧から選択したり、グループを利用したりして、複数の人でプッシュトーク通信します。

- 発信するメンバーを4人まで選択してください。
- プッシュトーク画面→P92

メンバー一覧から相手を選んで発信する

1 プッシュトークキー［ ］を押す

メンバー一覧 1/1
□阿部浩之
□井上太郎
□上田二郎
□佐藤知子
□篠塚健次
□鈴木太郎
□橋本花子
090XXXXXXXX

メンバー一覧画面

FOMA端末電話帳に登録している名前
- メンバー一覧の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの
  ⑤記号　⑥フリガナなし
- ダイヤルキー 0 ～ 9 、 # 、 * を押すと、それぞれのダイヤルキーに割り当てられている行の先頭のメンバーにカーソルが移動します。
  ダイヤルキーの割り当て→P108「50音順に全件表示する」操作1

カーソルを合わせているメンバーの電話番号

2 メンバーを選択

- menu 1 を押すと、選択したメンバーだけが一覧表示されます。

3 プッシュトークキー［ ］を押す

メンバーが1人でも応答すると応答音が鳴り、プッシュトークが開始されます。

■ スピーカーホン機能を利用して発信するとき

①プッシュトークキー［ ］（1秒以上）

4 プッシュトークで会話する

操作方法→P93「プッシュトークで会話する」操作3～5

5 通信が終わったら 電源

- 発信者が 電源 を押すと、参加メンバー全員のプッシュトークが終了します。
- FOMA端末を折り畳んでもプッシュトークは終了しません。折り畳んで終了するには、プッシュトーク中クローズ設定の設定を変更します。

グループから発信する

1 プッシュトークキー［ ］▶

グループ一覧画面

2 グループを選択

- グループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし
- グループ一斉発信をするときは、発信するグループにカーソルを合わせて、操作4に進みます。

3 発信しないメンバーを選択

チェックボックスからチェックが外れます。
- menu 1 を押すと、選択したメンバーだけが一覧表示されます。

4 プッシュトークキー［ ］を押す

メンバーが1人でも応答すると、プッシュトークが開始されます。

■ スピーカーホン機能を利用して発信するとき

①プッシュトークキー［ ］（1秒以上）

以降の操作→P93「プッシュトークで会話する」操作3～5

次ページへ続く

5 通信が終わったら電源キー

- 発信者が電源キーを押すと、参加メンバー全員のプッシュトークが終了します。
- FOMA端末を折り畳んでもプッシュトークは終了しません。折り畳んで終了するには、プッシュトーク中クローズ設定の設定を変更します。

お知らせ
- 条件を設定してプッシュトークを発信できます。→P94

プッシュトークプラスを利用してプッシュトーク発信する

- プッシュトークプラスを利用いただくには、ご契約が必要です。→P92

1 プッシュトークキー［P］▶ MENU ▶ 6

ネットワークに接続します。

プッシュトーク電話帳を削除する

1 プッシュトークキー［P］▶削除するメンバーにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶「はい」を選択

FOMA電話帳からも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「はい」または「いいえ」を選択

グループを削除する

- グループを削除しても、登録しているメンバーはプッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳から削除されません。

1 プッシュトークキー［P］▶ 電話帳キー ▶削除するグループにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶「はい」を選択

グループからメンバーを削除する

- グループから削除しても、登録しているメンバーはプッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳からは削除されません。

1 プッシュトークキー［P］▶ 電話帳キー ▶グループを選択▶削除するメンバーにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶「はい」を選択

プッシュトークの発着信について設定する

自分やメンバーの電話番号を表示させる<プッシュトーク番号通知設定>

お買い上げ時　通知しない

プッシュトークを発信したときに、メンバーのFOMA端末に自分や他のメンバーの電話番号を表示させるかどうかを設定します。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 着信中および通信中のメンバーのFOMA端末にメンバー全員の電話番号が表示されるかどうかは、発信者の設定に従います。発信者が電話番号を通知すると参加メンバー全員の電話番号が通知され、通知しないと全員が「非通知」となります。

1 MENU ▶ 8 8 3 ▶ 1 または 2

お知らせ

- 発信者番号通知設定の設定に関わらず、本機能の設定に従ってメンバーの発信者番号が通知されます。
- 複数の番号通知方法を同時に設定したり操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。
  ① 発信時に発信条件で番号通知方法を設定した場合
  ② 電話帳データに発番号設定を設定した場合（1人に発信した場合）
  ③ プッシュトーク番号通知設定を設定した場合

プッシュトークの着信時の動作を変更する<プッシュトーク着信設定>

お買い上げ時　着信音：メロディ／着信音3　バイブレータ：OFF　着信イルミネーション：点滅／ライム

1 MENU ▶ 8 8 1 ▶ **各項目を選択して設定** ▶ ◎ **［登録］**

各設定項目→P132「音声電話の着信時の動作を変更する」

着信音を鳴らす時間を設定する<プッシュトーク呼出時間設定>

お買い上げ時　呼出時間（秒）：30

プッシュトークの着信があったときに、着信音やバイブレータなどによる呼出動作を続ける時間を設定します。呼出時間内に応答しなかったときは、呼出が終了し、着信履歴に不在着信として記録されます。

1 MENU ▶ 8 8 2 ▶ **秒数を入力** ▶ ◎ **［登録］**

- 1～60秒の範囲で設定します。

お知らせ

- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定しているときは、呼出開始時間が経過した後に本機能が動作します。

プッシュトークに自動的に応答する<プッシュトーク自動応答設定>

お買い上げ時　自動応答なし

キー操作なしに自動的にプッシュトークに参加するかどうかを設定します。
「自動応答あり」に設定すると、プッシュトークの着信とともに応答音が鳴って自動応答します。自動応答後はFOMA端末を折り畳んでいても、スピーカーホン機能を利用してプッシュトークに参加できます。

1 MENU ▶ 8 8 4 ▶ 1 **または** 2

お知らせ

- 「自動応答あり」に設定していても、マナーモード中にプッシュトークの着信があったときは自動応答しません。ディスプレイ表示で着信をお知らせしている間にプッシュトークキー［P］または 📞 を押すと、応答できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、プッシュトークキー［P］を操作しながら接続した機器を使って音声をやりとりします。

プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの応対を設定する<プッシュトーク中着信設定>

お買い上げ時　着信拒否

1 MENU ▶ 8 8 5 ▶ 1～4

通常着信：音声電話を着信すると、音声着信画面が表示されます。また、発言中の場合、発言権が開放されます。📞 を押すとプッシュトークを切断して音声電話に切り替えます。電源 を押すとプッシュトークを切断し、音声着信画像の表示を継続します。
着信拒否：音声電話が切れます。
留守番電話：留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわ：転送先へ転送します。

プッシュトーク

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「通常着信」の動作となります。
- 「通常着信」に設定している場合に、プッシュトーク通信中に音声電話がかかってきたときの操作
→P60「着信中の操作について」

お知らせ
- 着信拒否や留守番電話サービス、転送でんわサービスで対応したときは、着信履歴に不在着信として記録されます。
- プッシュトーク発着信中に音声電話がかかってきたときは、本設定に関わらず、音声電話を切断します。着信履歴には不在着信として記録されます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は、各サービスが作動します。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。

FOMA端末を折り畳んでもプッシュトークを終了／継続するように設定する <プッシュトーク中クローズ設定>

お買い上げ時　スピーカー通話

 ▶ ▶ [1] または [2]

お知らせ
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、FOMA端末を折り畳んでも本設定に関わらず通信を継続します。

ｉモード通信中にプッシュトークが着信したときの応対を設定する <ｉモード中プッシュトーク着信>

MENU 294

お買い上げ時　プッシュトーク着信優先

1 [MENU] ▶ [8][8][7] ▶ [1] または [2]

プッシュトーク着信優先：ｉモード通信が終了し、プッシュトークの着信画面が表示されます。プッシュトークを終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード優先：ｉモード通信が継続され、着信履歴にも記録されません。相手に接続できなかった旨のメッセージが表示されます。グループ着信したときは、参加メンバーのディスプレイには「不参加」が表示されます。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA F902i では、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。これらの電話帳からは、音声電話やテレビ電話、プッシュトークの発信や、メール、SMSの送信などが行えます。F902iには、この他プッシュトーク専用のプッシュトーク電話帳があります。

- プッシュトーク電話帳→P95「プッシュトーク電話帳に登録する」

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳	参照先
電話帳登録件数		最大700件※1	最大50件	−
登録内容	名前・フリガナ	名前は全角で16文字、半角で32文字設定可能。フリガナは半角で32文字設定可能。	名前は全角で10文字、半角で21文字設定可能。フリガナは全角で12文字、半角で25文字設定可能。	P103 P105
	画像・動画	1人につき1件	×	P103
	グループ	30グループおよび「グループなし」に分類可能。	10グループおよび「グループなし」に分類可能。	P104 P106
	電話番号・アイコン	1人につき最大5番号、電話帳全体で2105 番号設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。	P104 P106
	メールアドレス・アイコン	メールアドレス･アイコン1人につき最大5アドレス、電話帳全体で2105アドレス設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。	P104 P106
	電話着信時の設定※2 ※3	○	×	P104
	メール受信時の設定※2	○	×	P104
	その他の設定※4	○	×	P104
	メモリ番号	○	×	P105
電話帳検索	全件表示（50音）	○	○	P108
	グループ検索	○	○	P108
	フリガナ検索	○	○	P109
	ランキング検索	○	×	P109
	メモリ番号検索	○	×	P109
	電話番号検索	○	○	P110
	ロケットサーチ検索	○	○	P110
	シークレット検索	○	×	P116
各種設定	発番号設定	○	×	P115
	シークレットコード設定	○	×	P115
	シークレット属性設定	○	×	P116
	メモリ別着信拒否／許可設定	○	×	P154
	テレビ電話通信速度設定	○	×	P115
その他	電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×	P113 P113
	クイックダイヤル	○	×	P117
	クイックメール	○	×	P240
	サイト表示	○	×	P108
	赤外線送信	○	○	P341

※1：実際に登録できる件数は、各電話帳データの登録内容により少なくなる場合があります。
※2：設定できる項目は着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーです。また、グループ別の着信設定もできます。
※3：テレビ電話代替画像も設定できます。
※4：設定できる項目はURL、テキストメモ、郵便番号、住所、会社名、役職名、誕生日です。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳に登録している名前が発信中、着信中、通話中の画面に表示されます。
電話帳に登録している名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号やメールアドレスを入力したとき、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも表示されます。

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、各着信音の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても各着信音の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMSを受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。
- 電話帳に登録した相手からメールの受信があると、電話帳に登録している名前がタスクバーにスクロール表示されます。ただし、シークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、タスクバーにはメールアドレスが表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

電話番号やメールアドレスなどのデータをFOMA端末電話帳に登録する手順を説明します。

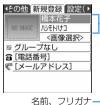
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
- FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにバックアップできます。
- FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へコピーする際は、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数 →P102

1 MENU ▶ 4 2

2 名前を入力

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P425
- 全角で最大16文字、半角で最大32文字入力できます。
- 名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 ⊡を押す

名前、フリガナ

新規登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ 名前を修正するとき

①名前の入力欄を選択 ▶ 名前を修正 ▶ ⊡

■ フリガナを修正するとき

①フリガナの入力欄を選択 ▶ フリガナを修正 ▶ ●

- 半角で最大32文字入力できます。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 下記の各項目を選択して設定

画像選択：発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像や動画／ｉモーションを設定します。着信時は、登録相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

- お買い上げ時の状態に戻すときは5を押します。

次ページへ続く

■ 画像を設定するとき

① (1) ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択

画像のフォルダや一覧の見かた→P306

- 縦横（または横縦）のサイズが640×480より大きい画像を選択すると、画像を縮小するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して画像を設定すると、電話帳用のサイズに縮小した画像が保存されます。
- 電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

■ カメラで静止画を撮影して設定するとき

① (2) ▶ 静止画を撮影して保存

- 撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ 動画／ｉモーションを設定するとき

① (3) ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／ｉモーションを選択

動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

- 画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。

■ ビデオカメラで動画を撮影して設定するとき

① (4) ▶ 動画を撮影して保存

- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。また、音声は録音されません。

グループ：グループ1〜30および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定→P106

電話番号：市外局番から入力し、アイコンを選択します。最大26桁入力できます。

- 1人につき最大5番号登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- クイックダイヤルを利用する電話帳の電話番号は、1件目に設定してください。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。

メールアドレス
：メールアドレスを入力し、アイコンを選択します。半角で最大50文字入力できます。

- 1人につき最大5アドレス登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- クイックメールを利用する電話帳のメールアドレス（SMS の場合は電話番号）は、1件目に設定してください。

相手がシークレットコードを登録しているときの電話帳の登録→P115

5 でその他画面を表示 ▶ 下記の各項目を選択して設定

メール　その他　新規登
[URL]
[テキストメモ]
[郵便番号]
[住所]
[会社名]
[役職名]
[誕生日]

URL：半角で最大256文字入力できます。
テキストメモ：全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
郵便番号：最大7桁入力できます。
住所：全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。
会社名：全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。
役職名：全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。
誕生日：誕生日入力画面で誕生日設定を「ON」に設定して誕生日を入力します。

6 で設定（電話／メール）画面を表示 ▶ 下記の各項目を選択して設定

設定（電話）画面

設定（メール）画面

- 「グループなし」で登録すると、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されます。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されます。

/ 着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択し、動画／ｉモーションまたはメロディを選択します。
動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312
メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
- 詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、着信音設定に従います。

/ 着信バイブレータ
：「はい」を選択し、電話がかかってきたとき、またはメールを受信したときの振動を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータ設定に従います。

バイブレータのパターン→P122

/ 着信イルミネーションパターン
：「はい」を選択し、着信ランプの点灯パターンを設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。「メロディ連動」の場合は「レインボー」に自動的に設定されます。

着信ランプのイルミネーションパターン→P137

/ 着信イルミネーションカラー
：「はい」を選択し、着信ランプの点灯色を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

着信ランプのイルミネーションカラー→P137

テレビ電話代替画像（設定（電話）画面のみ表示）
：「はい」を選択し、通話中に表示するキャラ電を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作→P120

7 を押す

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ メモリ番号を入力して登録するとき

①0～699までの番号を入力
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択し、他のメモリ番号を指定してください。

8 ［確定］を押す

お知らせ

- 「184」「186」を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手に「184」「186」を付けて電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先を選択しても送信できません。

FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

- 最大登録件数 →P102

1 MENU ▶ 4 3

2 名前を入力

名前入力
名前を
入力してください
橋本花子

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。→P425
- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字しか登録できません。
- 名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 ⓟを押す

FOMAカード登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ 名前を修正するとき

①名前の入力欄を選択 ▶ 名前を修正 ▶ ⓟ

■ フリガナを修正するとき

①フリガナの入力欄を選択 ▶ フリガナを修正 ▶ ●

- フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
- 全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合は、最大12文字しか登録できません。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 下記の各項目を選択して設定 ▶ ⓟ［登録］

- 電話帳データの各項目がすでに設定されているときは、その内容が表示されます。

グループ：グループ1～10および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定→P106

電話番号：市外局番から入力します。最大26桁（FOMAカードの種類によっては最大20桁）入力できます。→P39
- 1番号のみ登録できます。アイコンの設定はできません。
- ポーズ（「P」）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。

メールアドレス：メールアドレスを入力します。半角で最大50文字入力できます。
- 1アドレスのみ登録できます。アイコンの設定はできません。

グループ設定

グループの名前や発着信動作を設定する

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

- 「グループなし」の名前の変更や発着信動作の設定はできません。
- FOMAカード電話帳ではグループ名のみ変更できます。

1 ⓜ ▶ ④①②

- FOMAカード電話帳のグループ名を変更するときはⓜ④①②ⓟを押します。

2 設定するグループにカーソルを合わせてⓜ ▶ ②

3 グループ名の入力欄にカーソルを合わせてグループ名を入力

- FOMA端末電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。
- FOMAカード電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字までしか登録できません。
- FOMAカード電話帳の場合は、操作5へ進みます。

4 下記の各項目を選択して設定

設定操作→P104「FOMA端末電話帳に登録する」操作6

電話発着信設定：着信音、発着信画像、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーが設定できます。

- 着信音に「着モーションを選択」を設定すると、発着信画像は「着信音連動」になります。ただし、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を「着モーション」に設定した場合は、「イメージを選択」「静止画を撮影」「初期値に戻す」を選択できます。

メール着信設定：着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーが設定できます。

5 ［登録］を押す

電話帳検索

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。

- プッシュトーク電話帳やFOMA端末電話帳を使ってプッシュトーク発信する操作→P92「プッシュトーク発信する」
- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出せます。

検索方法	参照先	検索方法	参照先
全件表示（50音）	P108	メモリ番号検索※	P109
グループ検索	P108	電話番号検索	P110
フリガナ検索	P109	ロケットサーチ	P110
ランキング検索※	P109	シークレット検索※	P116

※：FOMAカード電話帳では利用できません。

- 電話帳データの検索結果は一覧表示されます（電話帳一覧）。
- FOMAカード電話帳でも利用できる検索方法では、を押すたびにFOMA端末電話帳一覧とFOMAカード電話帳一覧が切り替わります。
- FOMAカード電話帳一覧では、名前の前にが表示されます。

電話帳データを検索して利用する

1 を押す

全件表示（50音）の場合

お買い上げ時は全件表示（50音）の電話帳一覧（あ行のフリガナが登録されている電話帳）が表示されるように設定されています。よく利用する検索方法の画面が表示されるように、設定を変更できます。→P110

1件目の電話番号に設定しているアイコン

カーソルを合わせている相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数

カーソルを合わせている相手の1件目の電話番号（表示しきれない部分は省略されます）

- 検索結果が複数ページあるときは、サイドキー［▲▼］でページを切り替えられます。全件表示（50音）以外の検索方法ではでも切り替えられます。

2 電話をかける相手にカーソルを合わせて

- テレビ電話をかけるときは、テレビ電話をかける相手にカーソルを合わせてを押します。
- 電話番号を複数登録している場合は、発信先選択画面で電話番号を選択します。

電話帳

■ｉモードメールを作成するとき

①メールを送信する相手にカーソルを合わせて✉

- メールアドレスを複数登録している場合は、宛先選択画面でメールアドレスを選択します。
ｉモードメールの作成・送信方法→P227
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録している場合は、✉を押すとSMSの作成画面が表示されます。
- FOMA端末電話帳のメール画面でメールアドレスにカーソルを合わせて✉または●を押してもｉモードメールを作成できます。また、TOP画面で✉を押すと、1件目に登録しているメールアドレスを宛先にしたｉモードメール作成画面が表示されます。

■SMSを作成するとき

①SMSを送信する相手にカーソルを合わせて✉（1秒以上）

- 電話番号を複数登録している場合は、宛先選択画面で電話番号を選択します。
SMSの作成・送信方法→P271
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録している場合は、✉を押してもSMSを作成できます。
- FOMA端末電話帳の電話画面で電話番号にカーソルを合わせて✉を押してもSMSを作成できます。
- 電話帳データに電話番号のみ登録している場合はTOP画面で✉、メールアドレスも登録している場合はTOP画面で✉を1秒以上押すと、1件目に登録している電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

■サイトを表示するとき

①目的の相手を選択▶◎でその他画面を表示▶URLを選択

お知らせ

- 条件を設定して電話をかけられます。→P55

50音順に全件表示する＜全件表示（50音）＞

電話帳データを50音順（あ行→か行→さ行→…→その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順））に表示します。

1 MENU▶4 1 1▶◎で表示する行を選択

- ダイヤルキー0〜9、#、＊を押すと、それぞれのキーに割り当てられている行が表示されます。
1：あ行　2：か行　3：さ行　4：た行　5：な行　6：は行
7：ま行　8：や行　9：ら行　0：わ、を、ん
＊／#：その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）

グループで検索する＜グループ検索＞

グループに登録されている電話帳データを検索します。

- グループを設定せずに登録した電話帳データはグループなしに登録されています。

1 MENU▶4 1 2▶検索するグループを選択

- 同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
①50音順
②アルファベット順
③数字
④空白で始まるもの
⑤記号
⑥フリガナなし

名前で検索する<フリガナ検索>

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 MENU ▶ 4 1 3 ▶ **フリガナを入力** ▶ (電話帳) **[検索]**

- フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。
- 何も入力せずに(電話帳)を押すと、全件表示の電話帳一覧が表示されます。

通話／メール回数の多い相手を検索する<ランキング検索>

FOMA端末電話帳には、電話帳データごとに累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時が記録されています。この情報を基にして、電話帳データを通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉモードメール送受信回数が多い順に表示したり（メール回数ランキング）できます。

- 通話回数、メール回数は最大9999回カウントされます。
- 電話帳に登録している電話番号、メールアドレスを直接入力した場合もカウントされます。

〈例〉通話回数ランキングを表示するとき

1 MENU ▶ 4 1 4 1

- メール回数ランキングを表示するときはMENU 4 1 4 2を押します。
- 累積通話回数、累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットしたときから現在までの電話発着信、メール送受信の回数です。電話帳データをFOMA端末電話帳に登録した後からの通話、ｉモードメールの送受信がカウントの対象です。
- 累積通話回数、累積メール回数が同じ場合は、次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの
  ⑤記号　⑥フリガナなし

通話回数／メール回数をリセットする

FOMA端末電話帳に記録されている累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時をお買い上げ時の状態に戻します。

1 (電話帳) ▶ **電話帳を検索** ▶ **リセットする相手にカーソルを合わせて** MENU ▶ 9 3 ▶ **「はい」を選択**

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

FOMA端末電話帳から、メモリ番号を入力して検索します。

1 MENU ▶ 4 1 5 ▶ **メモリ番号を入力** ▶ (電話帳) **[検索]**

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 何も入力せずに(電話帳)を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話帳

電話番号で検索する<電話番号検索>

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1

電話番号の一部を入力 ▶ ［検索］

- 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末の電話帳はメモリ番号順に表示されます。FOMAカード電話帳は次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし
- 何も入力せずに を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー 0 ～ 9 に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

- 前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

〈例〉「鈴木」を検索するとき

1 3　［検索］

- 検索結果画面では 0 ～ 9 、 # 、 * 、 を押して行を切り替えられます。

優先する検索方法を設定する<電話帳検索優先設定>

お買い上げ時　全件表示（50音）

待受画面で を押して表示される検索方法を設定します。

1 MENU ▶ 4 1 ▶ **優先する検索方法にカーソルを合わせて MENU ［優先設定］**

- 設定した検索方法に ✔ が表示されます。

お知らせ

- ランキング検索またはメモリ番号検索を優先設定していても、前回FOMAカード電話帳を検索した場合には、待受画面で を押したときに全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

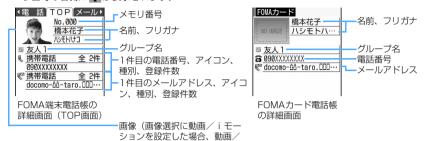
電話帳

電話帳の詳細を確認する

電話帳の詳細画面を表示して、登録内容や設定を確認します。

1 ⓜ ▶ 電話帳を検索 ▶ 詳細表示する電話帳データを選択

詳細画面が表示されます。

- ◎を押すと前後の電話帳データの詳細画面が表示されます。
- 電話帳データに着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右側に ! が表示されます。

■ 電話番号やメールアドレスなどの詳細を表示するとき（FOMA端末電話帳のみ）

① ◎を押す

◎を押すたびに、TOP画面、メール画面、その他画面、電話画面の順に切り替わります。◎を押すと逆の順に切り替わります。

TOP画面　　メール画面　　その他画面　　電話画面

- メール画面には、累積メール回数と最終メール日時が表示されます。
- 電話画面には、累積通話回数と最終通話日時が表示されます。

■ 表示しきれない登録内容を確認するとき

① ⓜを押す

電話番号やメールアドレスなどが全桁表示されます。

- 全表示画面でⓜを押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 累積通話回数や累積メール回数、最終通話日時や最終メール日時は、電波状況などの理由で相手が電話に応答しなかったり、iモードメールが送信できなかったりした場合は、対象になりません。

電話帳修正

電話帳を修正する

電話帳データの内容を修正、コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。
同じ電話帳データがプッシュトーク電話帳にも登録されているときは、プッシュトーク電話帳の電話帳データも修正されます。

登録内容を修正する

1 ▶ 電話帳を検索 ▶ 修正する電話帳データにカーソルを合わせて(menu) ▶ (3)

2 電話帳データを修正

各設定項目→P103「FOMA端末電話帳に登録する」操作3～6、P106「FOMAカード電話帳に登録する」操作3～4

3 [登録]を押す

- FOMA端末電話帳の電話帳データを修正した場合、メモリ番号入力画面が表示されます。メモリ番号入力後に表示されるメッセージに従って、上書き登録か新規登録を選択します。
  上書き登録を選択した場合は、メモリ番号入力で番号を変更していても、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録を選択した場合は、再びメモリ番号入力が表示されます。必要に応じて番号（0～699）を入力してください。
- FOMAカード電話帳の電話帳データを修正した場合、登録方法を選択する旨の確認画面が表示されます。上書き登録か新規登録を選択します。
- プッシュトーク電話帳に登録している電話番号を削除した場合、上書き登録を選択すると、プッシュトーク電話帳から削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、プッシュトーク電話帳に登録した電話番号が削除されます。

お知らせ

- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「✱」が含まれている場合は、上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目に登録している電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした内容は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 ▶ 電話帳を検索 ▶ コピー元の電話帳データにカーソルを合わせて(menu) ▶ (6) ▶ (1)～(8)

該当項目のデータが一時的に記録されます。

- 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1件目に登録している内容がコピーされます。

2 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P427

お知らせ

- 次の画面から操作する場合は(menu)を押し、「コピー」を選択します。
  - FOMA端末電話帳の詳細画面
  - FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面
  - プロフィール情報の詳細画面
- 2件目以降に登録している電話番号、メールアドレスをコピーするときは、FOMA端末電話帳の電話画面、メール画面でコピーする内容にカーソルを合わせて(menu)を押し、「コピー」を選択します。

電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

〈例〉電話番号の順番を入れ替えるとき

1 ▶電話帳を検索▶目的の電話帳データにカーソルを合わせて(menu)▶(9)(2)(1)

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは(menu)(9)(2)(2)を押します。

2 1件目にする電話番号を選択

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は(menu)を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択します。

メモリ番号を入れ替える

FOMA端末電話帳の2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 ▶電話帳を検索▶目的の電話帳データにカーソルを合わせて(menu)▶(9)(2)(3)

2 メモリ番号を入れ替える電話帳データを選択

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は(menu)を押し、「設定／確認」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末にコピーしたりします。

- FOMA端末電話帳をminiSDメモリーカードへ1件コピー、またはバックアップ（全件コピー）することもできます。→P333
- コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループがコピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。
- コピーされる電話帳データの項目と登録内容は次のとおりです。

項　目	FOMA端末電話帳→FOMAカード電話帳	FOMAカード電話帳→FOMA端末電話帳
名前	全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角と半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字となります。※	登録内容がそのままコピーされます。
フリガナ	最大12文字コピーされます。半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。※	全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
電話番号	1件目に登録している電話番号がコピーされます（最大26桁。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります→P39）。 タイマー（「T」）が登録している場合は、タイマー（「T」）のみ削除されます。アイコンはすべて☎に置き換えられます。※	アイコンはすべて☎に設定されます。
メールアドレス	1件目に登録しているメールアドレスがコピーされます（半角で最大50文字）。アイコンはすべて✉に置き換えられます。	アイコンはすべて ✉に設定されます。

※： FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

FOMA端末とFOMAカードの間で電話帳をコピーする

1 電話帳ボタン ▶ **電話帳を検索**

- 電話帳ボタンを押すごとにFOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳が切り替わります。

2 MENU ▶ 8 3 ▶ **コピー元の電話帳データを選択**

FOMA端末電話帳をコピーする場合

3 電話帳ボタン **［確定］を押す**

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「赤外線／外部メモリ」→「FOMAカードへコピー」を選択します。
- FOMAカード電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「赤外線／本体へコピー」→「本体へコピー」を選択します。
- コピー先の電話帳の最大登録件数を超えたときは、登録件数がいっぱいである旨のメッセージが表示されます。不要なコピー先の電話帳データを削除するか、コピーする電話帳データの件数を確認してからもう一度コピーしてください。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

電話帳削除

電話帳を削除する

1件分の電話帳データを削除します。
同じ電話帳データがプッシュトーク電話帳にも登録されているときは、プッシュトーク電話帳からも削除されます。

1 電話帳キー ▶ 電話帳を検索 ▶ 削除する電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 4

2 「はい」を選択

電話帳に各種機能を設定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定や、テレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。
- FOMAカード電話帳の電話帳データには設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する<発番号設定>

- 番号通知方法の優先順位→P47

1 電話帳キー ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 9 1 2 ▶ 認証操作 ▶ 電話番号を選択

2 1～3

お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データのTOP画面には、メモリ番号の右側に「!」が表示されます。

電話番号ごとにテレビ電話をかけるときの通信速度を設定する<テレビ電話通信速度設定>

お買い上げ時　64K

1 電話帳キー ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 9 1 5 ▶ 電話番号を選択 ▶ 1 または 2

お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、電話番号ごとのテレビ電話通信速度設定より優先されます。→P55

メールアドレスにシークレットコードを設定する<シークレットコード設定>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 電話帳キー ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて MENU ▶ 9 1 4 ▶ 認証操作 ▶ メールアドレスを選択

2 4桁のシークレットコードを入力
- 解除するときは CLR を1秒以上押し、シークレットコードを削除します。

電話帳

次ページへ続く

お知らせ

- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
- シークレットコードを設定した電話帳データのTOP画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメールの返信ができません。また、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合、シークレットコードを設定しても、その相手にメールの返信ができません。電話帳データの「@docomo.ne.jp」を削除してから設定してください。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

FOMA端末電話帳データを、認証操作をしないと呼び出せないシークレット属性をもったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

電話帳にシークレット属性を設定する

- FOMAカード電話帳データにはシークレット属性を設定できません。

1 シークレットモードを起動

2 📖 ▶ 電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データにカーソルを合わせて menu ▶ 9 1 1

選択している電話帳データにシークレット属性が設定されているときに点滅します。

- 解除するときはシークレット属性が設定されている電話帳データにカーソルを合わせ、menu 9 1 1 を押します。

お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択します。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中のみ修正できます。
- プッシュトーク電話帳に登録している電話番号の相手にシークレット属性を設定した場合は、プッシュトーク電話帳にも反映されます。
- シークレットモード中のみ、着信画面、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、受信メール一覧、背面ディスプレイなどに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像または動画／ｉモーションが表示されます。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作します。→P103

シークレット属性を設定した電話帳を検索する<シークレット検索>

シークレット属性が設定されている電話帳データだけを検索します。

- シークレットモード中のみ検索できます。

1 シークレットモードを起動

2

お知らせ
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中のみ検索できます。また、クイックダイヤルやクイックメールも同様です。
- シークレットモード中にシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。

登録状況確認

電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示します。

1 ▶ 電話帳を検索 ▶ MENU ▶ 9 4

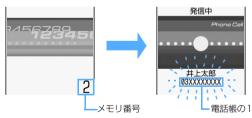
お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合はMENUを押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択します。
- FOMAカード電話帳で確認する場合は、電話帳一覧または詳細画面からMENUを押し、「登録件数確認」を選択します。

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。
- 電話帳データの1 件目の電話番号が電話をかける対象となります。

〈例〉メモリ番号2 の電話番号に電話をかけるとき

1 メモリ番号（この場合は2）を入力 ▶

- メモリ番号の前に0は付けずに入力します。この例で0 2のように入力すると、クイックダイヤルは利用できません。
- メモリ番号を入力してを押すと、テレビ電話をかけられます。

電話帳

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音設定

FOMA端末から鳴る着信音を変える

お買い上げ時　電話：メロディ／着信音1　メール、メッセージR/F：メロディ／着信音2　チャットメール：メール連動　通話保留音：ENTERTAINER　テレビ電話：メロディ／ハープ　プッシュトーク：メロディ／着信音3

音声電話やテレビ電話、プッシュトーク着信時、メールやチャットメール、メッセージR/F受信時に鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音を設定します。着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定の着信音、および通話保留音設定の保留音にもそれぞれ反映されます。

1 MENU ▶ 8 1 1 ▶ 各項目を選択して設定 ▶ ［登録］

着信音設定	
電話	メロディ
	着信音1
メール	メロディ
	着信音2
チャットメール	メール連動
	着信音2
メッセージR	メロディ

電話／メール／チャットメール／メッセージR／メッセージF／テレビ電話／プッシュトーク：

着信音を設定します。

- 「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。プッシュトークの「着モーション」には、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）だけ設定できます。
  メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
  動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312
  メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作→P120
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
- チャットメールの「メール連動」を選択するとメール着信設定の着信音選択の設定に従います。

通話保留音：

通話保留中に鳴らす音を「ENTERTAINER」「メヌエット」「マイオールドケンタッキーホーム」から選択します。

メロディや動画／ｉモーションを再生するには

- メロディにカーソルを合わせて を押すと再生できます。メロディ再生中は次の操作ができます。
  - ／サイドキー［▲▼］　　　　　：音量調整
  - ／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後のメロディの再生
  - 　　　　　　　　　　　　　　　：メロディの選択
- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押すと再生できます。動画／ｉモーション再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再生
  - ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ：早送り再生
  - ：巻戻し再生
  - ：停止

お知らせ

- 映像のみの動画／ｉモーションは着信音に設定できません。
- 電話やテレビ電話の着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、表示される画像は標準画像になりますが、電話着信設定やテレビ電話着信設定で画像を変更できます。
- 電話またはメールの着信音を「着モーション」に設定した場合、背面ディスプレイにも同じ動画／ｉモーションの映像を表示させるときは、背面画像設定で発着信画像またはメール受信画像を「メインディスプレイに連動」に設定してください。
- 着信時の画像を「着信音連動」に設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）またはメロディを着信音に設定すると、着信時の画像には標準画像が設定されます。
- 着信時の画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しても、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定すると、着信時の画像には自動的に標準画像が設定されます。
- 詳細情報（→P338）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。

着信音の優先順位について

複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の設定
③FOMA端末電話帳グループ別の設定
④着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／プッシュトーク着信設定／メール着信設定／チャットメール着信設定／メッセージ着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音は着信音設定／テレビ電話着信設定の設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像のデータが削除されると、自動的に設定内容が変更されます。その場合は、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。
- 電話帳に着信音を設定していない場合、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定していると、電話帳に画像を設定していても、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。
- 着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、電話帳に画像を設定していると、着信音は「着モーション」に設定した音声のみの動画／ｉモーションが鳴り、着信時には電話帳に設定した画像が表示されます。

着信音に設定できるメロディ一覧

お買い上げ時は、着信音に設定できるメロディとして次のメロディが「プリインストール」フォルダに登録されています。
　のメロディは3Dサウンドに対応しています。

固定着信音	効果音／ボイス
着信音1～6	黒電話
メロディ（［　］内は作曲者名）	You've got a phone call
Englishman in New York［STING］	You've got mail
Mountain Dance［DAVID GRUSIN］	ハープ
Woman［JOHN WINSTON LENNON］	目覚まし時計
Saint-Tropez	もうすぐ予定の時間です
パイナップル・ラグ［SCOTT JOPLIN］	時間になりました
Je te veux［ERIK SATIE］	アンティーク
ENTERTAINER［SCOTT JOPLIN］	フェアリー
メヌエット［JOHANN SEBASTIAN BACH］	
マイオールドケンタッキーホーム ［STEPHEN COLLINS FOSTER］	

録音許諾番号:T- 0590080

※ ディスプレイに表示しきれないメロディ名は省略されます。

3Dサウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
3Dサウンド機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）程度離し、スピーカーを自分に向けて聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。
メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンドを「ON」に設定すると、3Dサウンドを立体音響でステレオスピーカーから再生できます。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。→P323

- 3Dサウンドの感じかたには個人差があります。解除する場合は、ステレオ・3Dサウンドを「OFF」に設定してください。

バイブレータ設定
着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時　すべてOFF

音声電話やテレビ電話、プッシュトーク着信時、メールやチャットメール、メッセージR/F受信時に振動でお知らせします。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のバイブレータにもそれぞれ反映されます。
- バイブレータを設定したまま机の上などに放置しないでください。バイブレータが動作したときに振動で落下するおそれがあります。

1 MENU ▶ 8 1 7 ▶ **下記の各項目を選択して設定**

電話／メール／チャットメール／メッセージR／メッセージF／テレビ電話／プッシュトーク：
バイブレータの種類を設定します。
- 「パターンA」を設定すると0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動します。
- 「パターンB」を設定すると1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動します。
- 「パターンC」を設定すると0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動します。
- 「メロディ連動」を設定すると着信音設定で設定したメロディに合わせて振動します。メロディによっては連動しない場合があります。
- 「OFF」を設定すると振動しません。

- ◎を押すとカーソル位置のパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」の場合は振動しません。

2 ◎［登録］**を押す**

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時にFOMA端末が振動します。
- 音声電話のバイブレータを設定したときは、待受画面に V が表示されます。
- 電話着信音量調整を「Silent」に設定し、音声電話のバイブレータを設定しているときは SV が表示されます。

お知らせ
- 通話中に着信があった場合は振動しません。
- 複数の機能でバイブレータが設定されている場合は、次の優先順位でFOMA端末が振動します。
  ① FOMA端末電話帳の設定
  ② FOMA端末電話帳グループ別の設定
  ③ 着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／プッシュトーク着信設定／メール着信設定／チャットメール着信設定／メッセージ着信設定
- バイブレータ設定を「OFF」にしていても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。

キー確認音設定
キーを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時　エレクトロニック

キーを押したときに鳴る音を変更します。音が鳴らないように設定することもできます。

- キー確認音を変更すると、電池レベル表示時の確認音も変更されます。
- 音を鳴らさないように設定した場合は、キーを押したときの音以外に、次の音も鳴らなくなります。
  - 電池レベル表示時の確認音
  - 赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音（終了音が鳴る設定になっている場合）

1 MENU ▶ 8 1 4 ▶ 1 〜 4

- ◎を押すとカーソル位置のキー確認音が鳴ります。

お知らせ

- キー確認音を鳴るように設定しても、次の場合はキー確認音は鳴りません。
  - マナーモード中
  - ｉアプリを起動している場合（MULTIを押すと鳴ります）
  - サイドキー［▲▼］を押した場合

充電確認音設定

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時　ON

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

1 または

お知らせ

- 「ON」に設定しても、次の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中
  - 公共モード中
  - 音声電話中
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - 64Kデータ通信中
  - ｉモード通信中
  - パケット通信中

通話品質アラーム設定

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時　アラーム高音

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう可能性のある場合、直前にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 音声電話にのみ有効です。

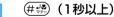
1

マナーモード

電話から鳴る音を消す

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

マナーモードを起動する

1

マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- 解除するときは#を1秒以上押します。

■ **FOMA端末を折り畳んでいるとき**

サイドキー［▲］を1秒以上押すと、マナーモードの起動／解除ができます。

- マナーモード中にサイドキー［▲▼］またはプッシュトークキー［P］を押すと、背面ディスプレイにマナーモード中のアイコンが表示されます。→P32
- サイドキーロック中は、サイドキー［▲］を1秒以上押してもマナーモードの起動／解除はできません。先にサイドキーロックを解除してください。

通常マナーモードを起動すると

着信音、キー確認音、アラームなどFOMA端末から出るすべての音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がるため、小さな声でも通話できます。

- 電話着信時やメール受信時などのバイブレータの動作は、バイブレータ設定の設定に関わらず、「パターンA」になります。
- アラーム設定で指定した日時になると、着信ランプのイルミネーションパターンとバイブレータは、アラーム設定に従って動作します。
- スケジュールアラームで指定した日時になると、着信ランプはイルミネーション設定の電話着信の設定に、バイブレータはマナーモードの設定に従って動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると音声と映像が再生されます。映像がある動画／ｉモーションの場合は「いいえ」を選択すると映像のみが再生されます。
- メロディの再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。

オリジナルマナーモードを起動すると

マナーモード選択のオリジナルマナーモードで設定した、バイブレータの動作、キー確認音、電話着信音量、メール着信音量、トルカ取得音量、電池アラーム音、アラーム／スケジュール音、マイク感度UPの設定に従って動作します。

お知らせ

- マナーモード中でも、キャラ電撮影を除く次の音は鳴ります。
  - カメラおよびビデオカメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
  - サウンドレコーダー録音時の録音確認音（シャッター音）
- マナーモード中は、通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージのみが表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの設定に従ってアラームが鳴ります。

マナーモードを変更する＜マナーモード選択＞

お買い上げ時　通常マナーモード

通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらのマナーモードを使用するかを選択します。オリジナルマナーモードでは、バイブレータ、キー確認音、着信音量などを変更できます。

- マナーモード中でもマナーモードを変更できます。

〈例〉オリジナルマナーモードを選択するとき

1 MENU ▶ 8 1 6 ▶ 2

- 1 を押すと通常マナーモードが設定されます。

2 **下記の各項目を選択して設定 ▶ 田［登録］**

バイブレータ：電話の着信中やメール受信中のバイブレータの動作を設定します。
- 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。
- 「OFF」に設定すると、バイブレータは動作しません。

キー確認音：キー確認音を設定します。

電話着信音量：電話の着信があったときの着信音の音量やｉアプリの音量を設定します。ただし、「ステップトーン」に設定した場合のｉアプリの音量は「レベル4」です。

メール着信音量：メールを受信したときの着信音の音量を設定します。

トルカ取得音量：読み取り装置（リーダー／ライター）からトルカを取得したときの確認音の音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

アラーム／スケジュール音
：アラームやスケジュールアラームの音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、アラームやスケジュールアラームの音は各設定に従って鳴ります。スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモードの電話着信音量の設定に従います。
- 「OFF」に設定すると、アラームやスケジュールアラームの音は鳴りません。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

トータルコーディネイト設定

FOMA端末のカラーに合わせて画面や照明を設定する

お買い上げ時　FOMA端末のカラーと同じ

ディスプレイの待受画面やメニューアイコン、時計デザイン、電池マーク、背面ディスプレイの待受画面、時計デザイン、各種アイコンなどの画面のデザインは、FOMA 端末のカラーに合わせてトータルコーディネイトされています。他のカラーに対応したコーディネイトにも変更できます。また、照明を明るくし、メール本文やサイトなどの文字を大きくして見やすくした「アドバンストモード」にも変更できます。

トータルコーディネイトの種類

次の5種類から選択できます。

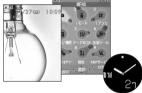
- メニュー画面のトータルコーディネイトは、メニュー設定で「タイルアイコン」を設定している場合にのみ有効です。

メタルブロンズ　　フェアリーラベンダー

グロッシールージュ

プラチナミラー

アドバンストモード

1
MENU ▶ 8 2 9 ▶ 1 ～ 5

- 文字サイズ設定が「最大」に設定されていないときに「アドバンストモード」を選択した場合は、文字サイズを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、文字サイズだけは変更されません。
- 次の項目が一括で設定されます。各項目の設定変更については、各ページを参照してください。

項　目	設定内容				
	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
スクリーン設定→P135	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
待受画面設定→P126	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
時計デザイン→P138	アナログ1	アナログ2	デジタル1	デジタル1	デジタル2
アイコンデザイン→P135	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
電池マーク設定→P136	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	メタルブロンズ
文字サイズ設定→P138	中（標準）	中（標準）	中（標準）	中（標準）	最大
フォント選択→P138	ゴシック	ゴシック	ゴシック	ゴシック	リュウミン
照明設定のディスプレイの明るさ→P135	標準	標準	標準	標準	高輝度

次ページへ続く

項　目		設定内容				
		メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
背面画像設定→P133	待受画像	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
	時計デザイン	アナログ1	アナログ2（全画面）	アナログ3（全画面）	アナログ1	デジタル1
	発着信画像	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード
	メール受信画像	メタルブロンズ	フェアリーラベンダー	グロッシールージュ	プラチナミラー	アドバンストモード

待受画面設定

待受画面の表示を変更する

お買い上げ時　待受画面選択、時計表示設定：トータルコーディネイト設定に従う
テロップ表示：表示する　テロップ速度：普通

待受画面設定では、次のような設定を変更できます。

項　目	参照先	項　目	参照先
画像／動画／ｉモーション／キャラ電を設定する	P126	待受画面の表示をカスタム設定する	P129
画像をランダムに表示する	P127	画像以外の設定を解除する	P131
ｉアプリ待受画面を設定する	P128	時計の表示をする	P138
カレンダーを設定する	P128	ｉチャネルのテロップを表示する	P295

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと、待受画面設定が無効になります（FOMAカード動作制限機能）。
- オールロック中やPIMロック中は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再び表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内の画像を設定している場合は、PIMロック中でも設定した画面が表示されます。

画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから取得した画像、動画／ｉモーション、キャラ電、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガなども設定できます。
- お買い上げ時に登録されている待受画像／ｉモーション→P437
- お買い上げ時に登録されているキャラ電→P319

1 MENU ▶ 8 2 1 1 ▶ 1 または 3 ～ 4

待受画面選択
1 イメージ設定
2 ランダムイメージ設定
3 ｉモーション設定
4 キャラ電設定
5 ｉアプリ設定

2 フォルダを選択 ▶ 画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択

画像のフォルダや一覧の見かた→P306
動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312
キャラ電のフォルダや一覧の見かた→P319
- miniSDメモリーカードに保存されている画像や動画／ｉモーションは選択できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから選択してください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ キャラ電のアクションを設定するとき

①キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせて[MENU]
②待受アクション設定画面で各項目を選択して設定▶[決定]
各設定項目→P319「■キャラ電を待受画面に設定するとき」操作①

3 「はい」を選択

- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定している場合に、動画／ｉモーションまたはキャラ電を選択すると、テロップ表示が解除されます。
- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像が拡大されて待受画面に表示されます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションを再生するには

- 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
  [chクリア]／FOMA端末を開く：再生
  [chクリア]／[電源]：停止
  サイドキー［▲▼］：音量調整
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
  FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
  [電源]：一時停止／再生
- キャラ電の場合は次の操作ができます。
  [chクリア]／FOMA端末を開く：再生
  [chクリア]／[電源]：停止

お知らせ

- 動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は設定できません。
- Flash画像やキャラ電を待受画面に設定すると、一定時間再生した後に停止します。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れることがあります。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。
- テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To(AV Phone To)、Mail To、Web To機能を利用できません。

画像をランダムに表示する<ランダムイメージ設定>

マイピクチャ内のフォルダに保存されている複数の静止画を、指定したタイミングでランダムに切り替えて待受画面に表示します。

- 表示できる画像は待受用（240×320）サイズ以下のJPEG形式、GIF形式（GIFアニメーションは除く）の画像です。

1 [MENU]▶[8][2][1][1]▶[2]▶下記の各項目を選択して設定

フォルダ：画像が保存されているフォルダを選択します。
- 表示できる画像が1つも保存されていないフォルダは選択できません。

切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。
- 「30分ごと」を選択したときは、毎時0分と30分に画像が切り替わります。
- 「60分ごと」を選択したときは、毎時0分に画像が切り替わります。
- 「開閉ごと」を選択したときは、FOMA端末を開いたときに画像が切り替わります。

2 [決定]▶「はい」を選択

- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ
- 次の画像は表示できません。
  - パラパラマンガ　- GIFアニメーション　- Flash画像
- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動、削除したり、パラパラマンガを作成したりして、表示できる静止画が1つもないときは、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。ただし、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを待受画面に設定します。
- ｉアプリ待受画面は、他の待受画面設定やカレンダー設定、画面のカスタマイズと同時に設定できます。同時に設定した場合は、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中に(ch クリア)を押すと、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリが起動し、ｉアプリの操作や設定ができます。
- ｉアプリ待受画面に、複数のｉアプリは設定できません。
- お買い上げ時に登録されている次のｉアプリはｉアプリ待受画面に設定できます。
  - フリーセル

1 (MENU) ▶ (8) (2) (1) (1) ▶ (5)

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。
ｉアプリ待受画面のフォルダや一覧の見かた→P280

2 **ｉアプリを選択 ▶ 「はい」を選択**

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に またはが表示されます。
- テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合は、テロップ表示が解除されます。

お知らせ
- PIMロック中はｉアプリ待受画面は表示されず、お買い上げ時の標準画像、または「プリインストール」フォルダ内の画像が表示されます。

待受画面にカレンダーを設定する

1 (MENU) ▶ (8) (2) (1) (2) ▶ **「はい」を選択**

- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ
- 画像とカレンダーは同時に設定できますが、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定している場合は、再生が停止または一時停止した後に(電源)を押すとカレンダーが表示されます。
- 待受画像が静止画の場合は、(電源)を押すごとにカレンダーの表示と非表示が切り替わります。

カレンダーの見かた

- 当日は黄、休日と祝日は赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日は、スケジュール帳の設定に従います。ただし、スケジュール帳の休日設定で休日にした日は、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIMロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。シークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを起動しているときだけ表示されます。プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIMロック中は表示されません。

音／画面／照明設定

待受画面の表示をカスタム設定する<カスタム待受>

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、メモ、カレンダー、スケジュールを表示するように設定します。
- エリアの分けかたは次の7種類から選択できます。

1 MENU ▶ 8 2 1 4

2 でパターンを切り替え ▶ エリアを選択 ▶ 1 〜 5

- 複数のエリアがある場合は、エリアを選択して 1 〜 5 を押す操作を繰り返します。
- 画面の半分より小さいエリア（パターン３のエリア１設定など）には、カレンダーは設定できません。

■ 新着情報を設定するとき

① 2 ▶ 情報を選択
② を押す

■ メモを設定するとき

① 3 ▶ メモを選択
- を押すとメモの内容が表示されます。 を押すとメモ一覧に戻ります。

3 ▶「はい」を選択
- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ
- トータルコーディネイトを変更すると、カスタム待受が表示されなくなりますが、設定は保存されています。操作1、操作3の順に行うとカスタム待受が表示されるようになります。

カスタム待受画面の情報を確認する

1 ●を押す

いちばん上のエリアが赤い枠で囲まれます。
- を押すとカーソル枠を移動できます。
- 待受画面に情報が表示されていないときは、 を繰り返し押して表示させてから●を押します。

2 エリアを選択

お知らせ
- 待受画面で を押すごとに、情報の表示と非表示を切り替えることができます。
- 待受画面選択のイメージ設定でGIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定していた場合、再生が停止または一時停止した後に を押すと情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。
- 表示される情報の件数や行数は、エリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

新着情報で設定している項目が、新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

未読メール：受信日時が表示され、続けて題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

メッセージR／メッセージF
：受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージR またはメッセージF の一覧が表示されます。

不在着信：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

伝言メモ：録音または録画日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ メモ

メモ帳に登録されている内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ スケジュール

スケジュールが日時の順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。
- アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。
- 長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりに「 」が表示されます。アイコンの後ろには開始の日付または時刻（当日で開始時刻前の場合）が表示されます。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

■ カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。
カレンダーの見かた→P128

お知らせ
- 同じ日に当日スケジュールと、長期間スケジュールが登録されている場合、カスタム待受画面には長期間スケジュールが表示されます。ただし、当日スケジュールが終日に設定されている場合や、当日スケジュールの開始時刻になっていない場合は、カスタム待受画面には両方のスケジュールが表示されます。

画像以外の設定を解除するとき

動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面、待受カレンダーの設定を解除し、画像を待受画面に表示します。

1 MENU ▶ 8 2 1 6 ▶ **「はい」を選択**

- 解除する前に画像を設定していた場合はその画像が、設定していなかった場合はお買い上げ時の画像が待受画面に表示されます。

音声電話やテレビ電話の発信時に表示する画像を変更する

音声電話の発信時の画面を変更する<電話発信設定> MENU 861

お買い上げ時　イメージ表示：標準画像

1 MENU ▶ 8 2 2 1 ▶ **イメージ表示欄を選択** ▶ 1 **または** 2

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像のフォルダや一覧の見かた→P306

2 📖 **［登録］を押す**

テレビ電話の発信時の画面を変更する<テレビ電話発信設定> MENU 871

お買い上げ時　イメージ表示：標準画像

1 MENU ▶ 8 2 2 3 ▶ **イメージ表示欄を選択** ▶ 1 **または** 2

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像のフォルダや一覧の見かた→P306

2 📖 **［登録］を押す**

お知らせ
- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

発信画像の優先順位について

複数の機能で発信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
①FOMA端末電話帳の設定※
②FOMA端末電話帳グループ別の設定
③電話発信設定／テレビ電話発信設定
※：人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

音声電話やテレビ電話の着信時の画像や着信音を変更する

音声電話の着信時の動作を変更する＜電話着信設定＞　MENU 862

お買い上げ時　着信音：メロディ／着信音1　イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF
イルミネーション：点滅／ライム

1 MENU ▶ 8 2 2 2 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ (メール) **［登録］**

着信音　：音声電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
  メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
  動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

イメージ表示　：音声電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像のフォルダや一覧の見かた→P306
- 「ｉモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

バイブレータ　：音声電話がかかってきたときの振動を設定します。
バイブレータのパターン→P122

イルミネーション：着信ランプの照明の点灯パターンや色を設定します。
イルミネーションのパターン・色→P137

メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作→P120

テレビ電話の着信時の動作を変更する＜テレビ電話着信設定＞　MENU 872

お買い上げ時　着信音：メロディ／ハープ　イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF
イルミネーション：点滅／ライム

1 MENU ▶ 8 2 2 4 ▶ **各項目を選択して設定** ▶ (メール) **［登録］**

設定操作→P132「音声電話の着信時の動作を変更する」

お知らせ
- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、着信画像を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は「着信音1（音声電話）」または「ハープ（テレビ電話）」になります。
- 動画／ｉモーションによってはイメージに設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

着信音の優先順位について

複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で動作します。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の設定
③FOMA端末電話帳グループ別の設定
④着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定

着信画像の優先順位について

複数の機能で着信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の設定※
③FOMA端末電話帳グループ別の設定
④着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
※：人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像はテレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像のデータが削除されると、自動的に設定内容が変更されます。その場合は、実際に鳴る音や表示される画像が設定内容と異なることがあります。

人物画像表示設定

発着信時の電話帳の人物表示を設定する

お買い上げ時　ON

音声電話やテレビ電話の発着信時に、FOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 8 2 2 5 ▶ 1 または 2

メール送信画像設定／メール受信画像設定／問合せ画像設定

メール送受信時や問合せ時の画面を変更する

お買い上げ時　イメージ表示：標準画像

メールの送受信時やｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。

- ｉモード問合せ時に表示される画像には、Flash画像を設定できません。

1 MENU ▶ 8 2 2 ▶ 6 ～ 8

- ｉモードメール、SMSの送信時の画像を設定するときは 6 を押します。
- ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信時の画像を設定するときは 7 を押します。
- ｉモード問合せ時の画像を設定するときは 8 を押します。

2 **イメージ表示欄を選択 ▶ 1 または 2**

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
  画像のフォルダや一覧の見かた→P306

3 **[登録］を押す**

背面ディスプレイの表示を設定する

背面ディスプレイに表示する画像を設定する<背面画像設定>

お買い上げ時　待受画像、時計デザイン、発着信画像、メール受信画像：トータルコーディネイト設定に従う
時計形式：24時間表示

待受画面や電話の着信時、メールの受信時などに背面ディスプレイに表示する画像を設定します。また、時計の大きさや時刻の表示形式も設定できます。

- お買い上げ時に登録されている待受用の画像（背面ディスプレイ用）→P437
- お買い上げ時に登録されている時計デザイン（背面ディスプレイ用）→P437

1 menu ▶ 8 2 7 2 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ 田 **[登録]**

待受画像　：背面ディスプレイの待受画面に表示する画像を設定します。

- 「メタルブロンズ」「フェアリーラベンダー」「グロッシールージュ」「プラチナミラー」「アドバンストモード」「和」「スカイ」「ライム」に設定するとお買い上げ時に登録されている画像が表示されます。
- 「イメージ」に設定すると、画像フォルダに保存されている画像が選択できます。画像のフォルダや一覧の見かた→P306

時計デザイン　：時計のデザインを設定します。

- 「アナログ1」または「デジタル1」に設定すると、時計の背面には待受画像で設定した画像が表示されます。
- 「アナログ2（全画面）」「アナログ3（全画面）」「デジタル2（全画面）」を設定すると、待受画像の設定に関わらず、「アナログ2（全画面）」には待受画像の「フェアリーラベンダー」が、「アナログ3（全画面）」と「デジタル2（全画面）」には専用の待受画像が表示されます。

時計形式　：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。

発着信画像　：電話の発着信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
「メタルブロンズ」「フェアリーラベンダー」「グロッシールージュ」「プラチナミラー」「アドバンストモード」に設定すると、お買い上げ時に登録されている画像が表示されます。

- 「メインディスプレイに連動」に設定すると、音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の発着信時にディスプレイと同じ画像が表示されます。ただし、ディスプレイにFlash画像が設定されている場合は、背面ディスプレイには標準画像が表示されます。

メール受信画像　：メール受信時に背面ディスプレイに表示する画像を設定します。
「メタルブロンズ」「フェアリーラベンダー」「グロッシールージュ」「プラチナミラー」「アドバンストモード」に設定すると、お買い上げ時に登録されている画像が表示されます。

- 「メインディスプレイに連動」に設定すると、メール受信時にディスプレイと同じ画像が表示されます。ただし、ディスプレイにFlash画像が設定されている場合は、背面ディスプレイには標準画像が表示されます。

お知らせ

- 背面ディスプレイの待受画面にGIFアニメーション、パラパラマンガを表示するように設定している場合は、最初のコマが表示されます。

電話やメールの着信時に電話番号やメールアドレスなどを表示する<背面情報表示設定>

お買い上げ時　相手情報表示あり

1   menu ▶ 8 2 7 1 ▶ 1 **または** 2

お知らせ

- 「相手情報表示なし」に設定すると、ディスプレイのタスクバーや背面ディスプレイには着信中などの状態のみ表示されます。また、表示される画像は標準画像になります。

背面ディスプレイの濃淡を調整する<背面コントラスト調整>

お買い上げ時　レベル8

- レベル1（最も淡い）～レベル16（最も濃い）の16段階で調整できます。

1 menu ▶ 8 2 7 3 ▶ ◎ **で濃淡を調整** ▶ ● **[選択]**

省電力時の背面ディスプレイの表示を設定する＜背面常時時計表示設定＞

お買い上げ時　OFF

背面ディスプレイが省電力中でも、時計や新着情報を表示させるかどうかを設定します。
• 「ON」に設定すると、省電力中でディスプレイ照明が消えた状態でも時刻や新着情報が表示されます。

1 MENU ▶ 8 2 7 4 ▶ 1 または 2

照明設定
ディスプレイとキーの照明を設定する

お買い上げ時　照明方法：点灯　点灯時間：10秒　範囲：ディスプレイ＋キー
ディスプレイの明るさ：トータルコーディネイト設定に従う　ACアダプタ接続時動作：端末設定に従う

1 MENU ▶ 8 2 5 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📷［登録］

照明方法：ディスプレイの照明を点灯させるかどうかを設定します。
- 「点灯」に設定すると、ディスプレイの明るさと点灯時間で設定した条件で照明が点灯します。
- 「消灯」に設定すると、照明が点灯しません。また、点灯時間、範囲、ディスプレイの明るさが設定できなくなります。

点灯時間：点灯時間を設定します。
- 「常時」以外に設定した場合、FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作しないと、自動的にディスプレイの表示が消え、省電力の状態になります。

範囲：ディスプレイのみの照明を点灯させるか、ディスプレイとキー部分の照明を点灯させるかを設定します。

ディスプレイの明るさ
：照明が点灯するときの明るさを設定します。

ACアダプタ接続時動作
：ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続したときの照明の点灯条件を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、照明方法、点灯時間、範囲、ディスプレイの明るさの設定に従って照明が点灯します。
- 「常時点灯」に設定すると、照明が「高輝度」で点灯します。

スクリーン設定
画面のカラー配色を変更する

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

ディスプレイに表示される配色を24種類から選択できます。

1 MENU ▶ 8 2 3 ▶ 1 〜 9
- ✥を押すとカーソル位置の配色で画面が表示されます。

メニュー設定
メニューのデザインを変更する

お買い上げ時　ノーマル：タイルアイコン　カスタム：タイルアイコン　機能説明表示：ON
アイコンデザイン：トータルコーディネイト設定に従う　アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：ノーマル
カスタムメニューショートカット：カスタム

メニューの表示形式やアイコンのデザインを変更したり、オリジナルのメニューを作成したりできます。

1 MENU ▶ ✉ ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 📷［登録］

ノーマル：ノーマルメニュー使用時の表示形式を設定します。
カスタム：カスタムメニュー使用時の表示形式を設定します。
機能説明表示：メニュー項目にカーソルを合わせたときに機能説明を表示するかどうかを設定します。

次ページへ続く

アイコンデザイン：ノーマルメニュー使用時のタイルアイコンのデザインを設定します。
- アイコンデザインで設定するのは、待受画面でMENUを押したとき最初に表示される1階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム1」「カスタム2」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するときに設定します。

アイコン拡大表示：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー：待受画面でMENUを押したときにノーマルメニューとカスタムメニューのどちらを表示させるかを設定します。

カスタムメニューショートカット
：カスタムメニュー使用時のショートカット操作を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、起動メニューを「カスタム」にした場合でもノーマルメニューの項目番号でショートカット操作ができます。→P33

オリジナルメニューを作成する

メニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、2種類のオリジナルメニューを作成できます。
- アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

1 MENU ▶ ⓘ ▶ **アイコンデザインを選択 ▶「カスタム1」または「カスタム2」を選択**

2 **カスタマイズを選択 ▶ 機能を選択 ▶ 画像フォルダ一覧で画像を選択**

他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。
画像のフォルダや一覧の見かた→P306
- メニューアイコンを解除するときは、解除するアイコンにカーソルを合わせてMENU 1を押し、「はい」を選択します。
- メニューアイコンを全件解除するときはMENU 2を押し、「はい」を選択します。

3 ✉ ▶ **画像フォルダ一覧からメニュー画面の背景画像を選択**
- 背景を解除するときはMENU 4を押し、「はい」を選択します。

4 📖 ▶ 📖 **［登録］**

お知らせ
- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、GIFアニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- PIMロック中は、アイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」の設定内容を変更できません。

電池マーク設定

電池残量のマークを変更する

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

1 MENU ▶ 8 2 4 ▶ 1～5

1：メタルブロンズ
2：フェアリーラベンダー
3：グロッシールージュ
4：プラチナミラー
5：ライム

電池残量の確認のしかた→P43

音／画面／照明設定

イルミネーション設定

着信時、通話時の着信ランプの色と点灯パターンを設定する

お買い上げ時　新着通知：OFF　すべてのイルミネーションパターン：点滅
電話、テレビ電話、プッシュトーク着信のイルミネーションカラー：ライム
メール、チャットメール、メッセージR/F着信のイルミネーションカラー：アクア　通話中イルミネーション：OFF
トルカ取得イルミネーション：ON　トルカ取得イルミネーションカラー：アクア

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときや、音声電話やテレビ電話、プッシュトーク着信時およびメール・チャットメール・メッセージR/F受信時の着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。また、音声電話中やテレビ電話中およびトルカ取得中の着信ランプの点灯と点灯色も設定できます。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、プッシュトーク着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定、トルカ取得設定のイルミネーション設定にもそれぞれ反映されます。

1 MENU ▶ 8 2 6

2 新着通知欄を選択 ▶ 1 または 2

イルミネーション設定
新着通知　OFF
電話着信
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ
点滅
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝｶﾗｰ
ライム
メール着信
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾊﾟﾀｰﾝ

- 「ON」に設定すると、FOMA端末を折り畳んでいるときに不在着信（音声電話／テレビ電話）があると、電話着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。未読情報（メール／チャットメール／SMS）があると、メール着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。
- 「OFF」に設定すると、新着情報があっても着信ランプは点滅しません。

3 着信の項目のイルミネーションパターンを選択 ▶ 1 〜 5

- 〇を押すとカーソル位置のパターンで着信ランプが点灯または点滅します。「メロディ連動」の場合は点滅します。
- 「メロディ連動」「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは変更できません。
- 「メロディ連動」に設定すると、着信時のイルミネーションカラーは「レインボー」になります。ただし、新着通知を「ON」に設定している場合で、新着情報があるときはイルミネーションカラーに従って点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信は設定できません。

4 着信の項目のイルミネーションカラーを選択 ▶ 1 〜 9

- 〇を押すとカーソル位置の色で着信ランプが点灯または点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信は設定できません。
- 他の項目の点灯パターンと点灯色を設定する場合は、操作3〜4を繰り返します。

5 通話中またはトルカ取得のイルミネーションを選択 ▶ 1 または 2

- 「ON」に設定すると、通話中またはトルカ取得中に、設定した色で着信ランプが点滅します。
- 「OFF」に設定すると、通話中またはトルカ取得中に、着信ランプは点灯しません。操作7に進みます。

6 通話中またはトルカ取得のイルミネーションカラーを選択 ▶ 1 〜 9

- 設定方法は、操作4と同じです。

7 〇［登録］を押す

お知らせ

- 新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従って着信ランプが点滅します。
  ① 不在着信（音声電話／テレビ電話）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／SMS）
- 新着通知を「ON」に設定した場合、最初に新着情報があったときから約6時間経過しても新着情報がないときや、待受画面の 2 2（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくても着信ランプの点滅は停止します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。

フォント選択

フォントを変える

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

メニュー画面やｉモードのサイト、文字入力画面などに表示される文字を、ゴシックまたはリュウミンから選択できます。

1 MENU ▶ 8 2 8 2 ▶ 1 または 2

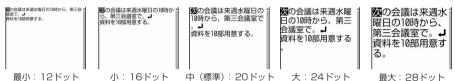
お知らせ
- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなど、一部の機能には本機能の設定が反映されません。

文字サイズ設定

文字の大きさを変更する

お買い上げ時　トータルコーディネイト設定に従う

メモ帳などの全画面入力や画面メモを表示したりするときの、文字サイズを変更できます。
- 文字サイズは5種類から選択できます。

最小：12ドット　小：16ドット　中（標準）：20ドット　大：24ドット　最大：28ドット

1 MENU ▶ 8 2 8 1 ▶ 1 〜 5
- を押すとカーソル位置の文字サイズの例が表示されます。

お知らせ
- メール本文の入力時、インライン入力時の文字サイズは変更されません。
- サイト画面やメッセージR/Fを表示するときの文字サイズも変更されます。ただし、「最小」は「小」で、「最大」は「大」で表示されます。

時計表示設定　MENU 8213

時計の表示を設定する

お買い上げ時　デザイン：ON（トータルコーディネイト設定に従う）形式：24時間表示
表示位置：トータルコーディネイト設定に従う　曜日：バイリンガルに従う

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、表示位置を設定できます。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式（24時間、12時間）も設定できます。
- お買い上げ時に登録されている時計デザイン→P437
- 背面ディスプレイには反映されません。

〈時計表示設定の例〉

アナログ2を中段に表示したとき

デジタル1の時計を中段に12時間表示で表示したとき

デジタル2の時計を上段に24時間表示で表示したとき

デジタル3の時計を下段に12時間表示で表示したとき

1 MENU ▶ 8 5 4 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ ［登録］

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。「ON」に設定した場合は時計のデザインを「アナログ1～2」「デジタル1～4」から選択します。

形式：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。

曜日：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

お知らせ
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式で設定した時計の表示形式に従って「24時間表示」または「12時間表示」に変更されます。
- 次の場合は、デザインや表示位置の設定に関わらず、「デジタル1」の時計が表示位置「上」で表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
- オールロック中は、本機能の設定に関わらず時計の表示位置は「上」になります。

バイリンガル
画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時　Japanese

画面表示を日本語か英語のどちらかに切り替えることができます。

1   MENU ▶ 8 2 8 3 ▶ 1 **または** 2

お知らせ
- 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。
- バイリンガルの設定は、FOMAカードにも保持されます。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号の必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、数字4～8桁で自由に変更できます。

- 電源を入れてから端末暗証番号を連続5回間違えると、電源が自動的に切れます。電源をもう一度入れるか、正しい端末暗証番号を入力すると、累積回数はクリアされます。
- 指紋設定で登録した指紋を利用するように設定している場合は、端末暗証番号を入力する代わりに指紋認証画面が表示されます。(menu)を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わります。
- 万一、端末暗証番号をお忘れの場合は、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。

  ※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受け付けできない場合があります。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に設定します。

- ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップなどの窓口では、運転免許証などの確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。

「ドコモeサイト」→取扱説明書裏面

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の数字で自由に変更できます。

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算料金リセットを行うとき、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、数字4桁で自由に変更できます。この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

- 万一、ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。

認証パスワード

赤外線通信で全件送信や全件受信するときに必要となる数字4桁のパスワードです。赤外線通信を行う前に、送信側と受信側で同じパスワードを決めておきます。

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コード、ｉモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
- 電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時　0000

- 端末暗証番号は、4～8桁の数字を入力します。入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 MENU ▶ 8 3 5 ▶ **認証操作**

- 端末暗証番号を入力する場合は現在の暗証番号を入力します。認証に失敗すると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。●を押して正しい端末暗証番号を入力してください。

2 **新しい端末暗証番号を入力**

3 **新しい暗証番号（確認）の入力欄にカーソルを合わせて操作2で入力した端末暗証番号を入力 ▶ ［登録］**

PINコードを設定する

- PIN1コードの設定はFOMAカードに記録されます。FOMAカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を入力します。入力したPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうかを設定する<PIN1コードON／OFF>

ご契約時　OFF

1 MENU ▶ 8 3 4 3 ▶ 1 **または** 2

2 **PIN1コードを入力**

PIN1コード
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数 3回

- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。
- PIN1コードを3回連続して間違えると、PIN1コードが自動的にロックされます。●を押してPINロック解除コードを入力してください。
- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

- 正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信や各種通信機能の操作ができません。

お知らせ

- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定している場合、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。電源を押してアラームを停止させると、PIN1コード入力画面が表示されます。
  このとき、アラームにダウンロードしたメロディまたはｉモーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディの「目覚まし時計」が鳴ります。

PIN1／PIN2コードを変更する<PIN1／PIN2コード変更>

ご契約時　PIN1／PIN2コード：0000

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFF設定を「ON」にする必要があります。

〈例〉PIN1コードを変更するとき

1 MENU ▶ 8 3 4 ▶ 1 ▶ **認証操作 ▶ 現在のPIN1コードを入力**

- PIN1コードを間違えると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。◉を押して正しいPIN1コードを入力してください。3回連続して間違えると、PIN1コードが自動的にロックされます。◉を押してPINロック解除コードを入力してください。

2 **新しいPIN1コードの入力欄にカーソルを合わせて新しいPIN1コードを入力**

3 **新しいPIN1コード（確認）の入力欄にカーソルを合わせて操作2で入力したPIN1コードを入力 ▶ [登録]**

お知らせ

- PIN2コードを3回連続間違えてFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを3回連続間違えてFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを3回連続して間違えると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなどの窓口までお持ちいただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードのロックを解除するとき

1 **PINコードロックの確認画面で◉ ▶ 8桁のPINロック解除コードを入力**

2 **新しいPIN1コードの入力欄にカーソルを合わせて新しいPIN1コードを入力**

3 **新しいPIN1コード（確認）の入力欄にカーソルを合わせて操作2で入力したPIN1コードを入力 ▶ [登録]**

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

お知らせ

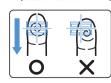
- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMA端末が自動的にロックされます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、ダイヤルキーで端末暗証番号を入力する操作を省略できます。

指紋認証機能利用時のご注意

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証時の状況が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 指が泥や油などで汚れている
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 指紋登録時に比べ、指紋認証時の指の表面状態が極端に異なる
  - 濡れたり、汗をかいたりしている
- 指紋センサー表面が濡れたり結露したりすると、誤作動の原因となります。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。
- 指紋の登録・認証を行う際には、右図のように第1関節をセンサーに合わせ、指をスライドさせながら指紋センサーに指を接触させ、指紋センサーが見えるまで下の方向へスライドさせてください。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を減らせます。

- スライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。表示されるメッセージに従い、スライドの速さを調節してください。
- 指は下図のように、端末と同じ方向に置くことをおすすめします。
- 親指などでは指紋の渦の中心が大きくずれたりゆがんだりすることがあります。その場合は、登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあるため、指紋の渦の中心を確認し、渦の中心が指紋センサーの中心を通過するように指紋センサー上をスライドさせてください。

- 指紋センサーに指をスライドさせる際には、指を指紋センサーに突き立てるのではなく、右図のように、指を指紋センサーと平行になるように押し当てながらスライドさせてください。
- 指ごとに指紋が異なるため、必ず利用設定した指で認証操作を行ってください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。

- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない旨のメッセージが表示される場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保障するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証画面で menu を押すと端末暗証番号入力画面に切り替わり、端末暗証番号を入力して認証操作ができます。

指紋センサーについて

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサー表面をひっかいたり、先のとがったものでつついたりする
  - 指紋センサー表面を爪や硬いもので強く擦り、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで汚れた手で指紋センサーに触れ、細かい異物などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - 指紋センサーの表面にシールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりした
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - 指紋センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
  - 指紋センサー表面に汗などの水分が付着している
  - 指紋センサー表面が結露している
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、メガネ拭きなどの乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は特にご注意ください。

認証に利用する指紋を登録する

- 指紋は最大10個登録できます。

1 menu ▶ 8 3 6 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ 田

2 ● ▶ **メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド**

- 指紋の読み取りに失敗したり、指のスライドが速かったり遅かったりするとメッセージが表示されます。メッセージに従い読み取りを完了させてください。

3 **登録名を入力** ▶ 田

- 登録名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

4 **「はい」または「いいえ」を選択**

- 登録した指紋データを認証に利用する場合は「はい」を選択します。「いいえ」を選択しても、指紋データは登録されます。

お知らせ

- 指紋登録中に電話やプッシュトークがかかってきたり、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったりした場合、その時点で登録は中止されます。

認証に利用する指紋データを設定する

1 menu ▶ 8 3 6 ▶ 認証操作 ▶ 認証に利用する指紋データを選択

認証に利用する指紋データに設定され、登録名の左に が表示されます。認証に利用している指紋データを選択した場合は解除されます。

■ 指紋データを削除するとき

① 削除する指紋データにカーソルを合わせて menu ▶ 3 ▶「はい」を選択

- 認証に利用している指紋データを削除すると、指紋認証機能の利用が解除されます。

■ 登録名を編集するとき

① 登録名を編集する指紋データにカーソルを合わせて menu ▶ 4 ▶ 登録名を編集 ▶

指紋認証を行う

端末暗証番号を入力する代わりに指紋で認証を行えます。

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上で指をスライド

指紋が認証されると、それぞれの設定画面が表示されます。

- 指紋認証を行うときは、利用設定した指で認証操作を行ってください。
- 正しく認証されなかった場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。認証性能が低いときは、指紋登録し直してください。
- menu を押すかダイヤルキーを押すと、端末暗証番号入力画面に切り替わります。

お知らせ

- 指紋認証を5回連続して失敗すると、端末暗証番号入力画面が表示されます。このとき累積失敗回数はクリアされます。

各種ロック機能について

FOMA端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P148
遠隔ロック	FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックとICカードロックを起動し、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P149
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P150
PIMロック	電話帳やプロフィール情報、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P150
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P151
プライバシーモード設定	電話帳・履歴やメール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P152
サイドキーロック	FOMA端末を折り畳んだときのサイドキー［▲▼］、プッシュトークキー［ ］の操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P153
開閉ロック	FOMA端末を折り畳むたびにサイドキー［▲▼］、プッシュトークキー［ ］以外のキー操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P153
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは認証操作を行ってシークレットモードを起動したときのみ表示されます。	P154
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	P303

- 複数のロック機能も同時に設定できます。
- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して を押します。指紋認証を設定している場合は、 を押して指紋認証画面で緊急通報番号を入力し、 を押します。
入力した緊急通報番号は、暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

- オールロックを起動しても、ICカードロックは起動されません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。→P303
- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。オールロックを解除すると、設定した待受画面が再び表示されます。

1 ▶ **認証操作**

待受画面に「オールロック中」が表示されます。
- 解除するときは待受画面で端末暗証番号を入力します。指紋認証を設定している場合は、MENUを押してから認証操作を行います。

お知らせ
- 端末暗証番号を連続5回間違えると、FOMA端末の電源が自動的に切れます。電源をもう一度入れるか、正しい端末暗証番号を入力すると、累積回数はクリアされます。
- オールロック中に電話がかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、着信履歴には不在着信として記録されます。オールロックを解除すると待受画面には 2 （数字は件数）が表示されます。
- オールロック中もｉモードメールやSMS、メッセージR/Fは受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。
- オールロック中は指定した日時になってもアラームやスケジュールアラームは動作しません。

遠隔ロック

他の人が使用できないように遠隔からロックする

お買い上げ時　遠隔ロック：OFF

FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックとICカードロックを起動し、他人が不正に使用するのを防ぎます。監視時間、着信回数、電話番号を条件として設定し、その条件でFOMA端末に着信があると、オールロックとICカードロックが起動します。
- オールロック中やICカードロック中でも遠隔ロックを起動できます。

遠隔ロックの動作を設定する

1 MENU ▶ 8 3 1 3 ▶ **認証操作** ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ 登 **[登録]**

遠隔ロック：遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、監視時間、着信回数、発信元を設定できます。

監視時間（分）：１回目の音声電話を着信してから、着信回数で設定した回数分の音声電話を着信し終わるまでに必要な時間を設定します。この時間内に、設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。また、それまでカウントした着信回数は0になります。
- １〜10分の範囲で設定します。

着信回数（回）：遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します。
- 3〜10回の範囲で設定します。

発信元１〜３：遠隔ロックを起動させる発信元を設定します。
- 発信元選択欄で「発信者番号」を登録するか、「公衆電話」にするかを選択します。
- 「発信者番号」を選択した場合は、発信者番号の入力欄に電話番号を入力します。電話帳 を押すと電話帳から選択できます。

お知らせ
- 発信元に、ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）が設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）以降は削除されます。

遠隔ロックを起動する

1 遠隔ロックで設定した条件でFOMA端末に音声電話をかける

遠隔ロックが起動した旨のガイダンスが流れ、FOMA端末は遠隔ロック中になります。
- 必ず発信者番号を通知して電話をかけてください。
- FOMA端末がサービスエリア外にあるときや、電源が入っていないときなどFOMA端末に電波が届かない場合は、遠隔ロックを起動できません。
- 解除するときは、待受画面で端末暗証番号を入力します。指紋認証を設定している場合は、MENUを押してから認証操作を行います。次にICカードロックを解除する必要があります。
ICカードロックの解除→P303

お知らせ
- 遠隔ロックを起動するために発信元に登録した電話番号から電話をかけたとき、次の場合は設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。また、電話に応答した場合とFOMA端末の電源が入っていない場合に電話をかけるとカウントは0 になります。
  - 通話中の場合
  - プッシュトーク通信中の場合
  - 電話に応答した場合
  - 電源が入っていない場合
  - カウントを開始した途中で電源が切れた場合
- オート着信機能設定または伝言メモを設定している場合に遠隔ロックを起動するときは、オート着信機能または伝言メモが起動する前に電話を切ってください。これらが起動すると、設定のための着信回数としてカウントされません。
- 着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効です。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントされません。
- 着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます（呼出時間が0 秒の場合を除く）。
- 遠隔ロック中は、電話がかかってきても切断されます。発信元に設定している電話番号の場合は、遠隔ロック中である旨のガイダンスが流れ、切断されます。

セルフモード　MENU 894
発信や着信ができないようにする

お買い上げ時　OFF

セルフモード中は、電話やプッシュトークの発着信、メールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

1 CLR（1秒以上）▶「はい」を選択

待受画面に Self が表示されます。
- 解除するときはCLRを1秒以上押します。

お知らせ
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中にプッシュトークが着信したときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れます。
- セルフモード中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せを行ってください。
- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。

PIMロック
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時　OFF

PIMロックを起動すると、個人情報の表示や改ざんを防ぐことができます。
- メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定しているときは、本機能は起動できません。
- PIMロックを起動すると、起動前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、起動後の発信や着信は記録され、リダイヤルまたは着信履歴からの発信はできます。

1 MENU ▶ 8 3 1 2 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

「ON」に設定すると待受画面に が表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

PIMロックを起動すると

次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。

- メール、チャットメール、SMS、メッセージR/F※
- ｉMenu
- Bookmark
- Internet
- 画面メモ
- ラストURL
- ｉモード問合せ
- ｉアプリ
- ｉチャネル
- 電話帳
- プッシュトーク電話帳
- 伝言メモ、音声メモ
- マイピクチャ
- ｉモーション
- メロディ
- キャラ電
- マイドキュメント
- カメラ
- ビデオカメラ
- サウンドレコーダー
- バーコードリーダー
- ミュージックプレイヤー
- miniSDカード
- トルカ一覧
- ICカードソフト一覧
- スケジュール帳
- 通話料金上限通知
- メモ帳
- イヤホンスイッチ設定
- アラーム
- ソフトウェア更新
- プロフィール情報
- スキャン機能
- 赤外線によるデータ送受信

※：受信できますが、受信中画面、受信アイコン、受信結果画面は表示されません。

- メニューを表示すると、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。
- 電話、プッシュトークの発着信時とメール受信時に電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスが表示されます。
- 伝言メモ起動中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に[伝言メモアイコン]は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。

お知らせ

- PIMロックの対象となっているデータを待受画面や背面ディスプレイ、テレビ電話の代替画像、着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定は変更されません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時 OFF

ダイヤル発信制限中は、電話帳とリダイヤルを利用する以外の方法では、電話をかけられなくなります。

- ダイヤル発信制限を起動すると、起動前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、ダイヤル発信制限中に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

1 MENU ▶ 8 3 3 ▶ **認証操作** ▶ 1 **または** 2

「ON」に設定すると待受画面に[アイコン]が表示されます。

ダイヤル発信制限を起動すると

次の操作ができなくなります。

- 着信履歴からの発信
- 電話帳とプッシュトーク電話帳の修正、登録、削除
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データの送受信
- ｉモードメールやSMSの送信※
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

※：電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信はできます。

プライバシーモード設定
他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする

FOMA端末の電話帳、メール、マイピクチャなどを他人が利用できないように設定します。プライバシーモードは手動で起動したり、一定時間内に何も操作しないと自動的に起動するように設定したりできます。

プライバシーモードの動作を設定する

お買い上げ時　電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ：表示する
自動起動：OFF

プライバシーモード中に電話帳、メール、マイピクチャなどを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。プライバシーモードを自動的に起動するようにも設定できます。
- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

1 **MENU ▶ 8 3 7 ▶ 認証操作 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ✉ ▶「OK」を選択**

電話帳・履歴：電話帳、プッシュトーク電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
メール：メールを表示するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されなくなりますが、各フォルダ一覧画面でCLRを1秒以上押して認証操作を行うと、待受画面に戻るまで一時的にフォルダを表示できます。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
ｉモーション：ｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
スケジュール：スケジュールを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
ｉアプリ：ｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
自動起動：待受中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を「5分後」「15分後」「30分後」に設定します。

お知らせ
- プライバシーモード中（マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、次の操作を行うと、認証操作を行った後に、プライバシーモードで非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。
  - 電話発信設定
  - テレビ電話発信設定
  - 電話着信設定
  - テレビ電話着信設定
  - テレビ電話画像選択
  - メール送信画像設定
  - メール受信画像設定
  - 問合せ画像設定
  - 電話帳とプッシュトーク電話帳の新規登録、編集
  - グループ別電話発着信設定
  - 着信音設定
  - 背面画像設定（待受画像を除く）
  - 待受画面設定のｉアプリ設定
  - 発番号なし動作設定
  - メッセージ着信設定
  - メール着信設定
  - チャットメール着信設定
  - スケジュールアラーム編集
  - プロフィール情報編集
  - マルチナンバーの着信設定
- 「自動起動」以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、すでにプライバシーモードを起動していた場合には、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

- プライバシーモード設定で自動起動するように設定した場合は、設定に従って起動します。

1 **●（1秒以上）**
- 解除するときは●を1秒以上押し、認証操作を行います。

あんしん設定

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

お知らせ

- 「認証後に表示」に設定した機能をプライバシーモード中に利用する場合、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の項目を利用する場合も同様です。
  〈例〉
  プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）にマイピクチャに保存されている画像をメールで送信する場合、マイピクチャを起動するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を起動しても認証画面は表示されません。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、発着信時や履歴などには電話帳やプッシュトーク電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にメール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードする場合は、認証操作が必要です。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリを削除する場合は、認証操作が必要です。
- プライバシーモード中（マイピクチャ、ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）は、FOMA端末電話帳で、着信音や画像に「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定していると、電話帳や電話帳グループ別の設定ではなく、着信音設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定の各画像設定に従って動作します。ただし、着信音設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定の各画像設定で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定していると、お買い上げ時の設定で動作します。
- プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）は、静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。また、FOMA端末電話帳をminiSDメモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA端末電話帳に設定された静止画はコピー、バックアップされません。
- プライバシーモード中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）は、動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。

サイドキーロック

サイドキーの誤操作を防止する

FOMA端末を折り畳んでいるときのサイドキー［▲▼］、プッシュトークキー［P］の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

1 **MENU（1秒以上）**

待受画面に が表示されます。
- 解除するときはMENUを1秒以上押します。

お知らせ

- サイドキーロック中でも背面ディスプレイの表示、クイック伝言メモの起動はできます。

開閉ロック

FOMA端末を折り畳むたびにキーをロックする

お買い上げ時　OFF

開閉ロックを設定しておくと、FOMA端末を折り畳んだときにサイドキー［▲▼］、プッシュトークキー［P］以外のキーがロックされます。開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。開閉ロック中でも、かかってきた電話を通常の操作で受けたり、電源を切る操作はできます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面で緊急通報番号を入力して 発信 を押します。指紋認証を設定している場合は、MENUまたはMULTIを押して指紋認証画面で緊急通報番号を入力し、 発信 を押します。
入力した緊急通報番号は、暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

あんしん設定

開閉ロックを設定する

1 MENU ▶ 8 3 1 5 ▶ **認証操作** ▶ 1 **または** 2

開閉ロックを設定すると

待受画面が表示されているときにFOMA端末を折り畳むと、開閉ロックが起動してサイドキー［▲▼］、プッシュトークキー［P］以外のキーがロックされます。このとき、背面ディスプレイには開閉ロックを設定した旨のメッセージが表示され、セキュリティランプが青色で約3秒間点滅し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。開閉ロック中は、待受画面に🔒が表示されます。

- 待受画面に何らかのメッセージが表示されている場合は、FOMA端末を折り畳んでも開閉ロックは起動しません。MULTI以外のキーを押してメッセージを消してから、FOMA端末を折り畳んでください。メッセージが消えていない状態や、待受画面以外でFOMA端末を折り畳んだときは、セキュリティランプが赤色で約3秒間点滅し、開閉ロックが起動しなかったことをお知らせします。
- 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。認証操作を行わずに待受画面に戻った場合は、MULTIまたはMENU（指紋認証利用時のみ有効）を押すと認証画面が表示されます。
- 開閉ロックを「ON」に設定している間は、開閉ロックを解除しても、FOMA端末を折り畳むたびに開閉ロックが起動します。

お知らせ
- 開閉ロック中は、サイドキー［▲］を利用しても音声メモ／動画メモは動作しません。
- 開閉ロック中でも、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話をかける操作はできます。

シークレットモード

シークレット属性が設定されている情報を表示する

シークレットモードを起動すると、シークレット属性が設定されている電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも、シークレットモードを起動する必要があります。

シークレットモードを起動する

1 MENU ▶ 8 3 2 ▶ **認証操作**

ディスプレイ上部に🔑が表示されます。
- 解除するときは待受画面で電源を押します。

お知らせ
- シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモード中でない場合は、着信音設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定内容で動作します。
- シークレットモード中は、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。電源を押すとシークレットモードが解除され、再生されます。

メモリ別着信拒否／許可

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の拒否／許可を設定できます。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信拒否／許可の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の拒否／許可の動作は次のとおりです。

設　定		電話ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	設定解除	着信する	着信する	着信する

※：設定した電話番号から電話やプッシュトークがかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手側には話中音が流れます。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。
- FOMAカード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 [電話帳] ▶ **電話帳を検索** ▶ **設定する相手にカーソルを合わせて** [MENU] ▶ [9] [1] [3]

2 **認証操作** ▶ **電話番号を選択** ▶ [1]～[3]
- 着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に [!] が表示されます。

お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [MENU] を押し、「設定／確認」→「設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
- 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更・削除すると、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更・登録後の電話番号に対して着信拒否／許可を設定してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

お買い上げ時　設定解除

着信拒否／許可を有効にするかどうかを設定します。
- 本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
- メモリ別着信拒否／許可を同時に有効にはできません。

1 [MENU] ▶ [8] [6] [7] [1] ▶ **認証操作** ▶ [1]～[3]

お知らせ
- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。

発番号なし動作設定
電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時　設定解除

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。
- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定、着信音設定より本機能の設定が優先されます。

1 **認証操作**

あんしん設定

次ページへ続く

2 1～3 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ⊙［登録］

- 通知されない理由ごとに操作2を繰り返します。

〈着信動作〉：発信者番号が通知されない電話またはプッシュトークを着信したときの動作を設定します。
- 「設定解除」に設定すると、着信音設定で設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」に設定したときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
  メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
- 「着モーション」に設定したときは、動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」に設定したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
  画像のフォルダや一覧の見かた→P306
- 「ｉモーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作→P120

お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話やプッシュトークがかかってきた場合は、該当する発信者番号非通知理由の着信動作を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、着信音設定やテレビ電話着信設定に従って動作します。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする

お買い上げ時　着信呼出動作：OFF

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 MENU ▶ 8 1 8 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ⊙［登録］

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、次の項目を設定できます。

呼出開始時間：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。
- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。その場合、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定していても、かかってきた電話は着信履歴に不在着信として記録されます。
- PIMロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
- シークレットモード中でない場合、電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話がかかってきたときも、本機能が動作します。

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード
  - 伝言メモ
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時　OFF

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- 呼出動作開始時間設定を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1   ▶ ▶ **認証操作** ▶ **または** 2

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やテレビ電話、プッシュトークがかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけてきたとき、またはシークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手から着信があったときも、着信を拒否します。発信者番号を通知しない着信があった場合の動作は、発番号なし動作設定より本機能の設定が優先されます。

その他の「あんしん設定」について

暗証番号や各種ロック機能以外にも、次のような「あんしん設定」を利用できます。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信設定	P262
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『iモード操作ガイド』をご覧ください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
iモードどうしのメールだけを受信／拒否します。	iモードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否	
1日に1台のiモード携帯電話から送信される200通目以降のiモードメールを拒否します。	iモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時にiモードを利用して、安否情報を登録・確認します。	iモード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	
受信するすべてのSMSまたは非通知SMSの受信を拒否します。	SMS一括拒否／非通知SMS拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P380
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P194 P214
ICカード機能を利用できないようにします。	ICカードロック	P303
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P474
障害を引き起こす可能性のあるデータの削除や、アプリケーションの起動の中止によって、FOMA端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P477

カメラ

カメラをご使用になる前に

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を温かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり静止画や動画が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、静止画や動画がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要です。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。また、暗い場所ではワンタッチパワーライトを補助光として利用してください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
- ◉またはサイドキー［▲］を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。◉またはサイドキー［▲］を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、◉またはサイドキー［▲］を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- インカメラで自分の映像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像になります。ただし、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定しておくと、鏡像でも保存できます。
- ｉアプリからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャやｉモーション内のフォルダには保存されず、ｉアプリ内（ｉアプリによっては、「ｉモード」フォルダや「デコメールピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中にminiSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

撮影方法について

FOMA端末は、次のようなスタイルで撮影することができます。
- よりピントの合った静止画を撮影するにはオートフォーカスでの撮影をおすすめします。→P167

■ FOMA端末を開いて撮影する場合

■ FOMA端末を折り畳んで静止画を撮影する場合※2

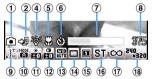
■ FOMA端末を折り畳んで動画を撮影する場合

※1：サイドキー［AF▲］でも撮影できます。
※2：動画の「カメラ／表示切替」を「QVGA横撮影」に設定している場合も、このスタイルで撮影します。

撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズで静止画や動画を撮影したり、撮影前に撮影モードを設定して撮影したりできます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末だけでなく、miniSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできます。

静止画撮影画面／動画撮影画面

撮影画面の見かたは次のとおりです。
- ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、接写撮影、ワンタッチパワーライト起動、セルフタイマー起動、ズーム以外は操作できません。
- 動画撮影時、画像サイズを QVGA 横撮影（320 × 240）に設定している場合は、次のマークの代わりに STANDBY（撮影待機中）、REC（撮影中）、PAUSE（一時停止中）が表示されます。

静止画撮影画面

動画撮影画面

①撮影方法：静止画、動画の撮影画面であることを示します。
　：静止画　　：動画

②保存先：保存先を示します。→P174
　：FOMA端末　　：miniSDメモリーカード

③撮影種別：撮影する動画の種類を示します。→P174

④ワンタッチパワーライト
：ワンタッチパワーライトの点灯／消灯を示します。
　：点灯　　表示なし：消灯

⑤接写撮影：接写撮影のON／OFFを示します。→P177
　：ON　　表示なし：OFF

⑥セルフタイマー：セルフタイマーのON／OFFを示します。→P177
　：ON　　表示なし：OFF

オートフォーカス：オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。
　：撮影待機中　　AF（黒）：オートフォーカス起動時
　AF（緑）：ピントが合ったとき　　AF（赤）：ピントが合わないとき

次ページへ続く

⑦ **インジケータ**　：**撮影待機中**
通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、静止画や動画を撮影していなくても0にならない場合があります。

動画撮影時／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合を示します。

⑧ **カウンタ**　：**静止画撮影時**
通常の撮影時は、現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに撮影できる静止画の最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。手動連写中（最大で6）、4コマ撮影手動中、連続パノラマ撮影中（最大で4）は撮影枚数と総撮影枚数を示します。
動画撮影時
撮影待機中は、現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに撮影できる動画の最大時間（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）は残り時間（撮影開始するまでの時間）を示します。撮影中は経過時間と残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を表示します。

⑨ **ズーム**　：撮影する静止画や動画の表示倍率を示します。→P176
⑩ **撮影モード**　：撮影モードを示します。→P180
⑪ **明るさ**　：撮影する静止画や動画の明るさを示します。→P181
⑫ **色の濃さ**　：撮影する静止画や動画の色の濃さを示します。→P181
⑬ **ホワイトバランス**：ホワイトバランスの設定状態を示します。→P181
⑭ **フレーム**　：フレームの設定状態を示します。→P179
⑮ **連続撮影**　：連続撮影の設定状態を示します。→P168、P170
⑯ **画質**　：静止画の画質を示します。→P180
品質　：動画の品質を示します。→P180
⑰ **サイズ制限**　：保存するファイルサイズの制限値を示します。→P180
⑱ **画像サイズ**　：撮影する静止画、動画の画像サイズを示します。→P179

静止画像ファイル／動画ファイルについて

	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG （Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応）	MP4 （MobileMP4）
符号化方式	――――	映像 ：MPEG4　音声 ：AMR
拡張子	jpg	3gp
タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 〈例〉2005年11月27日10時9分00秒に撮影したとき →20051127100900.jpg／20051127100900.3gp • 撮影後、ファイル名を変更できます。→P338 • 日付・時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル（動画のみ）、ファイル名は「--------------」になります。	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、miniSDメモリーカードや他の端末、専用のデータリンクソフトを利用してパソコンに取り込んだりできます。	

静止画の保存枚数について

FOMA端末およびminiSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質やサイズ制限、画像サイズの設定、撮影状況によって変わります。
- 画質、サイズ制限、画像サイズは静止画詳細設定で設定します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■FOMA端末に保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画像サイズ＼画質	エコノミー	スタンダード	ファイン	画像サイズ＼画質	エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約780	約780	約780	640×480	約207	約149	約87
96×96	約780	約780	約780	480×640	約207	約144	約86
128×96	約780	約780	約734	960×1280	約80	約49	約27
176×144	約780	約734	約502	1200×1600	約59	約36	約19
240×320	約561	約415	約251	1224×1632	約52	約34	約19
352×288	約434	約329	約207	1728×2304	約18	約11	約7

■miniSDメモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画像サイズ＼容量・質量	16MB			画像サイズ＼容量・質量	32MB		
	エコノミー	スタンダード	ファイン		エコノミー	スタンダード	ファイン
96×72	約2057	約1800	約1600	96×72	約4314	約3774	約3354
96×96	約2057	約1800	約1600	96×96	約4314	約3774	約3354
128×96	約1600	約1440	約1107	128×96	約3354	約3019	約2322
176×144	約1309	約1107	約757	176×144	約2744	約2322	約1589
240×320	約847	約626	約378	240×320	約1776	約1312	約794
352×288	約654	約496	約313	352×288	約1372	約1041	約656
640×480	約313	約225	約132	640×480	約656	約471	約276
480×640	約313	約218	約130	480×640	約656	約457	約274
960×1280	約121	約74	約41	960×1280	約253	約156	約87
1200×1600	約89	約54	約30	1200×1600	約187	約113	約63
1224×1632	約78	約52	約30	1224×1632	約164	約109	約63
1728×2304	約27	約17	約10	1728×2304	約58	約36	約22

動画の撮影時間について

動画の撮影時間は品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限の設定や、撮影状況によって変わります。

- 品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音詳細設定で設定します。

■FOMA端末に保存できる動画の撮影時間（目安）

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1回あたりの撮影時間（単位：秒）				FOMA端末の最大撮影時間（単位：分）			
			品質				品質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付用（小）（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約112	約70	約51	約21	約65	約40	約29	約12
		画像のみ	約190	約96	約71	約24	約110	約55	約41	約13
	176×144	画像＋音声	約87	約45	約30	約11	約50	約26	約17	約6
		画像のみ	約128	約54	約36	約12	約74	約31	約20	約6
	320×240	画像＋音声	約32	約17	約13	約6	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約36	約18	約14	約6	約20	約10	約8	約3
メール添付用（大）（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約189	約119	約86	約36	約64	約40	約29	約12
		画像のみ	約321	約161	約120	約41	約110	約55	約41	約14
	176×144	画像＋音声	約148	約76	約51	約19	約50	約26	約17	約6
		画像のみ	約217	約91	約61	約21	約74	約31	約20	約7
	320×240	画像＋音声	約54	約29	約23	約10	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約61	約30	約24	約10	約20	約10	約8	約3

次ページへ続く

■ miniSDメモリーカードに保存できる動画の撮影時間（目安）　単位：分

容　量	ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	品　質			
				LP	STD	HQ	HQ+
16MB	メール添付用（小）（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約92	約57	約42	約17
			画像のみ	約157	約79	約58	約19
		176×144	画像＋音声	約72	約37	約24	約9
			画像のみ	約105	約44	約29	約9
		320×240	画像＋音声	約26	約14	約10	約4
			画像のみ	約29	約14	約11	約4
	メール添付用（大）（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約92	約58	約42	約17
			画像のみ	約157	約78	約58	約20
		176×144	画像＋音声	約72	約37	約24	約9
			画像のみ	約106	約44	約29	約10
		320×240	画像＋音声	約26	約14	約11	約4
			画像のみ	約29	約14	約11	約4
	制限なし	128×96	画像＋音声	約86	約54	約39	約16
			画像のみ	約146	約73	約54	約18
		176×144	画像＋音声	約67	約34	約23	約8
			画像のみ	約98	約41	約27	約9
		320×240	画像＋音声	約24	約13	約10	約4
			画像のみ	約27	約13	約10	約4
32MB	メール添付用（小）（290Kバイト）	128×96	画像＋音声	約194	約121	約88	約36
			画像のみ	約330	約166	約123	約41
		176×144	画像＋音声	約151	約78	約52	約19
			画像のみ	約222	約93	約62	約20
		320×240	画像＋音声	約55	約29	約22	約10
			画像のみ	約62	約31	約24	約10
	メール添付用（大）（490Kバイト）	128×96	画像＋音声	約194	約122	約88	約37
			画像のみ	約330	約165	約123	約42
		176×144	画像＋音声	約152	約78	約52	約19
			画像のみ	約223	約93	約62	約21
		320×240	画像＋音声	約55	約29	約23	約10
			画像のみ	約62	約30	約24	約10
	制限なし	128×96	画像＋音声	約187	約118	約85	約35
			画像のみ	約319	約160	約119	約40
		176×144	画像＋音声	約147	約74	約50	約18
			画像のみ	約215	約88	約60	約20
		320×240	画像＋音声	約53	約28	約22	約9
			画像のみ	約60	約30	約23	約10

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する

自動でピントを合わせるオートフォーカス機能の他、連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな撮影方法で静止画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P176
- 撮影時の設定を変更できます。→P178
- 着信音量調整を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P162

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

1 を押す

カメラが起動して撮影待機状態になります。

- 撮影待機中は次の操作ができます。

	：ワンタッチパワーライトの点灯（）と消灯（表示なし）の切り替え※1
（1秒以上）	：背面ディスプレイの表示と非表示の切り替え※2
	：オートフォーカス起動中（AF AF AF）と撮影待機中（）が切り替わります。 • サイドキー［AF▲］を使用しても撮影できます。→P167
	：全画面モードと標準画面モードの切り替え • 全画面モードにすると設定アイコンやガイド行が消え、被写体を確認しやすくなります。
	：インカメラとアウトカメラの切り替え • カメラを切り替えても、撮影モードなどの設定は保持されます。
（1秒以上）	：静止画撮影と動画撮影の切り替え
サイドキー［▼］	：ガイドライン表示と表示なしの切り替え • 画像サイズが96×96の場合は、サイドキー［▼］を押すごとに丸窓ガイド表示（背面ディスプレイ用）、ガイドライン表示、表示なしの切り替えができます。 • フレームを設定しているときは、ガイドラインおよび丸窓ガイドは表示できません。

ガイドライン表示

丸窓ガイド表示

※1：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。
※2：アウトカメラ撮影時および連続撮影の撮影待機中に操作できます。

2 被写体にカメラを向けて●またはサイドキー［▲］

静止画撮影画面

シャッター音が鳴り、ワンタッチパワーライトと着信ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

- 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存されます。このとき、操作3以降の操作は不要です。
- ワンタッチパワーライトを使用すると、シャッターが切れる瞬間に光量が増加します。

3 撮影した静止画を確認

- 画像サイズが待受用（240×320）より小さい場合は、を押すと撮影した静止画を拡大表示できます。を押すと元に戻ります。

■ すぐに保存するとき

①操作4に進む

■ 保存しないで撮影し直すとき

①を押す

■ 撮影した静止画をメールに添付して送信するとき

①を押す

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P235

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合も、FOMA端末に保存されます。

- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると9000バイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影、保存した静止画のファイルサイズが9000バイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。

■ 待受画面に設定するとき

① (MENU) ▶ (2) (1) ▶ 「はい」を選択

画像サイズが待受用（240×320）より小さい場合は、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、等倍表示または拡大表示で待受画面に設定されます。

- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 背面待受画面に設定するとき

① (MENU) ▶ (2) (2) ▶ 「はい」を選択

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、背面待受画面に設定されます。

- 保存先をminiSDカードに設定している場合は、背景待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）

① (MENU) ▶ (2) ▶ (3) または (4)

②「はい」を選択

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更するとき

① (MENU) ▶ (3) (1) ▶ タイトルを変更して (カメラ)

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます（連続撮影した画像は30文字）。

■ 明るさや色のバランスを補正するとき

① (カメラ) を押す

静止画を補正する編集画面が表示されます。→P311

- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズが横長VGA（640×480）以上の場合
  - 4コマ撮影でフレームを設定している場合
  - 連続パノラマ撮影の場合

■ 鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時のみ）

① (MENU) ▶ (4) (1)

- 撮影した静止画にフレームが設定されている場合や、画像サイズが横長VGA（640×480）で撮影日時が「日付」または「日付＋時刻」に設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ 正像表示／鏡像表示を切り替えるとき（インカメラ撮影時のみ）

① (MENU) ▶ (4) (2)

■ 等倍表示に切り替えるとき

① (MENU) ▶ (6)

- (i) を押しても等倍表示に切り替わります。
- 解除するときは(CLR)、(MENU)、(i)、(カメラ)、(メール)のいずれかを押します。
- 画像サイズが横長VGA（640×480）より小さい場合は、等倍表示できません。ただし、画像サイズが待受用（240×320）、またはCIF（352×288）で連続パノラマ撮影の場合は、等倍表示できます。

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

① (MENU) ▶ (8)

■ 保存されている画像を一覧表示するとき

① (MENU) ▶ (9) ▶ (1) または (2)

4 ◉［保存］またはサイドキー［▲］

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき

① (i) ▶ 確認する静止画を選択

画像の表示方法→P306「画像を表示する」操作2～3

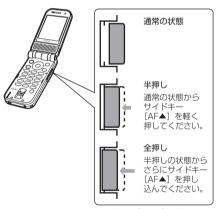
- 確認後(chクリア)を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、ｉアプリ、メール作成画面からカメラを起動したときは確認できません。

お知らせ

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除したり、画像サイズや画質を低い値に変更したりしてから撮影してください。
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- 静止画撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話やプッシュトークがかかってきた場合は、撮影を中断します。シャッター音が鳴り、すでに静止画を撮影していた場合は、通話終了後に撮影後の保存確認画面に戻ります。自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画が自動で保存されます。ただし、タイミングによっては撮影した画像が破棄される場合があります。
- 電話帳およびメール作成画面からカメラを起動した場合の保存確認画面では、(menu)を押してからの次の機能が利用できません。
  - メールの作成　- 待受画面の設定　- 背面待受画面の設定　- 電話帳の画像登録
  - 補正　- 保存先の切り替え　- 画像の一覧表示　- 等倍表示
  - 連写機能　- スクロール
- miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードの起動中は、保存確認画面で利用できない機能があります。
- 撮影日時を「日付」「日付＋時刻」に設定して撮影した場合、保存確認画面の画像には日付、日付＋時刻は表示されません。ただし、保存確認画面の等倍表示では表示されます。

オートフォーカスで撮影する<オートフォーカス>

オートフォーカス機能には、撮影待機中にサイドキー［AF▲］を半押しする方法と、(文字)を押す方法があります。ピントが合った状態でサイドキー［AF▲］を全押しするか、(●)を押すと、鮮明な静止画を撮影できます。

- サイドキー［AF▲］には半押しと全押しがあるため、サイドキー［▼］と比べて押したときの感触が異なります。
- オートフォーカスでピントを合わせることができる距離は30cm以上、接写撮影中は8～40cmです。
- インカメラ撮影時とセルフタイマー使用中、および撮影モードを「夜景」に設定しているときは、オートフォーカスを操作できません。

サイドキー［AF▲］の押しかた

〈例〉サイドキー［AF▲］を使って撮影するとき

1 (カメラ) ▶ **被写体にカメラを向けてサイドキー［AF ▲］（半押し）**

オートフォーカスが起動し、オレンジのフォーカス枠とAF（黒）が表示されます。

ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「＋」に、AFがAF（緑）に変わります。

- 解除するときは、サイドキー［AF▲］から指を離します。

次ページへ続く

- ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「+」に変わり、AF（赤）が表示される場合があります。
- ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、サイドキー［AF▲］を半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向けます。(カメラキー)を押してピントを合わせた場合は、そのまま撮影したい位置にカメラを向けます。

2 サイドキー［AF▲］（全押し）

シャッター音が鳴り、ワンタッチパワーライトと着信ランプが赤色で点灯し、静止画が撮影されます。
- ●を押しても撮影できます。

3 ●［保存］またはサイドキー［AF▲］

撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。
- 確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画を保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。
→P165

お知らせ
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - FOMA端末を動かしながら撮影する場合
- オートフォーカス機能の使用中に操作が有効なキーは●、(メール)、(chクリア)、(カメラ)、(電源)、(MULTI)、サイドキー［AF▲］のみです。撮影機能の設定は変更できません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

連続撮影する<連続撮影>

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には次の4種類があります。

連続撮影自動　：設定した枚数分（最大6枚）を自動で連写
連続撮影手動　：設定した枚数分（最大6枚）を手動で連写
4コマ撮影自動：4コマを自動で連写して1枚の静止画にする
4コマ撮影手動：4コマを手動で連写して1枚の静止画にする

- 連続撮影自動、4コマ撮影自動では、約0.4秒間隔で連続して撮影できます。
- 「連続撮影手動」または「4コマ撮影手動」に設定している場合にワンタッチパワーライトを使用すると、シャッターが切れる瞬間に光量が増加します。その場合、次に撮影可能になるまで少し時間がかかります。
- 静止画詳細設定の連続撮影枚数で連続撮影する枚数を設定できます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合のみです。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - 待受用（240×320）
  - CIF（352×288）
- 4コマ撮影自動、4コマ撮影手動ができるのは、画像サイズが待受用（240×320）の場合のみです。
- 電話帳、メール作成画面、iアプリからカメラを起動したときは、連続撮影できません。ただし、iアプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

1 (上下キー)▶連続撮影の種類を選択

連続撮影のマーク

■ 連続撮影自動に設定するとき

① (MENU)▶(6)(1)
連続撮影のマークが(1)から(連続A)に変わります。

■ 連続撮影手動に設定するとき

① (MENU)▶(6)(2)
連続撮影のマークが(1)から(連続M)に変わります。

■ 4コマ撮影自動に設定するとき

① (MENU)▶(6)(3)
連続撮影のマークが(1)から(4コマA)に変わります。

■ 4コマ撮影手動に設定するとき

① (MENU)▶(6)(4)
連続撮影のマークが(1)から(4コマM)に変わります。

- 解除するときは(MENU)(6)(6)を押します。
- 撮影待機中に(7)を押し、(上下キー)で連続撮影の種類を選択してから、●を押しても設定できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

2 被写体にカメラを向けて●またはサイドキー［▲］

■ 連続撮影自動、4コマ撮影自動のとき

シャッター音が鳴り、静止画が連続で撮影されます。連続撮影中はワンタッチパワーライトが赤色で点灯し、着信ランプが最大6色（赤、黄、緑、青、紫、オレンジ）で点滅します。

- 撮影を開始すると、中断できません。
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作3以降の操作は不要です。
- 連続撮影中に FOMA 端末を折り畳んだ場合、背面ディスプレイは非表示のまま撮影が実行されます。

■ 連続撮影手動、4コマ撮影手動のとき

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。撮影が完了するたびに、ワンタッチパワーライトが赤色で、着信ランプが6色（赤、黄、緑、青、紫、オレンジ）で順に点灯します。

- 続けて●またはサイドキー［▲］を押し、静止画を撮影します。
- 撮影を開始してから㊋を押すと、連続撮影が中断されます。4コマ撮影手動の場合は、撮影待機中の画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。
- 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作3以降の操作は不要です。
- アウトカメラで連続撮影中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示され、サイドキー［▲］を押して撮影を実行できます。インカメラで連続撮影中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中断されます。

3 連続撮影した静止画を確認

連続撮影

4コマ撮影

■ 連続撮影自動、連続撮影手動のとき

- ㊋を押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時に◎を押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

4 ●［保存］またはサイドキー［▲］

連続撮影や4コマ撮影した画像がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに1つの画像データとして保存されます。なお、連続撮影した画像はパラパラマンガの形式で保存されます。

静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P165「FOMA端末を開いて静止画を撮影する」操作3～4

■ 表示されている静止画1枚だけを保存するとき（連続撮影自動、連続撮影手動でアウトカメラ撮影時）

①●（1秒以上）▶「はい」を選択

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

■ 表示されている静止画1枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存するとき（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）

①●（1秒以上）▶「正像保存」または「鏡像保存」を選択

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が正像または鏡像で保存されます。

■ 連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存するとき（連続撮影自動、連続撮影手動でインカメラ撮影時）

①ⓜ▶④①

カメラ

次ページへ続く

■ 連続撮影した静止画の中から複数選択して保存するとき（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）

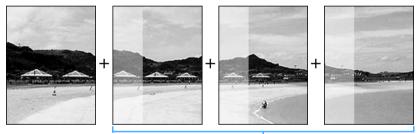
① menu ▶ 5 2 ▶ **保存する静止画を選択**
- を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。●または ch クリア を押すとサムネイル表示に戻ります。

② ▶ **「はい」を選択**

選択した静止画だけが保存されます。
- インカメラ撮影時は、正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択してください。

お知らせ
- 連続撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されますが、連続撮影した画像の場合は、それぞれの静止画が保存されます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した画像は、パラパラマンガの解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、静止画のファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-6」の番号が付きます。
  静止画のファイル名→P162
- 連続撮影自動中、連続撮影手動中、4コマ撮影自動中に電話がかかってきたりアラームやスケジュールアラームで指定した日時になると、手動連写時はその時点で撮影が中止され、確認画面が表示されます。自動連写時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合、撮影された静止画は自動的に保存されます。着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- 4コマ撮影手動中に電話がかかってきたりアラームやスケジュールアラームで指定した日時になると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。

連続パノラマ撮影する<連続パノラマ撮影>

被写体に合わせてFOMA端末の向きを変えて連続撮影した3～4枚の静止画を、1枚の静止画につなぎ合わせることができます。

1つ前の撮影画像の約3分の1が撮影画面の左または上に透過表示されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

• ワンタッチパワーライトを使用すると、シャッターが切れる瞬間に光量が増加します。その場合、次に撮影可能になるまで少し時間がかかります。
• 連続パノラマ撮影できる画像サイズと最大画像サイズは次のとおりです。ただし、最大画像サイズは撮影条件により異なります。

撮影サイズ	最大画像サイズ（[icon]時）	最大画像サイズ（[icon]時）
待受用（240×320）	720×320	960×240
CIF（352×288）	1056×288	864×352
横長VGA（640×480）	1920×480	1440×640

• インカメラ撮影時、フレーム設定中、ｉアプリ動作中、サイズ制限を「メール添付用（小）」または「メール添付用（大）」に設定している場合は、連続パノラマ撮影できません。

1 [key] ▶ [menu] ▶ [6] [5]

連続撮影のマークが[icon]から[icon]に変わります。
• 解除するときは[menu][6][6]を押します。
• 撮影待機中に[7]を押し、[key]で「連続パノラマ撮影」を選択してから、[●]を押しても設定できます。
• [key]を押して連続パノラマ撮影する方向を切り替えられます。
　[icon]　：FOMA端末を縦にして、左から右にパノラマ撮影する場合
　[icon]※：FOMA端末を横または折り畳んだ状態で、左から右にパノラマ撮影する場合
　※：FOMA端末を折り畳んで1枚目を撮影すると、自動的にこの方向の撮影に切り替わります。

2 被写体にカメラを向けて[●]またはサイドキー［▲］

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。続けてカメラを横方向（左から右）にずらし、撮影を4回行います。撮影が完了するたびに、ワンタッチパワーライトが赤色で、着信ランプが4色（赤、黄、緑、青）で順に点灯します。
• 撮影を開始してから[key]または[chクリア]を押すと、連続パノラマ撮影が中断されます。3枚撮影して[key]を押した場合は、静止画が合成され、操作3に進みます。
• 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約3分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
• ガイドラインを表示している場合、2枚目と3枚目の撮影時にガイドラインが表示され、次の撮影時の透過部分を確認できます。
• 自動保存を「する」に設定している場合は、撮影した静止画は設定した保存先へ自動的に保存されます。このとき操作3以降の操作は不要です。
• 自動保存を「する」に設定している場合は、3枚撮影後に[key]を押すと自動的に保存されます。

3 連続パノラマ撮影した静止画を確認

• [key]を押すと等倍表示で確認できます。解除するときは[chクリア]、[menu]、[key]、[key]、[key]のいずれかを押します。
• [key]を押すと画面をスクロールして確認できます。

4 [●]［保存］またはサイドキー［▲］

連続パノラマ撮影した静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに1つの画像データとして保存されます。

お知らせ
• 被写体や撮影のしかたによっては、きれいに合成されない場合があります。
• 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダに保存されます。
• 連続パノラマ撮影中に電話がかかってきたりアラームやスケジュールアラームで指定した日時になると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。

ビデオカメラで動画を撮影する

音声付きの動画を撮影します。

- 撮影前に撮影方法を選択できます。→P176
- 撮影時の設定を変更できます。→P178
- 着信音量調整を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。
- 最大保存件数→P480

FOMA端末を開いて動画を撮影する

1 ⓞ（1秒以上）

ビデオカメラが起動して撮影待機状態になります。

- 動画の撮影待機中は次の操作ができます。
  - ⓜ：ワンタッチパワーライトの点灯（✲）と消灯（表示なし）の切り替え※
  - ⓜ（1秒以上）：背面ディスプレイの表示と非表示の切り替え※
  - ⓢ：縦撮影と横撮影の切り替え※
    - 画像サイズがQVGA（320×240）の場合のみ切り替えられます。
  - ⓘ：インカメラとアウトカメラの切り替え
    - カメラを切り替えても、撮影モードなどの設定は保持されます。
  - ⓘ（1秒以上）：静止画撮影と動画撮影の切り替え
  - ※：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

2 被写体にカメラを向けて◉またはサイドキー［▲］

動画撮影画面

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、ワンタッチパワーライトが赤色で、着信ランプが5色（赤、黄、緑、青、紫）に約2秒間隔で点滅し、動画の撮影が始まります。ディスプレイの■が●に切り替わります。

- 一時停止するときは◉を押します。一時停止中はワンタッチパワーライトが赤色で、着信ランプが緑色に点灯し、●が❚❚に切り替わります。もう一度◉を押すと、撮影を開始します。
- 音声のみ（サウンドレコーダー）の場合は、背面ディスプレイにもインジケータが表示されます。

3 ⓒまたはサイドキー［▲］

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存対象になります。
- 一時停止中にⓒを押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存対象になります。
- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず自動的に保存され、撮影画面に戻ります。このとき、操作4以降の操作は不要です。
- 動画／録音詳細設定の自動再生を「する」に設定している場合は、撮影した動画が自動的に再生されます。ただし、FOMA端末を折り畳んでいる場合は、再生されません。

4 撮影した動画を確認

- ⓒを押すと撮影した動画が再生されます。

■ すぐに保存するとき

①操作5に進む

■ 保存しないで撮影し直すとき

①ⓒⓗを押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ 撮影した動画をメールに添付するとき

①(メール)を押す

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合も、FOMA端末に保存されます。
- 次の場合はメールに添付できません。
  - 撮影した動画のファイルサイズが500Kバイトより大きい場合
  - 画像サイズをQVGA（320×240）に設定している場合
  - 品質を「HQ＋（最高品質）」に設定している場合

■ 待受画面（待受ｉモーション）に設定するとき

①(MENU)▶(2)(1)▶「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのままで、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

①(MENU)▶(2)▶(2)または(3)

②「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 画像サイズが128×96または176×144で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更するとき

①(MENU)▶(3)(1)▶タイトルを変更して(●)

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。
- 変更したタイトルは、動画を保存すると有効になります。

■ テロップを作成するとき

①(MENU)▶(3)(2)▶「はい」を選択

撮影した動画がFOMA端末に保存され、テロップの作成画面が表示されます。

- テロップの作成方法→P317「テロップを挿入する」操作2～7
- 画像のサイズをQVGA（320×240）に設定している場合は、テロップを作成できません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

①(MENU)▶(5)

- 撮影した動画のファイルサイズが490Kバイトより大きい場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている動画を一覧表示するとき

①(MENU)▶(6)▶(1)または(2)

5 (●)［保存］またはサイドキー［▲］

撮影した動画がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

①(●)▶確認する動画を選択

- 確認後(CLR)を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、ｉアプリ、メール作成からビデオカメラを起動したときは確認できません。

お知らせ

- アウトカメラ撮影時にFOMA端末を折り畳むと、撮影中の映像が背面ディスプレイに表示され、撮影を続行します。インカメラ撮影時にFOMA端末を折り畳むと撮影が中止され、確認画面が表示されます。ただし、自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されずに保存されます。
- 撮影中や録音中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影や録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除したり、サイズ制限の設定を変更したりしてから撮影してください。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。
- 連続10時間以上撮影した動画や音声をminiSDメモリーカードに保存した場合、動画が正しく表示、再生できないことがあります。
- 撮影中や録音中に電話がかかってきたりアラームが起動したりした場合は、その時点で撮影や録音が中止され、確認画面が表示されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止されるまでに撮影や録音したデータが自動で保存されます。
- 撮影中や録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音は中止されます。自動保存を「する」に設定していると、中止された時点で撮影または録音されたデータが保存され、●を押すと撮影または録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定していると、●を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面や録音画面に戻っても電池がないため撮影ができない旨のメッセージが表示され、操作はできません。
- 撮影中や録音中にアラームや電池アラームが鳴り、撮影や録音が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームなどが録音されることがあります。
- 電話帳およびメール作成画面からビデオカメラを起動した場合の保存確認画面では、MENUを押してからの次の機能が利用できません。
  - メールの作成　- 待受画面の設定　- 電話帳の画像登録　- テロップの編集
  - 保存先の切り替え　- 動画の一覧表示

静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

お買い上げ時

- 静止画詳細設定
  画像サイズ：待受用（240×320）　画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし
  セルフタイマー間隔：10秒　連続撮影枚数：6枚　自動保存：しない　保存先：本体　自動終了時間：1分後
  シャッター音：標準　照明設定：常灯
- 動画／録音詳細設定
  品質：STD（標準）　撮影種別：画像＋音声　サイズ制限：メール添付用（小）　画像サイズ：QCIF（176×144）
  セルフタイマー間隔：10秒　自動再生：しない　自動保存：しない　保存先：本体　自動終了時間：1分後
  シャッター音：標準　照明設定：常灯

画像サイズ、画質、品質、撮影種別、サイズ制限、保存先など、撮影時の条件を設定できます。

- 電話帳、ｉアプリ、メール作成からカメラやビデオカメラを起動したときは、設定の操作はできません。
  その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

〈例〉静止画詳細設定を変更するとき

1 ⓪▶MENU▶9

- 動画／録音詳細設定を変更するときは⓪を1秒以上押し、MENU 8を押します。

2 **各項目を選択して設定▶ 📖［登録］**

- 各設定項目→P175「設定項目について」

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	詳細設定		説　明
	静止画	動画／録音	
画像サイズ	○	○	撮影する静止画や動画の画像サイズを設定します。 • 静止画撮影では、インカメラ撮影時に画像サイズを縦長VGA(480×640)、SXGA(960×1280)、UXGA(1200×1600)、2M(1224×1632)、4M（1728×2304）に設定すると、アウトカメラに切り替わります。 →P179
画質	○	×	保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど、ファイルサイズは大きくなります。→P180
撮影日時	○	×	静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
品質	×	○	保存する動画ファイルや音声ファイルの品質を設定します。 • 動画、サウンドレコーダーごとに個別に設定できます。
撮影種別	×	○	撮影する動画の種類を設定します。 ：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ（サウンドレコーダー）
サイズ制限	○	○	保存するファイルのサイズ制限値を設定します。 撮影中の静止画や動画のファイルサイズ、録音中の音声のファイルサイズが制限値より大きくなると、静止画は自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存し、動画や音声は自動的に撮影を終了します。 • 撮影または録音したファイルをｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信する場合は、「制限なし」以外に設定してください。
セルフタイマー間隔	○	○	セルフタイマー使用時のシャッターが切られるまでの時間を2～15秒の範囲で設定します。
連続撮影枚数	○	×	連続撮影する枚数を2～6枚の範囲で設定します。
自動再生	×	○	確認画面を表示したときに、撮影した動画や録音した音声を自動的に再生するかどうかを設定します。
自動保存	○	○	撮影した静止画や動画、録音した音声を自動で保存するかどうかを設定します。 •「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。 •「しない」に設定すると、撮影後や録音後に確認画面が表示され、さまざまな操作ができます。
保存先	○	○	撮影した静止画や動画、録音した音声の保存先を設定します。 ：FOMA端末　：miniSDメモリーカード
自動終了時間	○	○	何も操作していないときにカメラ、ビデオカメラ、サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。
シャッター音	○	○	5種類の撮影確認音（シャッター音）から選択します。 • シャッター音にカーソルを合わせると音が鳴ります。
照明設定	○	○	撮影中や録音中のディスプレイの照明を設定します。 •「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。 •「常灯」に設定すると、撮影画面や録音画面の表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。

お知らせ

- 静止画の画像サイズを電話帳用（96×72）、背面待受用（96×96）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- 静止画の画像サイズのCIF（352×288）、横長VGA（640×480）、縦長VGA（480×640）、SXGA（960×1280）、UXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）、4M（1728×2304）とサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- 静止画の画像サイズのUXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）、4M（1728×2304）とサイズ制限の「メール添付用（大）」は同時に設定できません。
- 動画ファイルや音声ファイルの品質の「LP（長時間）」「HQ+（最高品質）」と、撮影種別の「音声のみ」は、同時に設定できません。
- 動画／録音詳細設定で保存先を「本体」に設定している場合、サイズ制限を「制限なし」に設定できません。
- 「連続パノラマ撮影」の場合、撮影日時を「日付」または「日付＋時刻」に設定しても、撮影日時は記録されません。

さまざまな方法で撮影する

ズーム機能やセルフタイマー撮影、接写撮影などを使用して、さまざまな方法で撮影できます。

- 設定後の撮影→P164「カメラで静止画を撮影する」、P172「ビデオカメラで動画を撮影する」
- 背面ディスプレイ表示中は、フレームの解除以外にダイヤルキーによる設定の変更はできません。

ズームする

撮影倍率を変更し、被写体をズームして撮影します。

- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

<table>
<tr><th rowspan="2">カメラの種類</th><th rowspan="2">画像サイズ</th><th colspan="2">最大表示倍率</th></tr>
<tr><th>静止画撮影時</th><th>動画撮影時</th></tr>
<tr><td rowspan="14">アウトカメラ</td><td>電話帳用（96×72）</td><td rowspan="3">28倍（65段階）</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>背面待受用（96×96）</td></tr>
<tr><td>Sub-QCIF（128×96）</td><td>20倍（9段階）</td></tr>
<tr><td>QCIF（176×144）</td><td>16倍（65段階）</td><td>16倍（8段階）</td></tr>
<tr><td>待受用（240×320）</td><td>8倍（65段階）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>QVGA縦撮影（320×240）</td><td rowspan="2">－</td><td>4倍（3段階）</td></tr>
<tr><td>QVGA横撮影（320×240）</td><td>8倍（5段階）</td></tr>
<tr><td>CIF（352×288）</td><td>6倍（65段階）</td><td rowspan="7">－</td></tr>
<tr><td>横長VGA（640×480）</td><td>3倍（65段階）</td></tr>
<tr><td>縦長VGA（480×640）</td><td>4倍（65段階）</td></tr>
<tr><td>SXGA（960×1280）</td><td>3倍（65段階）</td></tr>
<tr><td>UXGA（1200×1600）</td><td rowspan="3">2倍（6段階）</td></tr>
<tr><td>2M（1224×1632）</td></tr>
<tr><td>4M（1728×2304）</td></tr>
<tr><td rowspan="8">インカメラ</td><td>電話帳用（96×72）</td><td rowspan="5">2倍（2段階）</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>背面待受用（96×96）</td></tr>
<tr><td>Sub-QCIF（128×96）</td><td rowspan="2">2倍（2段階）</td></tr>
<tr><td>QCIF（176×144）</td></tr>
<tr><td>待受用（240×320）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>QVGA縦撮影（320×240）</td><td>－</td><td>2倍（2段階）</td></tr>
<tr><td>CIF（352×288）</td><td rowspan="2">2倍（2段階）</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>横長VGA（640×480）</td></tr>
</table>

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で

スライダ

ズームのマーク

押すたびにスライダの目盛が移動し、ズームのマークが変わります。

■ 静止画撮影のとき

標準 ⇔ ⇔ ⇔ ⇔ 最大ズーム

■ 動画撮影のとき

×20：20倍　×16：16倍　×12：12倍　×10：10倍　×8：8倍
×6：6倍　×4：4倍　×2：2倍　×1：標準

- 1 を押し、を押して表示倍率を選択してからを押しても変更できます。

セルフタイマーを使う<セルフタイマー>

セルフタイマーを使って静止画や動画を撮影します。設定した秒数になると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりできます。

- シャッターが切れるまでの秒数は静止画詳細設定または動画／録音詳細設定のセルフタイマー間隔で設定できます。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で MENU ▶ 5

が表示されます。

- 解除するときはもう一度 MENU 5 を押します。

2 被写体にカメラを向けて［撮影］またはサイドキー［▲］

セルフタイマーのマーク

カウントダウン音が鳴り、着信ランプが緑色で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくと、カウントダウン音と着信ランプの点滅の間隔が短くなり、設定した秒数になるとシャッター音が鳴り撮影されます。撮影が完了すると、ワンタッチパワーライトと着信ランプが赤色で点灯します。

- 途中で中止するときはを押します。

お知らせ

- アウトカメラ撮影中はセルフタイマーのカウントダウン中にFOMA端末を折り畳んでも、背面ディスプレイに静止画撮影画面または動画撮影画面が表示され、カウントダウンが続行されます。インカメラ撮影中はカウントダウンを中止します。
- セルフタイマーのカウントダウン中にアラームが起動したり、MULTI を押したりすると、撮影は中止されます。

近くのものを撮影する<接写撮影>

接写撮影に切り替えると、約8～10cmのごく近い距離で被写体にピントを合わせられます。オートフォーカスを利用する場合は約8～40cmでピントが合います。

- インカメラ撮影時は接写撮影を利用できません。

1 静止画撮影画面または動画撮影画面で

接写撮影に切り替わり、が表示されます。

- 解除するときはもう一度 # を押します。

FOMA端末を折り畳んで静止画／動画を撮影する

1 **静止画撮影画面または動画撮影画面を表示中にFOMA端末を折り畳む**

カメラからの映像が背面ディスプレイに表示されます。
- 撮影待機中は次の操作ができます。
  サイドキー［▼］　：ワンタッチパワーライトの点灯と消灯の切り替え
  プッシュトークキー［P］：接写撮影ON（ ）と接写撮影OFF（表示なし）の切り替え
  プッシュトークキー［P］（1秒以上）
  ：静止画撮影と動画撮影の切り替え

2 **被写体にカメラを向けてサイドキー［▲］**

■ 静止画撮影のとき

シャッター音が鳴り、ワンタッチパワーライトと着信ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。
- 操作3に進みます。

■ 動画撮影のとき

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、ワンタッチパワーライトが赤色、着信ランプが5色（赤、黄、緑、青、紫）に約2秒間隔で点滅し、動画の撮影が始まります。サイドキー［▲］を押すと、再度撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画の撮影が終了します。

3 **撮影した静止画または動画を確認▶サイドキー［▲］**

撮影した静止画または動画が保存されます。
- 保存しないで撮影し直すときは、サイドキー［▼］を押します。
- FOMA端末を開いて、撮影した静止画または動画を確認して保存することもできます。

お知らせ
- 自動連写中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイは非表示のまま撮影は続行されます。アウトカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示され、サイドキー［▲］で撮影を続行できます。インカメラで手動連写中にFOMA端末を折り畳むと、その時点で撮影が中止されます。
  どの場合も、静止画詳細設定で自動保存を「しない」に設定しているときは、撮影終了後にディスプレイに撮影した静止画がサムネイル表示されます。自動保存を「する」に設定しているときは、設定した保存先に自動的に保存され、保存終了後に背面ディスプレイに静止画撮影画面が表示されます。

撮影時の設定を変更する

お買い上げ時
- 静止画撮影時
  フレーム：なし　画像サイズ：待受用（240×320）画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし
  撮影モード：オート　明るさ：±0　色の濃さ：±0　ホワイトバランス：オート　シャープネス：ノーマル
  カメラ感度：ノーマル　ちらつき調整：自動
- 動画撮影時
  フレーム：なし　画像サイズ：QCIF（176×144）品質：STD（標準）撮影種別：画像+音声
  サイズ制限：メール添付用（小）撮影モード：オート　明るさ：±0　色の濃さ：±0　ホワイトバランス：オート
  シャープネス：ノーマル　カメラ感度：ノーマル　ちらつき調整：自動

フレームを重ねて撮影したり、画像サイズ、画質、品質、サイズ制限、撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、シャープネス、カメラ感度、ちらつき調整の設定を変更できます。
- 動画撮影で、撮影種別が「音声のみ」のときに設定できるのは、品質、サイズ制限のみです。

〈例〉フレーム設定をするとき

1 **静止画撮影画面または動画撮影画面で ▶フレームのマークにカーソルを合わせる**

- 撮影待機中に 6 を押してもフレームのマークを選択できます。

2 でフレームを切り替える

フレーム名

フレームのマーク

- 6 を押してもフレームが切り替わります。
- 解除するときは 6 を1秒以上押します。

3 ● ［決定］を押す

フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームやサイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

□ :フレーム　　□ :フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF（176×144）、待受用（240×320）の画像サイズに対応しています。
- 静止画の画像サイズが次の場合はフレームを設定できません。
  - 電話帳用（96×72）
  - 背面待受用（96×96）
  - 横長VGA（640×480）
  - 縦長VGA（480×640）
  - SXGA（960×1280）
  - UXGA（1200×1600）
  - 2M（1224×1632）
  - 4M（1728×2304）
- 動画の撮影サイズをQVGA（320×240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 電話帳、ｉアプリ、メール作成からカメラを起動したときは、フレームを設定できません。
- お買い上げ時に登録されているフレーム→P438

お知らせ

- 撮影待機中に menu 3 1 を押すと、フレーム画像の一覧からフレームを設定できます。
- 画像サイズに対して縦横が逆のサイズのフレームを選択した場合、フレームは自動的に撮影サイズの向きに合わせて右に90度回転して表示されます。撮影待機中に menu 3 3 を押すと、フレームを180度回転させることもできます。たとえば、画像サイズが176×144の場合、144×176のフレームを回転して使えます。
- 撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、撮影待機中に menu 3 4 を押すとダウンロードしたフレームも使用できます。

画像のサイズを設定する

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影方法	画像サイズ	マーク	メール送信の可否
静止画撮影	電話帳用（96×72）	96×72	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。
	背面待受用（96×96）	96×96	
	Sub-QCIF（128×96）	128×96	
	QCIF（176×144）	176×144	
	待受用（240×320）	240×320	
	CIF（352×288）	352×288	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。 ファイル添付時に待受サイズ（240×320）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
	横長VGA（640×480）	640×480	
	縦長VGA（480×640）※1	480×640	
	SXGA（960×1280）※1	960×1280	
	UXGA(1200×1600)※1※2	1200×1600	
	2M（1224×1632）※1※2	1224×1632	
	4M（1728×2304）※1※2	1728×2304	
動画撮影	Sub-QCIF（128×96）	128×96	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。
	QCIF（176×144）	176×144	
	QVGA（320×240）	320×240	ｉモードメールに添付できません。

次ページへ続く

※1： アウトカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。
※2： ｉアプリ動作中の場合は選択できません。

- ｉモード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大500Kバイトです。
- ｉモード端末で見る際に最も適したサイズは、待受用（240×320）サイズです。
- 0を押しても画像サイズが切り替わります。

お知らせ
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

静止画の画質／動画の品質を設定する

■ 静止画撮影のとき

ECO エコノミー　：最も低い画質です。
ST スタンダード：標準的な画質です。
FINE ファイン　：最も高い画質です。

- 8を押しても画質が切り替わります。

■ 動画撮影のとき

LP（長時間）　：最も低い品質です。撮影時間は最も長くなります。
STD（標準）　：標準的な品質です。
HQ（高品質）　：画像の動きがなめらかです。
HQ+（最高品質）：最も高い品質です。撮影時間は最も短くなります。

- 8を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

■ 静止画撮影のとき

メール添付用（小）：ファイルサイズを9000バイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。
メール添付用（大）：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。
制限なし　：ファイルサイズを制限しません。

- 画像サイズがUXGA（1200×1600）、2M（1224×1632）、4M（1728×2304）以外の場合は、9を押してもサイズ制限が切り替わります。

■ 動画撮影のとき

メール添付用（小）：ファイルサイズを 290K バイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。
メール添付用（大）：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。
制限なし　：ファイルサイズを制限しません。（保存先が「miniSDカード」の場合のみ）

- 9を押してもサイズ制限が切り替わります。

お知らせ
- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

撮影モードを設定する

撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

オート　：標準的な撮影モードです。通常撮影でご利用ください。
人物※　：肌の色がきれいに見え、ソフトな感じになります。
風景　：晴れた野外での撮影に適しています。
夕景　：夕焼けなどの撮影に適しています。
夜景※　：夜景の撮影に適しています。手ぶれに注意してください。
逆光　：中央にある被写体が明るく見えるように撮影します。
ペット　：動きの速いペットなどの撮影に適しています。
花※　：明るく、鮮やかな感じになります。
スポーツ　：動きのある被写体の撮影に適しています。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

文字※　：時刻表などの文字をくっきり見えるように撮影します。
海・雪　：強い照り返しでの撮影に適しています。
銀塩カメラ調※　：コントラストの高いくっきりとした感じになります。
味わい※　：やわらかく温かみのある感じになります。
モノトーン　：モノトーン調で撮影します。
セピア　：セピア調で撮影します。
マニュアルモード：ホワイトバランス、色の濃さ、明るさなどを手動で設定できます。
※：動画撮影時は設定できません。

- 2を押しても撮影モードが切り替わります。

お知らせ
- マニュアルモードに設定した場合は、カメラおよびビデオカメラを終了しても、次の設定は保持されます。
  - 明るさ　- 色の濃さ　- ホワイトバランス　- シャープネス　- カメラ感度
- 自動連写（連続撮影自動、4コマ撮影自動）時は「夜景」に設定できません。

明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを調整します。

：－2　：－1　：±0　：＋1　：＋2

- 3を押し、を押しても明るさを調整できます。

お知らせ
- 撮影する静止画や動画によっては、明るさを調整しても表示があまり変化しない場合があります。

色の濃さを調整する

撮影する静止画や動画の色の濃さを調整します。

：－2　：－1　：±0　：＋1　：＋2

- 4を押し、を押しても色の濃さを調整できます。

お知らせ
- 撮影する静止画や動画によっては、色の濃さを調整しても表示があまり変化しない場合があります。
- 撮影モードがオートまたはマニュアルモードの場合のみ設定できます。

ホワイトバランスを調整する

自然光や照明光など、撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

オート：ホワイトバランスを自動的に調整します。
太陽光：晴天時の屋外で撮影するときに設定します。
くもり：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。
蛍光灯：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。
電球　：電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

- 5を押してもホワイトバランスが切り替わります。

お知らせ
- 撮影モードがオートまたはマニュアルモードの場合のみ設定できます。

その他の撮影時の設定

撮影する静止画や動画のシャープネス、カメラ感度、ちらつきを調整します。ちらつき調整をすると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

1　静止画撮影画面または動画撮影画面で MENU ▶ 2

カメラ

次ページへ続く

■ シャープネスを調整するとき

①4▶1～3

ノーマル：標準的な設定です。
シャープ：シャープな感じになります。
ソフト：ソフトな感じになります。

■ カメラ感度を調整するとき

①5▶1～3

ノーマル：標準的な設定です。
高感度：シャッター速度が短くなり、手ぶれしにくくなります。
低感度：シャッター速度が長くなり、手ぶれしやすくなりますが、ノイズの少ない静止画や動画が撮影できます。

■ ちらつきを調整するとき

①6▶1～3

お使いの地域の電源周波数を選択してください。「自動」を選択すると電源周波数は自動的に調整されます。

- カメラを終了しても、設定は保持されます。

お知らせ

- 撮影する静止画や動画によっては、シャープネスを調整しても状態があまり変化しない場合があります。
- 撮影する静止画や動画によっては、カメラ感度を調整してもシャッター速度が変化しない場合があります。
- シャープネスを「シャープ」、またはカメラ感度を「高感度」に設定すると、ノイズが多くなる場合があります。
- カメラ感度を「低感度」に設定すると、画像が暗くなる場合があります。
- カメラ感度の調整は、アウトカメラのみ効果があります。
- ちらつき調整の設定はテレビ電話のちらつき調整の設定にも反映されます。
- ちらつき調整を「自動」以外に設定していても、強い光源のあるような所ではちらつきが消えない場合があります。

撮影時の設定を初期値に戻す

初期値に戻るのは次の設定です。

- 撮影モード
- 明るさ
- 色の濃さ
- ホワイトバランス
- シャープネス
- カメラ感度
- ちらつき調整

1 静止画撮影画面または動画撮影画面でmenu▶2 7▶「はい」を選択

ワンショットメール

通話中に撮影した静止画を送信する

音声電話中に撮影した静止画を、ｉモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 本機能を使用するには、静止画詳細設定で保存先を「本体」に設定してください。

1 通話中に📷▶静止画を撮影

- 撮影のしかた→P164「カメラで静止画を撮影する」
- 連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。✥を押して、送信する静止画にカーソルを合わせてください。
- 静止画詳細設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメールに添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。ただし、静止画詳細設定で自動保存を「する」に設定し、保存先を「miniSDカード」に設定している場合は、メール添付できません。設定を変更してから撮影し直してください。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

2 ▶「はい」を選択

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P235

- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで保存されます。「メール添付用（小）」を選択すると9000バイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- メール添付の際は、保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。
- 撮影や保存した静止画のファイルサイズが9000バイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときはを押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面でを押します。

3 ｉモードメールを編集 ▶ ［送信］

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toに利用したりできます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- 読み取れるコードはJANコードとQRコードのみです。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。→P426

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

左のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

左のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

コードを読み取る

1 MENU ▶ 6 1

バーコードリーダーが起動して、自動的に接写撮影に切り替わります。

アウトカメラをコードから約6～11cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。

  ✉ ：ワンタッチパワーライトの点灯（ ）と消灯（表示なし）の切り替え

  \# ：接写撮影OFF（表示なし）と接写撮影ON（ ）の切り替え
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。

■ 通常の静止画撮影または動画撮影に切り替えるとき

① MENU ▶ 3 ▶ 1 または 2

- 待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。

2 コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせると自動的に読み取りが開始され が表示されます。コードの読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

■ コードを読み取り直すとき

① ［読取］を押す

- MENU 2 を押しても、読み取り直しができます。

3 MENU ▶ 4

読み取ったデータが保存されます。

- すでにデータを5件保存しているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーするとき

① MENU ▶ 1 ▶ **開始位置を選択**

- MENU を押すとすべての文字情報をまとめて選択できます。

②終了位置を選択

選択した範囲の文字情報がコピーされます。

お知らせ

- コードが読み取りにくい場合は、コードとアウトカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
- 電話着信音量調整とメール着信音量調整を「Silent」に設定している場合や、マナーモード中または公共モード中は、コードを読み取ったときの確認音が鳴りません。

分割されたQRコードを読み取る場合

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

- 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、CLR を押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択してください。読み取ったデータを破棄して、バーコードリーダーが終了します。

QRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取っていないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときは、画面の指示に従って保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている読み取りデータを削除してください。

保存した読み取りデータを利用する

〈例〉情報をFOMA端末またはFOMAカードの電話帳に登録するとき

1 **MENU ▶ 6 1 ▶ 決定 ▶ 利用する読み取りデータを選択**

■ 読み取りデータを削除するとき

①**削除する読み取りデータにカーソルを合わせてMENU ▶ 3 1 ▶「はい」を選択**

- すべての読み取りデータを削除するときはMENU 3 2を押して、認証操作を行い、「はい」を選択します。

2 **電話帳に登録する情報にカーソルを合わせてMENU ▶ 3 ▶ 1（新規登録）または2（更新登録）**

3 **1または2**

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ 情報を電話帳に一括登録するとき

①**「電話帳登録」を選択**

名前、フリガナ、電話番号、テレビ電話番号、メールアドレス、メモ、URL、住所、郵便番号、誕生日が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ ｉモードメールを送信するとき

①**メールアドレスまたは「メール作成」を選択**

宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合は、宛先、題名、本文が入力されています。

■ サイトまたはインターネットホームページに接続するとき

①**URLを選択 ▶「はい」を選択**

■ URLをブックマークに登録するとき

①**URLにカーソルを合わせてMENU ▶ 3 3**

- または「ブックマーク登録」を選択します。

②**保存するフォルダを選択**

- 「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名も登録されます。

■ ｉアプリを起動するとき

①**「ｉアプリ起動」を選択**

■ 音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかけるとき

①**電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定 ▶ MENU ▶「はい」を選択**

- 条件を設定して電話をかけられます。→P55

■ 静止画ファイルを保存するとき

①**静止画ファイルを選択 ▶「保存」を選択**

- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

②**各項目を選択して設定 ▶ 決定 ▶ 静止画の保存先を選択**

設定項目の詳細→P338

■ メロディデータを保存するとき

①**メロディデータを選択 ▶「保存」を選択**

- 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。

②**表示名を入力 ▶ 決定**

メロディデータがメロディ内の「データ交換」フォルダに保存されます。

お知らせ

- カメラ起動中やバーコードリーダーに対応しているｉアプリから、バーコードリーダーの起動もできます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子は JAN コードの場合「jan」、QRコードの場合「qr」になります。たとえば、2005年11月27日10時9分にJANコードを読み取った場合は「20051127100900.jan」になります。すでに同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が＋1されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合は「------------」＋ファイル項番＋拡張子になります。ファイル名は変更できません。

ｉモード／ｉモーション

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

■ **サイト（番組）接続**

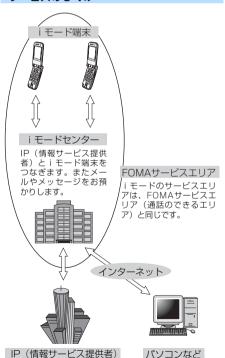
ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ **インターネット接続**

ｉモード端末にインターネットホームページのアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなインターネットホームページを閲覧できます。

■ **ｉモードメール**

ｉモード端末どうしだけでなくインターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが全角で最大5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

お知らせ

- 新規でFOMAサービスをご契約いただきますと、当日からすべてのサービスが利用できます。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していたマイメニューの内容は引き継がれます。ただし、サイトによってFOMAにマイメニューが引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。また、マイメニュー引継対応サイトについては、ｉMenuのお知らせ＆ヘルプで確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などについては、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更する場合があります。詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスを利用できます。

たとえば銀行の残高照会や振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、さまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や週刊ｉガイドなどにアクセスします。

- サイトの表示方法→P193

※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

1 **マイメニュー**

よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P197

ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。

2 **週刊ｉガイド**

新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。

3 **メニューリスト**

すべてのサイトをジャンル別、地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。

4 **とくするメニュー**

楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。

5 **ｉエリア**

今いる場所やその周辺に関する天気、地図、タウン情報などを簡単にご利用になれます。

6 **かんたん検索**

ゲーム、待受画面などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。

ｉアプリサーチ

情報料が無料のｉアプリやゲームなど、目的別に紹介しているメニューです。

便利サイトサーチ

メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。

7 **マイボックス**

サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。

8 **オプション設定**

ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。

9 **お知らせ＆ヘルプ**

ドコモからのお知らせやｉモードの利用方法、ご利用規則などを掲載しています。

■ **料金＆お申込**

料金の確認やお支払い、ご契約内容の変更や各種サービスのお申し込みができます。

ENGLISH

ｉMenuを英語表記に変更できます。

お知らせ

- サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- が点滅していても、ｉモードセンターとの通信が終了しているときは、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ ｉチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を、ドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉモード端末に配信するサービスです。

定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、chクリアを押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- 対応機種･･･ｉチャネル対応機種でご利用いただけます。詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末で取得し、再生したり、待受画面として楽しんだりできます。

ｉモーションを取得する→P216
ｉモーションを再生する→P312
ｉモーションを自動再生設定する→P219

■ 着モーション／着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末で取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなく、お好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。ただし、一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。

着モーションを設定する→P120、P314

- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がより便利になります。たとえばｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードして、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールができます。

ｉアプリをダウンロードする→P279
ｉアプリを起動する→P280
ｉアプリを自動起動する→P287

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけたりもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示したり、お好みのキャラクタにメール受信やアラームを知らせてもらったり、より便利な待受画面にすることもできます。

ｉアプリ待受画面を設定する→P128、P288

次ページへ続く

■ ｉアプリDX

ｉアプリDXは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

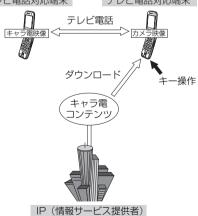
ｉアプリDX→P278

■ 3Dサウンド

3Dサウンド対応ｉモード端末では、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができます。3Dサウンド対応のコンテンツでは臨場感あふれるｉアプリのゲーム、ｉモーションや着信音などをお楽しみいただけます。

■ キャラ電

テレビ電話利用時に、相手のテレビ電話対応端末に、自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画ファイル、動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます。ただし、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル、動画ファイルは送信できません。

キャラ電をダウンロードする→P205
キャラ電の確認→P319
キャラ電を設定する→P81、P87、P321
キャラクタの操作方法→P319
キャラ電の撮影→P320

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用できます。

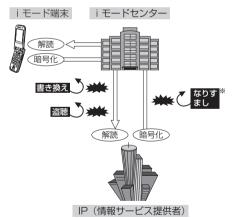
※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

赤外線通信モードにする→P291、P340

■ SSL通信

SSLとは認証技術と暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末からの特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものの2つがあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。→P214

ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用する→P214
FirstPassのユーザ証明書を利用する→P214

※：なりすましとは、第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能
お客様情報（電話番号、電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入することによって、サイトからダウンロードしたり、メールで取得したメロディ、静止画、ｉモーションなどのファイルの動作を制限し、IP（情報サービス提供者）から提供された情報を保護する機能です。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり未挿入の状態でｉモード端末の電源を入れた場合、取得したファイルの再生や表示ができなくなります。→P38
※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画や動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルは、本機能の対象外となります。
※ 着信音や待受画面設定などをｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がお買い上げ時の状態になります。

■ ｉメロディ
サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。
→P204

■ ｉアニメ
サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画像や着信画像に表示できます。→P126、P131、P203

■ Flash™
Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定できます。
Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 時刻情報
- バイリンガル設定
- 受信レベル
- 着信音量調整
- 機種情報

■ メッセージサービス
メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

メッセージサービスの受信方法→P210、P243

- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」になっています。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様自身で「受信しない」に設定を変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
  ※ 上記の場合以外のお客様がメッセージＦをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」に設定されています。
- お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えると、古いものから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せにより受信できます。→P243

■ トクだねニュース便
メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見られます。
メッセージRの画面の見かた→P212

■ ｉモードパスワード
有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録／解除、ｉモードメールの設定などを行うときにはｉモードパスワードが必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁の数字に変更してください。→P198
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。
- 表示方法→P198

お知らせ
- ｉモード対応のインターネットホームページ（ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページ）以外は正しく表示されない場合があります。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末にダウンロードした文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリ、ｉモーションでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトからダウンロードした静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態になります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

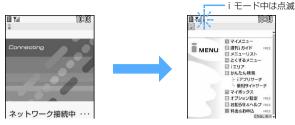
お知らせ

- パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに保管できます。
- miniSDメモリーカード（別売）にメール、ブックマークなどの内容を保存できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

サイトを表示する

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1 ▶ 1

- 接続中画面で●を押すと、接続を中止します。
- サイト表示中に8を1秒以上押すと、ｉモードが切断されます。
- 1、2 などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能)。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2 「3メニューリスト」を選択

- ページ読み込み中にを押すと、ページの読み込みを中止します。

3 表示する項目を選択

サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら ▶「はい」を選択

サイトの表示が終了します。

お知らせ

- サイト表示中にｉMenuに戻る場合はを押し、「ｉMenu」を選択します。
- サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示される場合があります。

- サイトから、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が要求されたときに表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために使われます。
  送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

- サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときに表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、を押します。

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  - ：表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  - ：画像のURLの誤りなどで画像を表示できないとき
- ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外が表示されているときはご利用になれません。

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
- 日付・時刻が未設定の場合、SSLページによっては接続できないことがあります。
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

SSLページに接続する

SSLページに接続する場合はSSL通信を開始する旨のメッセージが表示されます。
- SSLページが表示されるとディスプレイ上部に 🔑 が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示するとき

① (MENU) ▶ (9) (2)
証明書の内容→P214

SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。
- 「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の 🔑 が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は、次の画面が表示されます。

1 「はい」を選択▶PIN2コードを入力

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。
- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

お知らせ
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→P214
- FirstPass対応ページに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイの対象外となります。

最後に表示したページに再接続する<ラストURL> MENU 25

最後に表示したサイトやインターネットホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 (i) ▶ (5) ▶ (●) [接続]

- ラストURLが記録されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ
- 最後に表示したページによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

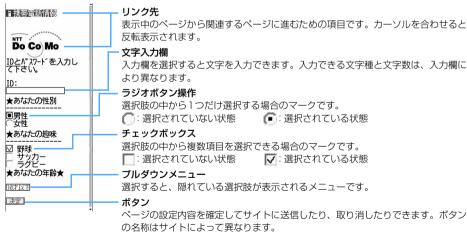
サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

Flash画像の表示について

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像により、サイトの表現力がより豊かになります。

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、表示動作が通常のサイト表示と異なる場合があります。
- Flash画像によってはガイド行に✥が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像によっては、画面メモや画像保存をしても画像の一部が保存されないなど、サイトでの見えかたが異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は電話着信音の音量設定に従います。効果音を鳴らさない場合は、MENU 9 3 を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- バイブレータ設定を「OFF」以外に設定しているときに、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定を「OFF」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。
- 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生するには 0 ～ 9、*、#、、、、、、サイドキー［▲▼］のいずれかのキーを押してください。
- Flash画像を最初から再生する場合は、MENU 9 6 を押してください。
- Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の端末情報データ利用設定を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、利用する登録データには次のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 時刻情報
  - 着信音量調整
  - バイリンガル設定
  - 機種情報
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

リンク先や項目を選択する

iモード接続中、サイトによっては次のような操作ができます。

■ リンク先を表示する

① ▶項目を選択

- 画像にリンクが設定されている場合もあります。画像にカーソルを合わせて（枠で囲まれます）●を押すと、リンク先が表示されます。

次ページへ続く

■ 文字を入力する

① Ⓒ ▶ 入力欄を選択 ▶ 文字を入力

- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。
- 文字入力画面で MENU 8 2 を押すと、バーコードリーダーで読み取った内容を入力できます。

■ ラジオボタンを選択する

① Ⓒ ▶ ラジオボタンを選択

■ チェックボックスを選択する

① Ⓒ ▶ チェックボックスを選択

■ プルダウンメニューを選択する

① Ⓒ ▶ プルダウンメニューを選択 ▶ Ⓒ ▶ メニュー項目を選択

- サイトによっては、1つのプルダウンメニュー選択画面で Ⓒ を押して項目を選択する操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後に Ⓒ を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

■ ボタンを選択する

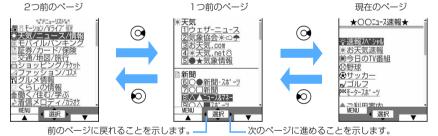
① Ⓒ ▶ ボタンにカーソルを合わせて（実線枠で囲まれます）◉

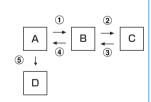
お知らせ

- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄のそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

前のページに戻る／進む

FOMA端末は、ページの履歴を最大20件記録しています。ページの履歴を一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といい、Ⓒ を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは、Ⓒ を押すと通信を行います。

- FirstPassセンター接続中（→P214）は本機能を利用できません。

お知らせ

- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが、さらにページBには戻れません。
- サイトの表示履歴が満杯になると、キャッシュに保存されている履歴が消去される場合があり、これによって Ⓒ を押しても前ページに戻れないことがあります。
- 入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュに記録された履歴はすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。

画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージR/Fなどの内容を表示中に、画面を上下にスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときはガイド行に▲や▼が表示されます。

- ⓞを押してスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
- ⓞⓞを押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールできます。

情報を再読み込みする

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に(MENU) ▶ (5)

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

1 サイト表示中に(MENU) ▶ (9)(1)

お知らせ

- URL 履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、(MENU)を押し、「URL表示」を選択します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- マイメニューには最大45件登録できます。登録にはｉモードパスワードが必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、マイメニューに登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 マイメニューに登録するサイトを表示 ▶「マイメニュー登録」を選択

- 各サイトによりページ構成が異なります。項目に対応する番号のキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 ｉモードパスワードの入力欄を選択 ▶ ｉモードパスワードを入力 ▶「決定」を選択

入力したパスワードは「*」で表示されます。

- ご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されています。

マイメニューからサイトを表示する

1 (i) ▶ (1) ▶「1マイメニュー」を選択 ▶ 表示するサイトを選択

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録または削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込みまたは解約、メール設定を行うときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- iモードパスワードの入力欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- iモードパスワードをお忘れの場合は、ドコモショップなどの窓口において運転免許証などの公的証明書によりご契約者本人であることを確認させていただいた上で、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 ▶1▶「8オプション設定」を選択▶「2iモードパスワード変更」を選択

2 現在のパスワードの入力欄を選択▶iモードパスワードを入力

3 新パスワードの入力欄を選択▶新しいiモードパスワードを入力

4 新パスワード確認の入力欄を選択▶操作3で入力したiモードパスワードを入力

5 「決定」を選択

iモードパスワードが変更されます。

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択してiモードパスワードの設定画面に戻り、操作2から操作し直します。

インターネット接続　MENU 231

インターネットホームページを表示する

インターネットに接続して、iモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、インターネットホームページのアドレス(URL)で指定します。

1 ▶31

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 URLを入力▶[接続]

- 半角で最大256文字入力できます。
- URLによく使う「/」「.」「-」などの記号は、半角英字入力モード時に1を繰り返し押すたびに入力できます。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、半角英字入力モード時に*を繰り返し押すたびに入力できます。

お知らせ

- サイト表示中にインターネット接続の操作をする場合はmenuを押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、iモードのサイトと同じです。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときは、メッセージが表示されます。●を押すとメッセージが消え、受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示する<URL履歴> MENU 232

FOMA端末は、接続したインターネットホームページのURLを記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。
- URL履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 ▶3 2▶**表示するインターネットホームページのURLを選択**

- URLが途中までしか表示されていないときは、URLにカーソルを合わせてを押すと表示できます。

■ URL履歴を削除するとき

①**URL履歴一覧で削除するURLにカーソルを合わせてMENU▶4 1▶「はい」を選択**
- すべてのURLを削除するときはURL履歴一覧でMENU 4 2を押し、認証操作を行い、「はい」を選択します。

お知らせ
- サイト表示中に操作する場合はMENUを押し、「Internet」→「URL履歴」を選択します。

文字を正しく表示する<文字コード>

FOMA端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字を正しく表示させるためには、文字コードが一致している必要があります。サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用できるようにするために作られた文字の番号体系のことです。

1 **サイトやインターネットホームページ表示中にMENU▶9 5 1**

- MENU 9 5 1を押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

頻繁に見るサイトやインターネットホームページを、ブックマークに登録しておくと便利です。登録したブックマークを選択するだけで、すばやく表示できます。
- 最大登録件数→P480
- ブックマークに登録できるのはURL文字数が半角で256文字までのサイトです。ただし、サイトによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

1 **ブックマークに登録するサイトを表示▶MENU▶2 1▶登録先フォルダを選択**

- ブックマークは20個のフォルダに分類できます。

お知らせ
- サイト表示中にURL履歴からブックマーク登録するときはMENUを押し、「Internet」→「URL履歴」を選択してURL履歴一覧を表示します。登録するURLにカーソルを合わせてMENUを押し、「Bookmark登録」を選択します。
- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL履歴一覧から操作する場合はMENUを押し、「Bookmark登録」を選択します。
- 最大登録件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択してください。

ブックマークからホームページやサイトを表示する MENU 22

1 ▶2▶**フォルダを選択**

- マークの意味は次のとおりです。
  ：ブックマークなし　　：ブックマークあり

2 **表示するブックマークを選択**

マークの意味→P200「ツータッチサイト登録をする」操作2

■ URLを確認するとき
①URLを確認するブックマークにカーソルを合わせて

お知らせ
・サイト表示中に操作する場合は[MENU]を押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

ブックマークのフォルダ名を変更する

1 ▶[2]▶フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]

2 フォルダ名を入力▶［登録］
・全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

ブックマークのタイトルを変更する

・登録されているブックマークのURLを変更する操作ではありません。

1 ▶[2]▶フォルダを選択▶タイトルを変更するブックマークにカーソルを合わせて

2 タイトルを変更▶［登録］
・全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
・タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。
・ブックマーク一覧では、タイトルまたはURLが全角で10文字、半角で21文字まで表示され、ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

少ないキー操作でサイトに接続する<ツータッチサイト登録>

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面からすばやくサイトやインターネットホームページを表示できます。

ツータッチサイト登録をする

1 ▶[2]▶フォルダを選択▶ツータッチサイト登録するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

2 登録先を選択
アイコンの番号（[0]～[9]）が、サイト表示に使用するキー（[0]～[9]）に対応しています。登録するキーの番号を選択してください。
・ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークがからに[0]～[9]に変わります。

ツータッチサイトを解除する

1 ▶[9][1]▶解除するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶「はい」を選択

■ ブックマーク一覧から解除するとき
①▶[2]▶フォルダを選択▶解除するブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

ツータッチでサイトを表示する<ツータッチサイト表示>

1 ツータッチサイト登録した番号のダイヤルキー（[0]～[9]）▶

■ ツータッチサイト一覧からサイトを表示するとき
①▶[9][1]▶ブックマークを選択

ブックマークを削除する

ブックマークを1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりできます。
・ブックマークのフォルダは削除できません。

〈例〉ブックマークを1件削除するとき

1 [i] ▶ [2] ▶ フォルダを選択

■ ブックマークを全件削除するとき

①フォルダ一覧で[menu] ▶ [2] ▶ 認証操作 ▶ 操作3に進む

■ フォルダ内のブックマークを全件削除するとき

①フォルダにカーソルを合わせて[menu] ▶ [1] ▶ 認証操作 ▶ 操作3に進む

2 削除するブックマークにカーソルを合わせて[menu] ▶ [3][1]

■ ブックマークを複数選択して削除するとき

① [menu] ▶ [3][2] ▶ ブックマークを選択 ▶ [☺]

■ フォルダ内のブックマークを全件削除するとき

① [menu] ▶ [3][3] ▶ 認証操作

3 「はい」を選択

お知らせ

- ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

ブックマークを移動／コピーする

保存されているブックマークを別のフォルダに移動したり、miniSDメモリーカードにコピーしたりできます。また、赤外線通信を利用してブックマークを赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。

〈例〉ブックマークを1件移動するとき

1 [i] ▶ [2] ▶ フォルダを選択

2 移動するブックマークにカーソルを合わせて[menu] ▶ [6][1]

■ 複数選択して移動するとき

① [menu] ▶ [6][2] ▶ ブックマークを選択 ▶ [☺]

■ miniSDメモリーカードへ1件コピーするとき

① [menu] ▶ [6][3][1] ▶ 「はい」を選択

■ miniSDメモリーカードへバックアップ（全件）するとき

① [menu] ▶ [6][3][2] ▶ 認証操作 ▶ 「はい」を選択

3 移動先のフォルダを選択

ブックマークを並べ替える<ソート>

ブックマーク一覧の並び順（「アクセス日付順」）を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は元に戻ります。

- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。

1 [i] ▶ [2] ▶ フォルダを選択 ▶ [menu] ▶ [7] ▶ [1]～[4]

お知らせ

- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル名順」の並び順の結果が50音順にならない場合があります。

iモード／iモーション

画面メモ
サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。
- 最大保存件数→P480

画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

1 画面メモとして保存するサイトを表示▶MENU▶4 1
- サイトのタイトルが自動的に保存されます。タイトルがない場合は「無題」として保存されます。

お知らせ
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画面メモを削除してください。保護されている画面メモは上書きできません。

画面メモを表示する　MENU 24

1 i▶4▶表示する画面メモを選択
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：通常の画面メモ　　：保護されている画面メモ
- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。→P195

お知らせ
- サイト表示中に操作する場合はMENUを押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。このとき、文字コードを変更していた場合、サイト表示に戻ると、文字コードは「自動選択」に戻ります。
- 画面メモ表示中にもう一度Flash 画像を動作させるときは、MENUを押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 i▶4▶タイトルを変更する画面メモにカーソルを合わせて

2 タイトルを変更▶ ［登録］
- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧には「無題」と表示されます。

お知らせ
- 画面メモ表示画面から操作する場合はMENUを押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 最大保護件数→P480

〈例〉画面メモを1件保護するとき

1 i▶4

2 保護する画面メモにカーソルを合わせてMENU▶1 1
- 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが から に変わります。

■ 複数選択して保護するとき
①MENU▶1 2▶画面メモを選択▶

■ 保護を1件解除するとき
①保護を解除する画面メモにカーソルを合わせてMENU▶1 3

■ 保護を複数選択して解除するとき
①MENU▶1 4▶画面メモを選択▶

■ 保護を全件解除するとき
① menu ▶ 1 5

お知らせ
• 画面メモ表示画面から操作する場合は menu を押し、「保護」または「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

画面メモを1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。
• 保護されている画面メモは削除できません。画面メモの保護を解除してから削除してください。

〈例〉画面メモを1件削除するとき

1 ▶ 4

2 削除する画面メモにカーソルを合わせて menu ▶ 2 1

■ 複数選択して削除するとき
① menu ▶ 2 2 ▶ 画面メモを選択 ▶

■ 全件削除するとき
① menu ▶ 2 3 ▶ 認証操作

3 「はい」を選択

お知らせ
• 画面メモ表示画面から操作する場合は menu を押し、「削除」を選択します。

画像保存
サイトから画像をダウンロードする

サイトやｉアプリなどから、画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像はマイピクチャから表示したり、待受画面などに設定したりできます。
• 保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
• GIF形式、JPEG形式、Flash形式の画像を保存できます。
• 最大保存件数→P480

〈例〉サイトからダウンロードするとき

1 画像のあるサイトを表示 ▶ menu ▶ 6 1 ▶ 保存する画像を選択

■ サイトの背景画像を保存するとき
① 背景画像のあるサイトを表示 ▶ menu ▶ 6 2

2 各項目を選択して設定
• サイトからダウンロードした画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。
• メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）は、表示名以外は変更できません。
• menu を押すと画像の利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P307
• 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
• ファイル名は半角英数字と「．」「-」「＿」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「．」は使用できません。
• コメントは全角・半角を問わず最大100文字入力できます。
• フレーム候補、スタンプ候補を設定する場合は、設定する項目を選択し、1 または 2 を押します。

次ページへ続く

3 ▶保存先を選択

お知らせ
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式で640×480、JPEG形式で1728×2304より大きい画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。
- 横縦（または縦横）のサイズが352×288より大きい画像はフレーム候補にできません。
横縦（または縦横）のサイズが240×320以上の大きい画像はスタンプ候補にできません。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。削除する前に、画像一覧でを押すと画像を表示し、を押すと画像の詳細情報を表示できます。

iメロディ

サイトからメロディをダウンロードする

サイトからメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します（iメロディ対応）。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。
- 保存できるメロディのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
- 最大保存件数→P480

1 メロディのあるサイトを表示▶ダウンロードするメロディを選択
- ダウンロード中にを押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択
- メロディを再生して確認するには、「再生」を選択します。
- メロディを保存しないときは、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 表示名を入力▶［保存］
ダウンロードしたメロディは、メロディ内の「iモード」フォルダに保存されます。→P322
- 表示名は全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

お知らせ
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているメロディを削除してください。削除する前に、メロディ一覧でを押すとメロディを再生し、を押すとメロディの詳細情報を表示できます。

サイトからPDFデータをダウンロードする

サイトからPDFデータをダウンロードし、表示したり、保存したりします。
- 保存できるPDFデータのサイズは1件あたり最大2Mバイトです。
- 最大保存件数→P480

1 PDFデータのあるサイトを表示▶ダウンロードするPDFデータを選択
PDFデータがダウンロードされ、表示されます。
PDFデータ表示中の操作方法→P348「PDFデータを表示する」操作3
- ダウンロード中にを押すと、ダウンロードを中止します。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの残りをダウンロードする場合は、を押します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ PDFデータにパスワードが設定されているとき

パスワードの入力画面が表示されます。

①パスワードを入力

- 文字の入力方式を切り替えるには、[m]を押して、英字の場合は[0]、数字の場合は[*]、記号の場合は[1]、定型文の場合は[7]を押します。
- [CLR]を押すと、半角の記号一覧を表示できます。

②[m]を押す

2 [MENU] ▶ [2]

3 **表示名を入力 ▶ [m] ▶ 保存先を選択**

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- ガイド行に「miniSD」が表示された場合に[CLR]を押すと、miniSDメモリーカードに保存できます。
- すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードしたところまで保存されます。

お知らせ

- 500Kバイトより大きいPDFデータをダウンロードしようとすると、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
- 2Mバイトより大きいPDFデータをダウンロードしようとした場合、最大サイズを超えているためダウンロードできない旨のメッセージが表示され、ダウンロードできません。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、しおりやマークの内容が異なるときは、異なるしおりやマークが追加で保存されます。ただし、しおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数を超えている旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでしおりやマークを削除してください。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードして保存する場合、PDFデータによっては、PDFデータを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、FOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存されているPDFデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているPDFデータを削除してください。miniSDメモリーカード内のPDFデータを削除するときはネットワークが切断されます。削除する前に、PDFデータ一覧で[MENU]を押すとPDFデータの詳細情報を表示できます。
- [●]を押してダウンロードを中止したり、通信が切断されたりして、途中までしか保存していないPDFデータは、保存先の一覧画面に[アイコン]で表示されます。マークを選択するともう一度ダウンロードが開始され、ダウンロードに成功するとPDFデータが表示されます。ただし、PDFデータによっては再ダウンロードや表示ができない場合があります。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからキャラ電をダウンロードしてFOMA端末に保存します。保存したキャラ電はテレビ電話で自分の映像の代わりに送信したり、待受画面に設定したりできます。

- 保存できるキャラ電のサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P480

1 **キャラ電のあるサイトを表示 ▶ ダウンロードするキャラ電を選択**

- ダウンロード中に[m]を押すと、ダウンロードを中止します。

2 **「保存」を選択**

- キャラ電を表示して確認するには、「表示」を選択します。
- キャラ電を保存しないときは、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 **各項目にカーソルを合わせて入力 ▶ [m]［保存］**

ダウンロードしたキャラ電は、キャラ電内の「iモード」フォルダに保存されます。→P319

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- コメントは全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているキャラ電を削除してください。削除する前にキャラ電削除画面で[m]を押してキャラ電を表示したり、[MENU]を押してキャラ電の詳細情報を表示したりできます。

サイトからトルカをダウンロードする

サイトからトルカをダウンロードしてFOMA端末に保存します。保存したトルカは、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。

- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P480

1 トルカのあるサイトを表示▶ダウンロードするトルカを選択

- ダウンロード中に⊡を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

ダウンロードしたトルカは、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。→P300

- トルカを表示して確認するには、「プレビュー」を選択します。
- トルカを保存しないときは、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

ｉモードの便利な機能

表示中の画面に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話やテレビ電話、プッシュトークをかけたり（Phone To／AV Phone To）、ｉモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、これらの情報を電話帳に登録することもできます。

- サイトによっては、利用できない機能があります。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 サイトを表示▶電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ選択できます。

2 ◉［選択］を押す

■ Phone To（AV Phone To）のとき

① **発信条件を設定▶menu▶「はい」を選択**

設定した内容で電話がかかります。

条件を設定して電話をかける→P55

■ Mail Toのとき

① **ｉモードメールを作成して送信**

選択したメールアドレスにｉモードメールが送信されます。

ｉモードメールの作成・送信方法→P227

■ Web Toのとき

サイトに接続されます。

お知らせ

- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To機能を利用できないことがあります。

URLをコピーする

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると前にコピーした文字は上書きされます。

〈例〉サイトのURLをコピーするとき

1 サイトのURLを表示▶menu▶1

URLを表示する→P197

ｉモード／ｉモーション

2 コピーする範囲の開始位置を選択 ▶ 終了位置を選択

- 全文を選択する場合はmenu●を押します。
- 開始位置を指定し直すときはchクリアを押します。
- 開始位置指定後にmenuまたは📖を押すとカーソルが文頭、または文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P427

お知らせ

- URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合はmenuを押し、「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
- 表示中のサイトのURLをメールに貼り付けるには、サイト表示中にmenuを押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に新規に登録したり、登録済みの電話帳データに追加したりできます。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせてmenu ▶ 8 1

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

①登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせてmenu ▶ 8 2

3 1 または 2

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

①1または2

②更新する電話帳データを選択

4 名前などを設定 ▶ 📖［登録］

- 登録済みの電話帳データに追加した場合は、内容を確認して登録してください。

電話帳の登録方法→P103、P105

お知らせ

- 登録済みの電話帳データに追加すると、以前に登録した内容が変更される場合があります。
- 画面メモ表示画面から操作する場合はmenuを押し、「電話帳」を、メッセージR/F詳細画面から操作する場合はmenuを押し、「登録」を選択します。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に新規に登録したり、登録済みの電話帳データに追加したりできます。

〈例〉ブックマーク一覧から新規登録するとき

1 i ▶ 2 ▶ フォルダを選択

2 登録するブックマークにカーソルを合わせてmenu ▶ 8 1

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

①登録するブックマークにカーソルを合わせてmenu ▶ 8 2 ▶ 更新する電話帳データを選択

3 名前などを設定▶ [登録]

- を押して「その他」の画面を表示するとURLが確認できます。
- 登録済みの電話帳データに追加した場合は、内容を確認して登録してください。
電話帳の登録方法→P103

お知らせ
- 画面メモ一覧から操作する場合はを押し、「電話帳」を選択します。

i モード設定

i モードの設定を行う

i モード接続に関する各種機能を設定します。

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定> MENU 295

お買い上げ時　60秒間

i モードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続が中断されるため、キー操作で中断する必要はありません。

1

お知らせ
- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などにより i モードセンターとの接続が中断される場合があります。

i モードから接続先を変更する<ISP接続通信> MENU 296

お買い上げ時　i モード（FOMAカード）

※ドコモの i モードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモの i モード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続を行った際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。

1 ▶ ▶ 編集するユーザ設定にカーソルを合わせて

- i モード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

■ i モードを利用する設定に戻すとき

①「i モード（FOMAカード）」を選択▶操作4に進む

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

①接続先を選択▶操作4に進む

2 認証操作▶各項目を選択して入力▶

- 接続先名称は全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。
- 接続先は半角英数字で最大99文字入力できます。
- 接続先アドレス、接続先アドレス2は半角英数字で最大30文字入力できます。
- 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。
- を押すと、すでに入力した項目の内容を一括削除できます。

3 編集した接続先を選択

4 ［登録］を押す

お知らせ

- 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。また、ｉチャネルの情報が自動更新されない場合があります。待受画面でを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。

画像表示／照明／効果音を設定する<表示・効果設定> MENU 292

お買い上げ時　画像、アニメーション：表示する　端末情報データ利用設定：利用する　照明設定：常灯　効果音設定：ON

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash再生時）を設定します。

1 ▶▶下記の各項目を選択して設定▶［登録］

画像　：画像を表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、画像や Flash 画像も表示されず、が表示されます。また、アニメーション、端末情報データ利用設定は設定できません。

アニメーション
：アニメーションを表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定
：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

照明設定　：ディスプレイの照明方法を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従います。
- 「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。

効果音設定：Flash効果音を再生するかどうかを設定します。

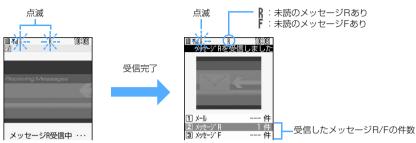
お知らせ

- サイト表示中に操作する場合はを押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- アニメーションを「表示しない」に設定してもFlash画像は再生されます。
- 画像の設定は、メッセージR/Fの本文に組み込まれている画像の表示／非表示にも反映されます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定のON／OFFもメッセージR/Fには影響しません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量調整、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- 最大保存件数→P480

1 メッセージR/Fを受信

メッセージRを受信中のときは と R が、メッセージFを受信中のときは と F が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

- メッセージ受信中画面で(●)を押すと受信を中止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P31
- メッセージ自動表示で設定したメッセージを受信した場合は、受信結果画面が表示されてから何も操作しないでいると、受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。メッセージ自動表示で設定されていないメッセージや「表示しない」に設定してメッセージを受信した場合は、受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないでいると自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときは(ch クリア)を押します。

■ 受信に失敗したとき

受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

お知らせ

- 受信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面は表示されません。→P266
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源がOFFのとき
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→P213
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には や が表示されます（→P29）。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（→P211）、不要メッセージR/Fの削除（→P213）、保護解除（→P213）などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは や （→P29）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数（→P191）が満杯になったときは、マークが や （→P29）に変わります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 メールやメッセージの受信結果画面で(2)または(3)

1 メール	1	件
2 メッセージR	1	件
3 メッセージF	---	件

- (1)を選択するとｉモードメールが表示されます。
- 受信したメッセージRは「メッセージR」フォルダ、メッセージFは「メッセージF」フォルダに保存されます。

ｉモード／ｉモーション

2 メッセージR/Fを選択

• メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定することもできます。

メッセージR/Fの見かた→P212

メッセージR/Fを自動的に表示する<メッセージ自動表示> MENU 2731

お買い上げ時 メッセージR優先

メッセージR/Fを受信したときに、内容を自動的に表示（約15秒間）するかどうかを設定します。メッセージR/Fのどちらか一方のみ、またはメッセージR/Fのいずれかを優先して表示するようにも設定できます。

1 ▶ 7 3 1 ▶ 1 ～ 5

お知らせ

• メッセージ自動表示をすると、メッセージR/Fの受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。自動表示中にキー操作をしなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
• 待受画面表示中の場合のみ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作をした場合や、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信した場合は、自動表示されません。

メッセージR/F着信時の動作を設定する<メッセージ着信設定> MENU 2734

お買い上げ時 着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10

1 ▶ 7 3 4 ▶ 1 または 2

2 下記の各項目を選択して設定 ▶ [登録]

着信音選択：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312
メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作→P120

着信イルミネーション設定：着信ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を1～30秒の範囲で設定します。

お知らせ

• メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
• 本機能でメッセージR/Fの着信音を変更した場合は、着信音設定のメッセージR/Fの着信音にも反映されます。

メッセージR／メッセージF MENU 271/272

保存されているメッセージR/Fを表示する

FOMA端末に保存されているメッセージR/F を表示します。

• 未読のメッセージR/Fがあるときは待受画面に R または F が表示されます。

1 ▶ 7 ▶ 1 または 2

2 表示するメッセージR/Fを選択

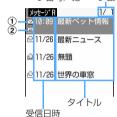
ｉモード／ｉモーション

お知らせ

- 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
  - 画像をFOMA端末に取得できます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。
  - 画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。→P193
  - 画像を受信できなかったときは、受信し直せます。→P212
  - 本文中の画像は削除できません。

メッセージ一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

メッセージ一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①状態マーク
    - ：未読　：既読　：保護
  - ②添付マーク
    - ：画像　：メロディ　：トルカ
    - ：画像、メロディ、トルカのいずれか2つ以上
    - ：ファイル異常
- 受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

メッセージ詳細画面の見かた

メッセージR/F番号
添付マーク
状態マーク

ﾒｯｾｰｼﾞR　001
05/11/27 10:09
最新ペット情報
hamster.gif　1.7KB
ペット○×最新ニュース
- END -

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信日時　：タイトル
- を押すと前後のメッセージR/Fを表示できます。

お知らせ

- 添付ファイルがある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。添付ファイルの操作方法はｉモードメールと同じです。
  - 画像のマークの意味→P245「添付されている画像を表示・保存する」操作1
  - メロディのマークの意味→P247「ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存する」操作1
  - トルカのマークの意味→P248「ｉモードメールに添付されているトルカを保存する」操作1

メッセージR/F内の画像を再読み込みする<再読み込み>

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときに、画像を受信し直します。

- 表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているときは、再読み込みを行っても画像は受信できません。画像を受信したいときは「表示する」に設定してください。→P209
- 画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 **メッセージR/F一覧を表示▶メッセージR/Fを選択**

- は未受信の画像データがあることを示します。

2 MENU▶1

画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する<メッセージ保護>

メッセージR/Fを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P480
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

〈例〉メッセージR/Fを1件保護するとき

1 メッセージR/F一覧を表示

2 保護するメッセージR/Fにカーソルを合わせて[menu]▶[2][1]

メッセージR/Fが保護され、状態マークが[mail icon]から[protected mail icon]に変わります。

■ 複数選択して保護するとき

①[menu]▶[2][2]▶メッセージR/Fを選択▶[center key]

■ 保護を1件解除するとき

①保護を解除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて[menu]▶[2][3]

■ 保護を複数選択して解除するとき

①[menu]▶[2][4]▶メッセージR/Fを選択▶[center key]

■ 保護を全件解除するとき

①[menu]▶[2][5]

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から保護または解除する場合は[menu]を押し、「保護」または「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する<メッセージ削除>

メッセージR/Fを1件ずつ選択して削除したり、複数選択して削除したり、既読のメッセージR/Fやすべてのメッセージ R/Fをまとめて削除したりします。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。メッセージR/Fの保護を解除してから削除してください。

〈例〉1件削除するとき

1 メッセージR/F一覧を表示

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて[menu]▶[1][1]

■ 既読のメッセージR/Fのみを削除するとき

①[menu]▶[1][2]

■ 複数選択して削除するとき

①[menu]▶[1][3]▶メッセージR/Fを選択▶[center key]

■ 全件削除するとき

①[menu]▶[1][4]▶認証操作

3 「はい」を選択

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から1件削除する場合は[menu]を押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ<表示種別>

メッセージR/F一覧に、指定した種別のメッセージR/Fだけを一時的に表示します。表示を終了すると、「すべて表示」に戻ります。

1 メッセージR/F一覧を表示▶[menu]▶[3]▶[1]～[4]

選択した表示種別で表示されます。

- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定する<証明書表示／使用設定> MENU 2971

お買い上げ時　CA証明書1～9　ドコモ証明書1

証明書を表示する

- ユーザ証明書はダウンロードすると、表示されます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、ドコモ証明書、ユーザ証明書は表示されません。

1 ▶ 9 7 1 ▶ **表示する証明書を選択**

CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
ドコモ証明書：FirstPass センターやFirstPass 対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。
ユーザ証明書：FirstPass 対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPass センターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。

お知らせ

- 証明書の表示内容
  所有者
  CN= ：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O= ：（Organization）会社名など
  C= ：（Country）国名
  発行者
  CN= ：（Common Name）サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU= ：（Organization Unit）会社の部署など
  O= ：（Organization）会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 ▶ 9 7 1 ▶ **設定する証明書にカーソルを合わせて MENU**

2 **［登録］を押す**

チェックされている証明書が有効に設定されます。

FirstPassを設定する<ユーザ証明書操作> MENU 2972

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をし、証明書のダウンロードを行います。

- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は、変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/F の受信はできません。

証明書の発行申請・証明書をダウンロードする

1
▶ 9 7 2 ▶ **「次へ」を選択 ▶「1証明書発行」を選択**

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞを行ってください。
・当サイトの閲覧/ご利用にあたってのﾊﾟｹｯﾄ通信料は無料です。

■ 発行された証明書を失効させるとき

①「3その他」を選択 ▶「1証明書失効」を選択 ▶「はい」を選択
②PIN2 コードを入力 ▶「実行」を選択 ▶「次へ」を選択 ▶「実行」を選択

2 「実行」を選択▶PIN2コードを入力

現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行/ﾒﾆｭｰ

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

3 「ダウンロード」を選択▶「実行」を選択

FirstPass

証明書の発行申請が完了しました。
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ操作を行ってください。

ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ/ﾒﾆｭｰ

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書一覧に追加されます。→P214

お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。
- 添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、FirstPassを使った通信ができます。詳細はCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPass Manual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する<証明書発行接続先設定> MENU 2973

お買い上げ時　接続先：ドコモ

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行の接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 ▶

次ページへ続く

2 接続先欄を選択 ▶ 2

- FirstPassに接続する設定に戻すときは、1を押し、操作5に進みます。

3 ユーザ設定接続先の入力欄にカーソルを合わせて接続先を入力

- 半角英数字で最大99文字入力できます。

4 ユーザ設定初期画面URLの入力欄にカーソルを合わせてURLを入力

- 半角英数字で最大100文字入力できます。

5 [登録]を押す

iモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりします。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）。

- iモーションには大きく分けて次の2種類があります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

種類		説明
タイプ	再生動作	
標準タイプ（保存可※）	**データを取得しながら再生（最大500Kバイト）**	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作できます。
	データを取得後に再生（最大500Kバイト）	iモーションのデータをすべて取得後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	**データを取得しながら再生（最大2Mバイト）**	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。

※：保存できないiモーションもあります。

サイトからiモーションを取得する

サイトからiモーションを取得し、再生したり保存したりします。

1 iモーションのあるサイトを表示 ▶ iモーションを選択

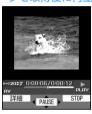
受信済みのデータ量／全体のデータ量

iモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

- ストリーミングタイプのiモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、iモーションを取得しながら再生します。再生が終了すると取得が完了した旨のメッセージが表示されますが、保存はできません。
- iモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプのiモーションを取得しようとすると、iモーションタイプを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してiモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプのiモーションを取得できます。

■ データを取得しながら再生するｉモーションのとき

ｉモーションを取得しながら再生します。
- 再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  (●)：一時停止／再生
  (◎)／サイドキー［▲▼］
  ：音量調整
  (㊂)：中断（ストリーミングタイプ）
  （確認画面で「はい」を選択すると中断）
  停止（標準タイプ）
  （(●)を押すと先頭から再生）
  (menu)：詳細情報の表示
- 再生を一時停止または停止しても、データの取得は継続します。
- ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、ｉモーションは自動的に再生されません。

■ データを取得後に再生するｉモーションのとき

取得が完了すると、ｉモーションが自動的に再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  (●)：一時停止／再生
  (◎)／サイドキー［▲▼］
  ：音量調整
  (◎)：早送り再生
  (◎)：巻戻し再生
  (㊂)：停止（ｉモーションの取得が完了した旨のメッセージが表示されます）
  (menu)：詳細情報の表示
- ｉ モーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、ｉモーションは自動的に再生されません。

2 「保存」を選択

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

■ ｉモーションをもう一度再生するとき

①「再生」を選択

■ ｉモーションの詳細情報を表示するとき

①「情報表示」を選択

■ ｉモーションを保存しないとき

①「戻る」を選択
- ストリーミングタイプのｉモーションの場合はサイト画面に戻ります。

②「いいえ」を選択
サイト画面に戻ります。

3 表示名を入力▶(㊂)［保存］

取得したｉモーションは、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダに保存されます。
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されているとき

テロップ中に電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断すると、リンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、リンク先に接続します。
- Phone To（AV Phone To）の場合は、(㊂)を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
- ｉモーションが保存されていない場合は、リンク先に接続する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 複数のリンク項目があるときは、1つのみ有効です。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

次ページへ続く

■ 待受画面に設定するとき

① MENU ▶ 1 ▶「はい」を選択

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除され、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。

■ 電話帳に新規登録するとき

① MENU ▶ 2

電話帳の登録方法→P103

■ すでに登録されている電話帳に更新登録するとき

① MENU ▶ 3 ▶ 更新する電話帳データを選択

- すでに動画／ｉモーションが設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着モーションに設定するとき

① MENU ▶ 4 ▶ 1～7

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① MENU ▶ 4 ▶ 8 または 9

② メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択 ▶ 内容を確認 ▶ ●

- すでに着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

メモリ番号入力→P112「登録内容を修正する」操作3

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

① MENU ▶ 5 ▶ 1 または 2

- すでに着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

動画／ｉモーション設定の制限事項→P314

お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- データを取得しながら再生するｉモーションでも、接続するサイトの状況などによりデータ取得中は再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を折り畳んだり、電話がかかってきたり、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを再生しているときにFOMA端末を折り畳んだ場合は、取得は継続されたまま、再生が停止します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で●を押すと動画／ｉモーションを再生し、MENUを押すと動画／ｉモーションの詳細情報を表示できます。

ｉモーションの自動再生と取得するタイプを設定する

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

ｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取得するｉモーションのタイプを設定したりします。

1 ▶ 9 3 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ ［登録］

自動再生設定：標準タイプのｉモーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかどうかを設定します。
- 「自動再生しない」に設定しても、取得の完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定：取得するｉモーションのタイプを設定します。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

お知らせ
- サイト画面から操作する場合は を押し、「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

メール

メールの設定を行う

チャットメールを使う

SMS（ショートメッセージ）を使う

FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

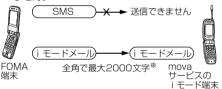
メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

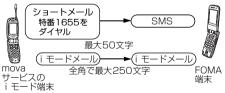
ｉモードメール、SMSのどちらも利用できます。

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末

FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

※ FOMA端末からはmova端末へSMSを送信できません。

※：movaサービスのｉモード端末の設定により異なります。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末

movaサービスのｉモード端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはSMSとして受信します。

※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA端末からはショートメールを送信できません。特番1655をダイヤルしても送信できません。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約すると、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。

ｉモードご契約時のメールアドレスは次のとおりです。

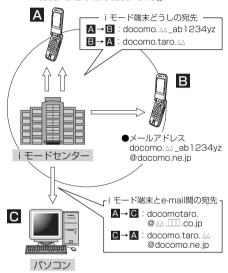
新規にｉモードをご契約の場合

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっています。ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。

（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

- **お客様のメールアドレスの確認方法**

  Ⓘ→1ｉMenu→8オプション設定→1メール設定→アドレス確認

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
- パソコンなどからFOMA端末にメールを送信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

メールの送信方法→P227
メールの受信方法→P241

■ **メール選択受信**

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信せずにｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。→P242

メール設定を行う

次の各種設定ができます。

設定方法

Ⓘ→1ｉMenu→8オプション設定→1メール設定→【各設定】

- 詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メールアドレス変更【アドレス変更】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）▶シークレットコード登録】
「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードが付いたメール以外は受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）▶アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ メールアドレス確認【アドレス確認】
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ メール受信／拒否設定
次のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

①ドメイン指定受信【メール受信設定（受信／拒否設定）▶ドメイン指定受信】
- au、ボーダフォン、TU-KA、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールを受信できます。
- 上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTTドコモのｉモード、ｉショット、一定額到達通知サービス、eビリング請求額お知らせメール、ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

②アドレス指定受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）▶アドレス指定受信、アドレス指定拒否】
- 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ｉモードメールのみ受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）▶ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否】
- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
【メール受信設定（その他設定）▶ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
- 1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）▶未承諾広告※メール拒否】
- 受信者の同意なしに一方的に広告、宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

※「ドメイン指定受信」「アドレス指定受信」「アドレス指定拒否」「ｉモードメールのみ受信」「ｉモードメールのみ拒否」は、同時に設定できません。

⑥SMS拒否【メール受信設定（その他設定）▶SMS拒否設定／確認】
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中から選択できます。また、設定の状況を確認できます。

■ メール設定状況確認【設定状況確認】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールサイズ制限【メールサイズ制限】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ
- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスのｉモード端末にｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000文字です。また、ｉショット、ｉモーションメールはURLが記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたｉモードメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。また、メール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのｉモードメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

最大保管件数	最大保管期間
207～1000件 （約2Mバイトまで）	720時間

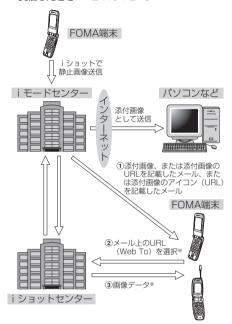
- 保管期間が過ぎたｉモードメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、ｉモードメールのデータサイズにより異なります。最大保管件数を超えた場合、ｉモード端末にはまたはが表示されます。このときｉモードセンターではｉモードメールを受信せず、発信元にエラーメッセージとともに返信します。
ただし、メール選択受信設定が「ON」のときは、最大保管件数を超えてもまたはは表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているｉモードメールは、ｉモード問合せやメール選択受信により受信できます。また新しいｉモードメールが届いたときは、保管されている他のｉモードメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
- ｉモードメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたｉモードメールは削除されます。
- 極端に容量の大きいｉモードメールはｉモードセンターで受け付けない場合があります。

こんなこともできます

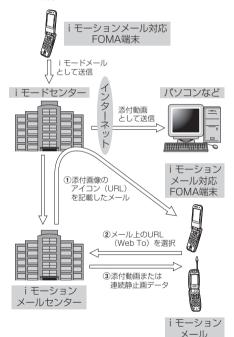
■ ファイル添付メール

- **メロディ添付メール**
サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません。
送信する→P235　受信したとき→P247
- **画像添付メール**
サイト、インターネットホームページまたは外部メモリから取り込んだ静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。
送信する→P235　受信したとき→P245

■ ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式、または画像閲覧用URL（またはアイコン）に画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
movaサービスのｉモード端末に送信できるメール本文は、全角で最大184文字（369バイト）です。複数のファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ送信されます。
送信する→P235
受信したとき→P241、P245

※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保管され、保管期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモード端末が、送信できるのは最大500Kバイトまでの静止画です。20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ ｉモーションメール
ｉモーションメール対応端末で撮影した動画や、サイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末、パソコン、他社携帯電話との間で送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。
送信する→P235　受信したとき→P246
- **サービスのしくみ**
  ｉモーションメールに添付された動画ファイルは、ｉモーションメールセンターに送信され、保存されます。送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。
  ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選択して動画を取得できます。
  ｉモーションメール非対応端末に送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間動画が保管され、保管期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトまでの動画です。取得した動画は、ｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール
ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信できます。ただし、パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。
デコメールを非対応端末に送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。
編集・送信方法→P229
- 対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳細は、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メール同報送信
同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P228
- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。

■ CC、BCC送受信
パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。
ただし、TOが1件もないメールは送信できません。→P228

■ チャットメール
複数の相手と会話をするような感覚でメールを交換できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

SMS（ショートメッセージ）について
携帯電話番号のみで文字メッセージをやりとりできます。
送信方法→P271　受信方法→P272
問い合わせ方法→P273

SMS（ショートメッセージ）の宛先
SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。
- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合の宛先は、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（→P273）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※1：宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
※2：半角の英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）を送信できます。
記号（|^{}[]~¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSセンターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。発信元が保管期間を指定することもできます。→P273
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。→P273
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。

こんなこともできます

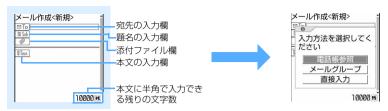
■ **送達通知**

送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。→P273

■ **FOMAカードへの保存**

受信したSMSや送信したSMSを、FOMAカードに保存できます。→P273

ｉモードメールを作成して送信する

1 ✉（1秒以上）▶宛先の入力欄を選択

メール作成画面

2 「直接入力」を選択▶宛先を入力

- 半角で最大50文字入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信する場合は、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、宛先によく使う「@」「.」「-」などの記号は、半角英字入力モード時に1を繰り返し押すたびに入力できます。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、半角英字入力モード時に*を繰り返し押すたびに入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録している場合は、相手のｉモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択▶電話帳から検索▶メールアドレスを選択

■ メールグループから入力するとき

①「メールグループ」を選択▶一覧からメールグループを選択

- メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。
- すでに入力されている宛先との合計が5件を超えるメールグループは追加できません。

3 題名の入力欄を選択▶題名を入力

- 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

4 本文の入力欄を選択▶本文を入力

- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
- #を押すと改行できます（全角数字入力モード、半角数字入力モード時を除く）。改行も本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

① MENU ▶ 5

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

5 ✉［送信］を押す

- 接続中画面で●を押すと接続を中止します。送信中画面で✉を押すと送信を中止します。ただし、操作のタイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたメールは、未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 圏内自動送信メールが5件未満で圏外の場合、圏内自動送信に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

メール

お知らせ

- 10000バイトより大きいメールが、他の機能が起動したりして自動保存された場合は、作成中のメールが一部保存されないことがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが未送信メール内の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。未送信メール内の「未送信BOX」フォルダからｉモードメールを編集、送信できます。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは送信メール内のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に消去されます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 半角カタカナ、絵文字はｉモード端末（mova含む）どうしのみ使用できます。他の端末では正しく表示されない場合があります。ただし、一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 顔文字は相手の端末の表示文字数やフォント、ディスプレイの大きさによっては、形がくずれたり見えかたが異なったりするなど、正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成できません。未送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P255
- 撮影した静止画などのファイルを添付することができます。→P235

宛先を追加する<宛先追加>

ｉモードメールは宛先の種別に関わらず複数の宛先に同時に送信（同報送信）できます。

- 最大5件送信できます。
- 宛先の種別には [To]（TO）、[Cc]（CC）、[Bcc]（BCC）の3種類があります。
  [To]：直接の送信相手
  [Cc]：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手
  [Bcc]：他の送信相手に知らせたくない相手
- [To] の宛先が空欄のときは、メールを送信できません。
- [Bcc] に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

1 メール作成画面で宛先の入力欄にカーソルを合わせて [メール]

メール作成<新規>
To docomo.taro.△△@do…
To
Sub おひさしぶりです。
Text
10000 残

宛先の入力欄が追加されます。

- 送信する宛先数分の宛先の入力欄ができるまで繰り返します。

■ CC、BCCを追加するとき

①メール作成画面で [menu] ▶ [7] ▶ 入力方法を選択

- 電話帳から検索してメールアドレスを入力する場合は、「電話帳参照」を選択します。
- メールグループから入力する場合は、「メールグループ」を選択し、入力するメールグループを選択します。
  メール作成画面の宛先の入力欄に、あらかじめメールグループに設定したTO、CC、BCCで宛先が表示されます。
- 直接メールアドレスを入力する場合は、「直接入力」を選択します。

②「CC」または「BCC」を選択 ▶ メールアドレスを入力

- 「TO」も選択できます。

■ 宛先の種別（TO、CC、BCC）を変更するとき

①種別を変更する宛先の入力欄にカーソルを合わせて [menu] ▶ [9] ▶ 変更する宛先種別を選択

■ 追加した宛先を削除するとき

①削除する宛先にカーソルを合わせて [menu] ▶ [8] ▶ 「はい」を選択

- 宛先の入力欄が複数あるときに宛先の入力欄を指定して削除した場合は、宛先の入力欄ごと削除されます。宛先の入力欄が1件でメールアドレスが入力されているときに削除した場合は、メールアドレスのみ削除されます。

2 追加された宛先の入力欄に宛先を入力▶ ⓜ［送信］

操作方法→P227「ｉモードメールを作成して送信する」操作2～5

お知らせ

- 「TO」の入力欄と「CC」の入力欄に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- 同じ宛先を設定しようとすると、すでに同じ宛先がある旨のメッセージが表示され、設定できません。

デコメール

デコメールを作成して送信する

ｉモードメールの本文には、文字サイズや背景色を変更したり、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されている画像などを挿入したりなどの装飾（デコレーション）ができます（デコメール）。デコメールの作成方法には、デコレーションを設定してから文字を入力する方法と、入力された文字を範囲選択してからデコレーションを設定する方法があります。作成したデコメールはプレビュー機能を使って確認できます。

〈装飾例〉

❶ 文字色を変更する

❷ 文字サイズを変更する

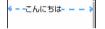
❸ 画像を挿入する

❹ 文字を点滅させる

❺ 文字をテロップにする

❻ 文字を左右にスウィングさせる

❼ 文字の表示位置を変更する

❽ ライン（罫線）を挿入する

❾ 背景色を変更する

デコメール作成の流れ

ステップ1　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ2　装飾した文字や画像を入力する

ⓜを押し、装飾方法を選択して文字を入力します。→P229

ステップ2　文字を入力して装飾する

文字を入力した後、装飾する開始位置にカーソルを合わせてⓜを押し、終了位置を選択して、装飾方法を選択します。→P232

- 編集中にⓜ8を押すと、装飾を確認できます。

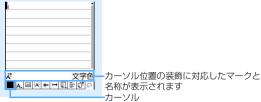
ステップ3　装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で本文の入力欄を選択▶ⓜ

メール

2 装飾を選択 ▶ 文字を入力

装飾選択画面

- 装飾選択画面で装飾のマークを選択すると、その装飾が選択状態になります。
- 複数のマークを選択状態にすることで、同時に複数の装飾が設定できます。複数の装飾を連続して設定するときは、装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて(menu)を押します。ただし、テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力するときは、入力位置にカーソルを合わせて(メール)を押し、(i)を押します。解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、文字位置（空行時のみ）、テロップ（空行時のみ）、スウィング（空行時のみ）です。

文字色　：文字またはライン（罫線）の色を変更します。
文字サイズ：文字サイズを変更します。
画像挿入　：画像を挿入します。
点滅　：文字を点滅させます。
テロップ　：文字を流して表示（テロップ表示）します。
スウィング：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。
文字位置　：文字または画像挿入時の位置を変更します。
ライン挿入：ライン（罫線）を挿入します。
背景色　：本文の背景色を変更します。
元に戻す　：1つ前の状態に戻します。

装飾の操作方法→P231「デコメール装飾選択画面の操作手順」

■ すでに設定した装飾を別の装飾に変更するとき

① (menu) ▶ (1) (8) ▶ **開始位置を選択**

以降の操作→P232「文字を入力してから装飾を指定する」操作2以降

■ 本文中の装飾をすべて解除するとき

① (menu) ▶ (1) (9)

3 (menu) ▶ (8) ▶ 装飾を確認

設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

4 (●) ▶ (●) ▶ (i)［送信］

お知らせ
- メール本文の入力画面で(menu)を押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

デコメール装飾選択画面の操作手順

• （　）内の装飾例番号はP229〈装飾例〉の番号です。

■ 文字色を変更するとき（装飾例❶）

① ■を選択▶文字色を選択▶文字を入力

• 標準の20色、または「その他の色」の64色から選択できます。
• 絵文字の文字色も変更できます。
• 範囲を指定して元の色に戻せます。→P232

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）

① A を選択▶文字サイズを選択▶文字を入力

• 「大」「標準」「小」から選択できます。
• すでに設定されている文字サイズは選択できません。(ch/クリア)を押すと、装飾選択画面に戻ります。

「大」にしたとき

■ 画像を挿入するとき（装飾例❸）

① ▲を選択▶挿入元を選択

• お買い上げ時は、「デコメールピクチャ」フォルダに画像が保存されています。→P439
• miniSDメモリーカードを取り付けている場合のみ「miniSDカード」を選択できます。
• 「静止画を撮影」を選択すると、静止画を撮影して挿入できます。
  撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

静止画の撮影方法→P165「FOMA端末を開いて静止画を撮影する」操作2～4

② フォルダを選択▶画像を選択

カーソル位置に画像が挿入されます。

• 動画／ｉモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量より大きい画像は選択できません。

■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）

① A を選択▶文字を入力

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

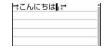
① ◀を選択▶文字を入力

• ◀と◀の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

① ↔を選択▶文字を入力

• ↔と↔の間に文字を入力します。

メール

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例 ❼ ）

① を選択 ▶ 文字の表示位置を選択 ▶ 文字を入力

- 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。
- すでに設定されている文字位置は選択できません。（ch クリア）を押すと、装飾選択画面に戻ります。
- カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。

「右寄せ」にしたとき

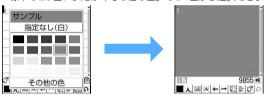
■ ライン（罫線）を挿入するとき（装飾例 ❽ ）

① を選択

■（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更するとき（装飾例 ❾ ）

① を選択 ▶ 背景色を選択

- 標準の20色、または「その他の色」の64色から選択できます。

■ 1つ前の状態に戻すとき

① を選択

直前に行った装飾が解除されます。または文字入力が取り消されます。

文字を入力してから装飾を指定する

メール本文に入力されている文字や、すでに装飾されている文字は、範囲を指定して操作します。

- 操作3（ ）内の装飾例番号はP229〈装飾例〉の番号です。
- 「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」は操作できません。装飾を指定してから操作してください。→P229

1 メール作成画面で本文の入力欄を選択 ▶ 入力されている文字の装飾する範囲の開始位置にカーソルを合わせて（決定）

2 装飾する範囲の終了位置を選択

- カーソルを文頭に移動するときは（menu）を押します。
- カーソルを文末に移動するときは（メール）を押します。
- 全文を選択するときは（）を押します。

3 装飾方法を選択

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ 文字色を変更するとき（装飾例❶）

① 1 ▶ 文字色を選択

- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）

① 2 ▶ 1〜3

■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）

① 3 ▶ 1

- 解除するときは2を押します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

① 4 ▶ 1

- 解除するときは2を押します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

① 5 ▶ 1

- 解除するときは2を押します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）

① 6 ▶ 1〜3

- 画像の表示位置も変更されます。

■ 文字をコピーするとき

① 7を押す

■ 文字を切り取るとき

① 8を押す

■ 1つ前の状態に戻すとき

① 9を押す

- 直前に行った装飾が解除されます。または文字入力が取り消されます。

■ 続けて文字を装飾するとき

① menu ▶ 操作3を繰り返す

装飾の確認や解除方法→P230「装飾を指定してから文字を入力する」操作2〜3

4 ●で範囲指定を解除 ▶ ● ▶ ✉ ［送信］

お知らせ

- メール本文の入力画面でmenuを押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、chクリアを1秒以上押すと、装飾データも含めて文字を削除できます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

デコメールにメロディを添付する<メロデコ>

簡単な操作でデコメールにメロディを添付して送信することができます。

1 装飾選択画面で ▶ フォルダを選択

- miniSDメモリーカードを取り付けている場合は、「本体」または「miniSDカード」を選択します。
- メロディにカーソルを合わせて✉を押すと再生できます。一覧に戻るにはchクリアを押します。
- 添付できないメロディは表示されません。ただし、「miniSDカード」を選択したときには添付できないメロディも表示され、それらのメロディを選択したときに添付できない旨のメッセージが表示されます。

メロディの再生の操作→P120

2 添付するメロディを選択

メロディが添付され、添付メロディ一覧に添付したメロディのファイル名とファイルサイズが表示されます。

■ メロディを追加するとき

① (menu) ▶ フォルダを選択 ▶ 添付するメロディを選択

- miniSDメモリーカードを取り付けている場合は、「本体」または「miniSDカード」を選択します。

■ 添付したメロディを解除するとき

① 解除するメロディにカーソルを合わせて(メール) ▶ 「はい」を選択

- メロディをすべて解除したときは(●)を押して、操作4に進みます。

3 (i)を押す

画面下部に♪が表示されます。

4 (●) ▶ (i) ［送信］

メール添付用のメロディ一覧

お買い上げ時は、次のメロディが「メール添付メロディ」フォルダに登録されています。

メロディ	作曲者
ウィリアムテル序曲	GIOACCHINO ANTONIO ROSSINI
結婚行進曲	BARTHOLDY FELIX J L MENDELSSOHN
祝婚歌	RICHARD WILHELM WAGNER
運命	VAN LUDWIG BEETHOVEN
草競馬	STEPHEN COLLINS FOSTER
ジングルベル	JAMES PIERPONT
タフワフワイ	P D
さくら	日本民謡
紅葉	岡野 貞一
雪	文部省唱歌
おもちゃの兵隊のマーチ	LEON JESSEL
登場	――――
3･3･7拍子	――――
Are you sleeping?	フランス民謡
こぎつね	ドイツ民謡
トッカータとフーガ	JOHANN SEBASTIAN BACH
子守唄	FRANZ SCHUBERT
幸せなら手をたたこう	スペイン民謡
ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
ピクニック	イギリス民謡
グッドバイ	河村 光陽
蛍の光	スコットランド民謡
ハッピー　お出掛け　スキップ メリーゴーランド　安らぎ　頑張れ ヤッター　ファイト　競争 焦燥　マラカス　忙しい エレクトロ　ハーモニカ　迷宮 タンゴ　エキゾチック　アジアン 中華　南国　琴 お祭り　悲哀　不安 がっくり　発見　チャイム お知らせ	――――

録音許諾番号:T-0590080

※ ディスプレイに表示しきれないメロディ名は省略されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

ファイルを添付する

ｉモードメールに画像や動画／ｉモーション、メロディ、トルカを添付して送信できます。

- 添付可能なファイルは次のとおりです。

項　目	1件のメールに添付可能な最大件数	添付ファイルの条件
10000バイト以内の画像※1（JPEG、GIF）	10件※3	パラパラマンガ、Flash画像は添付不可
メロディ		メロディ（MFi形式）は添付不可
トルカ※2		添付時は321バイト以内、転送時は1024バイト以内※4
10000バイトより大きく、500Kバイト以内の画像※1	1件	JPEG形式の画像のみ添付可能
500Kバイト以内の動画／ｉモーション／音声※5		再生制限が設定されているものは添付不可※6

※1：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付ファイルとして受信したりします。
※2：トルカ（詳細）を添付すると、相手の端末では詳細が切り取られて受信します。切り取られた詳細は、サイトに詳細情報がある場合は受信側でダウンロードできます。ただし、相手の端末によっては、ダウンロードできない場合があります。
※3：画像、メロディ、トルカを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※4：トルカによっては異なる場合があります。
※5：受信側の端末や機器によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）以外の動画は容量に関わらず添付できません。
※6：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

- 添付ファイルのサイズによって、本文に入力できる文字数が異なります。
- 本文（添付した画像、メロディ、トルカを含む）の残りのデータ量が全角で100文字、半角で200文字（デコメールでは全角で200文字、半角で400文字）より少ない場合は、動画／ｉモーションや10000バイトより大きい画像を添付できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- movaサービスのｉモード端末には、JPEG形式の画像を1枚のみ添付できます。その場合、相手の端末はURLが記載されたメール（ｉショットメール）として受信します。
- サウンドレコーダーで録音したデータは、ｉモーションとして保存され、メールに添付できます。
- FOMA F902i、F700iS、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i以外の端末やパソコンでは、受信したメロディを正しく再生できない場合があります。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルの種類とファイルを選択

■ 画像を添付するとき

①「イメージ」を選択▶「本体」を選択▶フォルダを選択

- 画像にカーソルを合わせて⊛を押すと画像を表示できます。一覧に戻るにはchクリアを押します。
- 添付できない画像は表示されません。

②画像を選択

メール作成画面の添付欄に、選択した画像のファイル名が表示されます。

- 画像サイズがQVGA（240×320）より大きいJPEG形式の画像の場合は、待受サイズ（QVGA）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が10000バイトより大きい場合は、変換した画像をデータBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。データBOXに保存しない、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、添付ファイルは保存されません。そのため、メールを「未送信BOX」に保存して編集するときには添付ファイルはありません。また、保存しないと圏内自動送信で添付ファイルが送信されません。
- ファイルサイズが500Kバイトより大きいJPEG形式の画像は、メールに添付可能なサイズに変換され、データBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

次ページへ続く

■ 動画／ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）

①「ｉモーション」を選択▶「本体」を選択▶フォルダを選択

- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押すと動画／ｉモーションを再生できます。一覧に戻るには を押します。
- 添付できない動画／ｉモーションは表示されません。

②動画／ｉモーションを選択

メール作成画面の添付欄に選択した動画／ｉモーションのファイル名が表示されます。

■ メロディを添付するとき

①「メロディ」を選択▶フォルダを選択

- miniSDメモリーカードを取り付けている場合は、「本体」を選択します。
- メロディにカーソルを合わせて を押すとメロディを再生できます。一覧に戻るには を押します。
- 添付できないメロディは表示されません。

メロディの再生の操作→P120

②メロディを選択

メール作成画面の添付欄に選択したメロディのファイル名が表示されます。

■ トルカを添付するとき

①「トルカ」を選択▶フォルダを選択

- miniSDメモリーカードを取り付けている場合は、「本体」を選択します。
- トルカにカーソルを合わせて を押すと詳細情報を表示できます。一覧に戻るには を押します。

②トルカを選択

メール作成画面の添付欄に選択したトルカのファイル名が表示されます。

- 添付できないトルカは選択できません。

■ 音声を録音して添付するとき

①「ボイス録音」を選択▶●またはサイドキー［▲］

② またはサイドキー［▲］

③●またはサイドキー［▲］

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存され、メール作成画面の添付欄に録音した音声ファイル名が表示されます。

■ 静止画や動画を撮影して添付するとき

①「イメージ」または「ｉモーション」を選択▶「静止画を撮影」または「動画を撮影」を選択

- 撮影する静止画のサイズは待受用（240×320）に自動的に設定されます。
- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。

②撮影

メール作成画面の添付欄に撮影した静止画や動画のファイル名が表示されます。

静止画の撮影方法→P165「FOMA端末を開いて静止画を撮影する」操作2～4
動画の撮影方法→P172「FOMA端末を開いて動画を撮影する」操作2～5

■ miniSDメモリーカード内のデータを添付するとき

①「イメージ」「ｉモーション」「メロディ」「トルカ」のいずれかを選択▶「miniSDカード」を選択

- 画像にカーソルを合わせて を押すと画像を表示できます。動画／ｉモーション、メロディにカーソルを合わせて を押すとそれぞれ再生できます。トルカにカーソルを合わせて を押すと詳細情報を表示できます。

②データを選択

メール作成画面の添付欄に選択したデータのファイル名が表示されます。

- 各データ形式についての動作は、FOMA端末内のデータを選択するときと同じです。
- 10000バイト～500Kバイトの画像、または500Kバイト以内の動画の場合は、本体へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。本体にコピーしなかった場合、圏内送信でメールを送信すると、相手の端末では添付したファイルは削除されて受信します。
- 添付できない動画／ｉモーションやメロディ、トルカを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。

2 ［送信］を押す

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

お知らせ

- 10000バイトより大きい画像をQVGAサイズ（240×320）に縮小できます。QVGAサイズは待受画面のサイズであり、ｉモード端末に送信するのに適したサイズです。
- 10000バイトより大きいJPEG形式の画像を添付したメールをｉモード端末に送信した場合は、ｉショットセンターでｉモード端末に送信するのに適したサイズに変換されます。
- movaサービスのｉモード端末にGIF形式の画像やメロディ、音声、トルカを添付すると、添付ファイルは削除されて相手に送信されます。

添付ファイルを変更／解除する

〈例〉添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面で解除する添付欄にカーソルを合わせて[CLR]

■ 添付ファイルを変更するとき

①変更する添付欄にカーソルを合わせて[EDIT]▶ファイルの添付をやり直す→P235

2 「はい」を選択

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に毎回同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするときに、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておき、入力の手間を省略する機能です。メール作成時にメールテンプレートを読み込んで内容を追加、修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。
また、レイアウトや装飾がすでに決められているデコメール用の雛形、デコメールテンプレートも利用できます。デコメールテンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成・送信できます。

- お買い上げ時は、30件のテンプレートが登録されています。

メール作成時にテンプレートを使う<テンプレート読込>

1 メール作成画面で[MENU]▶[6][1]▶読み込むテンプレートを選択

テンプレート選択<読込> 1/4
メタルブロンズ
フェアリーラベンダー
グロッシールージュ
プラチナミラー
アドバンストモード
便箋1
便箋2
ふきだし1
ふきだし2

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - [画像]：10000バイト以内の画像あり
  - [♪]：メロディあり
  - [トルカ]：トルカあり
  - [複数]：複数添付あり（画像、メロディ、トルカのいずれか2つ以上）

2 メールを編集▶[送信]［送信］

お知らせ

- すでにメール本文を入力したメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」または「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。読み込みを中止するときは[CLR]を押してください。
  「本文のみ読込み」を選択すると、入力済みのメール本文のみが消え、テンプレートの本文が読み込まれます。「すべて読込み」を選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文がすべて消え、テンプレートが読み込まれます。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。
- 1件のメールに複数のテンプレートは読み込めません。
- メールテンプレートとデコメールテンプレートの読み込み方法は同じです。

テンプレートを表示してメールを作成する　MENU 18

登録されているテンプレートの一覧表示からテンプレートを選んでメールを作成します。

1 ▶ 8 ▶ **テンプレートを選択**

- メールテンプレート詳細画面でを押すと前後のテンプレートを表示できます。

2 **を押す**

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

3 **メールを編集** ▶ **［送信］**

お知らせ

- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。ただし、電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートは読み込めます。

テンプレートを作成して登録する<テンプレート登録>

作成または送受信したメールをテンプレートとして登録できます。

- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存することはできますが、上書き保存はできません。
- 動画／iモーション、10000バイトより大きい画像はテンプレートに登録できません。
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを入力、設定すると登録できます。
- 最大保存件数→P480

1 **メール作成画面で** MENU ▶ 6 2 ▶ **「はい」を選択** ▶ **表示名とファイル名を設定**

- 表示名は全角・半角を問わず最大20文字入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

2 **［新規保存］を押す**

- 登録済みのテンプレートに上書きするときはを押し、上書きするテンプレートを選択し、「はい」を選択します。

お知らせ

- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- テンプレートを登録するときに日付・時刻が設定されていないと、表示名とファイル名は「--------------」になります。
- 作成または送受信したメールに題名が入力されていないと、表示名は日付・時刻になります。
- 登録したテンプレートの表示名とファイル名を変更する場合は、テンプレート一覧画面で MENU 4 2 を押し、変更後にを押します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

テンプレートをダウンロードする

サイトからメールテンプレートをダウンロードします。ダウンロードしたメールテンプレートは、メール作成画面で編集できます。

- 最大保存件数→P480

1 **サイトを表示** ▶ **ダウンロードするメールテンプレートを選択**

ダウンロードを開始します。

- ダウンロード中にを押すと、ダウンロードを中止します。

2 **「保存」を選択**

- メールテンプレートを保存しないときには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。
- テンプレートの内容を確認するときは、「プレビュー」を選択します。

3 [保存]を押す

ダウンロードしたメールテンプレートは、テンプレート読込み内に保存されます。

- 登録済みのテンプレートに上書きするときはを押し、上書きするテンプレートを選択します。
- 表示名は全角・半角を問わず最大20文字入力できます。
- ファイル名は、半角英数字、「.」「-」「_」で最大36 文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書き保存はできません。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

〈例〉テンプレートを1件削除するとき

1 ▶ 8

2 削除するテンプレートにカーソルを合わせて menu ▶ 2 1

■ テンプレートを複数選択して削除するとき

① menu ▶ 2 2 ▶ テンプレートを選択 ▶

■ テンプレートを全件削除するとき

① menu ▶ 2 3 ▶ 認証操作

3 「はい」を選択

iモードメール保存

iモードメールを保存しておき、あとで送信する

iモードメールを保存する

作成途中のiモードメールを、送信せずに保存します。

- 最大保存件数→P480
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを入力、設定すると保存できます。

1 メール作成画面で menu ▶ 3

iモードメールが未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

電波の届く所になったらメールを自動送信する<圏内自動送信>

圏外にいるとき作成したiモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定できます。

- 最大5件設定できます。

1 メール作成画面で menu ▶ 2

- ディスプレイ上部に AUTO が表示されます。
- 圏内自動送信を設定したiモードメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

圏内自動送信を解除する

1 ▶ 4 ▶ フォルダを選択 ▶ 解除するiモードメールにカーソルを合わせて ▶「はい」を選択

メール

次ページへ続く

お知らせ

- 圏内自動送信メールが5件未満で圏外のときにｉモードメールを送信しようとすると、圏内自動送信に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、圏内自動送信を設定することができます。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールは、電波の届く所になってから約1～2分後に送信されます。自動送信中はディスプレイ上部の が点滅します。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合や、FOMAカードを差し替えた場合は、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 圏内自動送信に失敗したときや中断したときは、ディスプレイ上部の が点滅し、ｉモードメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。保存されたメールを選択すると、未送信理由が表示されます。
- 「未送信BOX」フォルダに保存されたすべての圏内自動送信失敗メールの未送信理由を確認してメール編集画面になったときや、解除、削除、移動、FOMAカードの差し替えなどによって圏内自動送信失敗メールがなくなると、 は消えます。

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

送信済みのｉモードメールやSMS、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールやSMSを編集、送信できます。

〈例〉未送信メールを編集するとき

1 ▶ 4 ▶ フォルダを選択

- SMSは が表示されます。
- 送信メールのときは 5 を押し、フォルダを選択します。

2 編集するメールを選択

- 送信済みのメールを再編集するときは、編集するメールにカーソルを合わせて を押します。

3 メールを編集 ▶ ［送信］

お知らせ

- 未送信メール一覧から操作する場合は、 を押し、「編集」を選択します。
- 圏内自動送信を設定した未送信メールを選択すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

クイックメール

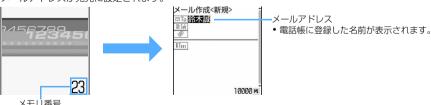
すばやくメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを送信できます。

- 1つの電話帳データに複数の電話番号、メールアドレスを登録している場合、1件目のメールアドレスがｉモードメールの宛先に、1件目の電話番号がSMSの宛先になります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 メモリ番号（この場合は 2 3 ）▶ ［ 作成］

メールアドレスが宛先に設定されます。

- メモリ番号の前に0は付けずに入力します。この例で 0 2 3 のように入力すると、クイックメールは利用できません。

■ SMSを作成するとき

①メモリ番号▶✉（1秒以上）

- 入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

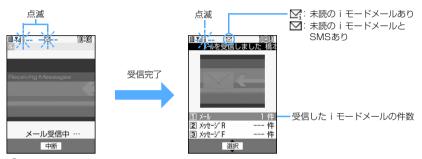
SMSの作成・送信方法→P271

メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

ｉモードメールは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは受信メール内のフォルダに保存されます。

- 最大保存件数→P480

1 ｉモードメールを受信

と✉が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。

メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

- メール受信中に⊙を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P31
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときはCLRを押します。

■ 受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

お知らせ

- 受信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面は表示されません。→P266
- メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやチャットメールは、新しいｉモードメールが届くと合わせて受信します。
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに発信元に返信される場合があります。
- ｉモードメールに対応していない添付ファイルや受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）より大きい添付ファイルは、ｉモードセンターで削除され、受信できません。添付ファイルが削除された場合は、メール本文中に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。添付可能なデータ量→P235
- 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、ｉMenuのオプション設定のメールサイズ制限で設定した文字数（データ量）より大きい場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。
- FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合→P103「名前の表示について」
  複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールに設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。

- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - プッシュトーク通信中
  - セルフモード中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」に設定されているとき
  - 赤外線通信中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読以外の古い受信メールから順に消去されます。残しておきたい受信メールは保護してください。→P255
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます（→P29）。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P254）、未読メールの内容表示（→P249）、不要メールの削除（→P255）、保護解除（→P255）などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や （→P29）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数（→P224）が満杯になったときは、マークが や （→P29）に変わります。
- ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。

新着ｉモードメールを表示する

1 メールやメッセージの受信結果画面で 1

1 メール	1 件
2 メッセージR	--- 件
3 メッセージF	--- 件

- 2 や 3 を押すとメッセージごとに表示できます。
- 受信したｉモードメールは「受信BOX」内に保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

2 フォルダを選択 ▶ メールを選択

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないようにも設定できます。

受信メール詳細画面の見かた→P251
添付ファイル自動再生設定→P264

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

- 本機能を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。

メールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管され、左記のメッセージが表示されます。

- ｉモードメールがｉモードセンターに保管されても着信音や着信バイブレータは動作しません。
- MULTI以外のキーを押すとメッセージが消えます。

お知らせ

- オールロック中、PIMロック中、開閉ロック中はメッセージが表示されません。
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定で問い合わせの項目から「メール」のチェックを外してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

メールを選択受信する　MENU 163

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、必要なｉモードメールだけを選択して受信します。不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。

1 [メール] ▶ [6] [3]

メール選択受信
(1/5ページ)
選択受信説明
[1] 保留
05/11/27 10:09
明日の会議
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
ｻｲｽﾞ:1115ﾊﾞｲﾄ

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。
- メール末尾のマークの意味は次のとおりです。
  - [カメラ]：画像の添付あり
  - ♪：メロディの添付あり
  - [ムービー]：ｉモーションの添付あり
  - [トルカ]：トルカの添付あり

2 メールごとに「保留」を選択 ▶ 「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ｉモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは、「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択 ▶ 「決定」を選択

ｉモード問合せ　MENU 161/26

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。
- メールを受信できないとき→P224

1 サイドキー［▼］（1秒以上）

ｉモード問合せを開始します。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。ただし、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。ｉモードメールを表示せずに待受画面に戻すときは[ch クリア]を押します。→P241

お知らせ
- FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキー［▼］を1秒以上押しても、ｉモード問合せができます。

ｉモードメール返信

ｉモードメールに返信する

受信したｉモードメールやSMSに返信します。ｉモードメールではあらかじめ登録されている本文を選択するだけの簡単な操作で返信することもできます（クイック返信）。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元に「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信SMSや、movaサービスのｉモード端末から送信されたショートメールには返信できません。

1 [メール] ▶ [1] ▶ フォルダを選択

メール

次ページへ続く

2 返信するメールにカーソルを合わせて

クイック返信本文選択画面が表示されます。

- 次の場合は、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作４に進みます。
  - クイック返信設定を「OFF」に設定している場合
  - クイック返信本文が１件も登録されていない場合
  - SMSに返信する場合

■ 複数の宛先に送られた受信メールのすべての宛先に返信するとき

① ▶

- 発信元と自分以外のすべての宛先に返信できます。

3 を押す

引用文字

宛先の入力欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、題名の入力欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、本文の入力欄には「>」の付いた受信メール本文が入力されます。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P263

■ クイック返信を使用するとき

① 〜

- 選択したクイック返信本文は、引用した本文の前に挿入されます。
- クイック返信本文は変更できます。→P263

4 メールを編集 ▶ ［送信］

- 返信した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールの状態マークがから、またはからに変わります。

お知らせ

- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
- 複数の宛先に送られた受信メールに返信する場合は、操作する画面により宛先の入力欄に表示されるメールアドレスが異なります。受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示されます。受信メール詳細画面から返信する場合は、発信元と、自分以外のすべての宛先のメールアドレスが表示されます。

ｉモードメール転送

ｉモードメールを他の宛先に転送する

受信したｉモードメールやSMSを他の宛先に転送します。

- ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 ▶ ▶ フォルダを選択 ▶ 転送するメールにカーソルを合わせて

題名の入力欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、本文の入力欄には受信メールの本文が入力されます。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。

2 メールを編集 ▶ ［送信］

- 転送した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールの状態マークがから、またはからに変わります。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

お知らせ

- 受信メール詳細画面から操作する場合はmenuを押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信メールの添付ファイル（画像、メロディ、トルカ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- 10000バイトより大きい画像が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、［送信］を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。
- 1024バイトを超えるトルカが添付されたメールを転送する場合、トルカは添付されません。

画像表示・保存

添付されている画像を表示・保存する

受信メールに添付されている画像を表示、保存します。保存した画像はマイピクチャから表示したり、待受画面などに設定したりできます。

- 最大保存件数→P480

1 ▶ 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像が添付されているｉモードメールを選択

メール本文の下には、画像とファイル名、ファイルサイズが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：メール添付やFOMA端末外への出力可
  - ：メール添付やFOMA端末外への出力不可
  - ：10000バイトより大きい画像のメール添付、取得されていない10000バイトより大きい画像
  - ：取得済みの10000バイトより大きい画像
  - ：取得失敗の画像の添付あり
  - ：画像データ異常

■ 画像の表示／非表示を切り替えるとき

①ファイル名を選択

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面に添付されている画像からも、同様の操作で画像の表示と非表示を切り替えられます。

■ 画像のタイトルを表示するとき

①タイトルを表示する画像のファイル名にカーソルを合わせてmenu ▶ 6 2

■ 10000バイトより大きい画像のURLを表示するとき

①URLを表示する画像のファイル名にカーソルを合わせてmenu ▶ 6 3

- 取得前に表示するときは、メール本文の「保存期限」にカーソルを合わせてmenu 6 2を押します。

2 保存する画像のファイル名にカーソルを合わせてmenu ▶ 6 3

- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）では各項目の内容を変更できません。操作4に進みます。

■ デコメール内に表示されている画像を保存するとき

① menu ▶ 4 4 ▶ ●

3 各項目を選択して設定

設定方法→P203「サイトから画像をダウンロードする」操作2

4 ▶ 保存先を選択

- 保存した画像は待受画面などに設定できます。→P307

メール

お知らせ

- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面から添付画像のタイトルを確認する場合は、画像のファイル名にカーソルを合わせて(menu)を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 取得できる画像は、JPEG形式またはGIF形式で最大100Kバイトです。
- 画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文中に挿入されている画像は自動的に表示されますが、添付された画像は自動的に表示されません。画像を表示するときは画像のファイル名を選択します。
- メール詳細画面で本文中に表示される画像のファイル名や表示名などは、デコメールでは表示されません。
- 画像の横幅が画面より大きいときは、縮小して表示されます。
- データが壊れていると、正しく表示できない場合があります。
- 送信メールに添付した画像も同様の操作で保存できます。
- 取得した画像のファイル名は半角英数字と「.」「-」「_」で最大36文字入力できます。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。
- 横352×縦288より大きい画像はフレーム候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×320より大きい画像はスタンプ候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304より大きい画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない画像もあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。削除する前に画像一覧で(●)を押して画像を表示したり、(menu)を押して画像の詳細情報を表示したりできます。
- ｉモードメールに添付された10000バイトより大きい画像は、自動的に取得します。自動で取得した画像は、マイピクチャ内の「ｉモード」フォルダに保存されます。メール受信を中断したり、保存領域がいっぱいなどの理由により自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「保存期限」を選択すると、画像を取得できます。

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

発信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、受信したメールにはｉモーション閲覧のためのURLが記載されます。このURLを選択して、ｉモーションを取得したり、再生したりできます。

- 取得できるｉモーションは、最大500Kバイトです。
- 再生時の音量はｉモーションの動作設定に従います。
- 最大保存件数→P480

1 (✉)▶(1)▶フォルダを選択▶ｉモーションのURLが記載されたｉモードメールを選択

2 ｉモーションのURLを選択▶「はい」を選択

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの取得、再生が始まります。
再生画面の操作方法→P312

3 再生が終了したら「保存」を選択

- 「再生」を選択するとｉモーションがもう一度再生されます。
- 「情報表示」を選択するとｉモーションの情報が表示されます。

メール

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

4 表示名を入力▶

取得したｉモーションは、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

5 「戻る」を選択

お知らせ

- 送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、ファイル名を選択して、同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- ｉモード端末にｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL１件につき50回まで取得できます。50回を超えると、取得ができなくなります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧でを押すと動画／ｉモーションを再生し、を押すと動画／ｉモーションの詳細情報を表示できます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生するには、対応ソフトが必要です。→P463

メロディ再生・保存

ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存する

受信メールに添付されているメロディを再生、保存します。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。

- FOMA F902i、F700iS、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i以外の端末やパソコンから送られてきたメロディは正しく再生できない場合があります。
- 最大保存件数→P480

1 ▶ 1 ▶フォルダを選択▶メロディが添付されているｉモードメールを選択

- 添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって2種類あります。

本文の後に表示（SMF形式）

本文中に表示（MFi形式）

- マークの意味は次のとおりです。
  - ♪　：メール添付やFOMA端末外への出力可
  - ♪©　：メール添付やFOMA端末外への出力不可
  - ♪× ♪×©：メロディデータ異常

2 保存するメロディにカーソルを合わせて ▶ 6 2

■ メロディを再生するとき

①**再生するメロディを選択**

- 再生を途中で止めるときはを押します。

■ メロディのタイトルを確認するとき

①**タイトルを確認するメロディにカーソルを合わせて ▶ 6 5**

- 本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するときはメロディにカーソルを合わせて 6 4 を押します。

■ メロディのデータを文字として表示するとき（データ表示）

①**データ表示するメロディを選択▶ ▶ 6 5**

- タイトル表示に戻すには、データ表示されているメロディの先頭行を選択し、 6 5 を押します。
- 本文の後に表示されるメロディではこの機能は利用できません。

メール

3 表示名を入力▶ [保存]

- 表示名は全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
保存したメロディは、メロディ内の「ｉモード」フォルダに保存されます。

お知らせ

- データ表示時にメロディを再生、保存するにはメロディにカーソルを合わせて を押し、「添付ファイル」を選択します。
- 送信メール詳細画面から操作する場合はメロディにカーソルを合わせて を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細画面の添付メロディも同様にして再生できます。
- MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、メールの受信日時が表示されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているメロディを削除してください。削除する前にメロディ一覧で を押すとメロディを再生し、 を押すとメロディの詳細情報を表示できます。

ｉモードメールに添付されているトルカを保存する

受信メールに添付されているトルカを保存します。

- 最大保存件数→P480

1 ▶ 1 ▶ フォルダを選択▶ トルカが添付されているｉモードメールを選択

詳細はこちら http://www.
.hokkai2005.ne.jp/kuma
。初めての 2週間の長期
旅行、大好きな北海道で
いっぱい走り、いっぱい
歩き、いっぱいおいしい
ものを食べました。しか
もいいお店も見つけたの
で、早速そのお店情報を
紹介します。
かに寿司.trc 0.2KB
－ END －

トルカのマークとファイル名、ファイルサイズ

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：メール添付やFOMA端末外への出力可
  - ：トルカ異常

2 保存するトルカにカーソルを合わせて ▶ 6 3

保存したトルカは、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

■ トルカを表示するとき

① **表示するトルカにカーソルを合わせて ▶ 6 1**

■ トルカのタイトルを確認するとき

① **タイトルを確認するトルカにカーソルを合わせて ▶ 6 2**

■ トルカの詳細情報をダウンロードするとき

① **トルカを選択**
以降の操作→P301「トルカを表示する」操作2

お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って不要なトルカを削除してください。

添付ファイル削除

添付ファイルを削除する

受信メールに添付されている画像、メロディ、トルカを削除します。

- 本文中に表示されるメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。
- 10000バイトより大きい画像を削除する場合は、マイピクチャ内の「ｉモード」フォルダから削除してください。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

〈例〉添付されている画像を削除するとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像が添付されているｉモードメールを選択

2 削除する画像のファイル名にカーソルを合わせて MENU ▶ 6 4

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、画像のファイル名にカーソルを合わせて MENU 6 5 を押します。

■ 添付されているメロディを削除するとき

① 削除するメロディのファイル名にカーソルを合わせて MENU ▶ 6 3

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、メロディのファイル名にカーソルを合わせて MENU 6 4 を押します。

3 「はい」を選択

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

お知らせ

- 10000バイトより大きい画像を削除した受信メールを表示すると、保存期限が薄く表示され、選択できなくなります。
- 送信メール詳細画面から操作する場合は、画像、メロディ、トルカにカーソルを合わせて MENU を押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。

受信メールBOX／送信メールBOX　MENU 11/14/15

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。受信済みのｉモードメールやSMSは受信メール内のフォルダに、送信済みのｉモードメールやSMSは送信メール内のフォルダに保存されています。また、送信せずに保存したｉモードメールやSMS、送信に失敗したｉモードメールやSMS、圏内自動送信待ちのｉモードメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されています。

- 最大保存件数→P480

〈例〉受信メールを表示するとき

1 ✉ ▶ 1

■ 送信メールを表示するとき

① ✉ ▶ 5

■ 未送信メールを表示するとき

① ✉ ▶ 4

2 フォルダを選択

受信メールの一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されているメールを、ｉアプリを起動せずに表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて MENU 1 を押します。

3 表示するメールを選択

- メール本文に電話番号やメールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用したり、電話帳やブックマークに登録したりできます。

お知らせ

- パソコンで装飾された受信メールは、パソコン上と同じ表示や動作にならない場合があります。
- メール本文の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）が複数添付されていると、添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なって、URLが見えない場合があります。

フォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - （グレー）：メールなし
  - （青）：未読メールなし
  - ：未読メールなし（プライバシー ON）
  - ：未読メールなし（メール連動型 i アプリで利用）
  - ：未読メールあり
  - ：未読メールあり（プライバシー ON）
  - ：未読メールあり（メール連動型 i アプリで利用）

送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - （グレー）：メールなし
  - （青）：メールあり
  - ：プライバシー ON
  - ：メール連動型 i アプリ

お知らせ
- メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択すると、それに対応する i アプリが起動します。

受信／送信／未送信BOXの一覧画面／詳細画面の見かた

受信BOX一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。

  ①**状態マーク**

  ：未読　：未読（返信不可）　：既読　：既読（返信不可）
  ：既読（返信済み）　：既読（転送済み）　：保護　：保護（返信不可）
  ：保護（返信済み）　：保護（転送済み）

  ※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

  ②**添付ファイル／SMS／メール連動型 i アプリマーク**

  ：10000バイト以内の画像　：メロディ　：トルカ
  ：複数添付あり（画像、メロディ、トルカのいずれか2つ以上）　：10000バイトより大きい画像
  ：SMS　：メール連動型 i アプリで利用されるメール　：i アプリToあり

  ※ 10000 バイトより大きい画像と一緒に、10000 バイト以内の画像やメロディ、トルカが添付されていても、 しか表示されません。

  ※ メール一覧表示設定で「1 行表示」に設定している場合、上記のマークは表示されず、添付ファイルがある場合のみ が表示されます。

- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- 受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 受信した i モードメールによっては、題名が表示されない場合があります。また、SMSの場合、題名には本文の先頭が表示されます。
- データ異常のSMSには が表示され、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になります。発信元は表示されません。

送信／未送信BOX一覧画面の見かた

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①状態マーク
    - マークなし：未保護　　　　：保護
    - ：圏内自動送信待ち　　　　：圏内自動送信失敗
    - ：保護＋圏内自動送信待ち　　　　：保護＋圏内自動送信失敗
  - ②添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク
    - ：10000バイト以内の画像　　：メロディ　　：トルカ
    - ：複数添付あり（画像、メロディ、トルカのいずれか2つ以上）　　：ｉモーション
    - ：10000バイトより大きい画像　　：SMS
    - ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
    - ※ ｉモーションまたは10000バイトより大きい画像と一緒に、10000バイト以内の画像やメロディ、トルカが添付されていても、　または　しか表示されません。
    - ※ メール一覧表示設定で「1 行表示」に設定している場合、上記のマークは表示されず、添付ファイルがある場合のみ　が表示されます。
- 送信日時には、送信した日付が当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。SMSの場合、題名には本文の先頭が表示されます。
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。

受信メール詳細画面の見かた

添付ファイルマーク
状態マーク
宛先マーク
メール番号／件数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：受信日時　　：発信元
  - ：宛先（TO）　　：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）
  - ：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）
  - ：題名（SMSは「受信SMS」「SMS送達通知」「留守番 着信通知」）
  - ：発信元（返信不可）
  - ：宛先（TO）（返信不可）（ｉモードメールのみ）
  - ：宛先（CC）（返信不可）（ｉモードメールのみ）
- ｉモードメールでは発信元からどの宛先（TO、CC、BCC）で送られてきたのかを、宛先マークで確認できます。
- 文字サイズは変更できます。→P265
- データ異常の SMS には　の代わりに　が表示され、　以外は表示されません。

送信済みメール詳細画面の見かた

添付ファイルマーク
状態マーク
メール番号／件数

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：送信日時
  - ：宛先（TO）
  - ：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）
  - ：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）
  - ：題名
- 文字サイズは変更できます。→P265

メール

次ページへ続く

お知らせ

- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレスの入力欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
  電話帳との照合→P103「名前の表示について」
- SMSおよび送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、名前が表示されます。
※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

- 添付ファイルやｉアプリが起動できるリンク項目がある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。
  - 画像のマークの意味→P245「添付されている画像を表示・保存する」操作1
  - メロディのマークの意味→P247「ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存する」操作1
  - トルカのマークの意味→P248「ｉモードメールに添付されているトルカを保存する」操作1
  - ｉアプリが起動できるリンク項目→P288

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

- 受信メール内には、「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メール内には、「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大10個作成できます。
- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。

〈例〉受信メールのフォルダを作成するとき

1 ✉ ▶ 1

送信／未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P249

2 MENU ▶ 1

■ **フォルダ設定を変更するとき**

① **フォルダ設定を変更するフォルダにカーソルを合わせて** MENU ▶ 3

3 下記の各項目を選択して設定 ▶ ⓜ［登録］

フォルダ名　：メールのフォルダ名称を設定します。
全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

プライバシー：プライバシーモード中にフォルダを表示するかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

〈例〉受信メールのフォルダを削除するとき

1 ✉ ▶ 1

送信／未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P249

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

2 削除するフォルダにカーソルを合わせて(menu)▶(2)▶認証操作▶「はい」を選択

メールの件数を確認する<フォルダ内メール件数>

受信メール、送信メール、未送信メールの未読、既読、保護の保存件数をフォルダごとに確認します。

〈例〉受信メールのフォルダ内の件数を確認するとき

1 (メール)▶(1)

送信／未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P249

2 件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて(menu)▶(5)

お知らせ

- メール一覧から操作する場合は(menu)を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する<アドレス表示>

発信元や宛先のメールアドレスを表示します。メールアドレスが途中までしか表示されない場合や、電話帳に登録されている名前が表示される場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。ただし、未送信メール詳細画面からは確認できません。

〈例〉受信メールの発信元を確認するとき

1 (メール)▶(1)▶フォルダを選択▶確認するメールを選択

送信メール詳細画面の表示方法→P249
メールテンプレート詳細画面の表示方法→P238

2 メールアドレスを確認する発信元または宛先を選択

お知らせ

- 複数のメールアドレスをまとめて確認する場合は、メール詳細画面で(menu)を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。
- 受信メール、送信メール、未送信メール一覧から操作する場合は、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせて(menu)を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールの場合、宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスが、受信メールの場合は自分以外の宛先（「TO：」「CC：」）が表示されます。

メール

受信／送信メールをフォルダに移動する<メール移動>

保存してあるメールを別のフォルダやminiSDメモリーカードに移動、コピーします。

〈例〉1件の受信メールを他のフォルダに移動するとき

1 (メール)▶(1)▶フォルダを選択

送信／未送信メール一覧の表示方法→P249

2 移動するメールにカーソルを合わせて(menu)▶(4)(1)(1)

■ 複数選択して移動するとき

①(menu)▶(4)(1)(2)▶メールを選択▶(i)

■ すべてのメールを移動するとき

①(menu)▶(4)(1)(3)

■ miniSDメモリーカードへ1件コピーするとき

①(menu)▶(4)(4)(1)▶「はい」を選択

■ miniSDメモリーカードへバックアップ（全件）するとき

①(menu)▶(4)(4)(2)▶認証操作▶「はい」を選択

3 (●)▶移動先フォルダを選択▶「はい」を選択

次ページへ続く

お知らせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

受信／送信メールを並べ替える<ソート>

受信メールと送信メールのメール一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は元に戻ります。

- 未送信メールとFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

〈例〉受信メール一覧を並べ替えるとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ フォルダを選択

送信メール一覧の表示方法→P249

2 MENU ▶ 7 4

■ 送信メールを並べ替えるとき

① MENU ▶ 5

3 1 ～ 3

メールが一時的に並び替わります。

お知らせ

- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並び順の結果が50音順と一致しない場合があります。
- 同じフォルダ内にSMSが含まれていると、一覧画面ではSMSはメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの未読／既読は変更できません。

〈例〉未読の受信メールを1件既読にするとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ フォルダを選択

2 変更する受信メールにカーソルを合わせて MENU ▶ 5 1

■ 既読の受信メールを1件未読にするとき

① 変更する受信メールにカーソルを合わせて MENU ▶ 5 2

■ 複数選択して未読の受信メールを既読にするとき

① MENU ▶ 5 3 ▶ メールを選択 ▶ ✉ ▶ 「はい」を選択

■ 複数選択して既読の受信メールを未読にするとき

① MENU ▶ 5 4 ▶ メールを選択 ▶ ✉ ▶ 「はい」を選択

■ フォルダ内の受信メールを全件既読にするとき

① MENU ▶ 5 5 ▶ 「はい」を選択

■ フォルダ内の受信メールを全件未読にするとき

① MENU ▶ 5 6 ▶ 「はい」を選択

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

受信／送信メールを保護する＜メール保護＞

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P480
- 未読メールは保護できません。

〈例〉受信メールを1件保護するとき

1 [メール]▶[1]▶フォルダを選択

送信／未送信メール一覧の表示方法→P249

2 保護するメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

- 状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール　：（既読）、（返信不可）、（返信済み）、（転送済み）
  送信メール　：
  未送信メール：

■ 複数選択して保護するとき

①[MENU]▶[3][2]▶メールを選択▶[i]

- 保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

■ フォルダ内の受信メールを全件保護するとき

①[MENU]▶[3][3]

■ 保護を1件解除するとき

①保護を解除するメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][4]

■ 保護を複数選択して解除するとき

①[MENU]▶[3][5]▶メールを選択▶[i]

■ 保護を全件解除するとき

①[MENU]▶[3][6]

お知らせ

- 送信メールまたは未送信メールの一覧から操作する場合は、[MENU]を押し、「保護」を選択します。
- メール詳細画面から保護する場合は[MENU]を押し、「保護」を選択します。保護解除する場合には[MENU]を押し、「保護解除」を選択します。
- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
- ｉモードメールやSMSをminiSDメモリーカードにコピーやバックアップしたり、SMSをFOMAカード内に移動やコピーしたりすると、保護は解除されます。

受信／送信メールを削除する＜メール削除＞

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、次の削除方法の条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除する

次の方法で削除できます。　　○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール（未読も削除）	○	－	－
フォルダ内-既読	フォルダ内の既読メール	○	○	－
フォルダ内-全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内-7日経過	フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読も削除）	○	○	－
フォルダ内-14日経過		○	○	－
フォルダ内-30日経過		○	○	－
1件削除	選択したメール1件	－	○	○
複数削除	選択した複数メール	－	○	－

1 ✉ ▶ 1

- メール全件を削除するときは、MENU 4 6 を押し、認証操作を行い、操作4に進みます。

2 **フォルダを選択 ▶ MENU ▶ 2**

- 受信メールを1件だけ削除するときは、削除する受信メールにカーソルを合わせて MENU 2 を押します。

3 1 ～ 7

■ **複数選択して削除するとき**

① 2 ▶ **メールを選択** ▶ ●

■ **フォルダ内の受信メールを全件削除するとき**

① 4 ▶ **認証操作**

4 **「はい」を選択**

お知らせ

- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。　　○：実行可　－：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール	○	－	－
全件削除	フォルダ内の全メール	○	○	－
1件削除	選択したメール1件	－	○	○（送信メールのみ）
複数削除	選択した複数メール	－	○	－

〈例〉送信メールを1件削除するとき

1 ✉ ▶ 5

未送信メールフォルダ一覧の表示方法→P249

- メール全件を削除するときは、MENU 4 2 を押して認証操作を行い、操作3に進みます。

2 フォルダを選択▶削除するメールにカーソルを合わせてmenu▶2 1

■ 複数選択して削除するとき
①フォルダを選択▶menu▶2 2▶メールを選択▶

■ フォルダ内の送信メールを全件削除するとき
①フォルダを選択▶menu▶2 3▶認証操作

3 「はい」を選択

お知らせ
- フォルダ一覧から操作する場合はmenuを押し、「メール削除」を選択します。
- メール詳細画面から操作する場合はmenuを押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

iモードメールやSMSの本文に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話やテレビ電話、プッシュトークをかけたり（Phone To／AV Phone To)、iモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、本文などの文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

1 メールを表示▶電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる
- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ選択できます。

以降の操作→P206「Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う」操作2

お知らせ
- パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To（AV Phone To)、Mail To、Web To機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

iモードメール、SMS中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- FOMAカード内のSMSの場合、本文、発信元をコピーできます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーできます。
- コピーした文字は電源を切るまでFOMA端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると前にコピーした文字に上書きされます。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーするとき

1 ▶1▶フォルダを選択▶コピーするメールを選択
送信メール詳細画面の表示方法→P249
メールテンプレート詳細画面の表示方法→P238
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P274

2 menu▶2
- 選択項目コピーをする場合は、コピーする項目にカーソルを合わせてから操作2を行います。
- テンプレートを表示しているときはmenu 3を押します。

3 コピー方法を選択
本文コピー　：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
コピー方法→P207「URLをコピーする」操作2
題名コピー　：題名をコピーします。
選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選択してコピーします。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける
文字の貼り付け方法→P427

お知らせ
- Date To形式の本文は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。

受信／送信メールから電話をかける＜電話発信＞

受信メールの発信元や送信メールの宛先に電話をかけられます。
- 電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておく必要があります。相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は電話番号のみの登録で電話をかけられます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中のみ電話をかけられます。

〈例〉受信メールから電話をかけるとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ **フォルダを選択**
送信メール一覧の表示方法→P249

2 **電話をかけるメールにカーソルを合わせて** menu ▶ 6
- 受信メールまたは送信メールの詳細画面から操作する場合は menu 7 を押します。

3 **発信条件を設定** ▶ menu ▶ **「はい」を選択**
条件を設定して電話をかける→P55

■ **宛先が複数あるとき**
① **メールアドレスを選択 ▶ 発信条件を設定 ▶** menu ▶ **「はい」を選択**

電話番号やアドレス、URLを電話帳に登録する

ｉモードメール、SMS中のメールアドレス、電話番号、URLを電話帳に登録できます。

〈例〉受信メールに表示されている電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ **フォルダを選択 ▶ 登録するメールを選択**
送信メール詳細画面の表示方法→P249
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P274

2 **登録元にカーソルを合わせて** menu ▶ 4 1

■ **登録済みの電話帳データに追加するとき**
① **登録元にカーソルを合わせて** menu ▶ 4 2

3 1 **または** 2

■ **登録済みの電話帳データに追加するとき**
① 1 **または** 2
② **更新登録する電話帳データを選択**

4 **名前などを設定** ▶ (登録) **［登録］**
- 登録済みの電話帳データに追加する場合は、内容を確認して登録してください。
電話帳の登録方法→P103、P105

お知らせ
- miniSDメモリーカード内のメール詳細画面から操作するときは menu を押し、「登録」を選択します。
- 表示中のｉモードメールやSMSのメールアドレス、電話番号、URLにカーソルを合わせていないときは、登録操作はできません。ただし、受信メールでは発信元に、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）にカーソルを合わせても電話帳に登録できます。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

URLをブックマークに登録する

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メールに表示されているURLを登録するとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ **フォルダを選択** ▶ **登録するメールを選択**

送信メール詳細画面の表示方法→P249
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P274

2 **URLにカーソルを合わせて** MENU ▶ 4 3 ▶ **登録先フォルダを選択**

お知らせ
- デコメールからは登録できない場合があります。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

メールを自動的にフォルダに振り分ける＜メール振り分け設定＞ MENU 193

受信または送信したｉモードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。
- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。その場合、メール連動型ｉアプリの振り分け条件が優先されます。

振り分け条件を設定する

- 振り分け条件を設定したり実行したりするには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。お買い上げ時は、「ON」に設定されています。→P261
- 条件設定後に受信または送信するメールに対して有効です。受信済みまたは送信済みのメールは振り分けできません。

〈例〉受信メールを振り分けるとき

1 ✉ ▶ 9 3

2 1 **を押す**

送信メールを振り分けるときは 2 を押します。

受信振り分け一覧 1/1
振り分け：ON
01 電話帳登録なし
02 docomo.taro.ΔΔ@do…
03 連絡

1行目には、自動振り分け設定のON／OFFが表示されます。また、登録済みの振り分け条件が優先順位順に一覧表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。

To：送信メールアドレス
From：受信メールアドレス
No.：メモリ番号
電話帳登録なし
題名
Gr.：グループ
条件なし

3 MENU ▶ 1 ▶ **振り分け条件を設定**

振り分け条件の指定
1 メールアドレス
2 題名
3 メモリ番号
4 グループ
5 電話帳登録なし
6 条件なし

■ メールアドレスを指定するとき

指定したメールアドレスのメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角で最大50文字）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- 電話帳から選択する場合
  ① 1 1 ▶ **指定する電話帳データのメールアドレスを選択**
- 直接入力する場合
  ① 1 2 ▶ **メールアドレスを入力** ▶ 決定

メール

■ 題名を指定するとき

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角で最大15文字、半角で最大30文字）。
SMSは題名では振り分けられません。

① 2 ▶ **題名を入力** ▶

■ メモリ番号を指定するとき

指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。iモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

① 3 ▶ **メモリ番号を入力** ▶ ▶ ●

■ グループを指定するとき

指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

① 4 ▶ 1 **または** 2

② **指定するグループを選択**

■ 電話帳登録なしを指定するとき

電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

① 5 **を押す**

■ 条件なしを指定するとき

条件を設定せずにすべてのメールを操作4で指定するフォルダに振り分けます。

① 6 **を押す**

4 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型iアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがiアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

5 優先順位を指定

優先順位の指定 1/1
01 電話帳登録なし
02 docomo.taro.ΔΔ@do…
03 連絡
[最後に追加する]

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1つ目の振り分け条件を登録する場合は、「最後に追加する」を選択します。
- 最後に追加するときは「最後に追加する」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「最後に追加する」は、「最後に移動する」と表示されます。

お知らせ

- 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ① 優先順位 1 の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ② 優先順位 2 の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。
- 発信元の端末がiモード端末で、メールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるので、振り分け条件には携帯電話番号のみを登録してください。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
- FOMA端末の電話帳とFOMAカードの電話帳に同一のメールアドレスが登録されている場合、FOMA端末のメールアドレスを優先して振り分けるため、振り分けの優先度と一致しない場合があります。

振り分け条件を確認・変更する

1 ✉ ▶ 9 3 ▶ 1 または 2

2 確認する振り分け条件を選択

■ 登録済みの振り分け条件を変更するとき

① **変更する振り分け条件にカーソルを合わせて** MENU ▶ 2

振り分け条件の指定の操作→P259「振り分け条件を設定する」操作3～5

② **「変更する」を選択**

メール

■ 優先順位を変更するとき

①変更する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 5

②移動する位置を選択

• 一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

■ 条件を削除するとき

①削除する振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 3

• 条件をすべて削除するときは MENU 4 を押し、認証操作を行います。

②「はい」を選択

振り分けるかどうかを設定する

お買い上げ時 振り分け：ON

設定した振り分け条件に従って振り分けするかどうかを設定します。振り分けを開始するには、「ON」に設定する他、振り分け条件を設定する必要があります。

〈例〉受信メールを振り分けるとき

1 ✉ ▶ 9 3

2 1 ▶ MENU ▶ 6

• 送信メールを設定するときは 2 を押し、MENU 6 を押します。

3 1 または 2

メールの署名を登録する<署名設定> MENU 194

お買い上げ時 自動挿入：する 署名：値なし

ｉモードメールやSMSの本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

• 署名は全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

1 ✉ ▶ 9 4 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [登録]

自動挿入：署名を自動挿入するかどうかを設定します。

• 自動挿入しない場合は 2 を選択します。

署名：署名を入力します。

お知らせ

• 署名も本文の文字数に含まれます。
• 「署名」を登録している場合には、メールの本文入力時に MENU を押し「署名挿入」を選択すると、「自動挿入」の設定に関わらず署名を挿入できます。
• 署名に電話番号やメールアドレス、URLを入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手がPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を使えます。
• SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、SMSに署名は挿入できません。

センター問い合わせの内容を設定する<ｉモード問合せ設定> MENU 164/2732

お買い上げ時 すべて選択

ｉモード問合せをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

1 ✉ ▶ 6 4 ▶ 問い合わせ項目を選択

• 全解除のまま登録できません。いずれかを選択してください。

2 [登録] を押す

メールを選択して受信できるようにする<メール選択受信設定> MENU 1972

お買い上げ時 OFF

iモードメールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。

1 ✉ ▶ 9 7 2 ▶ 1 または 2

- 「ON」に設定したときは、メールを自動的に受信できない旨のメッセージが表示されます。●を押してください。

お知らせ
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、チャットメールは利用できません。

宛先をメールグループに登録する<メールグループ設定> MENU 196

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、iモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 ✉ ▶ 9 6

■ メールグループ名を編集するとき
①編集するメールグループにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

■ メールグループをコピーするとき
①コピーするメールグループにカーソルを合わせて MENU ▶ 3

■ メールグループを1件削除するとき
①削除するメールグループにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 1 ▶「はい」を選択

■ メールグループを全件削除するとき
① MENU ▶ 4 2 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

2 📖 ▶ メールグループ名を入力 ▶ 📖

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。
- 続けて別のメールグループを登録する場合は、📖を押します。

3 メールアドレスを登録するメールグループを選択

4 ✉ ▶ 下記の各項目を選択して設定

宛先種別：「TO」「CC」「BCC」を設定します。
宛先種別→P228「宛先を追加する」操作1

アドレス：登録するメールアドレスを入力します。
- 半角で最大50文字入力できます。
- 電話帳から検索してメールアドレスを入力するときは、📒を押します。

■ 登録済みのメールアドレスを編集するとき
①編集するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて MENU ▶ 1 ▶ メールアドレスを変更

■ 登録済みのメールアドレスを1件削除するとき
①削除するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶「はい」を選択

■ 登録済みのメールアドレスの詳細を表示するとき
①詳細表示するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて MENU ▶ 3
- メールアドレスが電話帳に登録されていない場合や、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳の名前は表示されません。

②メールアドレスの確認が終わったら●

5 📖を押す

- すでに電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作4から繰り返します。

6 [登録]を押す

お知らせ
- 宛先種別にTOがないと、メールを送信できません。
- メールグループから宛先を入力する→P227

返信時に本文を引用するかどうかを設定する＜メール返信引用設定＞ MENU 1951

お買い上げ時　引用：する　引用文字：>（半角）

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 ▶ 9 5 1 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [登録]

引用　：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
- 「する」を選択すると、「引用文字」を設定できます。

引用文字：引用文字を入力します。
- 全角で1文字、半角で最大2文字入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

クイック返信を設定する＜クイック返信設定＞ MENU 1952

お買い上げ時　ON

受信したｉモードメールに返信するときにクイック返信を使用するかどうかを設定します。

1 ▶ 9 5 2 ▶ 1 または 2

クイック返信の本文を登録する＜クイック返信本文登録＞ MENU 1953

お買い上げ時　了解です　後で連絡します　ごめんなさいm(_ _)m　ありがとう(^-^)　ＯＫ

クイック返信で使用する本文を登録します。
- 最大5件登録でき、1件につき全角で最大20文字、半角で40文字入力できます。
- お買い上げ時は、登録されている本文に上書きするか、不要な本文を削除してください。

1 ▶ 9 5 3

2 本文を選択 ▶ 本文を入力 ▶ ▶ 「はい」を選択

■ 登録されている本文を確認するとき
①確認する本文にカーソルを合わせて

■ 登録されている本文を削除するとき
①削除する本文にカーソルを合わせて ▶ 1 ▶ 「はい」を選択

■ 登録されている本文を全件リセットするとき
① ▶ 2 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」を選択

■ 新たに本文を登録するとき
①「＜新しい返信本文＞」を選択 ▶ 本文を入力 ▶

メール一覧の表示形式を設定する＜メール一覧表示設定＞ MENU 1975

お買い上げ時　2行表示

受信メール、送信メールのメール一覧の表示形式を1行表示または2行表示に設定します。

1行表示

2行表示

- 1行表示に設定すると、受信メールの場合にはカーソルを合わせているメールの発信元が、送信メールの場合にはカーソルを合わせているメールの宛先（1件目）が、画面下部に表示されます。
- 未送信メール、FOMAカード内のSMS一覧の表示形式は、本設定に関わらず2行表示です。

1 ▶ 975 ▶ 1または2

添付ファイルを受信するかどうかを設定する＜メール受信添付ファイル設定＞ MENU 1973

お買い上げ時　画像、メロディ、トルカ受信

ｉモードメールに添付されている画像、メロディ、トルカを受信するかどうかを設定します。

1 ▶ 973 ▶ 1〜4

お知らせ

- 受信しない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除され、受信できません。
- 「受信しない」または「メロディのみ受信」に設定すると、メール本文中やデコメールに挿入された画像もｉモードセンターで削除され、受信できません。
- メール本文中に貼付されたMFi形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する＜添付ファイル自動再生設定＞ MENU 1974/2733

お買い上げ時　自動再生する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 ▶ 974 ▶ 1または2

お知らせ

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。再生を途中で止めるときは(ch クリア)を押します。

表示するメールの種別を選ぶ＜表示種別＞

受信メール、送信メールのメール一覧に、指定した種別のメールだけを一時的に表示します。表示を終了すると、「すべて表示」に戻ります。

- 未送信メール、FOMAカード内のSMSの表示種別は選択できません。

〈例〉受信メールの表示種別を選択するとき

1 ▶ 1 ▶ **フォルダを選択**

送信メール一覧の表示方法→P249

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

2 MENU ▶ 7 2 ▶ 1～4

選択した種別で表示されます。
- 受信メールの場合、「既読のみ表示」を選択すると、保護されている受信メールは表示されません。
- 送信メールの場合、「すべて表示」「保護のみ表示」が選択できます。

メールの文字の大きさを変更する<文字サイズ>

お買い上げ時 中（標準）

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。
- 本機能の設定は受信メール、送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールすべてに反映されます。
- メール作成時および編集時の文字サイズは変更できません。

大：24ドット

中（標準）：20ドット

小：16ドット

〈例〉受信メール詳細画面で文字サイズを変更するとき

1 ✉ ▶ 1 ▶ **フォルダを選択 ▶ メールを選択**

送信メール詳細画面の表示方法→P249
メールテンプレート詳細画面の表示方法→P238
FOMAカード内のSMS詳細画面の表示方法→P274

2 MENU ▶ 3 1
- メールテンプレートを表示しているときはMENU 4 1を押します。

3 1～3

お知らせ
- miniSDメモリーカード内の受信メールや送信メール、未送信メールの詳細画面から操作する場合は、MENUを押し、「文字サイズ」を選択します。
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。

メール着信時の動作を設定する<メール着信設定> MENU 191

お買い上げ時 着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10

ｉモードメール、SMSを受信したときの動作を設定します。

1 ✉ ▶ 9 1 ▶ **下記の各項目を選択して設定 ▶ ⊙［登録］**

着信音選択：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
動画／ｉモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

着信イルミネーション設定：着信ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

着信ランプのイルミネーションパターン→P137

バイブレータ設定：バイブレータの動作パターンを設定します。

バイブレータのパターン→P122

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を1～30秒の範囲で設定します。

メロディまたは動画／ｉモーションの再生の操作→P120

お知らせ

- 電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。→P104 操作6
- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても、連動しない場合があります。

操作中のメール受信通知を設定する<受信表示設定> MENU 1971

お買い上げ時　通知優先

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 ▶ 9 7 1 ▶ 1～3

操作優先：受信中画面および受信結果画面を表示しません。
通知優先：受信中画面および受信結果画面を表示します。
開：操作/閉：通知 優先
：FOMA端末を開いているときは操作優先、折り畳んでいるときは通知優先になります。

お知らせ

- 「通知優先」に設定していても、音声電話中やプッシュトーク通信中、データ通信中、カメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中などの場合は、受信中画面および受信結果画面は表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。
- 「操作優先」に設定すると次の場合に受信中画面や受信結果画面が表示されず、着信音と着信ランプも動作しません。
  - 待受中以外のとき（他の機能が起動中）
  - 開閉ロック中（FOMA端末を開いているとき）
  - オールロック中
  - 公共モード中
  - PIMロック中

チャットメール作成・送信 MENU 13

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

- チャットメールを使用するには、あらかじめ相手のメールアドレスをメンバーリストに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、またはメールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、受信側の端末は「チャットメール」と題名に記載されたメールを受信します。また、チャットメンバーに設定しているチャットメール非対応端末から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信した場合、チャットメールとして受信できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

チャットメール画面

チャットメール画面

チャットメール画面の見かたは次のとおりです。

①送受信履歴
- ガイド行に▲や▼が表示されているときは、を押すとスクロールできます。や を押すと、画面単位でスクロールできます。また、MENU 5 1 を押すと先頭行に移動し、MENU 5 2 を押すと最終行に移動して表示されます。

②詳細表示欄
最新またはカーソルを合わせたチャットメールの詳細を表示します。チャットメールの表示可能文字数は全角で最大250文字、半角で最大500文字です。
- 詳細表示欄に表示しきれない場合は、欄下の左右に◀ ▶が表示されます。を押すと、欄内のページが切り替わります。
- メンバーリストに未登録の同報アドレスが含まれるメールの場合は、が表示されます。

③本文入力欄

④チャットメールを送信または受信した日付・時刻

チャットメンバーを登録する＜チャットメンバー設定＞

チャットメールをやりとりする相手を登録します。

- チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。同じメールアドレスは複数登録できません。

1 ▶ 3

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- メンバーがすでに登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、MENU 7 を押して操作3に進みます。

2 「はい」を選択

3 を押す

4 アドレスの入力欄にカーソルを合わせてメールアドレスを入力

- 半角で最大50文字入力できます。
- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

■ 電話帳から検索するとき

① ▶ **電話帳から検索** ▶ **メールアドレスを選択**

5 ニックネームの入力欄にカーソルを合わせてニックネームを入力

- 全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
- アドレスの入力欄のメールアドレスと電話帳に登録したアドレスが一致すると、電話帳に登録した名前（先頭から全角4文字、半角8文字まで）が表示されます。
- ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@マークより前の部分の先頭から8文字が表示されます。

6 文字色を選択 ▶ 色を選択

- 青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。
- チャットメール画面ではニックネームが選択した色で表示されます。

7 を押す

メンバーリストが表示されます。

- 他のメンバーを追加登録する場合は を押して、操作4～7を繰り返します。

8 ［登録］を押す

チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
- 送信したチャットメールは、ｉモードメールの送信BOX内のフォルダに保存されます。
- メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに振り分けられます。

1 ▶ 3

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力

- 全角で最大250文字、半角で最大500文字入力できます。

次ページへ続く

■ チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付けるとき

①コピーするチャットメールにカーソルを合わせて(MENU)▶(6)
文字のコピー方法→P427

②本文入力欄を選択▶貼り付ける位置にカーソルを合わせて(MENU)▶(3)
文字の貼り付け方法→P427

■ 受信したメールの同報アドレス全員に返信するとき

①(MENU)▶(2)(2)

■ 送信するメンバーを選択するとき

①(MENU)▶(3)▶メンバーを選択

②(田)を押す
宛先が設定されます。

3 (田)［送信］を押す

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールがチャットメール画面に表示されます。

お知らせ

- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。別のチャットメールの送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。

チャットメールを受信する<チャットメール受信>

チャットメールを受信したときは、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、「チャットメール」の題名が付いたメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

- チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は受信メール内の「受信BOX」フォルダに保存されるため、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールはｉモードメールとして受信メール内の「受信BOX」フォルダに保存されます。

- メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに振り分けられます。

1 受信メール一覧で、チャットメール画面に読み込む受信メールにカーソルを合わせて(MENU)▶(7)(5)

受信メール一覧の表示方法→P249

- 読み込むメールの発信元をチャットメンバーに登録していない場合は、発信元を登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録するときは「はい」を選択してください。
以降の操作→P267「チャットメンバーを登録する」操作5～8

お知らせ

- 受信メール詳細画面から操作する場合は(MENU)を押し、「表示」→「チャットメール表示」を選択します。
- デコメールやパソコンなどから受信したHTMLメールは、チャットメール画面に読み込めません。
- チャットメール画面は、次の操作でも表示できます。
  - 送信メール一覧で「チャットメール」の題名が付いたメールにカーソルを合わせて(MENU)(7)(4)を押します。
  - 「チャットメール」の題名が付いた送信メール詳細画面で(MENU)(3)(3)を押します。

ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 チャットメール画面でmenu▶1

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

お知らせ

- チャットメールを起動していないときに、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信すると、次回のチャットメール起動時にチャットメール画面に読み込まれます。
- ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信します。
- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。
- チャットメール画面では、本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toは使用できずｉアプリToの機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メール内のフォルダからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 受信メール内のフォルダからチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信メール内のフォルダでは既読になります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、「チャットメール」の題名が付いたメールはチャットメール画面に表示できます。

同報アドレスを表示する

受信したチャットメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で、同報アドレスを確認するチャットメールにカーソルを合わせてmenu▶4

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。●を押すとメールアドレスを確認できます。

■ 未登録の同報者をチャットメンバーとして登録するとき

①📖▶以降の操作→P267「チャットメンバーを登録する」操作5～8

■ 同報アドレスをコピーするとき

①menu▶2

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面でmenu▶9▶「はい」を選択

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容の変更や、メンバーの追加、削除を行います。
メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 チャットメール画面でmenu▶7

2 編集するメンバーを選択▶編集

チャットメンバー設定方法→P267「チャットメンバーを登録する」操作4～7

■ チャットメンバーを１件削除するとき

①削除するメンバーにカーソルを合わせてmenu▶2▶「はい」を選択

■ チャットメンバーの詳細を表示するとき

①menu▶3
②詳細の確認が終わったら●

■ チャットメンバーを追加するとき

① MENU ▶ 4

チャットメンバー設定方法→P267「チャットメンバーを登録する」操作4〜7

■ チャットメールのメンバー全件をメールグループと入れ替えるとき

① MENU ▶ 5

② **入れ替えるメールグループを選択 ▶「はい」を選択**

チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

3 [登録]を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 チャットメール画面で MENU ▶ 8

2 ニックネームの入力欄にカーソルを合わせてニックネームを入力

- 全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。
- ニックネームを入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

3 文字色を選択 ▶ 色を選択 ▶ [登録]

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で 電源 または クリア ▶「はい」または「いいえ」を選択

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。その場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。
- 「いいえ」を選択すると、次回のチャットメール起動時に前回のチャットメールが表示されます。

チャットメール着信時の設定を行う<チャットメール着信設定> MENU 192

お買い上げ時　着信動作設定：メール着信動作に従う

チャットメールを受信したときの動作を設定します。

1 ✉ ▶ 9 2 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [登録]

着信動作設定：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、次の項目を設定できます。

着信音選択：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／iモーションを選択します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。

メロディのフォルダや一覧の見かた→P322

動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

着信イルミネーション設定：着信ランプの点灯または点滅パターンと色を設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると色は選択できません。

着信ランプのイルミネーションパターン→P137

バイブレータ設定：バイブレータの動作を設定します。

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を1〜30秒の範囲で設定します。

メロディまたは動画／iモーションの再生の操作→P120

お知らせ

- チャットメール起動中にFOMA端末を開いている場合は、着信設定が動作しません。
- 同時に複数のメールを受信した場合、上記設定どおりの動作になるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。
- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても、連動しない場合があります。

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMSを作成して送信します。送信せずに保存することもできます。

- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側に正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 最大保存件数→P480
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P250

〈例〉宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 ▶7 1▶宛先の入力欄を選択

2 「直接入力」を選択▶宛先を入力

相手の電話番号を入力します。

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、宛先の入力欄に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（0を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択▶電話帳を検索▶電話番号を選択

3 本文の入力欄を選択▶本文を入力

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大70文字入力できます。
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、最大160文字入力できます。半角の英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）を使用できます。
- #を押すと改行できます（全角数字入力モード、半角数字入力モード時を除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末では半角空白に置き換わります。

■ 署名を挿入するとき

① MENU▶4

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

4 [送信］を押す

- 送信せずに保存する場合は、MENU 2を押すと未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。ただし、宛先と本文がどちらも入力されていない場合は保存できません。

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが未送信メール内の「未送信BOX」フォルダに保存されます。未送信メール内の「未送信BOX」フォルダからSMSを編集、送信できます。→P240
- 送信が正常に終了したときは、SMSが送信メール内のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に消去されます。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メール内のフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知設定を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は発信元に発信者番号が通知されます。
- 送信する文字種により送信できない文字があります。→P226
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号（｜ ＾ { } [ ] ～ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できないことがあります。その場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→P255

送信・保存したSMS（ショートメッセージ）を編集・送信する

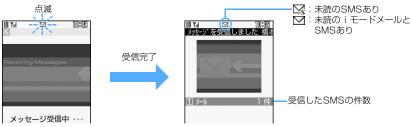
送信済みのSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集、送信できます。→P240

SMS受信

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMSは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したSMSは受信メール内のフォルダに保存されます。

- 最大保存件数→P480

1 SMSを受信

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

- SMS受信中に電源を押すと受信を中止します。
- FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイに受信状態が表示されます。→P31
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。それより前に受信前の画面に戻すときはクリアを押します。

■ 受信したSMSをすぐに読むとき

①受信結果画面で●または1
②フォルダを選択▶SMSを選択
受信したSMSに返信する→P243　　受信したSMSを転送する→P244

■ 受信に失敗したとき

受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

メール

お知らせ

- 受信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面は表示されません。→P266
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。
- movaサービスのｉモード端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
- FOMA 端末内の電話帳に、メール着信設定のある相手から SMS を受信した場合は、その設定に従って動作します。
  電話帳との照合→P103「名前の表示について」
  複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したSMSに設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
- ドコモ以外の海外通信事業者から SMS を受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「+」が付きます。電話帳に「+」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読以外の古い受信メールから順に消去されます。残しておきたい受信メールは保護してください。→P255
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはやが表示されます（→P29）。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P254）、未読メールの内容表示（→P249）、不要メールの削除（→P255）、保護解除（→P255）などを行う必要があります。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信メール内のフォルダに空きがあっても、SMSを受信できない場合があります。このとき、画面にはやが表示されます（→P29）。FOMA端末に移動するか（→P275）、FOMAカード内のSMSを削除してください。→P275
- 受信した SMS が直接 FOMA カードへの保存を指定している場合は、直接 FOMA カードに保存されます。ただし、FOMAカード内に保存されているSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから、もう一度SMS問合せを行ってください。

SMS問合せ　MENU 162

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 [メールキー] ▶ [6] [2]

SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

お知らせ
- 受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMS設定　MENU 174

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う

お買い上げ時　送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3日　SMSC：ドコモ
アドレス：81903101652　Type of Number：international

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

SMSC、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。

1 [メールキー] ▶ [7] [4] ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ [決定キー]［登録］

送信文字種：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。
送達通知：SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。
有効期間：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。
SMSC：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレスの入力欄にカーソルを合わせてメールアドレスを入力します。半角で最大20文字入力できます。

Type of Number
：「international」「unknown」のどちらかを設定します。SMSCに「その他」を選択し、かつメールアドレスに数字のみ、あるいは「＊」「＃」を含んだ番号を設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

お知らせ
- SMSの作成画面から操作する場合は[menu]を押し、「SMS設定」を選択します。その場合には、送達通知、有効期間のみ設定できます。また、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

FOMAカード保存SMS

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに保存する

送受信したSMSを、FOMA端末からFOMAカードに移動またはコピーします。

SMS（ショートメッセージ）をFOMAカードに移動／コピーする

- 未送信メールのSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの受信メール内のフォルダに移動またはコピーされます。送信SMSだけ、または送達通知だけを移動またはコピーできません。
- 最大保存件数→P480

〈例〉受信SMSをFOMAカードに1件移動するとき

1 [メールキー] ▶ [1] ▶ **フォルダを選択**

送信SMS一覧の表示方法→P249

次ページへ続く

2 移動するSMSにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 2 1

■ 複数選択して移動するとき

① MENU ▶ 4 2 2 ▶ SMSを選択 ▶ ⊡

■ 1件コピーするとき

① コピーするSMSにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 3 1

■ 複数選択してコピーするとき

① MENU ▶ 4 3 2 ▶ SMSを選択 ▶ ⊡

3 「はい」を選択

お知らせ

- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「移動／コピー」→「FOMA カードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。
- FOMAカードにSMSが20件保存されているときは、移動またはコピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を表示する　MENU 172/173

〈例〉受信SMSを表示するとき

1 ✉ ▶ 7 2

ページ番号／総ページ数

FOMA受信SMS一覧画面では、SMSは2行で表示されます。1行目には受信日時と発信元または宛先が表示され、2行目には本文の先頭または「SMS送達通知」、「留守番　着信通知」が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ✉：未読（返信可）　✉：未読（返信不可）
  - ✉：既読（返信可）　✉：既読（返信不可）
  - ✉：送達通知、着信通知
- 一覧の既読、未読のマークは、FOMA カード内の SMS を表示したかどうかを示します。移動またはコピー前の未読、既読の状態も引き継がれます。
- 送信SMSを表示するときは ✉ 7 3 を押します。

2 SMSを選択

メール番号／件数

- マークの意味は次のとおりです。
  ① マーク
  - ：受信（返信可）　：受信（返信不可）
  - ：送信　：送達通知
  - ：FOMAカード内のSMS

  ② マーク
  - ：日時
  - To：宛先　From：発信元　：発信元（返信不可）
  - ：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」
- 送達通知の場合、発信元は「SMS　Center」と表示されます。着信通知の場合、発信元は「DoCoMo SMS」と表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。

お知らせ

- FOMAカード内のSMSからも、受信SMSの返信や転送、送信SMSの再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信SMS、送信SMSと同じです。
- FOMAカード内のSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、FOMA端末の送信メール内のフォルダに保存されます。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）をFOMA端末に移動／コピーする

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末の受信メール、送信メール内のフォルダに移動またはコピーします。

- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メール内のフォルダに移動またはコピーされます。送信SMSだけ、または送達通知だけを移動またはコピーできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末に1件移動するとき

1 ✉ ▶ 7 2

FOMAカード内の送信SMS一覧の表示方法→P274

2 移動するSMSにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

■ 複数移動するとき

① MENU ▶ 3 2 ▶ SMSを選択 ▶ ✉

■ 1件コピーするとき

① コピーするSMSにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 3

■ 複数コピーするとき

① MENU ▶ 3 4 ▶ SMSを選択 ▶ ✉

3 ● ▶ 移動先フォルダを選択 ▶ 「はい」を選択

お知らせ

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動またはコピーできません。保護されていないｉモードメールやSMSがあっても上書きされません。受信メール、送信メール内のフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。

FOMAカード内のSMS（ショートメッセージ）を削除する

SMSを削除します。1件削除、まとめて削除、送達通知だけまとめて削除ができます。

- 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

〈例〉FOMAカード内の受信SMSを1件削除するとき

1 ✉ ▶ 7 2

FOMAカード内の送信SMS一覧の表示方法→P274

2 削除するSMSにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 1

■ 複数削除するとき

① MENU ▶ 2 2 ▶ SMSを選択 ▶ ✉

■ 全件削除するとき

① MENU ▶ 2 3 ▶ 認証操作

■ 送達通知を全件削除するとき

① MENU ▶ 2 4 ▶ 認証操作

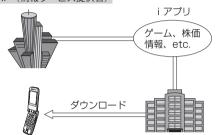
3 「はい」を選択

お知らせ

- FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は MENU を押し、「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）がさらに便利になります。たとえば、ｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズにスクロールできます。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存、画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

ｉアプリをダウンロードする→P279
ｉアプリを起動する→P280
ｉアプリを自動起動する→P287

お知らせ

- ｉアプリによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ｉアプリによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P281

登録データを利用する

ｉアプリには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、動画、トルカ、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- データBOXへの動画保存
- トルカ一覧へのトルカ保存

お知らせ

- ｉアプリにより画像、動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャ内の「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリがあります。

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの情報やゲームの進行をよりリアルタイムに更新したりするなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

登録データを利用する

ｉアプリDXには、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、動画、トルカ、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照・登録・操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- データBOXへの動画保存
- データBOXへの着信音保存
- トルカ一覧からのトルカ参照、取得
- トルカ一覧へのトルカ保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話の発着信、テレビ電話の着信、メール送受信、メッセージR/F 受信）

お知らせ

- ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはｉアプリによって異なります。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリDXがあります。
- ｉアプリDXにより画像、動画、着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャ内の「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション、メロディ内の各「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを使ってICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードしたり、その残高や利用履歴を確認するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにICカード内の情報が送信されます。

おサイフケータイとは→P298

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタにメール受信やアラームを知らせてもらったり、より便利な待受画面にできます。→P128、P281、P288

- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。→P287

■ カメラ撮影

ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。→P291

- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。※→P291

- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ｉアプリから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P344

たとえば、お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用できます。→P286

- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合、そのｉアプリはFOMA端末に保存されません。
- 最大保存件数→P480

1 ｉアプリのあるサイトを表示▶ｉアプリを選択

選択したｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロードを中止するには ◉ を押し、「はい」を選択します。

■ ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき

ｉアプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。

- ⓜ を押すと、ダウンロードするｉアプリの詳細情報を確認できます。

■ 登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロードされます。

- ガイド行に「ガイド」と表示された場合に ⓜ を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ 選択したｉアプリがすでにダウンロードされているとき

「ダウンロード済みです」というメッセージが表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ 選択したｉアプリがすでに異なるFOMAカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

2 ｉアプリを保存するフォルダを選択▶下記の各項目を選択して設定

ｉアプリ待受画面：

ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリをｉアプリ待受画面に設定するかどうかを選択します。

通信設定：

ｉアプリに通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：

ｉアプリにメールや電池残量などの各種アイコンを利用させるかどうかを設定します。

- ｉアプリによっては設定できない項目があったり、動作の設定画面が表示されない場合があったりします。

3 ▶「はい」を選択

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

- 「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。

お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って、保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリは元に戻りません。
- ICカード内のデータ容量によっては、ｉアプリの保存領域に空きがあっても、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。その場合は、画面の指示に従ってICカード内の保存領域に保存可能な空き容量が確保できるまでｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードするｉアプリの種類によっては、削除対象とならないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除する必要があります。
- アイコン情報を「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール、受信メール、未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。ただし、ｉアプリが更新された場合は、バージョンアップできます。

お知らせ

- メール連動型 ｉ アプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、すでにあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。また、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に再ダウンロードやバージョンアップを行う場合は、認証操作を行うとダウンロードやバージョンアップが継続されます。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールがすでにFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時 OFF

ｉアプリをダウンロードするときに、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 3 2 3 ▶ 1 または 2

MENU 31

ｉアプリを起動する

1 （1秒以上）

■ICカードソフト（おサイフケータイ対応ｉアプリ）のみ表示するとき

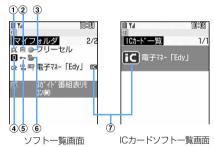
① MENU ▶ 6 4

ICカードソフト一覧が表示されます。操作3に進みます。

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：ｉアプリなし
  - ：ｉアプリあり

3 起動するｉアプリを選択

ソフト一覧画面　ICカードソフト一覧画面

- マークの意味は次のとおりです。
  - ① ：ｉアプリ
  - ：ｉアプリDX
  - ：メール連動型ｉアプリ
  - ② ：ｉアプリ待受画面に設定可（背景色なし）
  - ：ｉアプリ待受画面に設定中（背景色緑）
  - ③ ：自動起動設定中
  - ：IP（情報サービス提供者）によって停止状態のｉアプリ
  - ④ 0～9：ツータッチｉアプリ登録中

⑤ SSL：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
：保護されているｉアプリ
：SSLページからダウンロードした保護されているｉアプリ
⑥ ：ワンタッチｉアプリ登録中
⑦ ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
- 起動するｉアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。を押し「はい」を選択しても終了できます。

お知らせ

- 3Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※：多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、電話着信音の音量調整に従います。ただし、音量調整で「STEPTONE」に設定している場合は「LEVEL4」になります。
- ｉアプリによっては、ダウンロードをした後も通信を行う場合があります。あらかじめｉアプリの通信設定をすることによって、通信を行わないようにできます。
- 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、を押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます。ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - プッシュトークが着信したとき（ｉモード中プッシュトーク着信で「ｉモード優先」に設定している場合を除く）
  - アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像や、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- ｉアプリ作成者の方へ
  ｉアプリを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面でを押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているｉアプリが保存されていないときは、表示できません。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する<セキュリティエラー履歴>

ｉアプリが、登録データなどを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最新の20件まで記録されます。

1 ▶
- 履歴を削除するときはを押して「はい」を選択します。

ｉアプリの詳細情報を表示する<ソフト詳細情報>

ｉアプリの名前やバージョンなど、ｉアプリの詳細情報を確認します。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選択▶詳細情報を確認するｉアプリにカーソルを合わせて**

2 **詳細情報を確認**
- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、を押すと、サイトの証明書を確認できます。

ｉアプリの動作条件を設定する<ソフト動作設定>

ｉアプリごとに動作条件を設定します。

1 **（1秒以上）▶フォルダを選択▶設定するｉアプリにカーソルを合わせて▶▶下記の各項目を選択して設定**
- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを、待受画面に設定するかどうかを設定します。
- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ

次ページへ続く

ｉアプリ待受画面通信設定：
ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。
通信設定：
ｉアプリ動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。
アイコン情報：
ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。
ブラウザからの起動：
サイトからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
メールからの起動：
メールからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
外部機器からの起動：
外部機器からｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。
ソフトからの着信音／画像変更を※：
ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を変更することを許可するかどうかを設定します。
- 「許可する」に設定すると、自動的に着信音や待受画面の画像が変更される場合があります。

変更ごとに確認画面を※：
ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。
ソフトからの電話帳／履歴参照を※：
ｉアプリが電話帳や履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。
- 「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴が参照される場合があります。
- FOMA端末に保存したトルカも対象となります。

※：ｉアプリDXのみ設定できます。

2 ［登録］を押す
- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると待受画面に設定され、テロップ表示設定を「表示する」に設定している場合はテロップ表示が解除されます。ただし、すでにそのｉアプリを待受画面に設定している場合は、確認画面は表示されません。

お知らせ
- ｉアプリ待受画面通信設定、通信設定を「通信する」に設定すると、自動的にネットワークに接続します。
- ネットワークに接続して通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリによっては自動的に通信を行うことがあります。
- 本機能の設定によっては、ネットワークへの接続やアイコン情報（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。
- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内／圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

ｉアプリ動作中の照明とバイブレータの動作を設定する<照明設定・バイブレータ設定>

照明動作を設定する

お買い上げ時　端末設定に従う

1 MENU ▶ 3 2 4 ▶ 1 または 2
端末設定に従う：
ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。
ソフトに従う：
ｉアプリに従って照明が点灯します。

お知らせ
- ｉアプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定に従います。
- 公共モード中は、「ソフトに従う」に設定してもｉアプリ動作中の照明は動作しません。

バイブレータを設定する

お買い上げ時　ON

ｉアプリ動作中に、ｉアプリによるバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 3 2 5 ▶ 1 または 2

ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しむことができます。

1 指定されたｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択

お知らせ
- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択します。
- 起動するｉアプリが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

プリインストールｉアプリを使う

お買い上げ時は、次のｉアプリが登録されています。

ゲームソフト	Mobile三國志2 ZOOKEEPER DX F ロジックパズル F フリーセル
その他のソフト	電子マネー「Edy」 Gガイド番組表リモコン

- フリーセルはｉアプリ待受画面に設定できます。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

アクセス方法(2005年11月現在)

ｉMenu → メニューリスト → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

※ 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「@Fケータイ応援団」のサイトに接続できます。

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

Mobile三國志2

2～3世紀の中国を舞台とした魏・呉・蜀三国時代の歴史シミュレーションゲームです。一国の君主となり領土を開発し、勢力を拡大して全国統一を目指します。

ゲーム開始

タイトル画面で「はじめから」を選択し、画面の指示に従ってシナリオ、君主、レベル、モードを選択するとゲームが始まります。

シナリオ：

「董卓の横暴」「群雄割拠」「臥龍と鳳雛」の3種類のシナリオがあります。初めは「董卓の横暴」のみ表示されますが、表示されているシナリオをクリアすると、次のシナリオが表示され選択できるようになります。シナリオごとに開始年と選択できる君主が異なり、違う展開でゲームを楽しめます。

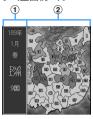
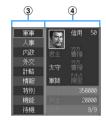
レベル：

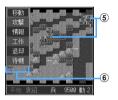
「初級」「中級」「上級」から選択できます。

モード：

「史実」「仮想」から選択できます。史実モードは、全武将の性格、人間関係、出身が史実に基づいて展開するモードです。仮想モードは、史実と異なる性格や人間関係で展開するモードで、史実モードより予想が困難なため難しくなります。

遊びかた

人事、内政、軍備増強などの戦略コマンドを実行して国力を強化していきます。1ターンは1か月に相当し、ターンごとに配下の武将の数だけコマンドを実行できます。他国に攻め込むか、他国から攻め込まれると戦争が始まります。部隊を配置し、戦争コマンドを実行してゲームを進めます。戦争では1ターンは1日に相当し、1ターンにつき1部隊1コマンドを実行できます。中国全土41か国を支配するとゲームクリアです（全国統一）。

地図画面

戦略画面

戦争画面

① ：現在のターンが表示されます。
② ：現在の勢力地図が表示されます。
③ ：戦略コマンドの一覧が表示されます。
④ ：人口、兵士数など国の情報が表示されます。
⑤ ：部隊の配置が表示されます。
⑥ ：戦争コマンドの一覧が表示されます。

[マルチカーソル]：カーソルを上下左右に移動（一部の画面では[左右キー]で画面切り替え）

[決定]：項目の決定

[MENU]：情報表示、地図表示、前の画面に戻るなど（画面によって異なります）

[クリア]：取消、画面切り替えなど（画面によって異なります）

[0]～[9]

：コマンド選択のショートカット、数値の入力

[＊]／[＃]

：数値入力欄でカーソルを左右に移動、2回押すと最大／最小値の入力

次のターンに進むとき：

「待機」コマンドを実行します。

ゲームを中断するとき：

戦略コマンドの中から「セーブ」コマンドを実行します。次に起動したとき「つづきから」を選択すると、ゲームを継続できます。

- 詳細は、「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

ZOOKEEPER DX F

動物を入れ替えて、同じ動物をタテヨコ3匹以上並べて捕まえていきます。制限時間付きのハラハラ、ドキドキのアクションパズルゲームです。

タイトル画面について

①：●を押すとゲームがスタートします。

②：◉を押して「HOW TO PLAY」「STORY」「HI SCORE」「CREDIT」「OPTION」を選択します。
- 「HOW TO PLAY」を選択すると、基本ルールを確認できます。

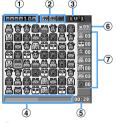
menu／＊

：サウンドのON／OFF切り替え（「♪×」または「♪○」が表示されます）

⑮：iアプリの終了（ゲーム中はゲームの休止）

遊びかた

交換したい動物を選んで●を押し、入れ替えたい動物の方向に合わせて◉を押すと、動物が入れ替わります。タテかヨコに同じ動物を3匹以上並べ、動物が消えれば得点になります。ノルマ数をクリアしていくと、レベルが最大12までアップしていきます。レベルがアップするに従って残りタイムの減少速度はどんどん速くなっていきますが、動物を消すことでタイムは回復します。

レベル1～6は7種類（サル、パンダ、キリン、カバ、ゾウ、ワニ、ライオン）の動物、レベル7以降はウサギが加わり、8種類の動物が出現します。

①：得点を表示します。

②：双眼鏡の残り使用回数を表示します。

③：現在のゲームレベルを表示します。

④：横長のメーターで残りタイムが表示されます。残りタイムが少なくなると点滅します。

⑤：経過時間を表示します。

⑥：捕まえなければならない各動物のノルマ数を表示します。

⑦：捕まえた各動物の数を表示します。

◉（2）／◉（8）：カーソルを上下に移動

◉（4）／◉（6）：カーソルを左右に移動

●　5：動かす動物の決定またはキャンセル

1：双眼鏡を選択
- 消せる動物が拡大表示されます。

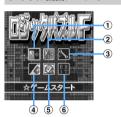
ラッキー動物：
各レベルのゲーム開始時にラッキー動物がランダムに表示されます。ラッキー動物を捕まえると通常の倍の得点が入ります。

スペシャルパネル：
ランダムに出現し、選ばれた種類の動物をすべて捕獲します。

- 消せる動物がなくなった場合は、「NO MORE MOVE」と表示され、動物がすべて入れ替わります。このとき、レベル×1000が得点に加算されます。
- ゲームの進行状況により、ゲーム終了後に表示される園長のメッセージやアニメーションが変化します。

ロジックパズル F

ヒントの数字を基にブロック（■）を配置して図形を作成していきます。簡単なルールで誰でも楽しめるパズルゲームです。

タイトル画面について

①：コース、問題を選択してゲームを開始します。

②：前回の続きで再開します。

③：設定メニューを表示します。

④：問題をダウンロードします。

⑤：クリアした問題を確認します。

⑥：ゲームを終了します。

◉：カーソルを上下左右に移動

問題のダウンロード：
お買い上げ時、10コース各10問ずつ（計100問）が登録されています。さらに問題をダウンロードして追加できます。
- ダウンロードにはパケット通信料がかかります。

設定メニューについて

タイトル画面やゲーム画面から設定メニューを表示できます。

サウンド：
●を押すとゲーム中の効果音のON／OFFを切り替えられます。

ボリューム：
◉を押すと効果音量が大きくなり、◉を押すと小さくなります。ボリュームは、0～10の範囲で設定できます。

バックライト：
●を押すとゲーム中の照明のON／OFFを切り替えられます。

ブロック設定：

を押すたびに■の色を赤→青→黄→緑→黒の順に切り替えられます。を押すと逆の順に切り替えられます。

ヘルプ：

ゲームの説明を表示できます。

リタイア：

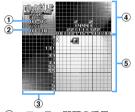
ゲームを中止し、コース選択画面を表示します。

タイトルへ：

ゲームを保存し、タイトル画面を表示します。「ゲームコンティニュー」を選択すると、続きから再開できます。

遊びかた

タイトル画面で「ゲームスタート」を選択し、コース→問題の順に選択するとゲーム画面が表示されます。縦横のヒント数字を見て、作図エリアに■を置いていきます。■をすべて置いたらを押して正解を確認します。

- ヒント数字の見かたは「ヘルプ」をご覧ください。

①：コース、問題の番号
②：経過時間
③：ヒントの数字（横）
④：ヒントの数字（縦）
⑤：作図エリア
：カーソルを上下左右に移動

空白の場所で：■を置く

- を押したままを押すと、上下左右に連続して■を置くことができます。

■がある場所で：×を置く

- ×は■を置かないところを示すために使用します。

×がある場所で：×を消す

：設定メニューの表示
：答え合わせ

フリーセル

52枚のカードをカーソルで選択して移動させながら、数の小さい順に並べ直す手軽なカードゲームです。

メニューについて

タイトル画面やゲーム画面でを押すと、メニューを表示できます。

- タイトル画面からは、省電力モード設定のみ設定できます。

やり直し：

プレイ中のステージを最初からやり直します。

パス：

プレイ中のステージを中止し、別のステージに移ります。ステージはランダムで自動選択されます。

ステージ選択：

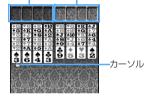
ステージ一覧が表示され、各ステージのクリア状況を確認できます。クリア済みはピンク、未クリアは青です。他のステージを選択するときは、画面右側のステージ移動矢印を選択します。

省電力モード設定：

ｉアプリ待受画面で、電力の消費を抑える「SLEEP」の状態になるまでの時間を「15秒」「1分」「5分」から選択します。

遊びかた

タイトル画面でを押すと、ゲームがスタートします。

52枚のカードをマークごとに1のカードから順にホームセルに移動させます。フリーセルには、ホームセルにカードを移動する際に妨げとなっているカードを、一時的に4枚まで置けます。途中で手詰まりするとゲームオーバーです。

：カーソルを上下左右に移動
：カードの選択、移動

- カードにカーソルを合わせて2回押すと、カードが自動的にフリーセルへ移動します。

：カードの選択解除、タイトル画面の表示

電子マネー「Edy」

タッチするだけで支払いができる、簡単、便利なプリペイド型の電子マネーサービスです。
電子マネー「Edy」はビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には注意事項、利用約款などをご確認の上、初期設定を実行してください。

初期設定・サービス登録（無料）

チャージ（入金）	使う（お支払い）
店頭でのEdyチャージ（入金）	店頭でのお支払い
ｉモードでのEdyチャージ（入金）※	Mobile Edy（ネットでのお支払い）※

便利な機能	サポート
残高・履歴照会	機種変更の「Edy」に関するお手続き※
Edyギフトのお受取り	故障時の「Edy」に関するお手続き※

※：事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」のサービス内容の詳細やご利用可能店舗、およびFOMAの機種変更、故障、紛失時などに発生する電子マネー「Edy」に関する諸手続きにつきましては、インターネットホームページおよびｉモードサイトをご覧いただくか、Edy救急ダイヤルまでご連絡ください。

- 本サービスについてのお問い合わせ：
  ビットワレット株式会社
- Edyに関する情報については、Edyのｉモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  ｉモードサイト：
  http://mobile.edy.jp
  ホームページ：
  http://www.edy.jp

サイトアクセス用QRコード

- Edyに関する諸手続きでお困りの場合：
  Edy救急ダイヤル　0570-081-999（PHSは不可）
  受付時間：9:30 ～ 21:00
  ※ ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

- 電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」機能の使用時など、ｉモード通信を利用する際はパケット通信料がかかります。
- ソフト動作設定の通信設定を「通信しない」に設定している場合やセルフモード中は、ｉモード通信を行えないため、電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」機能を使用できませんのでご注意ください。
- Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際は、Edyセンターからの決済開始メールを受信する必要があります。ドメイン指定受信を設定している場合は、ドメインに「@bitwallet.co.jp」を登録してください。
- 機種変更しても、変更前に使用されていたEdy対応携帯電話は、Edyカードとしてご利用いただけます。廃棄する際にはご注意ください。

Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額使用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間の地上アナログ、もしくは地上デジタルのテレビ番組情報を簡単に取得できます。テレビ番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®などを知ることができます。気になった番組があったらすぐにブックマークができて、携帯電話のスケジュール機能に番組の開始日時を登録して番組開始時にアラームを鳴らすことができます。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索ができます。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

ｉアプリをすばやく起動する

待受画面から簡単な操作でｉアプリを起動できます。

ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリを登録する

- ワンタッチｉアプリに登録できるｉアプリは1件です。
- ツータッチ ｉアプリに登録できる ｉアプリは最大10件です。

〈例〉ツータッチｉアプリを登録するとき

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 登録するｉアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 9 2

- 解除する場合の操作も同様です。

■ ワンタッチｉアプリを登録／解除するとき
① MENU ▶ 9 1

3 登録先を選択

- 番号 0 ～ 9 は、ｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー 0 ～ 9 に対応しています。

ワンタッチ・ツータッチで起動する

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動するとき

1 0 ～ 9 ▶ ⓘ（1秒以上）

ダイヤルキーに対応するｉアプリが起動します。

■ ワンタッチでｉアプリを起動するとき
① ●（1秒以上）

お知らせ

- ソフト情報表示で、どのｉアプリがワンタッチｉアプリに登録されているかを確認できます。
- 待受画面で MENU 3 2 6 を押すと、ツータッチｉアプリに登録しているｉアプリの一覧を表示できます。

ｉアプリを自動起動する

ｉアプリごとに自動起動の日付と時刻を設定し、一括して自動起動を行うかどうかを設定します。

- ｉアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。

自動起動するかどうかを設定する＜自動起動設定＞

お買い上げ時　ON

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリの自動起動を一括して設定します。

1 MENU ▶ 3 2 2 ▶ 1 または 2

- 「OFF」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したｉアプリも自動起動しません。

自動起動の日時を設定する＜自動起動情報登録＞

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- ｉアプリによっては自動起動できない場合があります。
- 自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 ⓘ（1秒以上）▶ フォルダを選択 ▶ 設定するｉアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ✉［登録］

ユーザ設定：
次の設定する条件で自動起動するかどうかを選択します。
- 「ON」に設定すると、次の項目を設定できます。

時刻：
自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：
自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
- 「1回のみ」にした場合は、日付の入力欄で自動起動する日付を設定します。
- 「毎日」にした場合は、毎日自動起動します。
- 「毎週」にした場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。

毎週：
繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：
繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：
ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉアプリ設定1～4：
ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

お知らせ

- 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ｉアプリは起動しません。また、次の理由でｉアプリが起動しなかった（※の場合を除く）ときは、待受画面に が表示され、ｉアプリ名、日時、起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。
  - FOMA端末の電源が入っていない場合※
  - FOMAカード動作制限中（プリインストールアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できない場合
  - 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - 通話中、通信中、プッシュトーク通信中
  - 待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
  - 他の機能が動作中（マイピクチャの一覧表示中とフレーム合成中、ｉモーションの一覧表示中と再生中または編集中、メロディの一覧表示中と再生中、およびミュージックプレイヤーの一覧表示中と再生中を除く）
  - オールロック中、PIM ロック中、開閉ロック中
  - プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）
  - アラームやスケジュールアラーム鳴動中（自動起動と同じ時刻の場合も含む）

- IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 複数の ｉ アプリを同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。
- 日付・時刻の設定より前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する<起動失敗履歴>

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面に が表示され、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 起動失敗履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

1 MENU ▶ 3 3 1

- 履歴を削除するときは を押し、「はい」を選択します。

ｉアプリTo

サイトやメールからｉアプリを起動する

サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択してｉアプリを起動します（ｉアプリTo）。

1 サイトやｉモードメールのｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」を選択

サイト接続が終了し、ｉアプリが起動します。

お知らせ

- ｉアプリToで起動するｉアプリはFOMA端末に保存されていないと、指定されたｉアプリがない旨のメッセージが表示され、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動したｉアプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToでｉアプリを起動しないように設定している場合はメッセージが表示され、ｉアプリを起動できません。→P281

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。ｉアプリ待受画面を設定しているときは、ディスプレイ上部に （αがグレー）または （dxがグレー）が表示されます。

- ｉアプリ待受画面を利用するには、あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。→P128、P281

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 ｉアプリ待受画面で ch/クリア ▶ ｉアプリを操作

ｉアプリの画面に切り替わり、ディスプレイ上部の （αがオレンジ）または （dx がオレンジ）が点滅します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中に FOMA 端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。
  - 「はい」 ：ｉアプリ待受画面が起動
  - 「いいえ」：ｉアプリ待受画面が解除

  確認画面が表示されてから何も操作せずに約5秒経過すると、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行う ｉ アプリを ｉ アプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定中にオールロック、PIMロック、プライバシーモード（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）を起動すると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。オールロックなどを解除するとｉアプリ待受画面が再起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているｉアプリがIP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- ｉアプリ待受画面の起動中に ｉ アプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ｉアプリ名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 ｉアプリ動作中に 電源 ▶「終了する」を選択

ｉアプリが終了し、ｉアプリ待受画面が起動します。ディスプレイ上部のマークが から 、または から に変わります。

ｉアプリ

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。ch(クリア)を押すと、ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻るｉアプリもあります。

- 「終了する」を選択してもｉアプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。ディスプレイ上部の、が消えます。

お知らせ

- ソフト一覧から解除をする場合は、ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリにカーソルを合わせてmenuを押し、「ｉアプリ待受画面」を選択します。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する＜異常終了履歴＞

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。

- 異常終了履歴は最大20件記録されます。20件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 menu ▶ 3 3 2

- 履歴を削除するときはを押して「はい」を選択します。

ｉアプリを管理する

ｉアプリのバージョンアップやフォルダの作成、不要なｉアプリの削除など、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな機能があります。

ｉアプリをバージョンアップする＜バージョンアップ＞

新しいバージョンのｉアプリがサイトにあるかどうかをチェックし、あればｉアプリをバージョンアップします。

- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されているｉアプリはバージョンアップできません。

1 （1秒以上）▶ フォルダを選択 ▶ バージョンアップするｉアプリにカーソルを合わせてmenu ▶ 5 ▶「はい」を選択

バージョンアップを開始します。

- バージョンアップが必要ない場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

- バージョンアップによって、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- ｉアプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してｉアプリを整理します。また、フォルダの並び順の変更や、不要なフォルダの削除もできます。

フォルダを作成する

- フォルダはマイフォルダを含めて最大20個作成できます。

1 （1秒以上）

2 menu ▶ 4

■ フォルダ名を変更するとき

①フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせてmenu ▶ 1

■ フォルダの並び順を変更するとき

①順番を変更するフォルダにカーソルを合わせてmenu ▶ 5 または 6

3 フォルダ名を入力 ▶ ［登録］

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

フォルダを削除する

- 保護されているｉアプリがある場合は、フォルダを削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。

1 （1秒以上）▶ 削除するフォルダにカーソルを合わせてmenu ▶ 2 1

- フォルダ内にｉアプリが保存されたままの場合は、認証操作を行います。

2 「はい」を選択

- 削除するフォルダ内にメール連動型 ｉアプリが含まれている場合は、メールフォルダも同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 削除するフォルダに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P249
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用のフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

iアプリを保護する

iアプリを保護すると、誤って削除してしまうことを防げます。

- 最大保護件数→P480

1 (1秒以上)▶フォルダを選択

2 保護するiアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

保護したiアプリには、ソフト一覧画面で🔑または SSL🔑 が表示されます。

マークの意味→P280「iアプリを起動する」操作3

■ 保護を解除するとき

① 解除するiアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1

■ 複数保護/解除するとき

① 保護または解除するiアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 2 ▶ iアプリを選択▶

■ フォルダ内のiアプリを全件保護/解除するとき

① 保護または解除するiアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 3 ▶ 認証操作

iアプリを削除する

iアプリを1件ずつ削除したり、フォルダ内のすべてのiアプリをまとめて削除したりします。

- iアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。
- iアプリによっては、削除する前にiアプリを起動してICカード内のデータを削除しておく必要があります。
- おサイフケータイ対応iアプリによっては、削除できない場合があります。

1 (1秒以上)▶フォルダを選択

2 削除するiアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 1

■ 複数削除するとき

① MENU ▶ 2 2 ▶ 削除するiアプリを選択▶

■ フォルダ内のiアプリを全件削除するとき

① MENU ▶ 2 3 ▶ 認証操作▶「すべて削除」または「保護以外削除」を選択

フォルダ内のすべてのiアプリまたは保護されていないすべてのiアプリが削除されます。

3 「はい」を選択

- メール連動型iアプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、iアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、iアプリもメールフォルダも削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するiアプリに、ICカード内のデータを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応iアプリが含まれる場合は、それ以外のiアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- iアプリフォルダ一覧からフォルダ内のiアプリをすべて削除する場合は、フォルダにカーソルを合わせて MENU を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- iアプリのみ削除し、メール連動型iアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P249
- 保護されているiアプリは「1件削除」または「複数削除」で削除できません。保護されているiアプリを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して認証操作を行い、「すべて削除」を選択してください。
- 削除対象のメール連動型iアプリ用フォルダが使用中(一覧表示中など)の場合、iアプリを削除できないことがあります。

iアプリを他のフォルダに移動する

1 (1秒以上)▶フォルダを選択

2 移動するiアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 1

■ 複数移動するとき

① MENU ▶ 4 2 ▶ 移動するiアプリを選択▶

■ フォルダ内のiアプリを全件移動するとき

① MENU ▶ 4 3

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」を選択

お知らせ

- 待受画面で MENU 6 4 を押しておサイフケータイ対応iアプリのみを一覧表示したときは、iアプリを他のフォルダに移動できません。

iアプリ

ｉアプリを並べ替える＜ソフトの並べ替え＞

お買い上げ時　ダウンロード日時順

1 MENU ▶ 3 2 1 ▶ 1〜5

お知らせ

- ダウンロード日時および使用日時は、日付・時刻で設定されている日時で記録されます。
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「使用回数順」にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」を選択すると、ｉアプリのソフトサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並べ替えられます。

フォルダ内のｉアプリの件数を確認する＜フォルダ内ソフト件数＞

フォルダ内に保存されているｉアプリの件数を、ｉアプリの種類ごとに確認します。

1 **（1秒以上）▶ｉアプリの件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて［情報］**

マークの意味→P280「ｉアプリを起動する」操作3

ｉアプリの設定状況を確認する＜ソフト情報表示＞

ｉアプリの保存領域や保存件数、ｉアプリ待受画面などの設定状況を確認します。

1 **（1秒以上）▶ ［情報］**

ソフト保存領域：
保存されているｉアプリの総容量がバーと数値で表示されます。

ソフト保存件数：
保存されているｉアプリの総件数が表示されます。

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

ワンタッチｉアプリ：
ワンタッチｉアプリに設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

自動起動：
次回の自動起動に設定しているｉアプリの名前や保存先のフォルダ、起動日時が表示されます。

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

ｉアプリによっては、電話をかけたり、サイトに接続したりできるものがあります。また、カメラ撮影やバーコードリーダー、赤外線通信、トルカなどの機能を利用できるものもあります。

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリから電話をかける

1 **電話番号を選択▶発信条件を設定**

- 条件を設定して電話をかけられます。→P55

2 **MENU ▶「はい」を選択**

設定した内容で電話がかかります。電話をかけるとｉアプリは中断されます。

ｉアプリからサイトに接続する

1 **サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択**

ｉアプリが終了し、サイトが表示されます。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 **ｉアプリを操作し、カメラ撮影を行う**

お知らせ

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像または動画は、それぞれマイピクチャ内の「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション内の「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。また、撮影した画像または動画はｉアプリから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。
- ｉアプリによっては、画像サイズ、撮影サイズなどの変更やフレームなどを設定できる場合があります。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 **ｉアプリを操作してコードを読み取る**

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存される旨のメッセージが表示されます。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 **ｉアプリを操作して赤外線通信を行う**

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していたりした場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

ｉアプリからトルカを利用する

ｉアプリからトルカを保存する

1 トルカを保存するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい（新規）」を選択

トルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。

■ トルカを上書き保存するとき

①「はい（上書き）」を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 上書きするトルカを選択

■ トルカを表示するとき

①「プレビュー」を選択

ｉアプリからトルカを使用する

1 トルカを選択する旨のメッセージが表示されたら◉ ▶ フォルダを選択 ▶ トルカを選択

ｉチャネル

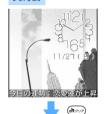
ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ch(クリア)を押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉチャネルは日本語表示のみです。

未契約

ｉチャネルをご契約いただいていない場合

契約後

ｉチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

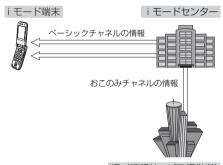
ch(クリア)を押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。

接続

各チャネルを選択すると、それぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

※ 各画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。
「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますので、ｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれます。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

- 操作方法→P295
- 対応機種：701iシリーズ、902iシリーズ

ｉチャネル

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、ch クリア を押すことで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、１つのご契約者回線につき１回のみです。
おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ
- ｉチャネルの接続先は変更できます（通常は変更する必要はありません）。→P208

ｉチャネルテロップ

ｉチャネルを受信したときは

ｉチャネルをご契約になると、情報を受信したタイミングで待受画面にテロップが流れます。
- テロップを表示するには、テロップ表示設定を「表示する」に設定してください。

1 ｉチャネル情報を受信

- 情報受信中は が点滅します。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで情報を受信できなかったときは、ch クリア を押し、ｉチャネル一覧から未契約者用のｉチャネルを選択すると情報を受信できます。

お知らせ
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、着信ランプは動作しません。
- 待受画面に設定したアニメーションが再生中のときは、テロップは表示されません。
- お買い上げ時や他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたとき、接続先を変更したとき（→P208）は、ch クリア を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップが表示されるようになります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、ch クリア を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、ch クリア を押すと最後に受信した情報がｉチャネル一覧に表示される場合があります。

ｉチャネル一覧　MENU 281

ｉチャネルを表示する

1 ch クリア を押す
- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているときは、メニュー 8 1 を押します。

2 表示する情報を選択
サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

お知らせ
- 使用状況によりｉチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

テロップ表示設定　MENU 282/8215

ｉチャネルの設定を行う

お買い上げ時　テロップ表示：表示する
テロップ速度：普通

待受画面にテロップを表示するかどうかや、テロップの表示速度を設定します。

1 メニュー ▶ 8 2 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ 登録［登録］

テロップ表示：
テロップを表示するかどうかを設定します。

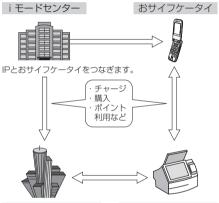
テロップ速度：
テロップの表示速度を「遅い」「普通」「速い」から選択します。

お知らせ
- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリが設定されている場合は、テロップ表示設定を「表示する」に設定しようとすると、待受画面設定が解除される旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、待受画面設定が解除されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、テロップ表示設定は「表示する」に設定されたままになっています。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能であるｉモード FeliCaや、ICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、ICカードの読み書きを行う装置（リーダー／ライター）にかざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。
対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター）にかざすだけで電子マネーを使ったショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できたりするなど、おサイフケータイの機能によって、携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また、従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べても、サイトから携帯電話内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、おサイフケータイはさまざまな面でより便利に利用できるようになっています。

- ICカード機能を利用するには、ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。

- 各おサイフケータイ対応サービスの申し込みと利用方法については、それぞれのサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。また、各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。
- ご利用の各おサイフケータイ対応サービスのサービス名や問い合わせ先などは、メモを取り保管してください。おサイフケータイの故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、ICカード内のデータが消失、変化してしまう場合があります。修理の場合、データは原則としてお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。万一、ICカード内のデータが消失、変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。ICカード内のデータを消去する場合や、消失、変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- ドコモショップなどの窓口で、他のおサイフケータイへの交換時、および故障取替時には、ICカード内のデータを新機種へコピーできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。ただし、ICカード機能の制限はできませんのでご注意ください。

おサイフケータイの利用方法

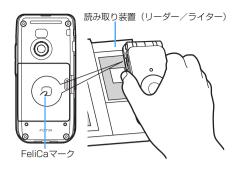
ステップ1　おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする→P279

お買い上げ時にはおサイフケータイ対応ｉアプリとして電子マネー「Edy」が登録されています。

ステップ2　おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う→P299

おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴をｉモード端末で確認したりできます。

ステップ3　FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす

FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用できます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

お知らせ

- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてもICカードが認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 通話中や ｉ モード接続中でもFeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用できますが、ｉモード接続中におサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。
- 電源が入っていない状態でもFeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。ICカード機能を利用するときは、電池パックを装着してください。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電しなかった場合は、利用できなくなることがあります。その場合は電池パックを充電してください。
- 電源が入っていない状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたとき、ｉアプリが起動する場合があります。ただし、起動対象のｉアプリがあらかじめ保存されていない場合や、ｉアプリToで起動しないように設定されている場合は起動しません。
- FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

1 (MENU) ▶ (6) (4) ▶ **起動するおサイフケータイ対応ｉアプリを選択**

- おサイフケータイ対応ｉアプリを終了するには、それぞれのｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。(電源)を押してから「はい」を選択しても終了できます。

お知らせ

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- テレビ電話中は、おサイフケータイ対応ｉアプリの一部の操作ができない場合があります。
- 次のような場合、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリは中断され、ICカードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしようとしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定している場合を除く）
  - アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 通話中やアラーム鳴動中に (MULTI) を押しておサイフケータイ対応ｉアプリの画面に切り替えたときの動作は、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによって異なります。
- 圏外で通信できなかったり、FOMA端末内の登録データが使用できない場合、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリも通常のｉアプリと同じように、自動起動や削除、フォルダ管理などの操作ができます。

トルカ

トルカとは

トルカとはおサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り装置（リーダー／ライター）やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線通信、miniSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

- 対応機種：902iシリーズ
  詳細は『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてトルカを取得
- 生活ツールのトルカに保存されます。

トルカ一覧の「トルカフォルダ」から取得したトルカを選択

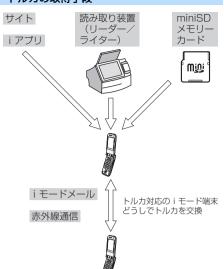
「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

トルカ（詳細）

トルカ取得

トルカを取得する

- 最大保存件数→P480

トルカの取得手段

- 読み取り装置（リーダー／ライター）からの取得方法は、「おサイフケータイの利用方法」のステップ3と同じです。→P298

お知らせ

- 取得、ダウンロードしたトルカはトルカ一覧の「トルカフォルダ」に保存されます。また、保存されたトルカから詳細情報をダウンロードした場合は、別のファイルとして保存されず、元のトルカに詳細情報が追加されます。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って不要なトルカを削除してください。
- トルカ（詳細）はメール添付送信や赤外線送信、miniSDメモリーカードへの保存をすると、詳細が切り取られて送信または保存されます。また、トルカのサイズによってはこれらの操作ができない場合があります。

トルカ一覧

トルカを表示する

取得したトルカを表示したり、サイトから詳細情報をダウンロードしたりします。

- ｉモード通信で詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。

1 MENU ▶ 6 3 1 ▶ **フォルダを選択**

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

- マークの意味は次のとおりです。
  （グレー）：トルカなし
  （青）：未読トルカなし
  ：未読トルカあり

■ miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるとき

① を押す
miniSDメモリーカードの操作方法（トルカ）→P335

2 表示するトルカを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ①**状態マーク**
  ：未読　表示なし：既読　：保護
  ②**カテゴリマーク**
  トルカの種類をカテゴリマークで表示します。
  ③**インデックス**
  ④**タイトル**
  ⑤**「詳細」ボタン**
  トルカに詳細情報がある場合に表示されます。選択するとサイトから詳細情報をダウンロードします。

■ トルカをメールに添付するとき

①**送信するトルカにカーソルを合わせて**
選択したトルカが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できるサイズを超えるトルカにカーソルを合わせて を押した場合は、メール作成画面は表示されません。
メールに添付できるサイズ→P235
- トルカ（詳細）を添付すると詳細は切り取られます。サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。

お知らせ
- サイトからダウンロードしたトルカは、「プレビュー」を選択しないで保存した場合でも既読となります。
- トルカ（詳細）を表示中にもう一度GIFアニメーションを動作させるときは、 を押し、「リトライ」を選択します。

トルカを検索する

〈例〉タイトルで検索するとき

1
2 検索条件欄を選択▶ ▶検索文字列入力欄にカーソルを合わせてタイトルの一部を入力▶ ［検索］
- 全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。

■ カテゴリで検索するとき

①検索条件欄を選択▶ ▶カテゴリ欄を選択▶カテゴリマークを選択▶

■ インデックスで検索するとき

①検索条件欄を選択▶ ▶検索文字列入力欄にカーソルを合わせてインデックスの一部を入力▶
- 全角で最大7文字、半角で最大15文字入力できます。

お知らせ
- 選択したフォルダ内のトルカを検索する場合は、 を押し、「フォルダ内検索」を選択します。

トルカを管理する

フォルダの作成、トルカの削除や保護など、トルカをより便利に使うためのさまざまな機能があります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してトルカを整理します。また、フォルダの並び順の変更や、不要なフォルダの削除もできます。

フォルダを作成する

- フォルダは「トルカフォルダ」以外に最大20個作成できます。

1 ▶

2 ▶

■ フォルダ名を変更するとき

①フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて ▶

■ フォルダの並び順を変更するとき

①順番を変更するフォルダにカーソルを合わせて ▶ または

3 フォルダ名を入力▶ ［登録］
- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「トルカフォルダ」は削除できません。
- 保護されているトルカがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。

1 ▶ ▶削除するフォルダにカーソルを合わせて ▶ ▶証操作▶「はい」を選択

トルカを保護する

トルカを保護すると、誤って削除してしまうことを防げます。

- 未読のトルカは保護できません。
- 検索結果表示中は、全件保護、全件保護解除はできません。
- 最大保護件数→P480

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択

2 保護するトルカにカーソルを合わせてm ▶ 4 1

■ 複数選択して保護するとき

① m ▶ 4 2 ▶ 保護するトルカを選択 ▶ ⓒ

■ フォルダ内のトルカを全件保護するとき

① m ▶ 4 3

■ 保護を1件解除するとき

① 解除するトルカにカーソルを合わせてm ▶ 4 4

■ 保護を複数選択して解除するとき

① m ▶ 4 5 ▶ 解除するトルカを選択 ▶ ⓒ

■ 保護を全件解除するとき

① m ▶ 4 6

お知らせ

- 選択したトルカを保護または解除する場合は、mを押し、「保護」または「保護解除」を選択します。
- 保護したトルカはminiSDメモリーカードに移動できません。また、FOMA端末やminiSDメモリーカードにコピーすると、コピー先のトルカの保護は解除されます。
- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいトルカから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

トルカを削除する

- 保護されているトルカは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択

2 削除するトルカにカーソルを合わせてm ▶ 3 1

■ 複数選択して削除するとき

① m ▶ 3 2 ▶ 削除するトルカを選択 ▶ ⓒ

■ フォルダ内のトルカを全件削除するとき

① m ▶ 3 3 ▶ 認証操作

3 「はい」を選択

お知らせ

- 選択したトルカを削除する場合は、mを押し、「削除」を選択します。

トルカを他のフォルダに移動／コピーする

- ファイルサイズが321バイトより大きいトルカは、miniSDメモリーカードに移動／コピーできません（トルカによっては異なる場合があります）。

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択

2 移動するトルカにカーソルを合わせてm ▶ 5 1 1

■ 他のフォルダにコピーするとき

① コピーするトルカにカーソルを合わせてm ▶ 5 2

■ 複数選択して移動するとき

① m ▶ 5 1 2 ▶ 移動するトルカを選択 ▶ ⓒ

■ フォルダ内のトルカを全件移動するとき

① m ▶ 5 1 3

■ miniSDメモリーカードへ1件移動／コピーするとき

① 移動／コピーするトルカにカーソルを合わせてm ▶ 5 ▶ 3または4

② 1 ▶ 「はい」を選択

■ miniSDメモリーカードへ複数選択して移動／コピーするとき

① m ▶ 5 ▶ 3または4

② 2 ▶ 移動／コピーするトルカを選択 ▶ ⓒ ▶ 「はい」を選択

■ miniSDメモリーカードへトルカを全件移動／コピーするとき

① m ▶ 5 ▶ 3または4

② 3 ▶ 「はい」を選択

3 移動またはコピー先のフォルダを選択 ▶ 「はい」を選択

お知らせ

- 選択したトルカを移動またはコピーする場合は、mを押し、「移動／コピー」→「フォルダ移動」または「フォルダ間コピー」を選択します。
- トルカ（詳細）をminiSDカードへ移動／コピーすると、詳細は切り取られます。

トルカを並べ替える<ソート>

トルカの並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、並び順は元に戻ります。

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択 ▶ m ▶ 6 2 ▶ 1～4

お知らせ

- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル」「インデックス」の並び順の結果が50音順と一致しない場合があります。
- 「カテゴリ順」を選択すると、トルカの種類を示すカテゴリマーク別に並べ替えます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

トルカの件数や領域使用状況を確認する ＜保存内容確認＞

トルカの未読、既読、保護の保存件数と保存領域の使用状況を確認します。

1 m ▶ 6 3 1 ▶ m ▶ 5

お知らせ

- 選択したフォルダ内の保存件数を確認する場合は、mを押し、「表示」→「トルカ件数確認」を選択します。

トルカの便利な機能

電話番号やメールアドレス、URLを電話帳やブックマークに登録したり、画像を保存したりできます。

- 電話番号、メールアドレス、URL から Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

〈例〉電話番号を新規登録するとき

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択 ▶ トルカ（詳細）を選択

2 登録する電話番号にカーソルを合わせて m ▶ 4 1 ▶ 1 または 2

■ 登録済みの電話帳データに追加するとき

①登録する電話番号にカーソルを合わせて m ▶ 4 2 ▶ 1 または 2

②更新登録する電話帳データを選択

3 名前などを設定 ▶ ⓘ［登録］

- 登録済みの電話帳データに追加した場合は、内容を確認して登録してください。
  電話帳の登録方法→P103、P105

URLをブックマークに登録する

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択 ▶ トルカ（詳細）を選択

2 登録するURLにカーソルを合わせて m ▶ 4 3 ▶ 登録先フォルダを選択

画像を保存する

1 m ▶ 6 3 1 ▶ フォルダを選択 ▶ トルカ（詳細）を選択

2 m ▶ 4 4 ▶ 保存する画像にカーソルを合わせて ● ▶ 各項目を選択して設定

設定方法→P203「サイトから画像をダウンロードする」操作2

3 ⓘ ▶ 保存先を選択

トルカ取得設定

読み取り装置（リーダー／ライター）からのトルカ取得を設定する

お買い上げ時　トルカ取得設定、イルミネーション設定：ON　イルミネーションカラー：アクア　トルカ取得音量：レベル4

トルカを読み取り装置（リーダー／ライター）から取得するかどうかや、取得するときの動作を設定します。

1 m ▶ 6 3 2 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ⓘ［登録］

トルカ取得設定：
トルカを読み取り装置（リーダー／ライター）から取得するかどうかを選択します。

イルミネーション設定：
取得が完了したときにイルミネーションを使用するかどうかを選択します。

イルミネーションカラー：
着信ランプの点灯色を設定します。

トルカ取得音量：
取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。

ICカードロック　MENU 8314

ICカード機能を使用できないようにする

お買い上げ時　OFF

ICカードロックを起動すると、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカードを利用したり、トルカを取得したりできなくなります。また、おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや使用もできなくなります。

- オールロック中は起動できません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。
- 遠隔ロックを起動すると、オールロックと同時にICカードロックも起動します。

1 ⓒ（1秒以上）▶「はい」を選択

ICカードロックが起動し、待受画面に が表示されます。

- 解除するときは ⓒ を1秒以上押し、認証操作を行います。

お知らせ

- 電池パックを取り外すと自動的にICカードロックが起動します。解除するときは、電池パックを取り付けて電源を入れてください。
- ICカードロック中に電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れても、ロックは解除されません。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

音楽を使いこなす

miniSDメモリーカードを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

PDFデータを使いこなす

画像を表示する

マイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 MENU ▶ 5 1 ▶ **フォルダを選択**

マイピクチャの各フォルダには次のような画像が保存されています。

カメラ：
カメラやキャラ電で撮影した画像、動画／iモーションやPDFデータから切り出した静止画

iモード：
サイトやiモードメール、iアプリから取得した画像

デコメールピクチャ：
お買い上げ時に登録されている画像、サイトからダウンロードした画像、バーコードリーダーで読み取った画像

アイテム：
お買い上げ時に登録されている画像、サイトからダウンロードしたアイテム画像

プリインストール：
お買い上げ時に登録されている画像

データ交換：
バーコードリーダーで読み取った画像、miniSDメモリーカードから移動またはコピーした画像、データ通信で受信した画像

マイアルバム：
他のフォルダから移動した画像

- アルバムを作成すると表示されます。アルバム名（マイアルバム）は作成時に任意の名称に変更できます。→P337

■ miniSDメモリーカードの画像一覧に切り替えるとき

①**押す**
miniSDメモリーカードの操作方法→P334

2 表示する画像にカーソルを合わせる

カーソル位置のファイルの表示名と画像の詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　　リスト表示

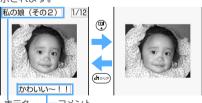
- マークの意味は次のとおりです。
  - ① **取得元**
    - ：プリインストール
    - ：iモード　　：カメラ
    - ：フレーム、スタンプ
    - ：データ交換　　：キャラ電
  - ② **画像の種類**
    - 表示なし：静止画
    - ：パラパラマンガ
    - ：GIFアニメーション／Flash画像
  - ③ **ファイル形式**
    - 表示なし：パラパラマンガ
    - GIF：GIF画像／GIFアニメーション
    - JPG：JPEG画像
    - ：SWF（Flash画像）
  - ④ **ファイル制限**
    - （青）：ファイル制限なし
    - （グレー）：ファイル制限あり
- FOMAカード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示では で表示されます。
- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■ 画像をメールに添付するとき

①**送信する画像にカーソルを合わせて**
選択した画像が添付されているメール作成画面が表示されます。
メールに添付できる画像→P235

- 選択した静止画のファイルサイズが9000バイトより小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- 選択した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。→P235

3 ●［選択］を押す

画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

表示名　コメント

- を押すと全画面表示に切り替わります。元の表示に戻すときは、MENU、、、のいずれかを押します。
- 縦が321ドット以上、または横が241ドット以上の画像サイズのときは、●を押すと等倍表示され、で画像をスクロールできます。
- を押すと、前後の画像に切り替わります。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像のとき

表示すると、自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ◉：一時停止／再生
  - ㊞：スロー再生（パラパラマンガの一時停止中のみ）
  - menu 0：リトライ（先頭から再生）
  - ㊟：全画面表示

お知らせ

- 縦320×横240に収まらない画像を全画面表示すると、縦サイズと横サイズの比率によって、縦や横に自動的にスクロールしながら表示されます。◉を押してスクロールの一時停止／再開を切り替えられます。また、自動的にスクロールしないようにも設定できます。→P312

画像を待受画面や電話帳などに設定する

〈例〉待受画面に設定するとき

1 menu ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 設定する画像にカーソルを合わせて menu ▶ 2

2 1 ▶ 「はい」を選択

- 画像サイズが240×320以下で、拡大表示できる画像の場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されている場合は、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 背面待受画面に設定するとき

① 2を押す

■ 電話帳に新規登録するとき

① 3を押す

電話帳登録→P103

■ すでに登録されている電話帳に更新登録するとき

① 4 ▶ 更新する電話帳データを選択

- すでに画像が設定されている場合は、選択した画像に置き換わります。

■ 電話発着信画面に設定するとき

① 5 ▶ 1または2

■ テレビ電話の発着信画面や代替画像、保留画像などに設定するとき

① 6 ▶ 1～7

- 画像サイズが176×144より大きい画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像のみ設定できます。

■ メール送受信画面、問合せ画面に設定するとき

① 7 ▶ 1～3

- メール送受信画面に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

■ メニューアイコンに設定するとき

① 8または9

② 1～0

選択した画像がアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンに設定されます。

- パラパラマンガ、Flash画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

お知らせ

- 待受画面や電話帳に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を複数選択してパラパラマンガを作成します。

- 最大6枚の静止画を設定できます。
- カメラで連続撮影した画像も、パラパラマンガの形式で保存されます。→P168
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像、および画像サイズが640×480より大きい静止画は、パラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

1 menu ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

2 menu ▶ 4 1

■ パラパラマンガを解除するとき

① 解除するパラパラマンガにカーソルを合わせて menu ▶ 4 2

選択したパラパラマンガが1枚ずつの静止画に戻ります。

3 パラパラマンガに登録する画像を選択

選択した順に画像の上に 1 ～ 6 の番号が表示されます。

■ すべての選択を解除するとき

① menu を押す

- ㊟を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

4 ㊞ ▶ 表示名を入力 ▶ ㊞［登録］

画像一覧にパラパラマンガの最初のコマが表示され、と表示名が表示されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

データ表示／編集／管理

静止画を編集する

サイズや明るさなど、マイピクチャに保存されている静止画を編集します。

- 編集項目と編集可能な最大画像サイズは次のとおりです。

編集項目	編集可能な最大画像サイズ（ドット）
サイズ変更	1728×2304（拡大／縮小は352×288）
切出し	1728×2304（範囲指定の場合は1224×1632）
明るさ／色調	352×288
効果	240×320
反転／回転	480×640
フレーム	352×288
スタンプ貼付	352×288
テキスト貼付	352×288
切抜き	240×320
サイズ制限保存	1728×2304（メール添付用（小）は352×288）
補正	352×288

- 次の画像は編集できません。
  - アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - 縦横のどちらかのサイズが８ドットより小さい静止画
- 編集した静止画をパソコンなどで表示した場合、FOMA端末で透過表示されていた部分は白く表示されます。

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 編集する静止画にカーソルを合わせて ▶ MENU

2 編集項目を選択 ▶ 静止画を編集

編集メニュー画面

1：サイズ変更→P308
2：切出し→P309
3：明るさ／色調→P309
4：効果→P310
5：反転／回転→P310
6：フレーム→P310
7：スタンプ貼付→P310
8：テキスト貼付→P311
9：切抜き→P311
0：サイズ制限保存→P311

3 編集が終わったら ● ▶「保存」を選択

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

お知らせ

- 静止画が画面より大きい場合は、編集時には縮小表示されます。ただしスタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き、拡大または縮小の場合は等倍で表示されます。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなる場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

サイズを変更する

静止画を拡大または縮小したり、特定のサイズに変更したりします。

- 静止画のサイズを変更すると、画質が劣化する場合があります。

〈例〉静止画を指定したサイズに変更するとき

1 編集メニュー画面で 1

2 1 ～ 9

サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。

- 指定したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。◎を押してサイズ枠の位置を調整し、●を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。
- 縦横比を無視して静止画を指定したサイズに収める場合は、MENUを押します。
- 縦横比を保持したまま静止画を指定したサイズに収める場合は、を押します。

データ表示／編集／管理

■ 静止画のサイズを拡大／縮小するとき

① (0) ▶ (◎) でサイズを拡大または縮小

縦横比を保持したまま、5％ずつ拡大または縮小します。画面の右上には拡大または縮小後の画像サイズと、拡大または縮小率が表示されます。

- (MENU) を押すと20％ずつ縮小、(□) を押すと20％ずつ拡大します。
- 横縦（または縦横）のサイズは352×288まで拡大できます。
- 縦横どちらかのサイズが 8 ドットになるまで縮小できます。

② (●) を押す

静止画が拡大または縮小され、静止画編集画面に戻ります。

任意のサイズに切り出す

静止画を特定のサイズ、または任意のサイズに切り出します。

- 16×16より小さい画像は切り出しできません。

〈例〉特定のサイズに静止画を切り出すとき

1 編集メニュー画面で (2)

2 (1) ～ (9) ▶ (✣) で切り出し枠の位置を調整

- (□) を押すたびに切り出し枠の縦横が切り替わります。
- (□) を押すたびに切り出しサイズが切り替わります。
- 切り出す範囲を指定するには、(MENU) を押します。

■ 範囲を指定して静止画を切り出すとき

① (0) を押す

範囲指定枠が点線で表示され、範囲指定枠の左上に ✣ が表示されます。

② (✣) で始点を決めて (●)

範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に ✣ が表示されます。

③ (✣) で終点を決めて (□)

切り取り範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。この状態で (✣) を押して、範囲指定枠を移動できます。

3 (●)［切出し］を押す

選択したサイズまたは指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

〈例〉明るさを調整するとき

1 編集メニュー画面で (3)

2 (1) ▶ (◎) で明るさを調整

一段階ずつ明るさが増減します。

- 明るさを最大にするには (□) を押します。
- 明るさを最小にするには (MENU) を押します。

■ 色調をモノトーンまたはセピアにするとき

① (2) または (3)

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

3 (●)［決定］を押す

明るさが変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で 4 ▶ 1 〜 6

静止画に特殊な効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし：
画像をぼかします。

球面：
中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。

エンボス：
鉛色にし、凸凹を強調します。

うずまき：
中心から渦状に回転させたような効果をかけます。

きらきら：
きらきら光っているようなマークを入れます。

モザイク：
モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で 5 ▶ で静止画を反転または回転させる

- 左回りまたは右回りに90度回転させるには、 または を押します。

2 ［決定］を押す

静止画編集画面に戻ります。

フレームを重ねる

- お買い上げ時に登録されているフレーム→P438

1 編集メニュー画面で 6

編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選択

3 フレームを重ねた画像を確認して ［選択］

静止画編集画面に戻ります。

- フレームを切り替えるには を押します。
- フレームを 180 度回転させるには を押します。

スタンプを貼り付ける

- お買い上げ時に登録されているスタンプ→P440

1 編集メニュー画面で 7

編集している静止画より小さいサイズのスタンプが表示されます。

- 詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像と、お買い上げ時に登録されているスタンプは、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。→P338

2 スタンプを選択

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 でスタンプを貼り付ける位置を調整して

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

- 続けて別の位置にスタンプを貼り付けられます。
- 貼り付けたスタンプをすべて削除するには を押します。
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 ［登録］を押す

貼り付けたスタンプが合成され、静止画編集画面に戻ります。

テキストを貼り付ける

1 編集メニュー画面で8 ▶ 下記の各項目を選択して設定

テキスト：
貼り付けるテキストを入力します。
- 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

文字の種類：
テキストの種類を設定します。

文字のサイズ：
テキストのサイズを設定します。

文字色：
テキストの色を設定します。

文字縁取り色：
テキストの縁取りの色を設定します。

背景色：
テキストの背景色を設定します。

貼り方：
テキストの貼り付けかたを設定します。
- 「まとめて」に設定すると、設定したテキストがまとめて貼り付けられます。
- 「一字ごと」に設定すると、設定したテキストを1文字ずつ異なる位置に貼り付けられます。

2 を押す

設定したテキストが画面の中央に表示されます。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、最初の文字が画面の中央に表示されます。

3 で文字を貼り付ける位置を調整して●

効果音が鳴り、テキストが貼り付けられます。

- 続けて別の位置にテキストを貼り付けられます。
- 貼り付けたテキストをすべて消去するにはmenuを押します。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、●を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字がもう一度表示されます。
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 ［登録］を押す

静止画編集画面に戻ります。

任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で9

画面の中央に切り抜く色を指定する が表示されます。

2 で切り抜く色に を合わせて●

 の位置の色と近似している部分が切り抜かれます。

- 続けて別の部分の切り抜きができます。

3 ［登録］を押す

静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

1 編集メニュー画面で0 ▶ 1または2

メール添付用（小）は9000バイト以下、メール添付用（大）は500Kバイト以下で、同じフォルダに新しい静止画として保存されます。

- サイズが352×288より大きい静止画は、「メール添付用(小)」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

**1 menu ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 補正する静止画にカーソルを合わせて ▶ **

静止画補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

2 で補正モードを選択

データ表示／編集／管理

静物：
静物や植物などの静止画を適切に補正します。
背景：
背景を適切に補正します。
風景：
風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌：
人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け：
人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ：
人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：
人物画像の肌を赤らめたように表現します。

- 補正効果を増減するにはを押します。
- 補正効果を最大にするにはを押します。
- 補正効果を最小にするにはを押します。
- MENU を押して 1 〜 7 を押しても、補正モードを選択できます。

3 ●［決定］を押す
静止画編集画面に戻ります。

お知らせ
- 静止画によっては、明るさや色のバランスを補正しても状態があまり変化しない場合があります。

動作設定
画像の動作条件を設定する

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり
タイトル表示：あり　番号表示：あり　コメント表示：あり
小さい画像の拡大：なし　大きい画像の縮小：あり
効果音再生：あり　全画面時の自動スクロール：あり

1 MENU ▶ 5 1 ▶ MENU ▶ 4 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ［登録］
一覧の画像表示：
画像一覧で画像表示をするかどうかを設定します。「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。
タイトル表示：
画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。
番号表示：
画像表示画面でフォルダ内またはアルバム内での件数と総件数を表示するかどうかを設定します。
コメント表示：
画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。
小さい画像の拡大：
表示領域より小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。ただし、全画面表示では拡大表示されません。
大きい画像の縮小：
表示領域より大きい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。「なし」に設定しても、全画面表示では縮小表示されます。
効果音再生：
画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。
全画面時の自動スクロール：
全画面表示したときに画像が画面に表示しきれない大きさの場合、自動的にスクロールするかどうかを設定します。

お知らせ
- 画像一覧、画像表示画面から操作する場合は、MENU を押して「動作設定」を選択します。

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。
- 画像サイズが48×48〜320×240の動画／ｉモーションを再生できます。

1 MENU ▶ 5 2 ▶ フォルダを選択

ｉモーション　1/1
カメラ
ｉモード
プリインストール
データ交換
マイアルバム

ｉモーションの各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されています。
カメラ：
ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、動画／ｉモーションから切り出した動画、動画メモ、サウンドレコーダーで録音した音声
ｉモード：
サイトやｉモーションメールから取得したｉモーション
プリインストール：
お買い上げ時に登録されている動画
データ交換：
miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション、データ通信で受信した動画／ｉモーション
マイアルバム：
他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
- アルバムを作成すると表示されます。アルバム名（マイアルバム）は作成時に任意の名称に変更できます。→P337

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ miniSDメモリーカードのフォルダを選択するとき

① (メニュー)を押す

miniSDメモリーカードの操作方法→P334

2 再生する動画／ｉモーションにカーソルを合わせる

ファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　　リスト表示

- マークの意味は次のとおりです。

①**取得元**

：プリインストール　：ｉモード
：カメラ　：データ交換
：キャラ電　：テレビ電話

②**再生制限**

：再生制限なし　：回数制限あり
：期限制限あり　：期間制限あり

③**ファイルの種類**

MP4（白）：MP4
MP4（青）：しおり付きMP4
ASF（白）：ASF※
ASF（青）：しおり付きASF※

※：ASFファイルは、miniSDメモリーカードに保存されているもののみ再生できます。

④ **ファイル制限**

（青）：ファイル制限なし
（グレー）：ファイル制限あり

- (メニュー)を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、サムネイル表示ではで表示されます。
- FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■ 動画／ｉモーションをメールに添付するとき（ｉモーションメール）

①**送信する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて(メール)**

選択した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

3 ●［選択］を押す

再生中の動画／ｉモーションの下に再生状態や動画／ｉモーションの種類などを示すマークが表示されます。

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、しおりの位置から再生され、「いいえ」を選択すると、先頭から再生されます。
- マークの意味は次のとおりです。

①**再生音量**

現在の音量を示します。

②**再生状態**

PLAY：再生中　STOP：停止中
PAUSE：一時停止中

③**ファイルの種類**

A：音声のみ　AV：音声＋映像
T：テキストのみ
VT：映像＋テキスト
V：映像のみ
AVT：音声＋映像＋テキスト
AT：音声＋テキスト

④**拡大／縮小表示**

：拡大表示中　：縮小表示中

⑤**再生時間**

現在の再生時間と総再生時間を数字とバーで示します。

- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

●：一時停止／再生／先頭から再生（停止中）
：早送り再生
：巻戻し再生
／サイドキー［▲▼］：音量調整
：停止
(chクリア)：一覧画面に戻る

■ しおりを設定するとき

①**再生中にしおりを設定する場面で(メニュー) ▶「はい」を選択**

- すでにしおりが設定されている場合は、破棄されて新しい位置にしおりが設定されます。
- 解除するときは、再生を停止させてから(メニュー)を押します。

- しおりは、データBOX内のｉモーションから再生したとき、miniSDメモリーカードから再生したとき、動画撮影画面で(一覧)を押して再生したときに設定できます。ただし、再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

■ 画像の縦横を切り替えるとき

① を押す

- を押すたびに画像の縦横が切り替わります。
- テロップが挿入されている動画／ｉモーションは切り替わりません。

お知らせ

- 他のアプリケーションの影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。

ｉモーションに再生制限が設定されているとき

ｉモーションに再生制限が設定されている場合は、再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

回数制限

状　態	確認内容
再生回数残あり	「あと×回(×／総再生回数)再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

期限制限

状　態	確認内容
期限内	「(年/月/日 時:分)まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

期間制限

状　態	確認内容
期間内	「(年/月/日 時:分)～(年/月/日 時:分)まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。●を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

- 残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持されている日付・時刻情報がリセットされる場合があります。その場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 音声のみの動画／ｉモーション(歌手の歌声など映像のないｉモーション)、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240より大きいｉモーションは待受画面に設定できません。
- 着信音、着信画像、電話帳に設定できるのは、画像サイズがSub-QCIF(128×96)、またはQCIF(176×144)の動画／ｉモーションです。ただし、着信画像と電話帳に設定できるのは映像のみの動画／ｉモーションです。
- 着モーションおよび着信画像に設定できるのは、詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみです。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - 赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻したもの
  - miniSDメモリーカードから、FOMA端末本体にコピーまたは移動したもの(FOMA端末本体からminiSDメモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動したものを含む)

〈例〉待受画面に設定するとき

1 MENU ▶ 5 2 ▶ フォルダを選択

2 設定する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

3 1 ▶「はい」を選択

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。

動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作→P126

■ 電話帳に新規登録するとき

① 2 を押す

電話帳登録→P103

■ すでに登録されている電話帳に更新登録するとき

① 3 ▶ 更新する電話帳データを選択

- すでに動画／ｉモーションが設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ 着モーションに設定するとき

① 4 ▶ 1 〜 7

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① 4 ▶ 8 または 9

② **設定する電話帳データを選択 ▶ 内容を確認して** [保存]

- すでに着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

① 5 ▶ 1 または 2

- すでに着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

動画／ｉモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

- 編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  - 自端末で撮影した動画
  - 自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限がないもの
- 再生制限付きのｉモーション、お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーションは編集できません。また、ASF形式の動画などファイルの形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。
- 編集中に動画／ｉモーションを再生したときのマークの意味とキー操作→P313「動画／ｉモーションを再生する」操作3

静止画を切り出す（キャプチャ）

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出し（キャプチャ）します。

切り出した静止画の画像サイズは、動画／ｉモーションの再生サイズになります。

- テロップはキャプチャした静止画に表示されません。

1 **MENU ▶ 5 2 ▶ フォルダを選択 ▶ キャプチャする動画／ｉモーションを選択**

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

2 **再生中の任意の位置で MENU ▶ 3**

- 切り出しの操作をやり直すときは、CLR または MENU［中断］を押します。

3 **画像を確認して** [保存] **［保存］**

キャプチャした静止画が、マイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

- 続けてキャプチャするには、●を押して再生を再開してから、操作2〜3を繰り返します。

■ キャプチャした静止画をメールに添付するとき

① ✉ **を押す**

キャプチャした静止画がマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存され、キャプチャした静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。

- キャプチャした静止画のファイルサイズが9000バイト以下の場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けられます。
- キャプチャした静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、メールに添付できません。→P235

動画／ｉモーションを切り出す

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 **MENU ▶ 5 2 ▶ フォルダを選択 ▶ 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 1**

選択切り出しモードになり、再生時間の下に [アイコン] が表示されます。

- 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。このとき、切り出す位置によっては、テロップが消去される場合があります。

2 **● ［始点］ ▶ 切り出す位置で ● ［終点］**

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- 切り出しの操作をやり直すときは(ch クリア)を押します。
- 動画の再生中に切り出しを中断するときは(menu)［中断］を押します。
- 動画／ｉモーションを(●)を押さずに最後まで切り出したときは、自動的に切り出しを終了し、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

■ 切り出しサイズの上限を設定するとき

- 切り出し元のファイルサイズが 290K バイトより大きいときのみ設定できます。

① (●)［始点］を押す前に(menu)［設定］▶「メール添付用（小）」（290Kバイト）、「メール添付用（大）」（490Kバイト）、「設定なし」（切り出し元の動画のファイルサイズ）を選択

- 切り出し中のファイルサイズが設定した切り出しサイズの上限に達したときは、自動的に切り出しを終了します。
- 切り出し元のファイルサイズが 490K バイトより大きい場合は、「設定なし」に設定できません。また、切り出ししようとした場合は、上限の設定に関わらず490Kで自動的に切り出しを終了します。

3 表示名を入力▶(i)［保存］

切り出した動画／ｉモーションは新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／ｉモーションを再生するとき

① (再生)を押す

■ 切り出した動画／ｉモーションをメールに添付するとき

① (✉)を押す

切り出した動画／ｉモーションは、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- 切り出し元の画像サイズが320×240の場合は、切り出した動画／ｉモーションはメールに添付できません。

ファイルサイズを指定して切り出す

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- 指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。
- 指定できるファイルサイズの上限は、切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 (menu)▶(5)(2)▶フォルダを選択▶切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて(menu)▶(4)(2)

- 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合、テロップが削除される可能性がある旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。このとき、切り出す位置によっては、テロップが消去される場合があります。

2 切り出すサイズを入力

指定したファイルサイズで動画／ｉモーションが切り出されます。

■ メール添付のサイズで切り出しサイズを設定するとき

- 切り出し元のファイルサイズが 290K バイトより大きいときのみ設定できます。

① サイズ切り出しの画面で(menu)（設定）▶「メール添付用（小）」（290Kバイト）、「メール添付用（大）」（490Kバイト）を選択

- 「メール添付用（小）」に設定すると「290」が、「メール添付用（大）」に設定すると「490」が、切り出しサイズに自動的に設定されます。

3 表示名を入力▶(i)［保存］

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／iモーションを再生するとき
① Ⓘ を押す

■ 切り出した動画／iモーションをメールに添付するとき
① Ⓜ を押す
元の動画／iモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／iモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
• 切り出し元の画像サイズが320×240の場合は、切り出した動画／iモーションはメールに添付できません。

テロップを挿入する

動画／iモーションには文字情報（テロップ）を挿入できます。
• テロップは最大10個挿入できます。ただし、テロップを挿入する動画／iモーションによっては10個より少なくなる場合があります。
• すでに挿入されているテロップの内容は変更できません。新しくテロップを挿入するには、すでに挿入されているテロップをすべて削除します。
• テロップを挿入すると、着モーションに設定できなくなります。

1 **MENU ▶ 5 2 ▶ フォルダを選択 ▶ テロップを挿入する動画／iモーションにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 3 1**
• すでにテロップが挿入されている場合は、削除して新しいテロップを作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、すでに挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ テロップを削除するとき
① MENU ▶ 4 3 2 ▶「はい」を選択
挿入されているすべてのテロップが削除されます。

2 **下記の各項目を選択して設定 ▶ Ⓘ**
表示間隔：
テロップの配置のしかたを設定します。
• 「ユーザ指定」に設定すると、テロップを設定する位置を任意に指定できます。
• 「等間隔」に設定すると、テロップ数を設定できます。動画／iモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。
テロップ数：
1～10の範囲で入力します。
• 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは確認メッセージが表示され、再生画面の下に ✎ が表示されます。
• 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作5に進みます。

3 **● で再生を開始 ▶ テロップの設定位置で ●**
再生は中断しません。● を押すたびにテロップの位置が設定されます。

• 再生を開始すると先頭に1つ目の位置が設定されます。
• テロップの位置の設定を終了するには Ⓘ を押します。
テロップの位置を9箇所設定するか、動画／iモーションの再生が終了すると、自動的にテロップの位置の設定を終了します。

4 **「はい」を選択**

5 **テロップの入力欄を選択 ▶ テロップに表示する文字を入力**

• 全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

■ テロップを装飾するとき
① 装飾するテロップにカーソルを合わせて Ⓜ ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ Ⓘ
テロップ1～10：
テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。選択すると、文字を入力できます。
文字色：
文字の色を設定します。
• 「指定なし」に設定すると、文字色は白になります。
• 絵文字には反映されません。
背景色：
テロップの背景色を設定します。
• 「指定なし」に設定すると、背景色は黒になります。
スクロール動作：
文字のスクロール動作を設定します。
• 「スクロール・イン」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されます。
• 「スクロール・アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されなくなります。

次ページへ続く

・「スクロール・イン&アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に表示されなくなります。
・「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。

スクロール方向：
スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置：
文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：
文字の大きさを設定します。

下線：
文字に下線を付けるように設定します。

点滅：
文字が点滅するように設定します。

6 [操作]を押す

・テロップを挿入する前の動画／ｉモーションのファイルサイズが300Kバイト以下で、テロップを挿入した結果が300Kバイトより大きくなった場合、メール添付用（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合は●を押します。

7 表示名を入力▶[操作]［保存］

テロップを挿入した動画／ｉモーションが、新しいデータとして元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

ｉモーションの保存
表示名を
入力してください
20051127102800
ﾌｧｲﾙｻｲｽﾞ(ﾊﾞｲﾄ)
286.1K / 292954

・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■テロップを挿入した動画／ｉモーションを再生するとき

①[操作]を押す

■テロップを挿入した動画／ｉモーションをメールに添付するとき

①[操作]を押す

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、テロップを挿入した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

動作設定

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

お買い上げ時 一覧の画像表示：あり
表示画像の拡縮：なし リピート再生：ON
照明設定：常灯 音量：レベル20 サラウンド：OFF

動画／ｉモーションの再生時の照明や音量などの条件を設定します。

・リピート再生、音量、サラウンドの設定はミュージックプレイヤーのプレイヤー設定にも反映されます。

1 [MENU]▶[5][2]▶[MENU]▶[5]▶下記の各項目を選択して設定▶[操作]［登録］

一覧の画像表示：
動画／ｉモーション一覧で画像表示をするかどうかを設定します。「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。

表示画像の拡縮：
表示領域（横再生時：320×240、縦再生時：240×200）と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときに、拡大または縮小表示をするかどうかを設定します。
・「なし」に設定すると、拡大または縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま、表示領域に合わせて動画／ｉモーションを縮小表示します。
・「あり」に設定すると、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大または縮小表示します。

リピート再生：
アルバム再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：
再生中の照明の動作を設定します。
・「常灯」に設定すると、再生中は常に照明が点灯します。
・「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。

音量：
再生時の音量を設定します。

サラウンド：
再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

お知らせ
・動画／ｉモーション一覧から操作する場合は、[MENU]を押して「動作設定」を選択します。

キャラ電とは

テレビ電話利用時に、自分の映像の代わりに画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存したりもできます。

- テレビ電話中にキャラ電を利用する→P81
- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- サイトなどからダウンロードしたキャラ電を保存できます。
- キャラ電のアクションには、キャラクタの全体が動く「全体アクション」と部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によっては、アクションがないものや、全体アクションまたはパーツアクションのどちらかのみのものもあります。

キャラ電を表示する

- お買い上げ時は、次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに保存されています。

©BVIG
ブンブン（Dimo）

エレボ

- お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P440

1 menu ▶ 5 4 ▶ **フォルダを選択**

キャラ電　1/1
iモード
プリインストール
マイフォルダ

キャラ電の各フォルダには次のようなキャラ電が保存されます。

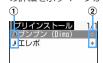
iモード：
サイトからダウンロードしたキャラ電

プリインストール：
お買い上げ時にFOMA端末に登録されているキャラ電

マイフォルダ：
他のフォルダから移動したキャラ電

- フォルダを作成すると表示されます。フォルダ名（マイフォルダ）は作成時に任意の名称に変更できます。→P337

2 **表示するキャラ電を選択**

キャラ電一覧画面では、各キャラ電の表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

  ①取得元
  ：iモード　　：プリインストール

  ②ファイル制限
  （グレー）：ファイル制限あり

- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■キャラ電を利用してテレビ電話をかけるとき

①利用するキャラ電にカーソルを合わせて

②電話番号入力欄を選択 ▶ 電話番号を入力 ▶

- を押して電話帳から電話番号の入力もできます。→P107
- menu を押して条件を設定して電話をかけられます。→P55

■キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定するとき

①代替画像に設定するキャラ電にカーソルを合わせて

- キャラ電表示画面で を1秒以上押しても、設定できます。

■キャラ電を待受画面に設定するとき

①設定するキャラ電にカーソルを合わせて menu ▶ 4 ▶ 待受アクション設定画面で、各項目を選択して設定 ▶

通常、不在着信、未読メールのアクションとアクション間隔を設定します。

- 「全体アクション」「パーツアクション」を設定した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
- パーツアクションがないキャラ電の場合、「パーツアクション」を設定しても、アクションは設定できません。
- 「直接入力」を設定した場合は、アクションに対応したダイヤルキーを押してください。
- 「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。
- アクション間隔ではアクションを繰り返す間隔（1～5秒）を選択します。「OFF」を設定すると選択したアクションが1回だけ動作します。

次ページへ続く

②「はい」を選択
- キャラ電は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- すでにｉアプリ待受画面が設定されている場合は、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

3 キャラ電を操作

1～9、#を押すと、その数字に応じたアクションをします。

- アクションを中止するには0を押します。
- 〇を押すと表示領域に合わせて拡大表示されます。〇を押すと等倍表示されます。

■ キャラ電を切り替えるとき

① MENU ▶ 9 1 ▶ **フォルダを選択** ▶ **表示するキャラ電を選択**

■ アクション名を確認するとき

① **を押す**

設定中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。
- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。
- MENUを押すと、アクションの詳細を確認できます。

■ 全体アクションとパーツアクションを切り替えるとき

① **（1秒以上）**

1秒以上押すたびに全体アクションActionとパーツアクションPartsが切り替わります。

■ **お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧**

ブンブン（Dimo）

全体アクション

1 嬉しい	2 ごめんなさい
3 びっくり	4 ラブラブ
5 病気	6 酔っぱらい
7 着ぐるみ	8 拾ってください
9 成金	

エレボ

全体アクション

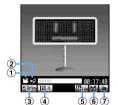
1 はい	2 いいえ
3 喜ぶ	4 怒る
5 悲しむ	6 ごめんなさい
7 びっくり	8 びみょー
9 ばいばい	

- キャラ電表示中に、アクションの番号と同じダイヤルキーを押すと、該当するアクションをします。

お知らせ
- キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存はできません。
- キャラ電の待受アクション設定画面で複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってキャラ電はアクションします。
  ①不在着信、未読メール
  ②通常
  ①で不在着信と未読メールの両方が設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。①と②が同時に設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在しないときは、通常のアクションが動作します。

キャラ電撮影

キャラ電を撮影する

キャラ電の静止画や動画を撮影します。
- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
画像ファイルの保存形式→P162

キャラ電撮影画面の見かたは次のとおりです。

①撮影方法
　：静止画　　：動画
②保存先※
　：FOMA端末　　：miniSDメモリーカード
③アクション種別
　Action：全体アクション
　Parts：パーツアクション
④撮影種別
　：動画＋音声
　：動画のみ（マイクあり）
　：動画のみ（マイクなし）
　：静止画
⑤画像サイズ
　176×144：（静止画、動画ともに固定）
⑥画質※
静止画撮影時
　ECO：エコノミー　　ST：スタンダード
　FINE：ファイン
動画撮影時
　：LP（長時間）　　：STD（標準）
　：HQ（高品質）　　：HQ＋（最高品質）

データ表示／編集／管理

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

⑦ サイズ制限
静止画撮影時：制限はありません。
動画撮影時※
：メール添付用（小）（290Kバイト）
：メール添付用（大）（490Kバイト）
※：静止画設定または動画設定で設定を変更できます。

静止画／動画を撮影する

1 ▶ ▶フォルダを選択▶撮影するキャラ電にカーソルを合わせて

2 を押す

撮影種別

- を押すたびに撮影種別は次の順序で切り替わります。
  動画＋音声：
  キャラ電と送話口からの音声を動画撮影します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。
  動画のみ（マイクあり）：
  キャラ電のみを動画撮影します。マイクは送話口からの音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。
  動画のみ（マイクなし）：
  キャラ電のみを動画撮影します。マイクは無効となります。
  静止画：
  キャラ電を静止画撮影します。

3 〜 または
キャラ電の操作方法→P320「キャラ電を表示する」操作3

■ キャラ電を切り替えるとき
① ▶ ▶フォルダを選択▶撮影するキャラ電を選択

4 ［撮影］を押す
撮影確認音（シャッター音）が鳴り、保存されます。動画撮影の場合には、撮影中の状態で を押すと、その時点で撮影が終了し保存されます。
動画撮影中もキャラ電の操作が可能です。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「マイピクチャ」フォルダまたは「動画」フォルダに保存されます。→P328
- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値に達すると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存されます。

■ 静止画設定または動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき

確認画面が表示されます。

確認画面では次の操作ができます。
：静止画／動画の保存
：保存先の切り替え
：取消
：メール作成
：動画の再生

■ 保存した静止画や動画をすぐに確認するとき
① ▶確認する静止画または動画を選択
- 確認後 を2回押すと、撮影画面に戻ります。

お知らせ
- キャラ電を撮影する場合の注意事項
  →P167「FOMA端末を開いて静止画を撮影する」のお知らせ
  →P174「FOMA端末を開いて動画を撮影する」のお知らせ
- キャラ電の静止画撮影中や動画撮影待機中に電話をかけたり受けたりすると、通話終了後は撮影画面に戻ります。
- 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って、不要な画像を削除してから撮影してください。

静止画／動画の撮影動作を設定する ＜静止画設定／動画設定＞

お買い上げ時
- 静止画設定
  画質：スタンダード　撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う
- 動画設定
  品質：STD（標準）サイズ制限：メール添付用（小）撮影確認音：標準　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う

キャラ電の静止画または動画を撮影するときの画質、品質や表示サイズなどを設定します。

1 キャラ電の撮影画面で ▶ ▶下記の各項目を選択して設定▶ ［登録］

設定項目について

静止画のみ

項　目	説　明
画質	保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質がよくなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。

動画のみ

項　目	説　明
品質	撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど、動画のファイルサイズは大きくなります。
サイズ制限	保存する動画ファイルのサイズ制限値を設定します。撮影中の動画ファイルサイズが制限値に達すると、自動的に撮影を終了します。

静止画／動画

項　目	説　明
撮影確認音	撮影開始と終了時の撮影確認音（シャッター音）を設定します。 ・撮影確認音（シャッター音）にカーソルを合わせると音が鳴ります。
撮影後ファイル制限	メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画、動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画、動画を送信することを制限するかどうかを設定します。 ・ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に変更できません。 ・「あり」に設定されているキャラ電で撮影した静止画や動画（自端末で、撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は編集、転送、メール添付ができません。
自動保存	撮影した静止画や動画を自動で保存するかどうかを設定します。 ・「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。 ・「しない」に設定すると、最後に確認画面が表示され、保存先の切り替えやメール作成などの操作ができます。
保存先	保存先を設定します。
表示サイズ	撮影中のキャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。 ・撮影画面を表示したときから有効になります。
照明設定	撮影中の照明の動作を設定します。 ・「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。 ・「常灯」に設定すると、キャラ電再生中は常に照明が点灯します。

動作設定

キャラ電の動作条件を設定する

お買い上げ時　表示サイズ：拡大
照明設定：端末設定に従う

キャラ電再生時の表示サイズと照明の条件を設定します。

1 menu ▶ 5 4 ▶ menu ▶ 4 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ［登録］

表示サイズ：
キャラ電を再生するとき表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。

照明設定：
キャラ電再生中の照明の動作を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。
- 「常灯」に設定するとキャラ電のフォルダ一覧、キャラ電一覧表示中およびキャラ電再生中は常に照明が点灯します。

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されているメロディを再生します。

1 menu ▶ 5 3 ▶ フォルダを選択

メロディの各フォルダには次のようなメロディが保存されます。

iモード：
サイトやiモードメールから取得したメロディ

プリインストール：
お買い上げ時にFOMA端末に登録されているメロディ

メール添付メロディ：
お買い上げ時にFOMA端末に登録されているiモードメール添付用のメロディ→P234

データ交換：
バーコードリーダーで読み取ったメロディやminiSDメモリーカードから移動またはコピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

マイアルバム：
他のフォルダから移動したメロディ
- アルバムを作成すると表示されます。アルバム名（マイアルバム）は、作成時に任意の名称に変更できます。→P337

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

■ miniSDメモリーカードのメロディ一覧に切り替えるとき

① を押す

miniSDメモリーカードの操作方法→P334

2 再生するメロディにカーソルを合わせる

メロディ一覧画面では、各メロディの表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①**取得元**
    - ：ｉモード
    - ：ｉモード＋3Dサウンド対応
    - ：データ交換
    - ：データ交換＋3Dサウンド対応
    - ：プリインストール／メール添付メロディ
    - ：プリインストール＋3Dサウンド対応、メール添付メロディ＋3Dサウンド対応

    3Dサウンドとは→P121
  - ②**ファイル制限**
    - （青）：ファイル制限なし
    - （グレー）：ファイル制限あり
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

■ メロディをメールに添付するとき

① **メロディにカーソルを合わせて または**

② **を押す**

メールに添付できるメロディ→P235

3 [選択] を押す

メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名と再生位置や音量を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ①**再生バー** ：現在の再生位置を示します。
  - ②**再生音量** ：現在の音量を示します。
- メロディの再生中は次の操作ができます。
  - ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後のメロディ再生
  - ／：停止

メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

〈例〉音声電話着信音に設定するとき

1 ▶ ▶ フォルダを選択 ▶ 設定するメロディにカーソルを合わせて ▶

2 を押す

■ メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話、プッシュトークの着信音に設定するとき

① ～

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① **または**

② **メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択 ▶**

メモリ番号入力→P112「登録内容を修正する」操作3

- すでに着信音が設定されているときは、選択したメロディに置き換わります。

動作設定

メロディの動作条件を設定する

お買い上げ時 音量：レベル3 イルミネーションパターン：点滅 イルミネーションカラー：ライム バイブレータ：OFF 再生位置：フルコーラス再生 再生画面背景：標準 ステレオ・3Dサウンド：ON

メロディの再生時の音量やイルミネーションパターンなどの条件を設定します。

1 ▶ ▶ ▶ ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [登録]

音量：
音量を設定します。

イルミネーションパターン：
着信ランプの点灯パターンを設定します。

イルミネーションカラー：
着信ランプの点灯色を設定します。

次ページへ続く

バイブレータ：
振動パターンを設定します。
再生位置：
全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。
再生画面背景：
背景に表示する画像を設定します。「選択」に設定すると、画像フォルダに保存されている画像が選択できます。
ステレオ・3Dサウンド：
「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。
3Dサウンドとは→P121

お知らせ
- メロディ一覧およびメロディ再生画面から操作する場合は、(menu)を押して「動作設定」を選択します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しない場合があります。
- メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しない場合があります。

ミュージックプレイヤー

音楽データをパソコンから取り込んでFOMA端末で再生する

お客様が購入したCDの音楽などを、FOMA端末で再生できます。再生はFOMA端末を折り畳んだままでも、開いた状態で他の機能を使いながらでもできます。特定の曲だけを選んだり、シャッフル再生、曲の確認に便利なイントロ再生など、さまざまな聴きかたを楽しめます。
ここでは、市販のソフトウェアと付属のデータリンクソフト（miniSDユーティリティ）を使ってパソコンで音楽データをminiSDメモリーカードに保存し、FOMA端末のミュージックプレイヤーで再生する方法について説明します。

- 平型ステレオイヤホンセット（別売）を接続するとステレオサウンドで楽しむことができます。
- ミュージックプレイヤー機能を使用すると電力の消費が早くなりますのでご注意ください。
- miniSDメモリーカードの取り扱いや使用時の注意事項→P327「miniSDメモリーカードについて」
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護された音楽データは再生できません。また、インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- miniSDメモリーカード内に保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、miniSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをAAC形式に変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 音楽データの再生方法についての詳細は、パソコンから次のホームページにアクセスしてもご確認いただけます。
http://www.fmworld.net/product/phone/f902i/

■ 音楽データの再生方法についてのお問い合わせ先：
富士通株式会社

0120-292-675

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00〜19：00 （日・祝祭日を除く）
※ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

音楽データをminiSDメモリーカードに保存する

1 音楽データをAAC形式のデータに変換できる市販のソフトウェアと付属のデータリンクソフトをパソコンにインストール
データリンクソフト→P462

2 CDの音楽データをAAC形式のデータに変換 ▶ パソコンに保存
- AAC形式に変換するには、市販のソフトウェアをご利用ください。ソフトウェアの使用方法は、各ソフトウェアの取扱説明書やホームページなどでご確認ください。
- miniSDユーティリティに、音楽データとして取り込めるファイルの拡張子は、「mp4」「m4a」「3gp」です。ただし、「mp4」「3gp」については、映像のあるデータやテロップが挿入されているデータは再生できません。ご使用になるソフトウェアによってAAC形式に変換した場合のファイルの拡張子が異なりますので、ご確認ください。

3 FOMA端末にminiSDメモリーカードを挿入 ▶ FOMA端末でUSBモード設定を「miniSDモード」に切り替える
- 「miniSDモード」に切り替えるには、待受画面で(menu)(6)(2)(4)を押し、(2)を押します。

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

4 パソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続

- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

パソコンとFOMA端末の接続方法→P391

5 データリンクソフトからminiSDユーティリティを起動▶「読込み」ウィンドウでドライブを選択して「OK」をクリック

FOMA端末はリムーバブルディスク（たとえば、ドライブがFの場合「F：リムーバブルディスク」など）として認識されます。

6 ミュージック をクリックしてアルバムを作成

- アルバムを作成するには、「編集」→「アルバム作成」で、アルバム名を入力します。
- miniSDユーティリティで作成した「アルバム」は、FOMA端末では「フォルダ」として扱われます。

7 操作2で保存した音楽データのファイルを選択▶miniSDユーティリティのアルバムのデータビューにドラッグ＆ドロップ

8 書込み をクリック▶「書込み」ウィンドウでドライブを確認して「OK」をクリック▶「はい」をクリック

miniSDメモリーカードに音楽データが保存されます。

- 保存するデータの件数によって、保存に時間がかかる場合があります。

9 保存の完了メッセージで「OK」をクリック

10 USBケーブルを外してFOMA端末でUSBモード設定を「通信モード」に切り替える

- 「通信モード」に切り替えるには、メッセージ表示中に(MULTI)以外のキーを押して、「はい」を選択します。

miniSDユーティリティを使わずに保存するには

miniSDユーティリティを使わずに、FOMA端末に挿入したminiSDメモリーカードへ直接音楽データを保存できます。

1 miniSDメモリーカードに保存する準備

- 保存準備の操作手順→ P324「音楽データをminiSDメモリーカードに保存する」操作1～4

2 パソコンの「マイコンピュータ」を起動▶miniSDメモリーカードが認識されているドライブを選択▶PRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE￥F_MUSICを選択

- このフォルダ内にさらにフォルダを作成して音楽データを整理することができます。
- F_MUSIC フォルダが存在しない場合はフォルダを作成してください。

パソコンから操作したときのminiSDメモリーカードのフォルダ構成→P329

3 パソコンに保存した音楽データをF_MUSICフォルダにドラッグ＆ドロップ

4 USBケーブルを外してFOMA端末でUSBモード設定を「通信モード」に切り替える

F700iS、F901iS、F700i、F901iCの音楽データを移行するには

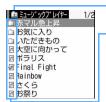
F700iS、F901iS、F700i、F901iCでminiSDメモリーカード内のSD_VIDEO￥PRLzzz￥に保存している、拡張子が「3GP」「MP4」の音楽データ（音声のみの動画／ｉモーション）を、miniSDメモリーカード内の PRIVATE￥DOCOMO￥MMFILE￥F_MUSICに移動／コピーすると、本FOMA端末のミュージックプレイヤーで再生できるようになります。

お知らせ

- miniSDメモリーカードに保存されているミュージックプレイヤー用の音楽データを削除するには、miniSDユーティリティを使用するか、またはFOMA端末が認識されているドライブを表示して、ファイルを削除してください。

音楽データを再生する

ミュージックプレイヤー画面の見かた

停止時

：トップフォルダ
：ホームフォルダ
：通常フォルダ
：マーク再生する音楽データ
：マークを解除した音楽データ

再生時

再生時（背面ディスプレイ）

再生中の音楽データの情報
再生中の曲番号／フォルダ内の曲数、再生時間（分：秒）、曲タイトル、インジケータ、音量レベルが表示されます。

フォルダ内の音楽データを連続再生する

1 MENU ▶ 6 9 ▶ **フォルダを選択**

2 **音楽データを選択**

再生が開始されます。FOMA端末を折り畳むと背面ディスプレイに再生中の音楽データの情報が表示されます。

■ シャッフル再生するとき

① **再生中または停止中に**

フォルダ内の音楽データの曲順がランダムに並べ替えられます。

- MENU 4 2 を押しても並べ替えられます。元の曲順に戻すときは、MENU 4 1 を押します。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後の音楽データ再生
  - ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ●：一時停止
  - ch クリア：停止（1階層上のフォルダにカーソルが移動します。）

スイッチ付イヤホンマイクでの操作

別売の平型スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続しているときは、スイッチ操作で再生や停止ができます。

スイッチ操作をするためには、イヤホンスイッチ設定を「ミュージックプレイヤー操作」にする必要があります。→P371

押しかた	停止中	再生中
1回	再生／フォルダ選択	停止
1秒以上	前の音楽データにカーソルを移動	前の音楽データを再生
2回	次の音楽データにカーソルを移動	次の音楽データを再生
3回	1階層上のフォルダにカーソルを移動（カーソル位置がトップフォルダのときはミュージックプレイヤーを終了）	

特定の音楽データだけを再生する<マーク再生>

1 MENU ▶ 6 9 ▶ **フォルダを選択** ▶ **再生する音楽データにカーソルを合わせて**

- を1秒以上押すごとに、フォルダ内の音楽データをまとめてマークまたはマーク解除できます。MENU 3 を押し、1 または 2 を押しても、マークの全選択、または全解除ができます。

2 **を押す**

OFF に切り替わり、マークした音楽データを再生するように設定します。

- MENU 2 を押しても切り替えられます。
- 通常の再生に戻すときは を押します。

3 ● ［PLAY］**を押す**

曲の先頭だけを連続再生する<イントロ再生>

フォルダ内の音楽データの最初の7秒だけを次々に再生して曲を確認することができます。

1 MENU ▶ 6 9 ▶ **フォルダを選択** ▶ MENU ▶ 1

- イントロ再生中に ● を押すと解除され、再生はそのまま継続されます。
- 音楽データにカーソルを合わせてイントロ再生を行うと、その曲から再生されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止し、通話終了後やアラーム停止後などに再生が自動的に再開されます。
  - 音声電話／テレビ電話／プッシュトークの着信があったとき
  - メールを受信したとき（メール受信設定が「通知優先」の場合）
  - アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
  - ミュージックプレイヤーと同時に使用できない機能が実行されたとき
    マルチタスクの組み合わせ→P460

お気に入りのフォルダをホームフォルダにする

気に入った音楽データのフォルダをホームフォルダに設定すると、ミュージックプレイヤーを起動したときの最初の画面に表示できます。

1 MENU ▶ 6 9 ▶ **フォルダを選択**

2 MENU ▶ 6 ▶ **「はい」を選択**

（フォルダアイコン）が（ホームフォルダアイコン）に変わります。

- 他のフォルダがホームフォルダに設定されている場合は、その設定を解除して現在のフォルダをホームフォルダに設定します。

フォルダを移動する

現在音楽データが一覧表示されているフォルダから、トップフォルダ（miniSDメモリーカードのPRIVATE/DOCOMO/MMFILE内の「F_MUSIC」フォルダ）やホームに設定されているフォルダに移動します。

1 **一覧画面で** MENU ▶ 5 ▶ 1 **または** 2

- 一覧画面では CLR を押すごとに、1階層上のフォルダにカーソルが移動します。トップフォルダで CLR を押すと、ミュージックプレイヤーが終了します。

ミュージックプレイヤーの設定を変更する<プレイヤー設定>

お買い上げ時　音量：レベル20　リピート再生：ON　サラウンド：OFF

- 変更した設定は、動画／iモーションの動作設定にも反映されます。

1 **一覧画面で** MENU ▶ 7 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ （i） **［登録］**

音量：
（方向キー）またはサイドキー［▲▼］を押して再生音量（24段階）を調整し、（決定キー）を押します。

リピート再生：
フォルダ内の音楽データを繰り返し再生するかどうかを設定します。

サラウンド：
サラウンド再生にするか、通常再生にするかを設定します。

miniSDメモリーカードについて

FOMA端末では、撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。また、パソコンなどの外部機器で作成した動画をminiSDメモリーカードに保存してFOMA端末で再生したり（→P463）、パソコンからminiSDメモリーカード内のデータを操作したりできます（→P462）。

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要です。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないminiSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください。なお、初期化を中断したminiSDメモリーカードの動作は保証できません。→P336
- miniSDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したフォーマット（FAT12／FAT16）でお使いください。FAT32でフォーマットした場合は正常に動作しないことがあります。FAT以外のフォーマットで初期化されたminiSDメモリーカードは、FOMA端末で利用できません。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、アイコンや背景画像、待受画面には設定できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから設定してください。
- FOMA端末では市販の128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています（2005年11月現在）。
  最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。
  - iモードから「@Fケータイ応援団」（2005年11月現在）
    iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→@Fケータイ応援団
    ※ 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「@Fケータイ応援団」のサイトに接続できます。

サイトアクセス用QRコード

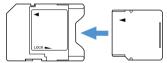
  - パソコンから
    http://www.fmworld.net/product/phone/
- FOMA端末とパソコンを接続するには、FOMA USB接続ケーブル（別売）が必要です。

miniSDメモリーカード使用時の留意事項

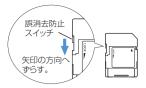
- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- miniSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。miniSDメモリーカードが飛び出す場合があります。

- miniSD メモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているminiSDメモリーカードや、変形しているminiSDメモリーカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。
- データのコピー中、移動中、削除中やminiSDメモリーカードの初期化中、情報更新中はディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTI を押して他の機能に切り替えることもできません。
- オールロック中、PIMロック中はminiSDメモリーカードを使用できません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたminiSDメモリーカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からminiSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ご利用になる miniSD メモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- miniSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SDメモリーカード対応機器で使用するには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせると、miniSDメモリーカードをSDメモリーカード対応機器で使用できます。

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。
- 取り外すときは反対の方向に引き出します。

■ 誤消去を防ぐには

miniSDメモリーカードとminiSDメモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSDメモリーカードアダプタに付いている誤消去防止スイッチを使用することにより誤消去を防げます。

誤消去防止スイッチを「LOCK」の方向にスライドします。
- 先の細いものでスライドさせてください。
- miniSD メモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSDメモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA端末で表示したとき

miniSDメモリーカードのフォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

フォルダ		保存されるデータ	最大保存件数※2
マルチメディア	マイピクチャ	カメラで撮影した静止画、DCF※1規格のJPEG、GIF	9999件
	その他の画像	DCF※1規格外のJPEG、GIFアニメーション	9999件
	動画	カメラで撮影した動画／ｉモーション	4095件
	メロディ	メロディ	9999件
PIM	電話帳	電話帳データ、電話帳のバックアップデータ	合計9999件
	スケジュール	スケジュールデータ、スケジュールのバックアップデータ	
	受信メール	受信メールデータ、受信メールのバックアップデータ	
	未送信メール	未送信メールデータ、未送信メールのバックアップデータ	
	送信メール	送信メールデータ、送信メールのバックアップデータ	
	メモ	メモデータ、メモのバックアップデータ	
	Bookmark	ブックマークデータ、ブックマークのバックアップデータ	
マイドキュメント		PDFデータ	999件
トルカ		トルカ	999件

※1：DCFはDesign rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。
※2：miniSDメモリーカードの容量に関係なく、FOMA端末からminiSDメモリーカードに保存できるデータ件数です。

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが1728×2304より大きい静止画をminiSDメモリーカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。
- F902iでminiSDメモリーカードに保存したメロディは、F2102Vでは再生できません。
- F902iでminiSDメモリーカードに保存した大きなサイズの画像、動画／iモーション、メロディは、データサイズの制限の違いにより、F700iS、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102Vで再生できない場合があります。

■ パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA端末からminiSDメモリーカードにデータを移動またはコピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接miniSDメモリーカードに保存をしたときなどは、そのファイルに対応したフォルダがminiSDメモリーカードに自動的に作成されます。

パソコンなどを使うとminiSDメモリーカードの内容を表示できます。miniSDメモリーカードのフォルダとファイルの構成は次のようになっています。

パソコンなどからminiSDメモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。

■ フォルダ構成

```
DCIM
(撮影画像、静止画 [ ファイル形式：JPEG <DCF 規格>、GIF])
└ xxxF902I
    ├ yyyyxxxx.JPG
    └ yyyyxxxx.GIF
SD_VIDEO
(動画／ｉモーション [ 音楽データ含む ])
└ PRLzzz
    ├ MOLzzz.3GP※1
    ├ MOLzzz.MP4※1
    └ MOLzzz.ASF
PRIVATE
└ DOCOMO
    ├ STILL
    │ (GIF アニメーション、静止画 [ ファイル形式：JPEG<DCF 規格外>])
    │   ├ STILxxxx.JPG
    │   ├ STILxxxx.GIF
    │   └ SUDxxx
    │       ├ STILxxxx.JPG
    │       └ STILxxxx.GIF
    ├ RINGER
    │ (メロディ [ ファイル形式：MFI、SMF])
    │   ├ RINGxxxx.MLD
    │   ├ RINGxxxx.MID
    │   ├ RINGxxxx.SMF
    │   └ RUDxxx
    │       ├ RINGxxxx.MLD
    │       ├ RINGxxxx.MID
    │       └ RINGxxxx.SMF
    ├ DOCUMENT（PDFデータ）
    │   └ PUDxxx
    │       ├ PDFDCxxx.PDF※2
    │       ├ PDFDCxxx.$DF※3
    │       ├ PDFDCxxx.DDF※4
    │       └ PDFDCxxx.JPG※5
    ├ TABLE※6
    │   ├ RINGER
    │   ├ STILL
    │   ├ DCIM
    │   ├ SD_VIDEO
    │   ├ DOCUMENT
    │   └ TORUCA
    ├ TORUCA（トルカ）
    │   ├ TORUCxxx.TRC
    │   └ TRCxxx
    │       └ TORUCxxx.TRC
    └ MMFILE
      (ミュージックプレイヤーの音楽データ)
        └ F_MUSIC※7
            ├ xxxx.3GP
            ├ xxxx.MP4
            └ xxxx.M4A
SD_PIM
(電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、ブックマーク)
├ PIMxxxxx.VCF
├ PIMxxxxx.VCS
├ PIMxxxxx.VMG
├ PIMxxxxx.VNT
└ PIMxxxxx.VBM
```


次ページへ続く

※1：拡張子が「3GP」「MP4」のファイルは、MP4形式として扱われます。
※2：拡張子を含めて半角64文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。
※3：ダウンロードに失敗したPDFデータです。残りのデータをダウンロードして保存すると、ファイル名が「PDFDCxxx.PDF」に変更されます。
※4：PDFデータのしおり情報やマーク情報などを管理するファイルです。ファイル名は対応するPDFデータと同じです。
※5：PDFデータをサムネイル表示するファイルです。ファイル名は対応するPDFデータと同じです。
※6：データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変えたりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
※7：このフォルダの下には、新しいフォルダを作成できます。「xxxx.3GP」「xxxx.MP4」「xxxx.M4A」の「xxxx」には、任意の名称を指定できます。ファイル名（拡張子を含む）に指定できる文字数はパス名を含めて最大256バイト（半角256文字）です。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  - 「xxxF902I」のxxxは100～999
  - 「yyyyxxxx」のyyyyはA～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）、xxxxは0001～9999
  - 「SUDxxx」「RUDxxx」「PUDxxx」「PDFDCxxx」のxxxは001～999
  - 「STILxxxx」「RINGxxxx」のxxxxは0001～9999
  - 「PRLzzz」「MOLzzz」のzzzは001～FFFまでの16進数（16進数では1つの桁を0～9とA～Fの16種類の文字で表します）
  - 「PIMxxxxx」のxxxxxは00001～65535
  - 「TRCxxx」「TORUCxxx」のxxxは001～999

お知らせ

- パソコンなどでminiSDメモリーカードにコピーしたデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末でminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。
- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。
- パソコンなどでminiSDメモリーカードに保存したデータをF2102Vで再生できても、F902i、F700iS、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900iでは再生できない場合があります。
- F900iCでminiSDメモリーカードに保存した電話帳をF902iで利用するには、F902iでminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。

■ miniSDメモリーカードで利用できるマルチメディア、マイドキュメント、トルカ

データ形式ごとのデータサイズの上限値やデータ利用の可否は次のとおりです。
メール添付の詳細→P235「ファイルを添付する」

画像、動画／ｉモーション

上段：ファイルサイズ　下段：画像サイズ

データ＼操作	miniSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動
JPEG形式の静止画	無制限	500Kバイト
	無制限	1728×2304
GIF形式の静止画	無制限	500Kバイト
	無制限	480×640
MP4、3GP形式の動画／ｉモーション	無制限	500Kバイト
	無制限	無制限
ASF形式の動画／ｉモーション	不可	不可
	不可	不可

上段：ファイルサイズ　下段：画像サイズ

データ＼操作	メール添付	内容表示
JPEG形式の静止画	500Kバイト	2.6Mバイト
	無制限	1728×2304
GIF形式の静止画	10000バイト	2.6Mバイト
	無制限	480×640
MP4、3GP形式の動画／ｉモーション	500Kバイト	無制限
	176×144、128×96	48×48～320×240※
ASF形式の動画／ｉモーション	不可	無制限
	不可	176×144、320×240

※：再生可能な画像サイズより大きい動画／ｉモーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

その他のデータ（ファイルサイズ）

データ＼操作	miniSDメモリーカードへコピー／移動	FOMA端末へコピー／移動
MLD形式のメロディ	無制限	100Kバイト
MID、SMF形式のメロディ	無制限	100Kバイト
PDF形式のドキュメント	無制限	2Mバイト
TRC形式のトルカ	321バイト※	1024バイト

※：トルカによっては異なる場合があります。

データ表示／編集／管理

操作 データ	メール添付	内容表示
MLD形式のメロディ	不可	100Kバイト
MID、SMF形式のメロディ	10000バイト	100Kバイト
PDF形式のドキュメント	不可	無制限
TRC形式のトルカ	321バイト※	1024バイト

※：トルカによっては異なる場合があります。

miniSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

miniSDメモリーカードは、FOMA端末のminiSDメモリーカードスロットに取り付けて使用します。

- miniSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- miniSD メモリーカードスロットには、miniSD メモリーカード以外は挿入しないでください。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- miniSD メモリーカードは正しく取り付けてください。miniSDメモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、miniSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着しているminiSDメモリーカードや、変形しているminiSDメモリーカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

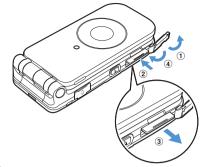
miniSDメモリーカードの取り付けかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く

②印字面を上にして、miniSDメモリーカードをスロットにゆっくり差し込む

③「カチッ」と音がするまで、さらにminiSDメモリーカードを差し込む

④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSDメモリーカードの取り外しかた

①miniSDメモリーカードスロットのカバーを開く

②miniSDメモリーカードを軽く押し込み、手を離す

miniSDメモリーカードが少し飛び出します。

③miniSDメモリーカードをゆっくりと取り出す

まっすぐに取り出してください。

④miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA端末とminiSDメモリーカードの間でデータをコピーまたは移動したり、FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップしたりします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

マルチメディア

データの種類	操作内容
画像	1件コピー、複数コピー、 全件コピー、1件移動、複数移動、 全件移動
動画／ ｉモーション	
メロディ	

PIM

データの種類	操作内容
電話帳（プッシュトーク電話帳※を含む）	1件コピー、バックアップ、復元
スケジュール	
メール（受信、未送信、送信）	
ブックマーク	
メモ	バックアップ、復元

※：1件コピーの操作では、コピーされません。

マイドキュメント

データの種類	操作内容
PDFデータ	1件コピー、複数コピー、 全件コピー、1件移動、複数移動、 全件移動

トルカ

データの種類	操作内容
トルカ	1件コピー、複数コピー、全件コピー、1件移動、複数移動、全件移動

- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

miniSDメモリーカードの保存容量を確認する

miniSDカード画面に、miniSDメモリーカードの最大保存容量や空き容量などが表示されます。miniSDメモリーカードの空き容量を確認してから、データのコピーやバックアップなどを行ってください。

1 MENU ▶ 6 5

miniSDカード
1 マルチメディア
2 PIM
3 マイドキュメント
4 トルカ
使用状況
使用領域： 1,152 KB
空き領域： 13,352 KB
全容量 ： 14,504 KB

使用状況：
全容量に対する使用領域の割合をバーで示します。

使用領域：
現在使用している容量を数値で示します。

空き領域：
現在の空き容量を数値で示します。

全容量：
FOMA端末に取り付けているminiSDメモリーカードの全容量を数値で示します。

お知らせ
- データ（ミュージックプレイヤー用の音楽データ含む）が1件も保存されていない状態でも使用領域が「0KB」にならない場合は、miniSDメモリーカードを初期化してください。
- 実際に使用できるminiSDメモリーカードの容量は、miniSDメモリーカードに記載されている容量より少なくなります。
- miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別のminiSDメモリーカードを取り付けてからデータを保存してください。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動する

- パラパラマンガ、FOMA端末外への出力が禁止されているデータはコピーまたは移動できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- PIMデータは移動できません。
- 電話帳に登録されている動画はコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストやイメージ（静止画）はコピーされません。

〈例〉静止画をminiSDメモリーカードへコピー／移動するとき

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ コピーまたは移動する静止画にカーソルを合わせて MENU ▶ 5 ▶ 4 または 5

2 1 ～ 3

■ 複数コピー／複数移動するとき
① 2 または 3
② コピーまたは移動する静止画を選択 ▶ 完了

3 「はい」を選択

選択した静止画、またはフォルダ内に保存されているすべての静止画が、miniSDメモリーカードにコピーまたは移動されます。
- コピーまたは移動を中止するときは ● を押します。

お知らせ
- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、マイドキュメント一覧、トルカ一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへ移動」または「miniSDカードへコピー」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは、miniSDメモリーカードに移動／コピーができません。
- 電話帳一覧から操作する場合は、MENU を押して「赤外線／外部メモリ」→「miniSDへコピー」または「miniSDへバックアップ」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面から操作する場合は、MENU を押して「赤外線／miniSD」→「miniSDへコピー」または「miniSDへバックアップ」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- メールの添付データ（動画／ｉモーションは除く）が、10000バイトより大きい場合は、メール本文だけがminiSDメモリーカードにコピーされます。
- 送信メールや未送信メールに添付されている動画／ｉモーションは、miniSDメモリーカードに移動／コピーされません。
- ブックマーク一覧から操作する場合は、MENU を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- FOMA端末内のデータをminiSDメモリーカードへコピー／移動すると、「マイピクチャ」「ｉモーション」「メロディ」フォルダ内のデータの場合は、ファイル名が自動的に管理用の名称に変更されます。「マイドキュメント」フォルダ内のデータの場合は、データによってはファイル名が管理用の名称に変更されることがあります。→P329

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

・静止画をFOMA端末本体からminiSDメモリーカードに移動またはコピーすると、miniSDメモリーカード側で表示されるファイルサイズがFOMA端末で表示されるファイルサイズより大きくなることがあります。この場合、miniSDメモリーカード側で表示されるファイルサイズが実際のファイルサイズになります。
・FOMA端末電話帳のデータをminiSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合の静止画は、miniSDメモリーカードにコピー、バックアップされますが、表示はできません。ただし、本体にその電話帳データを戻すと、静止画は表示されます。
・トルカ（詳細）を本体からminiSDカードへ移動／コピーすると、詳細は切り取られます。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピー／移動する

・最大保存件数→P480

マルチメディアデータをFOMA端末にコピー／移動する

1 MENU ▶ 6 5 1 ▶ 1～4 ▶ フォルダを選択 ▶ コピーまたは移動するデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 3

2 1～6

■ 複数コピー／複数移動するとき
① 2 または 5
② コピーまたは移動するデータを選択 ▶ 完了

3 「はい」を選択

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイピクチャ、iモーション、メロディ内の各「データ交換」フォルダにコピーまたは移動されます。

・コピーまたは移動を中止するときは ● を押します。

お知らせ

・マルチメディア内のデータを検索したときの一覧画面では、全件移動または全件コピーはできません。

PIMデータをFOMA端末にコピーする

・バックアップデータ（ 、 、 、 、 が付いているデータ）はFOMA端末に復元することでコピーできますが（→P334）、バックアップデータ自体はFOMA端末にコピーできません。

1 MENU ▶ 6 5 2 ▶ 1～7 ▶ コピーするデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 1 ▶ 「はい」を選択

選択したデータがFOMA端末へコピーされます。

マイドキュメントデータをFOMA端末にコピー／移動する

1 MENU ▶ 6 5 3 ▶ フォルダを選択 ▶ コピーまたは移動するデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

2 1～6

■ 複数コピー／複数移動するとき
① 2 または 5
② コピーまたは移動するデータを選択 ▶ 完了

3 「はい」を選択

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイドキュメント内の「データ交換」フォルダにコピーまたは移動されます。

お知らせ

・マイドキュメント内のデータを検索したときの一覧画面では、全件移動または全件コピーはできません。

トルカをFOMA端末にコピー／移動する

1 MENU ▶ 6 5 4 ▶ フォルダを選択 ▶ コピーまたは移動するデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶ 1～6

■ 複数コピー／複数移動するとき
① 2 または 5
② コピーまたは移動するデータを選択 ▶ 完了

2 「はい」を選択

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがトルカ一覧の「トルカフォルダ」にコピーまたは移動されます。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップする

FOMA端末の各PIMデータを、一括してminiSDメモリーカードにバックアップします。

1 MENU ▶ 6 5 2 ▶ 1～7 ▶ MENU ▶ 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」を選択

選択したPIMデータが1つにまとめられてminiSDメモリーカードにバックアップされます。

・電話帳データをバックアップすると、プッシュトーク電話帳のデータ（グループデータを含む）もバックアップされます。
・バックアップを中止するときは ● を押します。中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

miniSDメモリーカードのバックアップデータを復元する

miniSDメモリーカードにバックアップされている各PIMデータを、FOMA端末に復元します。

- 復元の方法には追加復元と上書き復元があります。上書き復元の場合、FOMA端末の各PIMデータは上書きされ、元のデータは消去されますのでご注意ください。
- 電話帳のバックアップデータを復元すると、プッシュトーク電話帳データも復元されます。

1 MENU ▶ 6 5 2 ▶ 1～7 ▶ **バックアップデータにカーソルを合わせて** MENU ▶ 1 ▶ 2 **または** 3

追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータを上書きします。

- バックアップデータのマークの意味は次のとおりです。
  - ：電話帳　：スケジュール
  - ：受信メール、未送信メール、送信メール
  - ：メモ　：ブックマーク

2 **認証操作 ▶「はい」を選択**

- 復元を中止するときは●を押します。中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更したり削除したりすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。その場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。

マルチメディアデータを表示する

1 MENU ▶ 6 5 1 ▶ 1～4 ▶ **フォルダを選択**

■ **FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき**

① **を押す**

- 「マイピクチャ」「その他の画像」内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のマイピクチャ内のフォルダ一覧画面に切り替わります。
- 動画内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のｉモーション内のフォルダ一覧画面に切り替わります。
- メロディ内のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のメロディ内のフォルダ一覧画面に切り替わります。

2 **表示するデータにカーソルを合わせる**

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります（メロディデータを除く）。

■ **データをメールに添付するとき**

① **添付するデータにカーソルを合わせて**

■ **データの詳細情報を表示するとき**

① **詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせて** MENU ▶ 2

■ **データを1件削除するとき**

① **削除するデータにカーソルを合わせて** MENU ▶ 4 1 ▶ **「はい」を選択**

■ **データを複数削除するとき**

① MENU ▶ 4 2 ▶ **削除するデータを選択**
② ▶ **「はい」を選択**

■ **データを全件削除するとき**

① MENU ▶ 4 3 ▶ **認証操作 ▶「はい」を選択**

■ **指定したページにジャンプするとき**

① ▶ **ジャンプするページ数を入力**

- ページ数を入力しないときは1ページ目が表示されます。

■ **miniSDメモリーカード内のデータを検索するとき**

① MENU ▶ 5 ▶ **日時を入力** ▶

- 検索を中止するときは●を押します。

■ **動画を連続再生するとき（動画データのみ）**

① MENU ▶ 6

- 連続再生中は次の操作ができます。
  - ／／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後の動画再生
  - ● ：一時停止／再生
  - ／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ：連続再生停止

  連続再生中にFOMA端末を折り畳むと再生中の動画／ｉモーションのタイトルが背面ディスプレイに表示され、再生は継続されます。

3 **● ［選択］を押す**

画像表示中の操作→P306 操作3
動画再生中の操作→P313 操作3
メロディ再生中の操作→P323 操作3

■ **「マイピクチャ」「その他の画像」フォルダ内の画像のファイル名を非表示に切り替えるとき**

① **を押す**

- を押すたびに非表示と表示が切り替わります。

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

PIMデータを表示する

1 menu ▶ 6 5 2 ▶ 1〜7 ▶ 表示するデータにカーソルを合わせる

■ データを1件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせて menu ▶ 2 1 ▶「はい」を選択

■ データを複数削除するとき

① menu ▶ 2 2 ▶ 削除するデータを選択

② ㊀ ▶「はい」を選択

■ データを全件削除するとき

① menu ▶ 2 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

■ 指定したページにジャンプするとき

① ㊀ ▶ ジャンプするページ数を入力

- ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを検索するとき

① menu ▶ 3 ▶ 日時を入力 ▶ ㊀

- 検索を中止するときは◉を押します。

2 ◉［選択］を押す

- 詳細画面については、それぞれのPIMデータのページを参照してください。

電話帳→P111　　スケジュール→P361
メール→P251　　ブックマーク→P199

- 1件のPIMデータを選択したときは、選択したデータの詳細が表示されます。
- バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。 ch/クリア を押すと一覧画面に戻ります。

お知らせ

- miniSD メモリーカードに保存されている電話帳やスケジュールの詳細画面から、電話をかけたりメールを送信したりできません。また、メールの詳細画面から返信、転送、編集、保護はできません。
- miniSD メモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- メールの詳細画面で、メールアドレスにカーソルを合わせ、menu 3 1 を押すと電話帳に新規登録、menu 3 2 を押すと電話帳に更新登録できます。また、添付されている画像やメロディにカーソルを合わせ、menu 4 1 を押すと表示または再生、menu 4 2 を押すとタイトルを確認できます。ただし、10000 バイトより大きい静止画や動画／ i モーションの表示、件数表示などはできません。
- F900iC でminiSD メモリーカードに保存した電話帳をF902iで利用するには、F902iでminiSDメモリーカードの情報更新をする必要があります。
- 電話帳のバックアップデータにプッシュトーク電話帳のデータが含まれていても表示できません。ただし、FOMA端末にバックアップデータを復元すると表示されます。
- FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合の静止画は、miniSDメモリーカードにコピー、バックアップされますが、表示はできません。ただし、本体にその電話帳データを戻すと、静止画は表示されます。

マイドキュメントデータを表示する

1 menu ▶ 6 5 3 ▶ フォルダを選択

■ FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき

① ㊀ を押す

2 表示するデータにカーソルを合わせる

- ㊀ を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

■ データの詳細情報を表示するとき

①詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせて menu ▶ 1

■ データを1件削除するとき

①削除するデータにカーソルを合わせて menu ▶ 3 1 ▶「はい」を選択

■ データを複数削除するとき

① menu ▶ 3 2 ▶ 削除するデータを選択

② ㊀ ▶「はい」を選択

■ データを全件削除するとき

① menu ▶ 3 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

■ 指定したページにジャンプするとき

① ㊀ ▶ ジャンプするページ数を入力

- ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

■ miniSDメモリーカード内のデータを検索するとき

① menu ▶ 4 ▶ 日時を入力 ▶ ㊀

- 検索を中止するときは◉を押します。

3 ◉［選択］を押す

PDFデータ表示中の操作→P348

トルカを表示する

1 menu ▶ 6 5 4 ▶ フォルダを選択

■ FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき

① ㊀ を押す

2 表示するトルカにカーソルを合わせる

■ トルカをメールに添付するとき

①添付するデータにカーソルを合わせて ㊀

■ トルカを1件削除するとき

① 削除するデータにカーソルを合わせて(MENU) ▶ (3)(1) ▶「はい」を選択

■ トルカを複数削除するとき

① (MENU) ▶ (3)(2) ▶ 削除するデータを選択

② (m) ▶「はい」を選択

■ トルカを全件削除するとき

① (MENU) ▶ (3)(3) ▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

■ 指定したページにジャンプするとき

① (m) ▶ ジャンプするページ数を入力

• ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

3 (●)［選択］を押す

• miniSD メモリーカードに保存されているトルカから詳細情報はダウンロードできません。

miniSDメモリーカードを管理する

miniSDメモリーカードをFOMA端末で正しく使用できるように、miniSDメモリーカードを初期化したり、情報更新したりします。

miniSDメモリーカードを初期化する＜初期化＞

miniSDメモリーカードに保存してあるデータ（ミュージックプレイヤー用の音楽データ含む）をすべて削除するときや、新たに購入したminiSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに初期化します。

1 (MENU) ▶ (6)(5) ▶ (m) ▶ 初期化の方法を選択

簡易初期化：

miniSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。miniSDメモリーカードが一度初期化済みで、miniSDメモリーカードに問題がない場合のみ実行してください。

完全初期化：

miniSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入したminiSDメモリーカードを初期化するときなどに実行してください。

2 認証操作 ▶「はい」を選択

初期化が始まります。

• 初期化を中断するときは(●)を押します。

miniSDメモリーカードの情報を更新する＜情報更新＞

他の機器でminiSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新するかどうかを設定できます。

• 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」と「その他の画像」内のデータの場合は、ファイル名と同じ名称に変更されます。
  - 「メロディ」「動画」「マイドキュメント」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名称に変更されます。ただし、タイトル名が存在しないときはファイル名と同じ名称に変更されます。
  - 「トルカ」内のデータの場合は、タイトル名と同じ名称に変更されます。ただし、タイトル名が存在しないときは「無題」に変更されます。

1 (MENU) ▶ (6)(5) ▶ (i) ▶ 情報を更新する項目を選択

2 (m) ▶「はい」を選択

選択した項目の情報が更新されます。

• 情報更新を中断するときは(●)を押します。

お知らせ

• miniSD メモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
• 他の機器でminiSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するための必要な空き容量が不足し、miniSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

miniSDメモリーカードをチェックする＜カードチェック＞

miniSDメモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。

1 (MENU) ▶ (6)(5) ▶ (✉) ▶「はい」を選択

お知らせ

• miniSD メモリーカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

アルバムを利用する

アルバムを作成してデータを整理したり、アルバムのデータをまとめて再生したりします。

- キャラ電、マイドキュメントではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

アルバムを作成する

データの種類ごとにアルバムを作成します。

- アルバムはマイピクチャで最大100個、i モーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメントでそれぞれ最大10個作成できます。
- お買い上げ時は、アルバムはありません。

〈例〉マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 MENU ▶ 5 1

2 MENU ▶ 1

■アルバム名を変更するとき

①変更するアルバムにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

■アルバムを削除するとき

①削除するアルバムにカーソルを合わせて MENU ▶ 3

- 削除するアルバムにデータが保存されているときは、認証操作を行います。

②「はい」を選択

3 アルバム名を入力 ▶ [登録]

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

お知らせ

- i モーション、メロディのアルバム一覧から操作する場合は、MENUを押して「アルバム作成」を選択します。
- キャラ電、マイドキュメントのフォルダ一覧から操作する場合は、MENUを押して「フォルダ作成」を選択します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動させたり、アルバム間でデータを移動したりします。

- マイピクチャ内の「デコメールピクチャ」フォルダと他のフォルダ間でデータを移動させることもできます。
- 「プリインストール」フォルダ、「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動するとき

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

2 移動するデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 5 1 1

■データを複数移動するとき

① MENU ▶ 5 1 2 ▶ 移動するデータを選択

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

② を押す

■フォルダ内のすべてのデータを移動するとき

① MENU ▶ 5 1 3

3 移動先のアルバムを選択 ▶「はい」を選択

お知らせ

- 動画／i モーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面から操作する場合は、MENUを押し「移動」を選択します。
- PDFデータ一覧から操作する場合は、MENUを押し「移動／コピー」→「フォルダへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。

アルバムのデータを元の固定フォルダに戻す

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを元の固定フォルダに戻すとき

1 MENU ▶ 5 1 ▶ アルバムを選択

2 元に戻すデータにカーソルを合わせて MENU ▶ 5 2 1

■データを複数戻すとき

① MENU ▶ 5 2 2 ▶ 元に戻すデータを選択

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

② を押す

■アルバム内のすべてのデータを戻すとき

① MENU ▶ 5 2 3

3 「はい」を選択

データ表示／編集／管理

次ページへ続く

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、menuを押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、menuを押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、menuを押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。
- 「デコメールピクチャ」フォルダで元の固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「ｉモード」フォルダに移動します。
- キャラ電はフォルダへ戻す操作はできません。

データをコピーする

次のデータはコピーできません。

- マイピクチャのパラパラマンガ、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
- 再生制限が設定されているｉモーション
- メロディ
- ファイル制限が「あり」に設定されているデータ
- キャラ電

〈例〉マイピクチャのデータをコピーするとき

1 **menu ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ コピーするデータにカーソルを合わせてmenu ▶ 5 3**

コピーしたデータはコピー元のデータと同じフォルダ内に保存されます。

お知らせ

- 動画／ｉモーション一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、menuを押し「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバム再生する

指定したアルバム内の動画／ｉモーション、メロディのデータをまとめて再生できます。

- 作成したアルバムのみアルバム再生できます。

1 **menu ▶ 5 ▶ 2（ｉモーション）または3（メロディ）**

2 **再生するアルバムにカーソルを合わせてmenu ▶ 4**

- 動画／ｉモーションのアルバム再生中は次の操作ができます。
  - ●：一時停止／再生
  - ◀／▶／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後のデータ再生
  - ▲▼／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ✉：停止
- メロディのアルバム再生時は次の操作ができます。
  - ▲▼／サイドキー［▲▼］（1秒以上）：前後のデータ再生
  - ◀▶／サイドキー［▲▼］：音量調整
  - ●／chクリア：停止
- アルバム再生中にFOMA端末を折り畳んでも、再生は中断しません。その場合、サイドキーでの操作は可能です。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を確認／変更する

表示名やファイルサイズなど、データの詳細情報を確認します。また、一部の情報は変更できます。

データの詳細情報を確認する＜詳細情報参照＞

〈例〉画像の詳細情報を表示するとき

1 **menu ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 詳細情報を確認する画像にカーソルを合わせてmenu ▶ 3 1**

- ✉を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

詳細情報→P339「表示項目と変更可否一覧」

お知らせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧画面、キャラ電表示画面、メロディ再生画面、PDFデータ一覧画面から操作する場合は、menuを押して「詳細情報」→「参照」を選択します。
- キャラ電撮影画面から操作する場合は、menuを押して「詳細情報参照」を選択します。
- miniSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。
- 自端末で撮影種別を「画像＋音声」または「音声のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は、着信音設定が「可」になります。ただし、表示サイズが320×240の動画は「不可」になります。

データの詳細情報を変更する＜詳細情報変更＞

〈例〉画像の詳細情報を変更するとき

1 **menu ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択 ▶ 詳細情報を変更する画像にカーソルを合わせてmenu ▶ 3 2 ▶ 各項目を選択して設定**

詳細情報→P339「表示項目と変更可否一覧」

2 **✉［登録］を押す**

お知らせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧画面、キャラ電表示画面、メロディ再生画面、PDFデータ一覧画面から操作する場合は、menuを押して「詳細情報」→「変更」を選択します。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

表示項目と変更可否一覧

詳細情報の表示項目の内容と変更の可否は次のとおりです。

- お買い上げ時に登録されているデータの種類やコンテンツによっては、表中で「変更可」となっている場合でも変更できない場合があります。

●：表示および変更可
○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	PDFデータ
表示名	●	●	●	●	●
	FOMA端末で表示するタイトル • 変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず最大36文字、メロディでは全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。				
タイトル	－	○	○	○	－
	データにあらかじめ設定されているオリジナルタイトル				
ファイル名	●	●	○	●	○
	データをメールに添付したときに表示されるファイル名 • 変更する場合、半角英数字、「.」、「-」、「_」で、最大36文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に入力できません。				
作成者	－	●	－	－	－
	作成者の名前など • 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。 • 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。				
コピーライト	－	●	－	－	－
	著作者名や著作物の公表年月日など • 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。				
種類	○	－	－	－	－
	画像の種類				
ファイル制限	●	●	○	●	○
	メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかしないか • サイトなどからダウンロードしたｉモーション、メロディでは変更できません。				
撮影後ファイル制限	－	－	○	－	－
	キャラ電を撮影した静止画や動画にファイル制限が設定されるかどうか				
説明	－	●	－	－	－
	動画／ｉモーションの説明 • 変更する場合、全角・半角を問わず最大256文字入力できます。				
ファイル種別	○	○	－	○	○
	ファイルの種別（Flash画像では「---」）				
音	－	○	－	－	－
	音声データの種別				
表示サイズ	○	○	○	－	－
	データの表示サイズ（Flash画像では表示されません）				
ファイルサイズ	○	○	○	○	○
	データのファイルサイズ				
再生時間	－	○	－	○	－
	データの再生時間				
保存日時	○	○	○	○	○
	データを保存した日時				
フレーム候補	●	－	－	－	－
	画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうか • サイズが352×288より大きい画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。 •「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。				
スタンプ候補	●	－	－	－	－
	画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうか • サイズが240×320以上の画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。 •「する」に設定した場合、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。				
コメント	●	－	●	－	－
	データの説明など • 変更する場合、全角・半角を問わず最大100文字入力できます。				

次ページへ続く

表示項目	画像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	PDFデータ
着信音設定	−	○	−	−	−
	動画／iモーションを着信音に設定できるかどうか				
着信画面設定	−	○	−	−	−
	動画／iモーションを着信画像に設定できるかどうか				
再生制限	−	○	−	−	−
	動画／iモーションの再生制限				
取得元	○	○	○	○	○
	データの取得元				
故障時移行可否	○	−	−	○	○
	お客様のFOMA端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうか※				

※：万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

データを削除する

固定フォルダやアルバムに保存されているデータを削除します。

- 「プリインストール」フォルダ、「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを削除するとき

1 MENU ▶ 5 1 ▶ **フォルダを選択**

2 **削除するデータにカーソルを合わせて** MENU ▶ 6 1

■ データを複数削除するとき

① MENU ▶ 6 2 ▶ **削除するデータを選択**

- 📷を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

② ✉ **を押す**

■ フォルダ内のデータを全件削除するとき

① MENU ▶ 6 3 ▶ **認証操作**

3 **「はい」を選択**

お知らせ

- 動画／iモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、MENUを押し「削除」→「1件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面から操作する場合は、MENUを押し「削除」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、MENUを押し「削除」→「1件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P283

ソート

データを並べ替える

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

一覧画面のデータの並び順を変更します。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 MENU ▶ 5 1 ▶ **フォルダを選択**

2 MENU ▶ 7

3 **下記の各項目を選択して設定** ▶ ✉ **［登録］**

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

お知らせ

- 動画／iモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDFデータ一覧から操作する場合は、MENUを押し「ソート」を選択します。
- 表示名に全角と半角の文字が混在していると、並べ替えが50音順と一致しない場合があります。

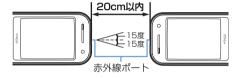
赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したiアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- 赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。

- 赤外線通信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、(MULTI)を押して他の機能に切り替えることもできません。
- 本端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。
- 相手の端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2を入力してデータを送信すると、正しく表示されないことがあります。

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は 20cm 以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。

お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常にできない場合があります。

FOMA端末のデータを赤外線受信するときの留意事項

- F2102V、F2051のメールデータを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
- メールデータを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型ｉアプリ用のフォルダに通常のメールデータが保存される場合があります。
- ブックマークデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- F902i、F700iS、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末からブックマークデータを受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
- F902i、F700iS、F901iS、F700i、F901iC、F900iC、F900iT、F900i、F2102V、F2051以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。

F902iのデータをFOMA端末に赤外線送信するときの留意事項

- ファイルのサイズ制限の違いにより、大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディは受信側で保存できない場合があります。

赤外線送信

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに電話帳や自局番号などのデータを送信します。赤外線送信には、送信するデータを選択して1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとに全件送信する方法があります。
送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳※	• シークレット属性が設定されている電話帳はシークレットモード中のみ1件送信できます。 • 全件送信すると、プロフィール情報やプッシュトーク電話帳（グループデータを含む）も送信されます。 • プッシュトーク電話帳は1件ずつ送信できません。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信を「あり」に設定している場合は、電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信されます。 • 相手の機種によっては、電話帳の画像が送信されない場合があります。
スケジュール※	• シークレット属性が設定されているスケジュールはシークレットモード中のみ1件送信できます。 • 送信には日付・時刻の設定が必要です。
受信メール※ 送信メール※ 未送信メール※	• メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。
メモ※	————
ブックマーク※	• 相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
画像	• 表示名を全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • ファイルサイズが 500K バイトより大きいデータは送信できません。 • ダウンロードした画像など、ファイル制限が「あり」に設定されているデータは送信できません。
動画／ｉモーション	• 表示名を全角で最大9文字、半角で最大18文字送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
メロディ	• タイトルを全角で最大25文字、半角で最大50文字送信できます。
プロフィール	• 相手の機種によっては、画像が送信されない場合があります。
PDFデータ	• ファイルサイズが 512K までのデータを送信できます。

次ページへ続く

データの種類	留意事項
トルカ	• トルカのみ送信できます。 • トルカ（詳細）を送信すると、詳細は切り取られます。受信側でダウンロードできます。 • ファイルサイズが321バイトより大きいトルカは送信できません（トルカによっては異なる場合があります）。

※：全件送信できます。

• F902i以外のｉモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、受信側で登録できない項目は破棄されます。

データを1件送信する

〈例〉1件の電話帳データを赤外線送信するとき

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする ▶電話帳を検索▶送信する電話帳データにカーソルを合わせて(MENU)▶(8)(1)

2 「はい」を選択

• 赤外線送信を中断するときは(●)を押します。

お知らせ

• ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線送信」→「送信」を選択します。
• 画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧、トルカ一覧から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線送信」を選択します。
• スケジュールのデイリービュー画面から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線／miniSD」→「赤外線送信」を選択します。
• プロフィール情報の詳細画面から操作する場合は、(MENU)を押し「プロフィール送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した機能のすべてのデータを赤外線送信します。

• 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ4桁の数字（0000～9999）の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする ▶(MENU)▶(6)(2)(1)▶(1)～(7) ▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力

• 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

2 「はい」を選択

• 赤外線送信を中断するときは(●)を押します。

お知らせ

• ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。
• ブックマークのフォルダ一覧、送信メールのフォルダ一覧、未送信メールのフォルダ一覧、受信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線全件送信」を選択します。
• 電話帳一覧から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線／外部メモリ」→「赤外線全件送信」を選択します。
• スケジュールのカレンダー画面、デイリービュー画面から操作する場合は、(MENU)を押し「赤外線／miniSD」→「赤外線全件送信」を選択します。
• 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線受信

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどから、電話帳やメールなどのデータを受信します。受信したデータは直接FOMA端末に保存したり、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存したりできます。
赤外線受信には、データを1件ずつ受信する方法と、種類ごとに全件受信する方法があります。
受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所・保存順
電話帳※	電話帳 • 電話帳データを全件受信した場合、自局番号以外のプロフィール情報が上書きされます。 • ダイヤル発信制限中は受信できません。 • 全件受信の受信データにプッシュトーク電話帳のデータが含まれている場合は、プッシュトーク電話帳に保存されます。 保存順：最も小さい空きメモリ番号
スケジュール※	スケジュール帳 • 日付・時刻の設定が必要です。 保存順：日時順
受信メール※	受信メール 保存順：受信日時順
送信メール※	送信メール 保存順：送信日時順
未送信メール※	未送信メール 保存順：保存日時順
メモ※	メモ帳 保存順：受信順
ブックマーク※	Bookmark 保存順：一覧の先頭

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

データの種類	受信後の保存場所・保存順
動画／ ｉモーション	ｉモーション内の「データ交換」フォルダ 保存順：一覧の先頭
メロディ	メロディ内の「データ交換」フォルダ 保存順：一覧の先頭
画像	マイピクチャ内の「データ交換」フォルダ 保存順：一覧の先頭
プロフィール	電話帳 保存順：最も小さい空きメモリ番号
PDFデータ	マイドキュメント内の「データ交換」フォルダ 保存順：一覧の先頭
トルカ	トルカ一覧の「トルカフォルダ」 保存順：一覧の先頭

※：全件送信されたデータを全件受信できます。

データを1件受信する

相手側の機器に保存されている1件のデータを赤外線受信します。

- 512Kバイトより大きいデータは受信できません。

1 menu ▶ 6 2 2 1

2 1 または 2

受信方式選択
1 保存確認あり
2 保存確認なし
[確認あり]通信終了後に保存確認を行います
[確認なし]受信中に本体内データに追加します

が表示されます。

保存確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。→P344

保存確認なし：
受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択

受信待機状態になります。

4 送信側でデータを1件送信

- 赤外線受信を中断するときは●を押します。
- 受信終了後は、操作2で「保存確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「保存確認なし」を選択していると、操作2の画面に戻ります。

データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、機能ごとのすべてのデータを赤外線受信します。

- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ4桁の数字（0000～9999）の認証パスワードを決めておいてください。

1 menu ▶ 6 2 2 2

2 1 または 2

全件受信方式選択
1 上書き確認あり
2 上書き確認なし
[確認あり]通信終了後に保存確認を行います
[確認なし]受信中に本体内データを上書きします

が表示されます。

上書き確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。→P344

上書き確認なし：
受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますので、ご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作5に進みます。

3 「はい」を選択

4 認証操作

5 4桁の認証パスワードを入力

- 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

6 「はい」を選択 ▶ 送信側でデータを全件送信

- 赤外線受信を中断するときは●を押します。
- 受信終了後は、操作2で「上書き確認あり」を選択していると、INBOX画面が表示されます。「上書き確認なし」を選択していると、操作2の画面に戻ります。

お知らせ

- 本端末ではToDo（用件を管理するリスト機能）データを保存できません。ToDoデータとスケジュールデータの両方を全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを「上書き確認なし」で全件受信した場合、本端末に登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されているデータをFOMA端末に保存します。

- 1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、赤外線通信を終了すると自動的にINBOXの画面が表示されます。

1 MENU ▶ 6 2 2 3 ▶ **保存する データを選択**

INBOX 1/1
橋本花子
NTT DoCoMo
おひさしぶりです。
私の娘（その2）
20051127100900
No Title
出張
新しい携帯の番号は…
20051126205100

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：電話帳1件データ／複数件データ
  - ／：ブックマーク1件データ／複数件データ
  - ／：メール1件データ／複数件データ
  - ：画像データ
  - ：動画／ｉモーションデータ
  - ♪：メロディデータ
  - ／：スケジュール1件データ／複数件データ
  - ／：メモ1件データ／複数件データ
  - PDF：PDFデータ
  - ：トルカ

■ データを1件削除するとき

①**削除するデータにカーソルを合わせて** MENU ▶ 2

■ データを全件削除するとき

① MENU ▶ 3 ▶ **認証操作**

2 **「はい」を選択**

■「複数件データ」を選択したとき

①**認証操作 ▶ 追加保存する場合は「追加」を選択、上書き保存する場合は「上書き」を選択**

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますので、ご注意ください。

お知らせ

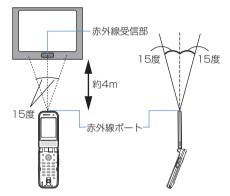
- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて MENU 1 を押してください。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのGガイド番組表リモコンを起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

お買い上げ時　通信終了音：OFF　自動認証：なし　電話帳の画像送信：あり

赤外線通信やUSB接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 MENU ▶ 6 2 3 ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ 田［登録］

通信終了音：
通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

自動認証：
USB接続による通信時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。

- 「あり」に設定するときは、認証操作を行い、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、田を押してください。

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

電話帳の画像送信：
電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

録音画面とファイルについて

サウンドレコーダーを使用して音声を録音できます。録音した音声はFOMA端末だけでなくminiSDメモリーカードに保存したり、iモードメールに添付して送信したりできます。
- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

録音画面

録音画面の見かたは次のとおりです。

①**撮影方法**
音声の録音モード中であることを示します。
②**保存先**
保存先を示します。→P174
③**撮影種別**
撮影する動画の種類を示します。→P174
④**インジケータ**
録音待機中
保存先の保存領域の使用率を示します。
- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならない場合があります。

録音時／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する、録音したサイズの割合を示します。
⑤**カウンタ**
録音待機中
現時点でFOMA端末およびminiSDメモリーカードに録音できる最大時間（目安）を示します。
録音中
経過時間と残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を示します。
⑥**品質**
保存する音声の品質を示します。→P347
⑦**サイズ制限**
保存するファイルのサイズ制限値を示します。
→P347

音声ファイルについて

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	3gp
タイトル	録音した日時が自動的に付けられます。 〈例〉2005年11月27日10時9分00秒に録音したとき →20051127100900 • 音声の録音後、ファイル名を変更できます。→P338 • 日付時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル、ファイル名は「-------------」になります。
メール添付・出力	メールに音声を添付して送信したり、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ったりできます。

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質やサイズ制限の設定によって変わります。
- 品質やサイズ制限は動画／録音詳細設定で設定できます。→P174

■ FOMA端末に保存できる音声の録音時間（目安）

項　目	品質	ファイルサイズ制限	
		メール添付用（小）（290Kバイト）	メール添付用（大）（490Kバイト）
1回あたりの録音時間	STD	約4分	約7分
	HQ	約3分	約5分
FOMA端末本体の最大録音時間	STD	約163分	約163分
	HQ	約106分	約107分

■ miniSDメモリーカードに保存できる音声の録音時間（目安）

容量	品質	ファイルサイズ制限		
		メール添付用（小）（290Kバイト）	メール添付用（大）（490Kバイト）	制限なし
16MB	STD	約232分	約232分	約216分
	HQ	約152分	約152分	約142分
32MB	STD	約488分	約488分	約472分
	HQ	約319分	約320分	約311分

音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
- 着信音量調整を「Silent」に設定している場合やマナーモード中でも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 menu ▶ 6 8

サウンドレコーダーが起動して録音待機状態になります。

- 動画／録音詳細設定の撮影種別を「音声のみ」に設定した場合でも、サウンドレコーダーを起動できます。

2 ●またはサイドキー［▲］

録音確認音（シャッター音）が鳴り、約2秒間隔で着信ランプが5色（赤、黄、緑、青、紫）、ワンタッチパワーライトが赤色で点滅し、録音が始まります。ディスプレイの が に切り替わります。

音声録音画面

- 録音を一時停止するときは●を押します。一時停止中は着信ランプが緑色に点灯し、 が に切り替わります。もう一度●を押すと、録音を開始します。

3 またはサイドキー［▲］

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が終了します。

- 録音中にファイルサイズが制限値に達すると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 一時停止中に を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定している場合は、確認画面は表示されず、自動的に保存されます。このとき、操作4以降の操作は不要です。

4 録音した音声を確認

- を押すと録音した音声が再生されます。

■ すぐに保存するとき

① 操作5に進む

■ 保存しないで録音し直すとき

① ch クリア を押す

■ 録音した音声をメールに添付するとき

① を押す

録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、録音した音声はFOMA端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが 500K バイトより大きい場合は、メールに添付できません。

■ タイトルを変更するとき

① menu ▶ 3 1

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます。

■ テロップを作成するとき

① menu ▶ 3 2 ▶「はい」を選択

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存され、テロップの作成画面が表示されます。

- テロップの作成方法→ P317「テロップを挿入する」操作2～7
- 動画／録音詳細設定で、保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 保存先を FOMA 端末／miniSD メモリーカードに切り替えるとき

① menu ▶ 5

- 録音した音声のファイルサイズが 490K バイトより大きい場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている音声を一覧表示するとき

① menu ▶ 6 ▶ 1 または 2

5 ●［保存］またはサイドキー［▲］

録音した音声がｉモーション内の「カメラ」フォルダに保存されます。→P312

お知らせ

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカード内の「動画」フォルダに保存されます。→P328
- 静止画撮影画面や動画撮影画面からサウンドレコーダーを起動するには、menu を押し「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択します。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項→P174「FOMA端末を開いて動画を撮影する」のお知らせ
- 録音した音声の再生方法→P312「動画／ｉモーションを再生する」

データ表示／編集／管理

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

録音時の設定を変更する

品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。

音声の品質を設定する

1 **音声録音画面で ▶ 品質のマーク（STD／HQ）にカーソルを合わせる**

- 8 を押しても品質のマークを選択できます。

2 **で品質を選択**

設定した品質がマークで表示されます。

STD **標準：**
標準的な品質です。

HQ **高品質：**
音質はよくなりますが、録音できる時間が短くなります。

- 8 を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

1 **音声録音画面で ▶ サイズ制限のマーク（ ∞）にカーソルを合わせる**

- 9 を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

2 **でサイズ制限を選択**

設定したサイズ制限がマークで表示されます。

メール添付（小）：
ファイルサイズを290Kバイトに制限します。iモードメールに添付して既存の機種に送信できるファイルサイズです。

メール添付（大）：
ファイルサイズを490Kバイトに制限します。iモードメールに添付して大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

∞ **制限なし：**
ファイルサイズを制限しません。動画／録音詳細設定で保存先を「本体」に設定している場合、選択できません。

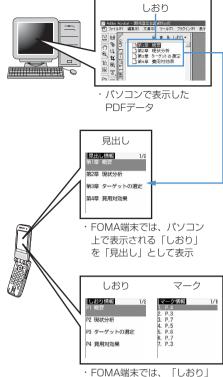
- 9 を押してもサイズ制限が切り替わります。

PDFデータとは

iモードのサイトやインターネットホームページなどからダウンロードしたPDFデータを表示できます。PDFデータの表示中は、拡大・縮小、文字検索、リンク表示、画面の切り出しなど、さまざまな操作ができます。

- miniSDメモリーカードに保存したPDFデータも表示できます。
  操作方法→P335「マイドキュメントデータを表示する」
- PDFデータの表示では、ページを移動するための機能として、「見出し」「しおり」「マーク」を使用できます。

・パソコンで表示したPDFデータ

・FOMA端末では、パソコン上で表示される「しおり」を「見出し」として表示

・FOMA端末では、「しおり」や「マーク」を登録

見出し：
PDFデータにあらかじめ登録されている、ページ移動のための項目のことです。パソコンなどでPDFデータを表示したときの「しおり」に該当します。項目を選択すると関連付けられているページを表示できます。登録されている内容を変更したり削除したりできません。
見出しの使いかた→P349

しおり：
PDFデータに登録できるページ移動のための項目の1つです。項目を選択すると関連付けられているページを表示できます。しおりには、ページ番号と説明やメモを登録できます。登録した項目は自由に変更できます。しおりがあらかじめ登録されているPDFデータもあります。
しおりの登録と使いかた→P351

マーク：
PDFデータに登録できるページ移動のための項目の1つです。項目を選択すると関連付けられているページを表示できます。マークにはページ番号のみを登録できます。登録した項目は自由に変更できます。マークがあらかじめ登録されているPDFデータもあります。
マークの登録と使いかた→P351

PDFデータを表示する

マイドキュメントに保存されているPDFデータを表示します。

- お買い上げ時は、次の PDF データが「プリインストール」フォルダに登録されています。

F902i使いこなし術

1 MENU ▶ 5 5 ▶ **フォルダを選択**

マイドキュメントの各フォルダには次のようなPDFデータが保存されます。

iモード：
サイトからダウンロードしたPDFデータ

プリインストール：
お買い上げ時に登録されているPDFデータ

データ交換：
miniSDメモリーカードから移動またはコピーしたPDFデータ、データ通信で受信したPDFデータ

マイフォルダ：
他のフォルダから移動またはコピーしたPDFデータ

- フォルダを作成すると表示されます。フォルダ名（マイフォルダ）は、任意の名称に変更できます。→P337

■ miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるとき

① **を押す**
miniSDメモリーカードの操作方法→P335「マイドキュメントデータを表示する」

2 表示するPDFデータにカーソルを合わせる

PDFデータ一覧画面では、カーソル位置のファイルの表示名とPDFデータの詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　リスト表示

- サムネイル表示では PDF データのサムネイル画像が表示されます。サムネイル画像を表示できない場合は、次のようなアイコンが表示されます。
  - ：FOMAカード動作制限機能が設定されているもの
  - ：ダウンロードしてから一度も表示していないもの、サムネイル画像を取得できないもの
  - ：部分的にデータをダウンロードしたもの
  - ：データのダウンロードに失敗したもの
- マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**
：プリインストール
：iモード
：データ交換

② **ファイルの種類**
：FOMAカード動作制限機能が設定されているPDFデータ
：すべてのデータをダウンロードしたPDFデータ
：部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ
：データのダウンロードに失敗したPDFデータ

③ **ファイル制限**
（青）：ファイル制限なし
（グレー）：ファイル制限あり

- を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。
- 表示名などの詳細情報を変更できます。

3 ●を押す

標準画面表示

ページ番号／総ページ数　倍率

全画面表示

PDFデータ表示中は次の操作ができます。

：スクロール（1秒以上押すと高速スクロール）
／：前ページと次ページの切り替え
：ヘルプ→P351
1：縮小
2：全体表示→P350
3：拡大
4：最初のページ
5：検索→P349
6：最後のページ
7：右90°回転→P350

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

8：リンク表示→P350
9：画面切り出し→P351
0：ドキュメント情報→P351
＊：標準画面表示と全画面表示の切り替え
#：ツールバーの表示

- マークが登録されているページには、が表示されます。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータの表示中に、ページ移動などで未取得のページを表示しようとすると、未取得のデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとページのダウンロードが開始されます。それ以降は未取得のページを表示しようとしても、確認画面は表示されずにページがダウンロードされます。
- データのダウンロードに失敗したPDFデータを選択すると、残りのPDFデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの残りのデータをダウンロードするときは、m8を押します。

■ PDFデータにパスワードが設定されているとき

パスワードの入力画面が表示されます。

①**パスワードを入力**

- 文字の入力方式を切り替えるには、を押して、英字の場合は0、数字の場合は＊、記号の場合は1、定型文の場合は7を押します。
- を押すと、半角の記号一覧を表示できます。

②**を押す**

4 **「はい」を選択**

PDFデータに変更を加えた場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは「はい」を選択して保存してください。

お知らせ

- 画像データが多い場合など、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントの場合、正しく表示されないことがあります。

ツールバーを利用する

1 **PDFデータを表示▶●**

ツールバー

- ツールバーの機能は次のとおりです。

：縮小　　：全体表示→P350
：拡大　　：最初のページ
：検索→P349　　：最後のページ
：右90゜回転→P350
：リンク表示→P350
：画面切り出し→P351
：ドキュメント情報→P351

2 **機能を選択**

- ツールバーの上に表示される機能名の、先頭の数字と同じキーを押しても操作できます。
- ツールバーを消すときは、#を押します。

ページを移動する

ページを指定して移動する

1 **PDFデータを表示▶m▶13▶ページ数を入力**

■ 最初のページに移動するとき

①m▶11

■ 最後のページに移動するとき

①m▶12

■ 1つ前のページに移動するとき

①m▶15

■ 次のページに移動するとき

①m▶16

見出しを使って移動する

PDFデータにあらかじめ登録されている見出しを使って、ページを移動できます。

- 見出しが登録されていないPDFデータもあります。
- 見出しと同様の機能として、しおりやマークを登録してページを移動する機能があります。
  しおりやマークの使いかた→P351「しおりやマークを登録して使う」

1 **PDFデータを表示▶m▶14▶見出しを選択**

文字列を検索する

- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータの場合は、表示中のページのみ検索されます。

1 **PDFデータを表示▶m▶5▶検索文字列の入力欄にカーソルを合わせて文字列を入力**

- 全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

データ表示／編集／管理

■ 部分的に一致する語を検索するとき

①完全に一致する語だけを検索の「しない」を選択

- 完全に一致する語だけを検索を「する」に設定すると、「mini」という文字列を検索した場合、部分的に一致する「miniSD」などは検索されません。

■ 英字の大文字と小文字を区別しないとき

①大文字と小文字を区別の「しない」を選択

2 [i]［検索］を押す

検索が実行され、入力した文字列に一致した語が反転表示されます。検索結果画面では次の操作ができます。

[MENU]：検索終了
[▲]：1つ前の候補（一致した語）へ移動
[i]：ヘルプ→P351
[▼]：次の候補（一致した語）へ移動

画面の表示設定を変更する

お買い上げ時　ステータス表示：あり　スクロールバー：あり

ページ番号、表示倍率、スクロールバーの表示と非表示を切り替えます。

- この設定は、現在表示している画面にのみ有効です。別のPDFデータを表示するとお買い上げ時の設定に戻ります。

1 PDFデータを表示▶[MENU]▶[6][7]▶下記の各項目を選択して設定▶[i]［登録］

ステータス表示：
ページ番号と総ページ数、倍率を表示するかしないかを設定します。

スクロールバー：
スクロールバーを表示するかしないかを設定します。「なし」に設定してもスクロール操作はできます。

お知らせ

- ステータス表示、スクロールバーをあらかじめ設定しておく場合は、PDFデータ表示中に[MENU][7]を押します。

拡大／縮小して表示する

表示する大きさを選択する

表示する大きさを「全体表示」「実際の大きさ」「幅に合わせる」から選択します。

1 PDFデータを表示▶[MENU]▶[6][2]▶[1]～[3]

お知らせ

- 表示する大きさをあらかじめ設定しておく場合は、PDFデータ表示中に[MENU][7]を押し、「表示モード」を選択して[1]～[3]を押します。

倍率を指定する

1 PDFデータを表示▶[MENU]▶[6][3]▶倍率を入力

- 2～1000（%）の範囲で入力できます。

リンクを利用する

PDFデータのリンク項目を利用してページ移動したいときは、リンク表示をONに切り替えます。
また、リンク表示をONにすると、文中の電話番号やメールアドレス、URLを利用して音声電話またはテレビ電話をかけたり（Phone To／AV Phone To）、iモードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。

1 リンク項目が設定されているページを表示▶[MENU]▶[6][6]

- リンク表示がONのときは「リンクOFF」と表示されます。

2 リンク項目を選択

リンク表示

- リンク表示をOFFにするときは[MENU]を押します。

■ Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使うとき

操作方法→P206

お知らせ

- リンク表示がONのとき、スクロール操作やページ移動はできません。

ページのレイアウトを変更する

ページレイアウトを「単一ページ（1ページずつ表示）」「見開きページ（2ページずつ表示）」から選択します。

- 1ページしかないPDFデータや、部分的にデータをダウンロードしたPDFデータは、ページレイアウトを変更できません。

1 PDFデータを表示▶[MENU]▶[6][5]▶[1]または[2]

表示を回転する

回転方法を「右90°回転」「左90°回転」「180°回転」から選択します。

1 PDFデータを表示▶[MENU]▶[6][4]▶[1]～[3]

お知らせ

- 回転後のスクロール方向は、ページの向きに関係なく元の表示と同じです。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

PDFデータのドキュメント情報を見る

PDFデータに登録されているタイトル、著作者、作成アプリケーション、作成日、更新日、ファイルサイズなどの情報を確認します。

1 PDFデータを表示▶menu▶9

ヘルプを見る

PDFデータ表示中の操作、または検索結果画面の操作をヘルプ画面で確認します。

〈例〉PDFデータ表示中の操作を確認するとき

1 PDFデータを表示▶(i)［HELP］

- 検索結果画面でも(i)を押して操作を確認できます。

しおりやマークを登録して使う

保存したPDFデータに、ページを移動するための項目として、しおりやマークを登録できます。よく利用するページやあとで見直したいページを登録しておくと便利です。しおりにはページ番号の他にしおり情報としてページの説明やメモを登録できます。マークにはページ番号のみ登録できます。

- しおりとマークは、あらかじめ登録されているものを含めてそれぞれ最大10件登録できます。
- 同様の機能として、PDFデータにあらかじめ登録されている見出しを使用してページを移動する機能があります。
  見出しの使いかた→P349「見出しを使って移動する」
- しおりやマークが登録されているPDFデータをパソコンなどで表示した場合、ご使用のソフトウェアがしおりやマークの表示に対応していないときは、しおりやマークは表示されません。

しおりを登録する

しおりを登録すると、登録したページの現在の表示状態（倍率、回転方向、表示範囲）が記録されます。しおりを登録したページは、登録したときの状態で表示されます。

1 しおりを登録するページを表示▶menu▶4 2▶しおりの情報を入力▶(i)［登録］

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

しおりからページを表示する

1 PDFデータを表示▶menu▶4 1▶表示するしおりにカーソルを合わせる

■ しおりの情報を変更するとき

①変更するしおりにカーソルを合わせてmenu▶1▶しおりの情報を入力▶(i)

■ しおりを1件削除するとき

①削除するしおりにカーソルを合わせてmenu▶2 1▶「はい」を選択

■ しおりを複数削除するとき

①menu▶2 2▶削除するしおりを選択▶(i)▶「はい」を選択

■ しおりを全件削除するとき

①menu▶2 3▶認証操作▶「はい」を選択

2 ●［選択］を押す

お知らせ

- PDFデータ表示中にmenuを押し、「しおり関連」→「しおりの削除」を選択しても、しおりを削除できます。

マークを登録する

1 マークを登録するページを表示▶menu▶4 5

マークからページを表示する

1 PDFデータを表示▶menu▶4 4▶表示するマークにカーソルを合わせる

■ マークを1件削除するとき

①削除するマークにカーソルを合わせてmenu▶1▶「はい」を選択

■ マークを複数選択して削除するとき

①menu▶2▶削除するマークを選択▶(i)▶「はい」を選択

■ マークを全件削除するとき

①menu▶3▶認証操作▶「はい」を選択

2 ●［選択］を押す

お知らせ

- PDFデータ表示中にmenuを押し、「しおり関連」→「マークの削除」を選択しても、マークを削除できます。

PDFデータの画面を切り出す

表示中のページをJPEG形式の画像ファイルにして保存します。切り出した画像ファイルはマイピクチャ内の「カメラ」フォルダに保存されます。

1 切り出すページを表示▶menu▶3

お知らせ

- 切り出される画像サイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさによって異なります。
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。
- 切り出した画像ファイルのFOMA端末外出力可／不可については、切り出し元のPDFデータの設定に従います。

動作設定

PDFデータの動作条件を設定する

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり

PDFデータ一覧をサムネイル表示にするか、リスト表示にするかを設定します。

1 menu▶5 5▶menu▶4▶1 または 2

- 「あり」に設定するとサムネイル表示になり、「なし」に設定するとリスト表示になります。

お知らせ
- PDFデータ一覧から設定する場合は、menuを押して「動作設定」を選択します。

その他の便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に MULTI を押して、新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示して操作します。画面切替メニューの操作方法は、マルチタスクの「操作する機能を切り替える」と同様です。→P355
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - 音声電話：1通信
  - iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか1通信
  - SMS：1通信
- マルチアクセスの組み合わせ→P458

お知らせ

- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中に音声電話を受ける

〈例〉iモード中に音声電話を受けるとき

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話を受けられます。

1 iモード中に電話がかかってくる

- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

2 📞 を押す

電話がつながります。

- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。→P355
- サイト表示を終了するにはサイト画面で 電源 を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で 電源 を押します。

通信中に他の通信を行う

接続中の通信を中断せずに、別の通信を同時に行えます。

〈例〉音声電話中にiモードに接続するとき

1 音声電話中に MULTI ▶ 2 1

新規起動メニュー

- サイト画面を表示したまま通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら通話できます。
- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。→P355
- サイト表示を終了するにはサイト画面で 電源 を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で 電源 を押します。

〈例〉音声電話中にiモードメールを送信するとき

1 音声電話中に MULTI ▶ 1 2

- メール作成画面を表示したまま通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら通話できます。
- 通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。→P355
- メール作成を終了するにはメール作成画面で 電源 を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で 電源 を押します。

2 iモードメールを作成して送信

iモードメールを送信すると通話中画面に戻ります。

マルチタスク

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に MULTI を押して、新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示して操作します。
- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、「ダイヤル発信」および「プロフィール情報」の機能は、他の機能が2つ実行されていても起動できます。
- 機能によっては同時に起動できない場合や制限のある場合があります。
- マルチタスクの組み合わせ→P460

新しい機能を実行する

通話中や通信中などの機能を実行中に別の機能を実行できます。

〈例〉通話中にスケジュールを表示・登録するとき

1 通話中に MULTI ▶ 7 1

- スケジュールを表示したまま通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、画面を見ながら通話できます。

2 スケジュールを表示して登録

- スケジュール画面と通話中画面を切り替えながら操作できます。→P355
- スケジュールを終了するにはスケジュール画面で 電源 を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で 電源 を押します。

お知らせ

- 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中、ミュージックプレイヤー再生中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に MULTI を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えながら操作できます。

〈例〉音声電話中の画面からサイト画面へ切り替えるとき

1 音声電話中に MULTI ▶「ｉモード」を選択

画面切替メニュー

- 画面切替メニューには、実行中の機能が一覧表示されます。
- 通話中画面に戻すには、もう一度 MULTI を押し、画面切替メニューから「電話」を選択します。
- 画面切替メニュー表示中に MENU を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。もう一度 MENU を押すと画面切替メニューに戻ります。

お知らせ

- マルチタスクの組み合わせで選択不可になっている組み合わせでは、画面を切り替えられません。
- 画面切替メニューの項目名は、次のようにメニューの項目名などとは異なるものがあります。
  - ダイヤル入力 ：電話番号入力
  - AV通信 ：外部機器によるテレビ電話
  - ｉモード ：サイト、インターネットホームページ、ブックマーク、画面メモ、ラストURL、ｉチャネル
  - メール作成 ：ｉモードメール、SMS（作成画面）
  - ｉモードメール着信 ：ｉモードメール、メッセージR/Fの受信画面
  - 問合せ ：ｉモードメール、メッセージR/F、SMSのセンター問合せ
  - メール ：ｉモードメール、SMS（一覧画面や詳細画面など）
  - マイドキュメント：マイドキュメント(PDFデータ)
  - PDF対応ビューア ：マイドキュメント（PDFデータ表示中の画面）
  - PPPデータ通信 ：パソコンとつないだパケット通信

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクを実行中の全機能を一度に終了します。

1 マルチタスク中に MULTI ▶ ✉ ▶「はい」を選択

自動電源ON／OFF設定

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

お買い上げ時　自動電源ON：OFF　自動電源OFF：OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源を自動的に入れたり、切ったりします。

- 自動電源ON設定と自動電源OFF設定を同時刻に設定できません。

〈例〉自動電源ON設定を設定するとき

1 MENU ▶ 8 5 2

- 自動電源OFF設定を設定するときは待受画面で MENU 8 5 3 を押します。

2 下記の各項目を選択して設定 ▶ ✉［登録］

自動電源ON：
自動電源ONを設定／解除します。

時刻：
自動的に電源を入れる時刻を設定します。
- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

繰り返し：
自動電源ONの繰り返しを設定します。
- 「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が入った後、自動電源ONの設定は解除されます。

次ページへ続く

お知らせ

- アラームやスケジュールアラームと同時刻に自動電源OFF設定を「ON」に設定すると、アラーム設定やスケジュールに設定した動作が行われ、動作を終了した後に電源が切れます。アラームが鳴り止んだ後にスヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を終了した後に電源が切れます。
- 自動電源OFF設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了した後、電源が切れます。ただし、待受画面からの認証操作画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード、PIN2コード入力画面を表示中に指定した時刻になった場合は、電源は切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ON設定を「OFF」に設定してください。

アラーム設定

指定した時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻になったことを、アラーム音、着信ランプの点灯、バイブレータ動作などでお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、毎週同じ曜日に行うかを選択できます。

1 MENU ▶ 7 3 ▶ 1 ～ 9

- アラームは最大9件登録できます。設定中のアラームには、タイトルの左に 🕒 が表示されます。

■ アラームを設定／解除するとき

① **タイトルにカーソルを合わせてMENU**

- 押すたびに設定／解除されます。

■ アラームを編集するとき

① **アラーム一覧から編集するアラームタイトルを選択 ▶ アラーム設定を編集**

2 **下記の各項目を選択して設定**

時刻：

アラームを設定する時刻を入力します。

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

繰り返し：

1 ～ 3 を押してアラームの繰り返し設定を選択します。

- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して 🔘 を押します。

タイトル：

アラーム設定のタイトルを入力します。

- 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。
- お買い上げ時のタイトルは、「アラーム1～9」に設定されています。
- タイトルを入力していないアラームは設定できません。

3 **🔘で音設定画面に切り替え ▶ 下記の各項目を選択して設定**

アラーム音：

「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画／iモーションまたはメロディから選択します。

動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P312

メロディのフォルダや一覧の見かた→P322

音量：

アラームの音量を選択します。

音量の調整方法→P64

4 **🔘でその他設定画面に切り替え ▶ 下記の各項目を選択して設定**

バイブレータ：

アラームを指定した時刻になったときの振動を設定します。

バイブレータのパターン→P122

イルミネーションパターン：

アラームを指定した時刻になったときの着信ランプのイルミネーションパターンを設定します。

- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

着信ランプのイルミネーションパターン→P137

イルミネーションカラー：

アラームを指定した時刻になったときの着信ランプの点灯色を設定します。

着信ランプのイルミネーションカラー→P137

5 **🔘［登録］を押す**

- アラーム設定を設定すると、待受画面に 🕒 または 🕒（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

指定した時刻になると

ディスプレイに下の画面(または設定した動画／ｉモーション)が表示され、設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにアラームの画面と時刻が表示されます。

- アラームが鳴っているときに [電源] を押すとアラームが終了し、鳴る前の画面に戻ります。
- アラームが鳴っているときに約1分間何も操作しないか、[電源]またはサイドキー［▼］以外を押すと、アラームが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。このとき、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されます。アラームが鳴っているときに音声電話、テレビ電話、プッシュトークの着信があったときにも、同様にスヌーズ動作になります。
- 指定した時刻に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中、プッシュトーク通信中の場合	アラームではなく警告音が鳴り、アラーム画面が表示されます。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。 • 通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
電源が入っていない場合	アラームは鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON 設定を「ON」に設定してください。
データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話、プッシュトークの発着信、切断中の場合	動作終了後にアラームが動作します。

お知らせ

- FOMA 端末を折り畳んでいるときにアラームを止めるには、サイドキー［▲］またはプッシュトークキー［P］を押してください。スヌーズ動作になります。
- 同時刻に複数のアラームを設定していると、アラーム一覧の最も小さい項目番号に設定しているアラームが動作します。
- アラームとスケジュールアラームを同じ日時に設定していると、最初にアラームを通知する画面が表示されますがすぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。[電源]を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されます。
- アラームを指定した時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームが数秒遅れることがあります。

アラーム自動電源ON設定

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

お買い上げ時　OFF

アラーム設定やスケジュールで指定した日時に電源が入っていなかったとき、アラームが鳴るように電源を自動的に入れるかどうかを設定します。

1 [MENU] ▶ [8] [5] [5] ▶ [1] または [2]

お知らせ

- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、アラーム自動電源ON設定を「OFF」に設定してください。

スケジュール帳

スケジュールを管理する

仕事の予定などを登録します。指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。

カレンダーを表示する　MENU 71

1 [スケジュール]（1秒以上）

カレンダー画面

当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます。

- 複数のスケジュールを設定している日付は、最も早い時刻に登録しているスケジュールの用件アイコンが表示されます。
- [方向キー] を押して日付を移動します。[決定] を押すとデイリービュー画面が表示されます。

その他の便利な機能

次ページへ続く

- [▲]を押して前月、[▼]を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ 特定の日を指定して表示するとき

①**カレンダー画面で [menu] ▶ [4][2] ▶ 年月日を入力**

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 当日に戻すときは[menu][4][1]を押します。
- デイリービュー画面から操作する場合は[menu][5][2]を押します。当日の日付に戻す場合は[menu][5][1]を押します。

お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- スクリーン設定により、表示される色は異なる場合があります。
- カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2005年11月現在）。ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、変更しなければならない場合があります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されないため、ご注意ください。

カレンダーの表示形式を設定する<カレンダーモード設定>

お買い上げ時　動作モード：マンスリーモード
表示モード：ノーマルモード

1 **[●]（1秒以上）▶ [menu] ▶ [6][1] ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ [●]［登録］**

動作モード：
カレンダーの表示方法を設定します。

- 「マンスリーモード」に設定すると、1か月ごとに画面が切り替わります。
- 「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロールします。

表示モード：
1週間の始まり（左側に表示）の曜日を設定します。

- 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日になります。
- 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日になります。

休日を設定する<休日設定>

会社や学校の休日を設定します。

- 最大30件登録できます。

日付を指定して休日を設定する

1 **[●]（1秒以上）▶ 休日にする日付にカーソルを合わせて[menu] ▶ [6][2][1]**

- 休日に設定した日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にするときは[menu][6][2][2]を押します。

■ 休日設定を解除するとき

①**休日設定を解除する日付にカーソルを合わせて[menu] ▶ [6][2][3]**

- すべての休日設定を解除するときは[menu][6][2][4]を押します。

■ 曜日を指定し、休日を設定するとき

①**[menu] ▶ [6][3] ▶ 休日に設定する曜日を選択**

- お買い上げ時は、日曜日が休日に設定されています。
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除したりすると、ガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは[menu]を押します。

②**[●]を押す**

- 曜日を1つも選択しない状態で登録すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

祝日を設定する<祝日設定>

祝日を変更したり、新規に登録したりできます。

- 最大5件新規登録できます。

1 **[●]（1秒以上）▶ [menu] ▶ [6][4]**

■ 祝日を変更するとき

①**変更する祝日を選択 ▶ 操作3に進む**

■ 祝日を削除するとき

①**削除する祝日にカーソルを合わせて[menu] ▶「はい」を選択**

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

2 **[●]を押す**

3 **下記の各項目を選択して設定 ▶ [●]［登録］**

祝日名：
祝日名を入力します。

- 全角で最大11文字、半角で最大22文字入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示：
設定した祝日を表示するかどうかを選択します。

- 「OFF」を選択すると祝日を表示しません。また、日付は設定できません。

日付：
祝日に設定する日付を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

スケジュールを登録する

仕事や遊びの予定などを登録します。指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。

- 最大300件登録できます。同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

1 ⓜ（1秒以上）▶スケジュールを登録する日付にカーソルを合わせてⓜ

- デイリービュー画面でⓜを押しても、スケジュールを登録できます。

2 下記の各項目を選択して設定

(用件アイコン)：
用件アイコンを選択します。

- 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定（内容入力欄）：
選択した用件アイコンに対応した予定の内容が表示されます。必要に応じて変更します。

- 内容変更後に用件アイコンを変更しても、内容は変更されません。
- 全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

終日：
時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは①を押します。

- 終日に設定しないときは②を押します。
- 終日に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日に設定すると、日付の後に「終日」と表示されます。

開始日時：
スケジュールの開始日時を入力します。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
  2060年12月31日まで設定できます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

終了日時：
スケジュールの終了日時を入力します。

- 日時の入力方法は開始日時と同じです。
- 開始日時よりも後の日付に設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に◺が表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下に⇛が表示されます（長期間スケジュール）。

要約・メモ：
スケジュールの詳細などを入力します。

- 全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

3 Ⓢでメンバーリスト選択に切り替え▶「<メンバーリスト選択>」を選択▶電話帳から登録するメンバーを選択

- 最大5名登録できます。登録したメンバーには、メンバーリストから電話をかけたりメールを送信したりできます。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。
- メンバーを削除するときは、削除するメンバーにカーソルを合わせてⓜを押します。

4 Ⓢでアラーム設定画面に切り替え▶下記の各項目を選択して設定

アラーム（スケジュールアラーム）：
アラームを設定するときは①を押します。アラーム選択から「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラームを動画／iモーションまたはメロディから選択します。
動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P312
メロディのフォルダや一覧の見かた→P322

- アラームを設定しないときは②を押します。

予告アラーム：
スケジュールの開始日時より前にアラームを設定するときは①を押します。

- 予告アラームの選択方法はアラームと同じです。

予告アラーム時間（分前）：
予定の何分前に予告アラームを鳴らすかを、①～⑤を押して設定します。

5 Ⓢでその他の設定画面に切り替え▶下記の各項目を選択して設定

その他の便利な機能

次ページへ続く

繰り返し：
1〜6を押してスケジュールの繰り返し設定を選択します。
- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して●を押します。
- 繰り返しを設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に◥が表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下に⟳が表示されます（繰り返しスケジュール）。

イメージ：
スケジュールアラーム画面にイメージを表示するときは、1を押して「画像選択」を選択し、画像を選択します。
画像のフォルダや一覧の見かた→P306
- Flash画像は設定できません。
- 「なし」を設定したときは、お買い上げ時のイメージが表示されます。

6 ●［登録］を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に▤または▤（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。

待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録するには

1 スケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力▶●

- 11月27日10時9分の場合、1 1 2 7 1 0 0 9と入力します。
- 時間2桁、分2桁の4桁を入力すると、当日のスケジュールを登録できます。

2 スケジュールを登録

お知らせ
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。
- miniSDメモリーカードへのコピー、バックアップ→P331

- スケジュールを知らせる画面は、アラーム設定画面のアラーム・予告アラームで映像のある動画／ｉモーションを選択するか、その他の設定画面のイメージで画像を選択すると変更できますが、両方で設定を行った場合は後からの設定が有効になります。このとき、アラームに音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときに後からイメージを設定した場合は、アラームが標準のメロディになります。イメージを設定しているときに後から音声と映像のある動画／ｉモーションをアラームに設定した場合は、イメージが「なし」になります。

指定した日時になると

ディスプレイに日時、スケジュールの内容、設定したイメージや動画／ｉモーションが表示され、電話着信音量調整で設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーション設定やバイブレータ設定で電話着信時の動作を設定している場合は、その設定に従って動作します。
FOMA端末を折り畳んでいるときは、背面ディスプレイにスケジュールの内容、アラーム起動時刻、イメージが表示されます。

- 予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラームが鳴ります。
- アラームが鳴っているときに☎を押すとアラームが終了し、鳴る前の画面に戻ります。
- アラームが鳴っているときに1分間何も操作しないか、☎またはサイドキー［▼］以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラームなどが止まります。指定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。

通話中、プッシュトーク通信中の場合	設定したアラームではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。このとき、バイブレータは動作しません。 • 通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
電源が入っていない場合	アラームは鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源ON 設定を「ON」に設定してください。
データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話、プッシュトークの発着信、切断中の場合	動作終了後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

 ＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

お知らせ

- イメージにパラパラマンガを設定している場合は、最初のコマが表示されます。
- FOMA端末を折り畳んでいるときにアラームを止めるには、サイドキー［▲］またはプッシュトークキー［ ］を押してください。ただし、アラームが鳴る前の画面には戻りません。
- 同じ日時に複数のスケジュールを設定している場合、アラームを停止してから、 を押すと、同じ日時に設定していた他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームとアラームを同じ時刻に設定していると、最初にアラームを通知する画面が表示されますがすぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。 を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されます。
- スケジュールアラームを設定した日時にキャラ電を表示している場合は、アラームが数秒遅れることがあります。

登録したスケジュールを確認する

登録したスケジュールを表示します。表示した画面から、スケジュールの追加や変更、削除を行います。

1 **（1秒以上）▶確認するスケジュールの登録日を選択**

デイリービュー画面

- デイリービュー画面で を押すと、日付が切り替わります。

■ **用件の種類を指定してスケジュールを表示するとき（用件別表示モード）**

① **デイリービュー画面で ▶ **
- 元の表示に戻す場合は を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は を押します。元の表示に戻す場合は を押します。

② **用件アイコンを選択**

カレンダー画面、デイリービュー画面に、指定した用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。

2 **確認するスケジュールを選択**

スケジュール詳細画面

■ **スケジュールを変更するとき**

① **スケジュール詳細画面で**
- デイリービュー画面から操作する場合は、変更するスケジュールにカーソルを合わせ を押します。

② **スケジュールの内容を変更 ▶ ▶「はい」を選択**

お知らせ

- 表示中のスケジュールの内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

スケジュールをコピーして貼り付ける

スケジュールをコピーして別の日付のスケジュールとして貼り付けます。

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日数分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 **（1秒以上）▶コピーするスケジュールの登録日を選択▶コピーするスケジュールにカーソルを合わせて ▶ **

スケジュールがコピーされます。

2 ** ▶スケジュールを貼り付ける日付にカーソルを合わせて ▶ **

スケジュールが貼り付けられます。

- デイリービュー画面から操作する場合は、 を押します。

スケジュールからｉモードメールを作成する

ｉモードメールの本文に自動的にスケジュールが入力されます。

- 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

操作する画面／送信件数	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日分／全件※	○	○	×

※：登録しているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

- スケジュールはメール本文に Date To 形式で入力されます。→P370
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
- 用件別表示モードのときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。
- シークレット属性が設定されているスケジュールを送信するときは、シークレットモードを起動してください。

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールを入力してメール送信するとき

1 (1秒以上) ▶ メール送信するスケジュールの登録日を選択

- スケジュール詳細画面から操作する場合は、を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は(MENU)(8)を押し、「1日送信」または「全件送信」を選択します。

2 メール送信するスケジュールにカーソルを合わせて［作成］

- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときは (MENU)(7)(2)を押します。
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときは(MENU)(7)(3)を押します。

スケジュールを削除する

スケジュールを次のように1件または複数件まとめて削除できます。

○：実行可　×：実行不可

操作する画面／削除件数	カレンダー	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1件	×	○	○
1日分／選択日前日まで／全件	○	○	×

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールを削除すると、当日だけでなく長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールが含まれるすべての日から削除されます。「選択日前日まで削除」を選択した場合も同様です。

〈例〉デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 (1秒以上) ▶ 削除するスケジュールの登録日を選択

- カレンダー画面、スケジュール詳細画面から操作する場合は(MENU)を押し、「削除」を選択します。

2 (MENU) ▶ (3)

3 (1)～(4)

- 全件削除するときは(4)を押し、認証操作を行います。ただし、シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモード中のみ削除されます。

4 「はい」を選択

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録しているメンバーリストを選択して、電話やプッシュトークをかけたり、ｉモードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録しているURLからサイトを表示できます。

1 (1秒以上) ▶ 利用するスケジュールの登録日を選択 ▶ 利用するスケジュールを選択 ▶ でメンバーリスト一覧画面を表示

- シークレット属性が設定されているメンバーは、シークレットモード中以外では名前と詳細情報が「*」で表示されます。また、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、すべてのメンバーの名前と詳細情報が「*」で表示されます。

2 電話帳データを利用

■ 音声電話またはテレビ電話をかけるとき

①メンバーにカーソルを合わせて音声電話のときは、テレビ電話のときは

表示されている電話番号に音声電話またはテレビ電話をかけます。

- 条件を設定して電話をかけたり、プッシュトーク発信をしたりできます。
→P55

■ｉモードメールを作成するとき

①メンバーにカーソルを合わせて

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に入力されます。

- メンバー全員にｉモードメールを送信するときは MENU 5 2 を押します。

■ サイトを表示するとき

①メンバーにカーソルを合わせて MENU ▶ 6

お知らせ

- 電話帳データに登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して電話帳の電話画面またはメール画面を表示します。ここから、利用したい電話番号またはメールアドレスにカーソルを合わせて電話やプッシュトークをかけたり、ｉモードメールを作成したりできます。ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成するとスケジュールは本文に入力されず、Date To機能は使用できません。
- メンバーリスト一覧画面でを押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。

他人に見られたくないスケジュールを守る<シークレット属性>

他人に見せたくないスケジュールにシークレット属性を設定します。シークレット属性を設定したスケジュールは、シークレットモード中しか表示されません。

1 シークレットモードを起動

2 （1秒以上）▶設定するスケジュールの登録日を選択▶設定するスケジュールにカーソルを合わせて MENU ▶ 9

選択しているスケジュールにシークレット属性が設定されているとが点滅します。

- 解除するときは、スケジュールにカーソルを合わせて MENU 9 を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、MENU 6 を押します。

お知らせ

- シークレットモード中のみシークレット属性の設定／解除ができます。
- シークレットモード中に作成したスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性が設定されているスケジュールのアラームと予告アラームは、シークレットモード中のみ動作します。

スケジュールの登録件数を確認する<登録件数確認>

1 （1秒以上）▶ MENU ▶ 7

- ●を押すとカレンダー画面に戻ります。

カスタムメニュー

よく使う機能を登録する

お買い上げ時に MENU を押して表示されるノーマルメニューの他に、よく使う機能や電話帳データなどのメニュー項目を自由に登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作れます（カスタムメニュー）。

- カスタムメニューに登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1～9）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのとき、および2階層目以降にメニューがある機能のときは、ダイヤルキーを1秒以上押しても起動できません。

テンプレートを読み込む

あらかじめ用意されている4種類のテンプレートのいずれかを読み込んで、カスタムメニューを設定します。

- テンプレートを読み込んでからメニュー項目を追加または削除することで、オリジナルのカスタムメニューを作成できます。
- テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。

1 MENU ▶

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 MENU ▶ 7 1 ▶ 1 ～ 4

スタンダード（お買い上げ時）：
ミュージックプレイヤー、イヤホンスイッチ設定、ICカード一覧、待受画面設定、背面画像設定、トータルコーディネイト設定、クイック返信本文登録、テンプレート読込み

データ／セキュリティ：
マイピクチャ、ｉモーション、マイドキュメント、開閉ロック、プライバシーモード設定、遠隔ロック、ICカードロック、指紋設定

次ページへ続く

シンプルメニュー：
電話帳／履歴、メール、着信音設定、着信音量調整、受話音量調整、データBOX、ｉモード
ユーザデータ：
Bookmark、画面メモ、電話帳検索、スケジュール帳、アラーム、メモ帳、単語登録、定型文登録、miniSDカード

3 認証操作

テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。
- すでにカスタムメニューを設定しているときは、新しいカスタムメニューにするかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」を選択してください。

カスタムメニューを作成する

- カスタムメニューの1つの階層には最大9個のアイコンが登録できます。
- テンプレートのうち、ユーザデータには9個のアイコンが登録されています。このテンプレートを設定しているときなど、すでに9個のアイコンを登録している場合は、操作2の「登録済みの項目に上書き登録するとき」の操作方法で不要な項目に上書き登録します。
- すべての項目を新規に登録する場合は、カスタムメニューをリセットします。→P365

1 MENU ▶ 📖

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面でMENUを押します。

2 項目を登録

■ 人物を登録するとき

- Flash画像、動画やｉモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、Flash画像、動画やｉモーションではなく、あらかじめ登録されている人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

① MENU ▶ 1 1 ▶ **電話帳から登録する人物を選択**

人物が登録されます。

■ 機能を登録するとき

〈例〉タイルアイコン表示のとき

① MENU ▶ 1 2

- 機能選択の画面は、メニュー設定のノーマルの設定に従った表示形式で表示されます。

② **登録するメニュー項目にカーソルを合わせて📖**

メニュー項目が登録されます。

「受信メール」を登録した場合

- 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するダイヤルキーを押すか、項目を選択すると登録できます。

■ グループを登録するとき

① MENU ▶ 1 3 ▶ **グループ名を入力**
- 全角で最大9文字、半角で最大18文字入力できます。

② 📖**を押す**

■ グループ内にメニュー項目を登録するとき

カスタムメニューは3階層までです。カスタムメニューの2階層目に登録したグループ内は、グループを登録できません。

① **グループを選択**
グループ内の項目が表示されます。
- 項目を登録していないグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。

② **追加登録または上書き登録の操作を行う**

■ 登録済みの項目に上書き登録するとき

① **上書きする項目にカーソルを合わせて**MENU ▶ 2
項目選択画面が表示されます。

② 1～3 ▶ **登録する項目を選択**
- グループに上書きすると、グループ内の項目はすべて削除されます。

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューを利用して、機能を実行したり、人物に電話をかけたり、メールを送ったりします。
- カスタムメニュー使用中もショートカット操作ができます。カスタムメニュー使用時のショートカット操作は、メニュー設定のカスタムメニューショートカットの設定に従います。→P136

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

1 [menu]▶[i]

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[menu]を押します。

2 項目を選択

機能
- 機能が実行されます。下位の階層がある場合は、メニュー項目が表示されます。

人物
- 電話発信や詳細情報の確認などができます。

グループ
- グループ内に登録した項目が表示されます。

人物を利用する

1 [menu]▶[i]

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[menu]を押します。

2 人物にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

■ 音声電話またはテレビ電話をかけるとき

① 音声電話のときは[発信]、テレビ電話のときは[テレビ電話]

- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の電話画面が表示されます。利用する電話番号を選択します。
- 人物を選択して[1]を押すと、条件を設定して電話をかけたり、プッシュトーク発信をしたりできます。→P55
  電話番号を2件以上登録している場合は、人物を選択して[1]を押し、利用する電話番号を選択すると、同様に操作できます。

■ ｉモードメールを作成するとき

① [メール]を押す

- メールアドレスを 2 件以上登録している場合は、電話帳のメール画面が表示されます。利用するメールアドレスにカーソルを合わせて[メール]または[●]を押します。
- メールアドレスが登録されていないときは、宛先は空欄になります。

■ SMSを作成するとき

① [メール]（1秒以上）

- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の電話画面が表示されます。利用する電話番号にカーソルを合わせて[メール]または[●]を押します。
- 電話番号を登録していないときは、宛先は空欄になります。

お知らせ

- シークレット属性を設定している電話帳データの人物は、シークレットモード中以外はアイコンは[アイコン]に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- PIMロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが[鍵]に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- シークレット属性と PIM ロックの両方を設定している場合は、PIMロック中のアイコン表示と動作になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。

1 [menu]▶[i]

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[menu]を押します。

2 編集する項目にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

- グループ内の項目を編集するときは、グループを選択し、グループ内の画面を表示します。

■ 項目を入れ替えるとき

① [menu]▶[4]▶ 入れ替え先の項目を選択 ▶「はい」を選択

■ アイコンを変更するとき

① [menu]▶[5]▶ アイコンを選択

- アイコンを元に戻すには[menu][5][i]を押します。

■ グループ名を変更するとき

① [menu]▶[6]▶ グループ名を入力 ▶[i]

■ 項目を削除するとき

① [menu]▶[3]▶「はい」を選択

- グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

カスタムメニューをリセットする

カスタムメニューのメニュー項目をすべて削除します。カスタムメニューを新規に作成する際に行います。

1 [menu]▶[i]

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で[menu]を押します。

2 [menu]▶[7][2]▶ 認証操作 ▶「はい」を選択

カスタムメニューの登録内容がすべて削除されます。

- [●]を押すと、項目選択画面が表示されます。

プロフィール情報

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

お買い上げ時　あなたの名前、メールアドレス：－
自局電話番号：ご契約電話番号

お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。

プロフィール情報を登録する

1 MENU ▶ 0わきん記号

- 自局電話番号には、ご契約の電話番号が表示されます。

2 決定 ▶ **認証操作** ▶ **名前やメールアドレスなどを入力**

プロフィール編集
[名前]
NO IMAGE
[フリガナ]
<画像選択>
090XXXXXXXX
[電話番号]
[メールアドレス]

- 各項目の入力方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3～4と同じです。ただし、グループは設定できません。→P103
- すでに入力している項目は、その内容が表示されます。
- 1件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が表示されます。変更はできません。

3 **でその他の画面に切り替え** ▶ **各項目を選択して設定**

- 初期登録時はいずれも入力されていません。
- すでに入力している項目は、その内容が表示されます。
- 各項目の入力方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作5と同じです。→P104

4 決定 **［登録］を押す**

お知らせ

- 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレスは変更されません。
メールアドレスの変更方法→P222「メール設定を行う」

プロフィール情報の詳細を表示する

1 MENU ▶ 0わきん記号 ▶ ● ▶ **認証操作**

- 詳細画面が表示されます。
- を押すたびに、TOP画面、メール画面、その他画面、電話画面の順に切り替わります。を押すと逆の順に切り替わります。
- 内容が長い場合は、途中まで表示されます。すべての内容を表示するには、TOP画面では決定を押します。メール画面、その他画面、電話画面では、表示する内容にカーソルを合わせて決定を押します。
- プロフィール情報の詳細画面では、電話帳の詳細画面と同様に次の操作ができます。
→P107、P111、P115
  - メール／URL起動
  - 電話（自局電話番号への発信を除く）
  - コピー
  - メールアドレスの入れ替え
  - 発番号設定
  - テレビ電話設定

■ **登録内容を編集するとき**

① MENU ▶ 2ABC ▶ **プロフィール情報を編集**

■ **登録内容をリセットするとき**

① MENU ▶ 3DEF ▶ **「はい」を選択**

音声メモ／動画メモ

声や画像を録音／録画する

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、それぞれ1件につき最大30秒、合わせて4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声や画像を録音／録画する

録音されるのは通話相手の声のみです。テレビ電話中は相手の画像も録画されます。

1 **通話中にサイドキー［▲］（1秒以上）**

録音または録画が開始されます。

録音／録画時間の経過

音声電話中音声メモ　　テレビ電話中動画メモ

- 動画メモ録画中は、「Recording 録画中」と表示された映像が相手に送信されます。

- 動画メモ録画中に◉を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（開始時にこの音は鳴りません）。
- 録音または録画を途中で停止するときはサイドキー［▲］を1秒以上押します。
- 動画メモはｉモーションの「カメラ」フォルダに動画データとして保存されます。動画／ｉモーションの再生方法→P312

お知らせ

- 電波の状態により、通話中音声メモや動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れる場合があります。

待受中に自分の声を録音する MENU 473

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 3

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

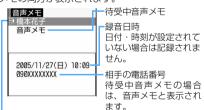
録音時間の経過

- 残り約5秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは電源、クリア、◉のいずれかを押します。

音声メモを再生する MENU 474

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 4

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

通話中音声メモ
相手の電話番号（通知されなかったときは発信者番号非通知理由）、または電話帳に登録した名前が表示されます。

2 再生する音声メモを選択

再生時間の経過

音声メモが再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ◎／サイドキー[▲▼]：音量調整
  - ◉：停止
  - スピーカーホン機能ON/OFFの切り替え

3 再生した音声メモを削除するかどうかを選択

■ 音声メモを削除するとき

① 削除する音声メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 1 ▶「はい」を選択

- 音声メモを全件削除するときは MENU 2 2 を押します。

通話中音声メモから電話の操作をする

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 サイドキー［▲］（1秒以上）▶ 4

2 通話中音声メモにカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

■ 音声電話またはテレビ電話をかけるとき

① 音声電話のときは発信キー、テレビ電話のときはテレビ電話キー

- MENU 3 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。ただし音声メモからプッシュトークはかけられません。→P55

■ 電話番号を電話帳に登録するとき

① MENU ▶ 4 または 5

② 1 または 2

- 新規登録のときは名前やメールアドレスを入力します。更新登録のときは登録先の電話帳データを選択して入力します。→P103、P105

お知らせ

- 音声メモや動画メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障や修理、電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音や録画の内容が消失してしまう場合があります。万一、録音や録画の内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの通話時間と通話料金を確認します。

- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間に分けて表示され、それぞれかけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードに蓄積されていますが、表示はできません。
- 通話時間および通話料金はリセットできます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

通話時間を確認する

1 MENU ▶ 8 4 1

直前通話時間：
直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の時間

積算通話時間（音声）：
音声電話で通話した積算時間

積算通話時間（テレビ電話）：
テレビ電話で通話した積算時間

積算通話時間（データ）：
データ通信を行った積算時間

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算時間が表示されます。

■ 積算通話時間をリセットするとき

① MENU ▶ **認証操作** ▶ **リセットする通話時間を選択** ▶ **「はい」を選択**

- 音声電話、テレビ電話、データ通信すべての通話時間をリセットしたいときは、「全積算情報リセット」を選択します。
- 通話時間画面に戻るときは MENU を押します。

通話料金を確認する

1 MENU ▶ 8 4 4 1

直前通話料金（音声）：
直前に行った音声電話の料金

直前通話料金（テレビ電話）：
直前に行ったテレビ電話の料金

直前通話料金（データ）：
直前に行ったデータ通信の料金

- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。

積算通話料金：
音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金

- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算料金が表示されます。

前回リセット日時：
前回積算リセットした日時

■ 積算通話料金をリセットするとき

① MENU ▶ **PIN2コードを入力** ▶ **「はい」を選択**

積算通話料金を自動的にリセットする＜通話料金自動リセット設定＞

お買い上げ時　OFF

積算通話料金を毎月1日0時に自動的にリセットします。

1 MENU ▶ 8 4 4 4 ▶ **認証操作** ▶ 1 **または** 2

2 **PIN2コードを入力**

お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話、テレビ電話それぞれの合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、1日0時に電源が入っていないときや音声電話中、テレビ電話中の場合はリセットされません。それぞれ、電源が入った後、通話終了後にリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定し、日付時刻設定で翌月以降の日時を設定したときは、その時点でリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定すると、電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールで指定した日時に電源が入りアラームを終了した後、PIN2コードの入力が必要です。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時のFOMAカードを差し込んでも、設定は元の状態に戻りません。

通話料金の上限を通知する＜通話料金上限通知＞

お買い上げ時　通話料金上限通知：OFF

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アイコン表示などでお知らせします。

1 menu ▶ 8 4 4 2 ▶ **認証操作** ▶ **下記の各項目を選択して設定** ▶ ［登録］

通話料金上限通知：
上限金額を超えたら通知するかどうかを設定します。

料金上限（円）：
上限金額を10～100000円の範囲で、1円の位は省略して入力します。

通知方法：
アイコンとアラームで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。

アラーム音：
通知に使うアラームをメロディから選択します。
メロディのフォルダや一覧の見かた→P322

アラーム時間（秒）：
アラームが鳴る時間を1～60秒の範囲で設定します。

通話料金が上限を超えると

- 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に ¥ が表示されます。
- 通知方法を「アラーム+アイコン表示」に設定した場合は、設定した料金の上限を超えた通話または通信を終了して待受画面に戻ると、設定したアラームが鳴り、ディスプレイに「通話料金が上限を超えました」と表示されます。ただし、FOMA端末を折り畳んで通話や通信を行っている場合や、FOMA端末を折り畳んで通話を終了した場合は、アラームは鳴りません。
- アラームは、電話着信音量調整で設定した音量で鳴ります。
- アラームが鳴っているときにキー操作を行ったりFOMA端末を折り畳んだりすると、アラームが止まります。アラームが鳴っているときに他の機能が起動した場合も同様です。

上限通知アイコンを消去する＜上限通知アイコン消去＞

1 menu ▶ 8 4 4 3 ▶ **認証操作** ▶ **「はい」を選択**

お知らせ

- 通知方法を「アラーム+アイコン表示」に設定していても、次の場合はアラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
  - 公共モード中
  - 開閉ロック中
  - 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話を行った場合
- 通知方法を「アラーム+アイコン表示」に設定していても、通常マナーモード中は上限通知のアラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの電話着信音量に従ってアラームが鳴ります。
- 通話料金上限通知を「ON」に設定後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも、設定は保持されます。

電卓

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。

- 最大8桁入力できます。
- スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けられます。→P426

1 menu ▶ 7 4 ▶ **計算する**

ダイヤルキー（0～9）と（×、÷、－、＋）を使って計算式を入力します。

電卓画面

- 入力した数字を1桁削除するときは を押します。
- 小数点を入力するときは を押します。
- 表示中の数字の＋と－を切り替えるときは を押します。
- 電卓画面には、端末のキーの働きが表示されます。

2 ● ［＝］**を押す**

計算結果が表示されます。

- ch/クリア を押すと計算結果が削除されます。

お知らせ

- 表示されている数値をコピーするには MENU 1 を押します。コピーした数値を貼り付けるには MENU 2 を押します。コピーした数値は電源を切るまで記録され、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けられます。ただし、記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると数値は上書きされます。
- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには CLR を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。
- メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位8桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。

メモ帳

メモを作成する

大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。

- 最大50件登録できます。

1 MENU ▶ 7 2 ▶「<新しいメモ>」を選択

2 メモ内容の入力欄にメモ内容を入力

- 全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

■ 電卓で計算した数値を入力するとき

①文字入力画面で MENU ▶ 8 2 ▶ 計算を行い●

3 種別アイコンの「選択」を選択 ▶ アイコンを選択

カーソル位置の種別アイコンの名称

4 📖［登録］を押す

選択した種別アイコン

- メモ内容が入力されていないときは登録できません。

お知らせ

- メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 MENU ▶ 7 2 ▶ 確認するメモを選択

- 表示中のメモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。
- 📖を押すと、メモを編集できます。

■ メモを削除するとき

①削除するメモにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

- 全件削除するときは MENU 3 を押し、認証操作を行います。

②「はい」を選択

■ iモードメールを作成するとき

①メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 4

メール本文にメモ内容が入力されたメール作成画面が表示されます。

メモからスケジュールを登録する <Date To 機能>

- メールの本文に Date To 形式の記述が含まれている場合は、メールの本文をメモ帳にコピーすることでスケジュールへ登録できます。

1 MENU ▶ 7 2 ▶ Date To形式で記述してあるメモを選択 ▶ Date To形式の記述を選択

2 スケジュールの各項目を設定 ▶ 📖［登録］

Date To形式

Date Toはメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

〈例〉2005/11/27□17:00□～□2005/11/27□

開始年月日　開始時刻　終了年月日

18:00□講習会 ↵

終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

※ □は半角空白を示します。画面には表示されません。

その他の便利な機能

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

- 年月日と時刻はすべて半角文字で入力してください。
- 開始年月日、開始時刻、～（全角）、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角空白で区切ります。
- 内容は全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前に0を付ける必要はありません。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文をメモに入力できます。→P425

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に別売の平型スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。また、スイッチはミュージックプレイヤーの操作にも使用できます。

- スイッチを押してテレビ電話をかけたり、プッシュトークの操作をしたりできません。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P27

- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナに近づけると、ノイズが入る場合があります。
- プラグは確実に差し込んでください。プラグが途中で止まっているなど差し込みが不完全な状態では、音が聞こえない場合があります。

イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する<イヤホンスイッチ設定>

お買い上げ時　イヤホンスイッチ設定：OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを、音声電話の発信またはミュージックプレイヤーの操作で使用できるように設定します。
イヤホンスイッチ発信操作→P371
ミュージックプレイヤー操作→P326「スイッチ付イヤホンマイクでの操作」

1 **MENU ▶ 8 6 6 3 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ◎［登録］**

イヤホンスイッチ設定：
スイッチの使用方法を設定します。
電話帳メモリ番号：
イヤホンスイッチ設定を「イヤホンスイッチ発信」に設定した場合、電話帳からイヤホンスイッチ発信で電話をかける相手を検索して設定します。

スイッチを押して音声電話をかける

イヤホンスイッチ設定の「イヤホンスイッチ発信」で、電話帳メモリ番号に設定した相手には、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで音声電話がかけられます。

1 **「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す**

イヤホンスイッチ設定で設定した相手に音声電話がかかります。

2 **通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- 電源を押しても通話を終了できます。

お知らせ

- イヤホンスイッチ設定で設定した電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ設定で設定した電話帳メモリ番号にシークレット属性を設定している場合は、スイッチを押して電話をかける前にシークレットモードを起動してください。
- FOMA端末とminiSDメモリーカード間でデータを移動またはコピーしているときは、スイッチを押しても電話はかけられません。
- イヤホンスイッチ設定で設定した電話帳メモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、イヤホンスイッチ設定は解除されます。

スイッチを押して電話を受ける

1 **電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- 着信音はイヤホン切替設定で設定した所から聞こえます。

2 **通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す**

- 電源を押しても通話を終了できます。

お知らせ

- テレビ電話を受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定した代替画像を送信します。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を折り畳んだ場合の動作は、次のとおりです。
  - 通話中クローズ設定の設定に関わらず通話を継続
  - テレビ電話中の場合は、相手にはテレビ電話画像選択の代替画像で設定した静止画またはキャラ電を表示
  - カメラ映像にフレームを付けて送信中の場合は、フレームは解除され、相手にはテレビ電話画像選択の代替画像で設定した静止画またはキャラ電を表示
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける<オート着信機能設定>

お買い上げ時　自動着信機能：OFF

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。
音声電話またはテレビ電話に自動的に応答すると、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
- 通話中の着信に対しては動作しません。
- 公共モード中は動作しません。

1 MENU ▶ 8 6 6 2 ▶ **下記の各項目を選択して設定 ▶ 🔘［登録］**

自動着信機能：
平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときに自動的に応答するかどうかを設定します。

自動着信機能時間（秒）：
自動着信機能を「ON」に設定した場合、自動的に応答するまでの時間を設定します。
- 0～120秒の範囲で設定します。

お知らせ
- テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定した代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと同時に設定している場合、設定した呼出時間により優先順位が異なります。
- 自動着信機能時間が呼出動作開始時間設定の時間以内の場合には、オート着信機能は動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす<イヤホン切替設定>

お買い上げ時　イヤホン+スピーカー

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。

1 MENU ▶ 8 6 6 1 ▶ 1 **または** 2

お知らせ
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、設定に関わらずスピーカーから鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定した場合でも、着信音は初めイヤホンのみから鳴りますが、約20秒経過しても電話に出ないとスピーカーからも着信音が鳴ります。

NW検索方法
利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時　検索方法：ネットワーク自動検索

FOMAサービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。手動選択にするときは、通信事業者を指定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 MENU ▶ 8 9 5 ▶ **下記の各項目を選択して設定 ▶ 🔘［登録］**

検索方法：
ネットワークの検索方法を設定します。
- 「ネットワーク手動選択」に設定したときは、「手動選択」を設定します。

手動選択：
通信事業者を設定します。
- ドコモ以外の通信業者は選択できません（2005年11月現在）。

クイック起動
電源を入れたときの起動時間を短縮する

お買い上げ時　OFF

FOMA端末の電源を入れたときの起動時間を短くするかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 8 9 7 ▶ 1 **または** 2

お知らせ
- クイック起動を「ON」に設定していても、電池残量が2以下のとき、電池パックを取り付け直したとき、電源を切ってから24時間が経過したときは通常起動となります。また、待受画面以外で電源を切ったときにも通常起動となる場合があります。

設定状況確認
各種機能の設定状況を確認する

FOMA端末の各種設定状況を確認します。
- PIMロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 MENU ▶ 8 4 2

「音／バイブ」のメニュー項目の設定状況が表示されます。

その他の便利な機能

2 [キー]で各種機能の設定状況を確認

- [キー]を押すたびに、画面が「音／バイブ」「ディスプレイ」「セキュリティ／その他」「時計」「発着信機能」「通話機能」「テレビ電話」「メール」「ｉモード」「ｉアプリ」「トルカ」「プッシュトーク」の順に切り替わります。[キー]を押すと逆の順に切り替わります。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。
- 「メニュー一覧」に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能やデータは次のとおりです。
  - 基本設定：
    メニュー設定のアイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」、マナーモード、公共モード、上限通知アイコン、記号・絵文字の履歴
  - 予測辞書データ：
    入力予測機能で登録されたデータ
  - ユーザ辞書データ：単語登録で登録したデータ

1 [MENU] ▶ [8][4][5] ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択

各種設定リセット
☑ 基本設定
☑ メール設定
☑ ｉモード設定
☑ ｉアプリ設定
☑ ロック機能
☑ 予測辞書データ
☑ ユーザ辞書データ

2 [キー] ▶ 「はい」を選択

お知らせ

- ｉモード設定をリセットすると、待受画面にｉチャネルの情報がテロップ表示されなくなる場合や、情報が自動更新されない場合があります。待受画面で[ch]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されます。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - 電子マネー「Edy」以外のｉアプリ
  - キャラ電
  - データBOX内のマイピクチャの「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像
- 保存、登録した次のデータは削除されます。
  - メッセージR/F
  - ｉモードメール
  - チャットメール（チャットメンバー設定、個人情報設定含む）
  - SMS
  - メールテンプレート
  - メールグループ
  - ブックマーク
  - URL入力
  - URL履歴
  - 画面メモ
  - ラストURL
  - ｉアプリ
  - ｉアプリの履歴表示
  - ｉチャネル
  - 電話帳データ（プッシュトーク電話帳含む）
  - 着信履歴
  - リダイヤル
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - 音声メモ
  - データBOX内のマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントの「プリインストール」「メール添付メロディ」フォルダ以外のデータ
  - トルカ
  - キャラ電
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - 指紋データ（指紋設定含む）
  - アラーム
  - スケジュール（登録、変更した祝日を含む）
  - メモ帳
  - 通話時間
  - 単語
  - 定型文
  - USSD登録
  - 応答メッセージ登録
  - プロフィール情報（自局電話番号以外）
  - 作成したフォルダ、アルバム
  - ソフトウェア更新（予約更新）
- 各種設定リセットの対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - メール振り分け設定
  - ブックマークのワンタッチサイト登録
  - ｉアプリ（ｉアプリ一覧から設定する機能）
  - 電話帳検索
  - 伝言メモ設定
  - マイピクチャ、ｉモーション、メロディ、キャラ電、マイドキュメントの各動作設定
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - 赤外線通信のデータ送受信設定
  - バイリンガル
  - PIMロック
  - 端末暗証番号
  - プライバシーモード設定
  - 日付時刻設定
  - テレビ電話使用機器設定
  - 通話料金自動リセット設定
  - NW検索方法
  - 通話中着信動作選択
  - メニュー設定
  - 変更したフォルダ名
  - カスタムメニュー

1 [MENU] ▶ [8][4][6] ▶ 認証操作 ▶ 「はい」を選択

再起動中にデータ一括削除されます。

次ページへ続く

お知らせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 機能ごとにお買い上げ時の設定に戻すには、各種設定リセットから行ってください。
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているデータ、ｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  アクセス方法→P283「プリインストールｉアプリを使う」

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

ネットワークサービス

ネットワークサービス

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

FOMA端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	必要	有料	P376
キャッチホン	必要	有料	P378
転送でんわサービス	必要	無料	P379
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P380
番号通知お願いサービス	不要	無料	P381
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P382
英語ガイダンス	不要	無料	P382
サービスダイヤル	不要	無料	P382
マルチナンバー	必要	有料	P383
追加サービス（USSD登録）	不要	無料	P384

- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。→P384

- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しています。注意事項や操作の詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
- ネットワークサービスの開始や停止などの操作は、サービスエリア外や電波の届かない所では操作できません。電波状態のよい所で操作してください。
- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスは、FOMA端末で機能を停止できます。停止操作を行っても、サービスの契約そのものは解約されません。

留守番電話

留守番電話サービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、ドコモの留守番電話サービスセンターがお客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。

- 応答しなかった電話は、待受画面のマークや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
- 伝言メッセージの録音は1件あたり最長3分、最大20件で、最長72時間保存されます。

お知らせ

- 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 着信中の音声電話を、手動で留守番電話サービスセンターに接続できます（→P60）。また、通話中にかかってきた電話も、自動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P383
- テレビ電話は、留守番電話サービスセンターに接続されません。テレビ電話をかけた側では、呼出時間に設定した時間が経過すると切断されます。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは、同時には利用できません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止します。その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに「非通知設定」の電話がかかってくると、番号通知お願いガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの不在案内機能もあります。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておくと、プッシュ式の一般電話や公衆電話などからも、ネットワーク暗証番号を利用して留守番電話サービスの操作ができます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1　サービスを開始に設定する

ステップ2　電話をかけてきた方が伝言を録音する

ステップ3　伝言メッセージを再生する

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要です。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを開始する

1 MENU ▶ 9 1 1 1 ▶「はい」を選択

2 「はい」を選択

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間で留守番電話サービスを開始します。

3 呼出時間を入力

留守番電話サービスが開始されます。

- 呼出時間を0～120秒の範囲で入力します。
- ◎を押しても数字を増減できます。

留守番電話サービスを停止する

1 MENU ▶ 9 1 1 3 ▶ 「はい」を選択

設定内容を確認する

1 MENU ▶ 9 1 1 4 ▶ 「はい」を選択

- 設定確認画面で、サブメニューから選択して設定を変更できます。
  MENU 1：留守番電話サービス開始
  MENU 2：留守番電話サービス停止
  MENU 3：留守番電話呼出時間設定

お知らせ
- 呼出時間を「0秒」に設定している場合は、着信が記録されません。
- 待受画面で MENU 9 1 1 2 を押すと、呼出時間だけ設定できます。
- 呼出時間の設定は、留守番電話サービスを停止した後も保持されます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。

1 MENU ▶ 9 1 1 6 ▶ 「はい」を選択 ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作

留守番電話サービスが設定されます。
- 新しい伝言メッセージがあるか確認したり伝言メッセージを聞く場合は、一度電話を切ってから操作してください。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると、待受画面には 1（数字は件数）が表示されます。

1 MENU ▶ 9 1 1 5 ▶ 「はい」を選択 ▶ 音声ガイダンスの指示に従って操作

伝言メッセージが再生されます。

お知らせ
- 新しい伝言メッセージがあるときは、 1 を選択すると、すばやく伝言メッセージを再生できます。
  →P36
- 1 で表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

新しい伝言メッセージがあるか確認する ＜メッセージ問合せ＞

新しい伝言メッセージがあるかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 MENU ▶ 9 1 1 7 ▶ 「はい」を選択

問い合わせが開始されます。
新しい伝言メッセージがあると、待受画面に 1（数字は件数）が表示されます。
- 件数増加鳴動設定を設定している場合、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、バイブレータの設定に従って振動します。

お知らせ
- 件数増加鳴動設定の件数通知音が「ON」の場合、バイブレータ設定を「OFF」に設定していても、マナーモード中にメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあったときはマナーモードの設定に従って振動します。
- メッセージ問合せ後にお預かりした伝言メッセージは、もう一度メッセージ問合せを行っても確認できない場合があります。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする＜件数増加鳴動設定＞

お買い上げ時　件数通知音：ON
通知メロディ：着信音1

着信後、相手が新しい伝言メッセージを残した場合や、メッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増加していた場合は、通知音が鳴るようにします。
- メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、バイブレータ設定に従って振動します。
- メッセージ問合せの直後にお預かりしたメッセージについては、件数増加の通知音が鳴らない場合があります。
- オールロック中、PIMロック中、開閉ロック中、公共モード中、アラーム鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

1 MENU ▶ 9 1 2

2 件数通知音を選択 ▶ 1

- 通知音を鳴らさないときは 2 を押し、操作4に進みます。

3 通知メロディを選択 ▶ フォルダを選択 ▶ メロディを選択

メロディが設定され、件数増加鳴動設定画面に戻ります。
メロディのフォルダや一覧の見かた→P322
メロディの再生の操作→P120

ネットワークサービス

4 [登録]を押す

件数増加鳴動設定が設定されます。

伝言メッセージのマークを消す

1 MENU ▶ 9 1 4 ▶「はい」を選択

伝言メッセージの件数を示すマークが消えます。

圏外にいても着信があったことをSMSで通知する<着信通知>

FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSでお知らせします。

- 1件のSMSで、最大5件の履歴が通知されます。
- SMS一括拒否を設定している場合でも、履歴は通知されます。
- 設定、通知（SMS受信）にかかる料金は無料です。

着信通知を開始する

1 MENU ▶ 9 1 3 1 ▶「はい」を選択

2 「はい」または「いいえ」を選択

- 「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。
- 「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。

着信通知が開始されます。

着信通知を停止する

1 MENU ▶ 9 1 3 2 ▶「はい」を選択

設定内容を確認する

1 MENU ▶ 9 1 3 3 ▶「はい」を選択

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたことを、通話中着信音でお知らせします。通話中の電話を保留にして、後からかかってきた電話を受けることができます。

- 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
- 次のとき、キャッチホンは動作しません。
  - 104、110、117※、118、119 にかけているとき
    ※：117 にかけているときに音声電話を着信した場合は「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話に出られません（着信履歴には不在着信として残ります）。
  - 発信中、および相手を呼出中のとき
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続中のとき
  - 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
- テレビ電話中や、音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、着信履歴には不在着信として残ります。
- 保留中も電話をかけた側に通話料金がかかります。

キャッチホンを開始する

1 MENU ▶ 9 2 1 ▶「はい」を選択

キャッチホンが開始されます。

キャッチホンを停止する

1 MENU ▶ 9 2 2 ▶「はい」を選択

設定内容を確認する

1 MENU ▶ 9 2 3 ▶「はい」を選択

お知らせ

- キャッチホンを利用するときは、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定の開始／停止操作に関わらず、キャッチホンが利用できます。
- 通話中着信動作選択が「通常着信」に設定されていない場合は、キャッチホンを開始しても着信動作は行いません。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中、「非通知設定」の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンは利用できません。

話し中の通話を保留にして、かかってきた電話を受ける

1 通話中に

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

- ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
- を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、 を押すと現在通話中の相手も保留にできます。
- 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に MENU 1 を押します。

2 一方の相手との通話が終わったら

一方の相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

- を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

ネットワークサービス

話し中の通話を終わらせて、かかってきた電話を受ける

1 通話中に［電源］

着信音が鳴ります。

2 ［発信］を押す

後からかかってきた電話を受けられます。

話し中の通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に［menu］▶［7］▶ 電話番号を入力

- 着信履歴から電話をかける場合は［menu］［1］を、リダイヤルから電話をかける場合は［menu］［2］を押します。電話帳に登録されている相手に電話をかける場合は［電話帳］を押し、電話帳から相手にカーソルを合わせて［発信］を押します。

2 ［発信］を押す

新しくかけた相手と通話できます。話し中の通話は自動的に保留になります。

- ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
- ［▽］を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、［●］を押すと現在通話中の相手も保留にできます。
- 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に［menu］［1］を押します。

3 新しくかけた相手との通話が終わったら［電源］

新しくかけた相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

- ［発信］を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

お知らせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、FOMA端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどの電話に転送します。

- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 転送先の登録は1件です。

お知らせ

- 転送でんわサービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 着信中の電話を手動で転送できます（→P60）。また、通話中にかかってきた電話も、自動で転送できます。→P383
- 転送でんわサービスと留守番電話サービスは、同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止します。その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに「非通知設定」の電話がかかってくると、番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておくと、プッシュ式の一般電話や公衆電話などからも、ネットワーク暗証番号を利用して転送でんわサービスの操作ができます。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1　転送先の電話番号を登録する

ステップ2　転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ3　お客様のFOMA端末に電話がかかる

ステップ4　電話に出ないと指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

通話料

発信者 → 転送でんわサービスのご契約者 →

電話をかけた方のご負担です。　転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始する

1 menu ▶ 9 3 1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」を選択 ▶ 転送先電話番号を入力

- 転送先として、フリーダイヤル、クイックナンバーおよび110番などの3桁の電話番号は指定できません。
- 最大26 桁入力できます。

■ 転送先電話番号を電話帳から設定するとき

① menu ▶ 電話帳を検索 ▶ 転送先電話番号を選択

電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。

2 🈁 ▶「はい」を選択

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間で転送でんわサービスを開始します。

3 呼出時間を入力

- 0 ～ 120 秒の範囲で入力します。
- ◎を押しても数字を増減できます。

転送でんわサービスを停止する

1 menu ▶ 9 3 2 ▶「はい」を選択

設定内容を確認する

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

1 menu ▶ 9 3 5 ▶「はい」を選択

転送先を変更する

1 menu ▶ 9 3 3 ▶ 転送先電話番号を入力 ▶ 🈁 ▶「はい」を選択

転送ガイダンスの有／無を設定する

1 1 4 2 9 📞 ▶ ガイダンスに従って操作

お知らせ

- 呼出時間を「0 秒」に設定している場合は、着信が記録されません。
- 電波の届かない所にいるときや電源が入っていないときは、着信音が鳴らずに転送されます。その場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めた場合は、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがあるため、ご注意ください。
- 呼出時間の設定は、転送先を変更したり、転送でんわサービスを停止した後も保持されます。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応する<転送先通話中時設定>

転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 menu ▶ 9 3 4 ▶「はい」を選択

転送先が通話中のときは、留守番電話サービスが動作するように設定されます。

- 留守番電話サービスでの応答を解除するときは「いいえ」を選択します。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、登録した電話番号から電話がかかってきたときに着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答し、自動的に切断します。

- 最大30件登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。
- 着信拒否登録した電話番号からプッシュトークがかかってくると、着信拒否のガイダンスは流れず、切断されます。

最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録する

1 迷惑電話の通話が終了した後に menu ▶ 9 4 1 ▶「はい」を選択

最後に着信応答した電話番号が登録されます。

- 通話していない不在着信などは、登録の対象になりません。

指定した電話番号を着信拒否に登録する

1 menu ▶ 9 4 2 ▶「はい」を選択

2 電話番号入力欄を選択 ▶ 電話番号を入力 ▶ 🈁

- 電話帳から電話番号を入力する場合は menu を、着信履歴から電話番号を入力する場合は 📲 を、リダイヤルから電話番号を入力する場合は 📲 を押して、電話番号を選択します。

3「はい」を選択

指定した電話番号が登録されます。

お知らせ

- 発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。メモなどに控えておくことをおすすめします。
- 国際電話は着信拒否登録できない場合があります。

拒否登録した電話番号を削除する

最後に登録した電話番号を削除したり、すべての電話番号をまとめて削除したりできます。

1 menu ▶ 9 4 ▶ 3 または 4

2 「はい」を選択

- 「迷惑電話 1 登録削除」を選択すると、最後に登録した電話番号が削除されます。

拒否登録件数を確認する

1 menu ▶ 9 4 5 ▶ 「はい」を選択

お知らせ

- 着信拒否する電話番号がすでに 30 件登録されているときは、最も古い電話番号を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。
- 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。
番号通知お願いサービス	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。
公共モード	着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。公共モードのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答し、自動的に切断します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を利用できます。

- 発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の場合に動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- 発信者番号を通知してこないプッシュトークがかかってくると、番号通知お願いのガイダンスは流れず、切断されます。

番号通知お願いサービスを開始する

1 menu ▶ 9 6 1 ▶ 「はい」を選択

番号通知お願いサービスが開始されます。

番号通知お願いサービスを停止する

1 menu ▶ 9 6 2 ▶ 「はい」を選択

設定内容を確認する

1 menu ▶ 9 6 3 ▶ 「はい」を選択

お知らせ

- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときの着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否のガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。
公共モード	番号通知お願いのガイダンスまたは映像ガイダンスで応答します。公共モードのガイダンスまたは映像ガイダンスは応答しません。

- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに「非通知設定」の音声電話がかかってくると、着信音は鳴らず、着信履歴にも記録されません。
- 番号通知お願いサービスは､お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。遠隔操作はできません。→P383
なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。
- 発番号なし動作設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

※： 2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末を利用できます。
これによって、FOMAサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内であれば、mova端末で音声電話をかけたり、受けたりできます。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

mova端末を使えるようにする

1 mova端末で「1540」とダイヤル▶ガイダンスに従って操作

FOMA端末を使えるようにする

mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 MENU▶9 9 5 1▶「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力

設定内容を確認する

1 MENU▶9 9 5 2▶「はい」を選択

お知らせ

- mova端末でもFOMAのｉモードサービスを利用できますが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいてはFOMA、movaそれぞれに制限事項や注意事項があります。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。

- テレビ電話で発着信した場合は、英語ガイダンスをご利用いただけません。
- 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 MENU▶9 9 4 1▶「はい」を選択▶1または2

日本語：
発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。
英語：
発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。

2 「はい」を選択▶1～3

日本語：
着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。
日本語＋英語：
着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。
英語＋日本語：
着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
音声ガイダンスが切り替えられます。

設定内容を確認する

1 MENU▶9 9 4 2▶「はい」を選択

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ指定の故障取扱窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- お使いのFOMAカードによっては、ドコモ指定の故障取扱窓口とドコモ総合案内･受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。→P39

故障の問い合わせをする

1 MENU▶9 9 6 1▶「はい」を選択

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 MENU▶9 9 6 2▶「はい」を選択

DoCoMoインフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

音声電話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 通話中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または64Kデータ通信中に64Kデータ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する<通話中着信動作選択>

お買い上げ時　通常着信

1 MENU ▶ 9 8 ▶ 1～4

通常着信：
通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に応答したり、留守番電話サービスセンターや転送でんわサービスで登録した転送先に転送したりできます。

留守番電話：
通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を留守番電話サービスで応答します。

転送でんわ：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録されている転送先に転送されます。

着信拒否：
通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否し、拒否した着信は着信履歴に不在着信として記録されます。

通話中着信動作が設定されます。

- 通話中着信動作がいずれの設定の場合でも着信履歴に不在着信として記録されます。
- 選択した通話中着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください。
ただし、キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、通話中着信設定の開始／停止に関わらず、通話中着信動作は有効です。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止中でも、本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」に設定した場合は、通話中着信設定を開始すれば自動的にそれらの設定が開始されます。

通話中着信設定を開始する<通話中着信設定>

- キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、本機能の開始／停止に関わらず、通話中着信動作選択で設定した動作となります。

1 MENU ▶ 9 7 1 ▶ **「はい」を選択**

通話中着信設定が開始されます。

通話中着信設定を停止する

1 MENU ▶ 9 7 2 ▶ **「はい」を選択**

設定内容を確認する

1 MENU ▶ 9 7 3 ▶ **「はい」を選択**

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

遠隔操作を開始する

1 MENU ▶ 9 9 3 1 ▶ **「はい」を選択**

遠隔操作が開始されます。

遠隔操作を停止する

1 MENU ▶ 9 9 3 2 ▶ **「はい」を選択**

設定内容を確認する

1 MENU ▶ 9 9 3 3 ▶ **「はい」を選択**

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用になれます。

- マルチナンバーを利用した電話のかけかた→P55

付加番号を登録する<電話番号設定>

お買い上げ時　基本契約番号　名称：基本契約番号
基本契約番号　電話番号：ご契約電話番号
付加番号1　名称：付加番号1
付加番号2　名称：付加番号2
付加番号1、2　電話番号：未登録
マルチナンバー発信：無効

1 MENU ▶ 9 9 7 3 ▶ **下記の各項目を選択して設定 ▶ 🄲［登録］**

付加番号1または2　名称：
付加番号の名称を入力します。この名称は、電話の着信画面やリダイヤル、着信履歴などに表示されます。
- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

付加番号1または2　電話番号：
付加番号に登録する電話番号を入力します。
- 最大26桁入力できます。

マルチナンバー発信：
- マルチナンバーの発信番号を選択して電話をかける操作（→P55）を有効にするかどうかを設定します。

通常発信番号を設定する＜通常発信番号設定＞

通常発信番号設定を切り替えると、設定した番号で電話をかけることができます。

1 MENU ▶ 9 9 7 1 ▶ 1〜3 ▶ 「はい」を選択

設定内容を確認する

1 MENU ▶ 9 9 7 2 ▶ 「はい」を選択

付加番号ごとの着信時の動作を設定する＜着信設定＞

お買い上げ時　個別設定：OFF

付加番号ごとに着信音、イメージ表示を設定できます。

1 MENU ▶ 9 9 7 4 ▶ 1 または 2

2 下記の各項目を選択して設定 ▶ ［登録］

個別設定：

付加番号ごとの着信時の動作を使用するかどうかを設定します。

「着信音」「イメージ表示」の設定操作→P132「音声電話の着信時の動作を変更する」

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- 最大10件登録できます。

ネットワークサービスを登録する

1 MENU ▶ 9 9 1 ▶ サービスを登録する番号にカーソルを合わせて

- サービスを変更する操作も同様です。

2 下記の各項目を選択して設定 ▶ ［登録］

USSDコード：

ドコモから通知されたサービスコードを入力します。

- サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

名称：

名称（サービス名）を入力します。

- 全角で最大10文字、半角で最大20 文字入力できます。

登録したネットワークサービスを利用する

1 MENU ▶ 9 9 1 ▶ 1〜8

登録されたコードがサービスセンターに発信されます。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

- 最大10件登録できます。

1 MENU ▶ 9 9 2 ▶ 1〜8 ▶ 応答メッセージを登録する番号を選択

- 応答メッセージを変更する操作も同様です。

2 下記の各項目を選択して設定 ▶ ［登録］

USSDコード：

ドコモから通知されたUSSDコードを入力します。

応答メッセージ：

応答メッセージを入力します。

- 全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

登録したサービスを削除する

1 MENU ▶ 9 9 1

- 応答メッセージを削除するときはMENU 9 9 2を押します。

2 **削除するサービスにカーソルを合わせてMENU ▶ 1**

- サービスを全件削除するときはMENU 2を押します。

3 **「はい」を選択**

データ通信

データ通信について

ここでは、FOMA端末で利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

利用できる通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、添付のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信に対応していません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarionⅡと接続してデータ通信を行うには、museaやsigmarionⅡのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用します。

データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売）でパソコンと接続し、電話帳や送受信メールなどのデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。

- 赤外線通信を使って他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信できます。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

■ FirstPass PCソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98SE、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000 ：32MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量※	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上

※：パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

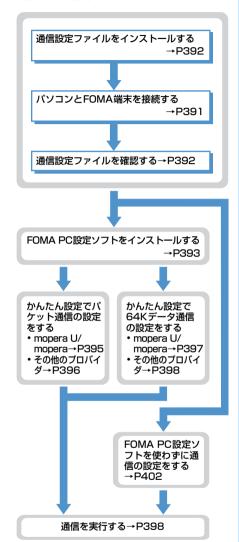
FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って接続する場合は、これに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できない場合があります。

■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダや社内LANを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：mopera.net）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。
- **IrMC（Ir Mobile Communications）**
  携帯電話どうしやPDAとの間でデータを転送する目的で作られた規格。この規格に準拠した機器の間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **W-TCP**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

通信設定ファイル（ドライバ）について

パソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ※	Windows 98、Me：32MB以上 Windows 2000　：64MB以上 Windows XP　　：128MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※：FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データ通信の説明は、主にWindows XPでの操作方法を例にしています。他のOSでは画面の表示が異なる場合があります。

インストール／アンインストール前の注意点

- Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがある場合は、プログラムを保存、終了してください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定等については、パソコンの取扱説明書もご覧ください。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 通信モードで初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめ通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。→P392
- miniSDモードで初めてパソコンに接続する場合は、OSが自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。なお、miniSDモードに対応しているOSはWindows XP、2000のみです。

USB接続時にパソコンで操作する内容を設定する<USBモード設定>

お買い上げ時　通信モード

ここでは、パソコンとFOMA端末を接続したときにパソコンでデータ通信を行うか、パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するかを設定します。

1 MENU ▶ 6 2 4 ▶ 1 または 2

通信モード：
パソコンなどでデータ通信を行うモードです。

miniSDモード：
パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するモードです。miniSDモード中は着信ランプが青色で点滅します。

2 「はい」を選択

お知らせ

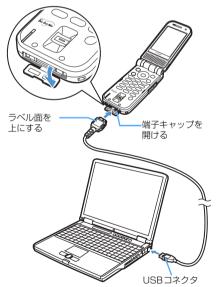
- パソコンとFOMA端末を接続中でも本機能の設定を変更できます。
- パソコン側で、FOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、miniSDモードに設定できないことがあります。
- パソコンからminiSDメモリーカードを操作しているときは通信モードに設定できません。また、通話中やプッシュトーク通信中、ｉモード中はminiSDモードに設定できません。
- miniSDモード中に、パソコンにFOMA端末を接続していない状態でminiSDメモリーカードへのアクセスがないまま90秒が経過すると、自動的に通信モードに切り替わります。
- miniSDモード中は、電話やｉモードなどの通信ができません。
- miniSDメモリーカードの操作を終了するときは、画面右下のタスクトレイの をクリックして、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ (E:) ※1を安全に取り外します※2」をクリックし、「'USB大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。
  ※1：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
  ※2：Windows 2000の場合は「停止します」
- パソコンから操作したときのminiSDメモリーカードのフォルダ構成→P329

FOMA USB接続ケーブルで接続する

- FOMA USB接続ケーブルは別売りです。

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側をFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 FOMA USB接続ケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面に が表示されます。
- FOMA USB接続ケーブルを接続したまま卓上ホルダにセットして使用できます。

取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側のリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

お知らせ

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

- miniSDモードでパソコンと接続する場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P390
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 添付のCD-ROMをパソコンにセット

2 ［スタート］をクリック→「ファイル名を指定して実行」をクリック→「名前」に「<CD-ROMドライブ名>：¥USBDRIVE¥F902iin.exe」を指定→［OK］をクリック

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

3 ［はい］をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

インストール中の画面表示後に自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。
- インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。→P392

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- 通信設定ファイルをインストールする前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってアンインストールを行った後、もう一度通信設定ファイルをインストールしてください。

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］をクリック→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンを順にクリック

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［システム］アイコンをダブルクリック

2 ［ハードウェア］タブをクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

「デバイス マネージャ」画面が表示されます。

■ Windows Me、98のとき

［デバイス マネージャ］タブをクリック

3 各デバイスをダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

デバイスの種類	デバイス名
ユニバーサル シリアル バス コントローラまたは USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA F902i • FOMA F902i Command※1 • FOMA F902i Modem※1 • FOMA F902i OBEX※1
ポート（COM/LPT）またはポート(COMとLPT)	• FOMA F902i Command Port（COMx）※2 • FOMA F902i OBEX Port（COMx）※2
モデム	• FOMA F902i

※1： Windows Me、98の場合のみ表示されます。
※2： xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P390
- アンインストールを実行する前に、必ずパソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

1 ［スタート］をクリック→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

2 「FOMA F902i USB」を選択して［変更と削除］（Me、98の場合は［追加と削除］）をクリック

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリック

通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 ［OK］をクリック

お知らせ

- インストールに失敗したとき、または操作2 の画面に「FOMA F902i USB」が表示されていないときは、添付のCD-ROMをパソコンにセットし、P392「通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」の操作1～2を行い、アンインストールを実行してください。
- Windows Me、98では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できない場合があります。その場合は、FOMA USB接続ケーブル（別売）を一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や64Kデータ通信の設定が行えます。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA PC設定ソフトでは次の設定ができます。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時にW-TCP設定などを行います。

W-TCPの設定

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要です。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。

パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号の入力欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3 にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- N2001、N2002、P2401、P2002、F2611、T2101V添付のW-TCP環境設定ソフト、FOMAデータ通信設定ソフト、901iSシリーズより前に発売されたFOMA端末添付のFOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P390

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 **添付のCD-ROMをパソコンにセット**

2 **［スタート］をクリック→「ファイル名を指定して実行」をクリック→「名前」に「<CD-ROMドライブ名>: ¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」を指定→［OK］をクリック**

- CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

3 **［次へ］をクリック**

FOMA PC設定ソフトの「使用許諾契約」が表示されます。

4 **内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック**

［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。

5 **「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック**

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP設定」が常駐します。→P399

- W-TCP通信の最適化の設定、解除を操作する機能です。常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 **インストール先を確認して［次へ］をクリック**

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［次へ］をクリックします。

7 **「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認して［次へ］をクリック**

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 **［完了］をクリック**

FOMA PC設定ソフトが起動します。

- このまま各種設定に進みます。

お知らせ

- W-TCP環境設定ソフト、FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、それらのソフトをアンインストールしてからFOMA PC設定ソフトをインストールしてください。
- FOMA PC設定ソフトは、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。ただし、F902i以外のFOMA端末を接続する場合は、ご利用になるFOMA端末の通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする必要があります。

かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 設定する前にパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P391

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 **［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSの場合は「プログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック**

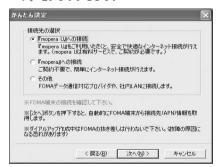
mopera U/moperaを利用する場合

その他のプロバイダを利用する場合→P396

1 **FOMA PC設定ソフトを起動して［かんたん設定］をクリック**

2 **「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック**

3 **「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック**

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 **「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック**

FOMA端末から接続先（APN）情報を取得します。しばらくお待ちください。

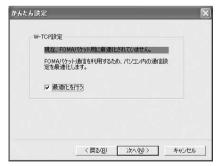
5 **「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック**

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<> | ”

6 **［次へ］をクリック**

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。
- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。

7 **「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック**

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。再起動も不要です。

8 **「設定情報」を確認して［完了］をクリック**

9 [OK] をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は [はい] をクリックしてください。

通信を実行する→P398

その他のプロバイダを利用する場合

1 P395の操作1～4を行う

操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 「接続名」に任意の接続名を入力→ [接続先（APN）設定] をクリック

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

[詳細情報の設定] をクリックすると「IPアドレス」と「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定

番号(cid) 1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）は2または4～10に接続先（APN）を設定してください。

① [追加] をクリック

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②「接続先（APN）」にプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力→ [OK] をクリック

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ入力できます。

4 [OK] をクリック

操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した「接続先（APN）」が表示されます。

5 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認して [次へ] をクリック

6 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→ [次へ] をクリック

「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

- すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。再起動も不要です。

8 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P398

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

mopera U/moperaを利用する場合

1 P395の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。

2 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- 「モデムの選択」が「FOMA F902i」に設定されていることを確認します。

3 ［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P398

その他のプロバイダを利用する場合

1 P395の操作1～3を行う

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を、操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 「接続名」に任意の接続名を入力→「電話番号」に接続先の電話番号を半角で入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」に次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「モデムの選択」が「FOMA F902i」に設定されていることを確認します。
- 「電話番号」はプロバイダ情報を基に、正しく入力してください。入力できる文字は次のとおりです。
  0123456789ABCDPTWabcdpt
  w!@$-.( )+＊#,&および半角空白
- 「発信者番号通知を行う」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」と「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は「使用可能ユーザーの選択」を設定してください。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

4 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P398

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P391

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

- 設定中に「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」または「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」を選択しなかった場合や、Windows XP以外のOSでFOMA PC設定ソフトを利用せずに通信設定を行った場合は、接続用アイコンは作成されません。次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

[スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000、Me、98のスタートメニューから接続するとき

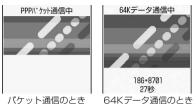
[スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリック→接続アイコンをダブルクリック

3 接続を実行

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。そのまま、[ダイヤル]（Me、98の場合は［接続］）をクリックします。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］（Me、98の場合は［接続］）をクリックします。
  設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- OSによっては、接続完了画面が表示される場合があります。[OK]をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき　64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリック

アイコンはOSによって異なります。

- Windows Me、98の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］をクリック

パケット通信の設定を最適化する

W-TCP設定を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
W-TCP設定とは、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XPでの最適化の設定と解除

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 FOMA PC設定ソフトを起動して［W-TCP設定］をクリック

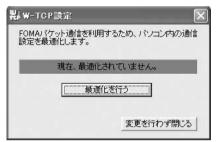
起動方法→P394

■ タスクトレイから W-TCP 設定を起動するとき

タスクトレイのをクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「W-TCP設定」画面で［最適化を行う］をクリック

②最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき

内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ 最適化を解除するとき

- FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリック

「W-TCP設定」画面が表示されます。

②［最適化を解除する］をクリック

③［OK］をクリック

3 画面に従ってWindowsを再起動

- 設定した内容は再起動後有効になります。

Windows 2000、Me、98での最適化の設定と解除

1 FOMA PC設定ソフトを起動して［W-TCP設定］をクリック

起動方法→P394

■ タスクトレイから W-TCP 設定を起動するとき

タスクトレイのをクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

［最適化を行う］をクリック

■ システム設定が最適化されているとき

［最適化を解除する］をクリック

- FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

3 画面に従ってWindowsを再起動

設定した内容は再起動後有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 設定を行う前にパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P391
- 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。
- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 FOMA PC設定ソフトを起動して［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

起動方法→P394

2 ［OK］をクリック

FOMA端末に登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択して［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

対象の接続先（APN）を一覧から選択して［削除］をクリック

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。番号（cid）の3を選択して［削除］をクリックした場合も、実際には削除されず「mopera.net」の設定に戻ります。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」をクリック→「開く」をクリック

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」をクリック→「FOMA端末から設定を取得」をクリック

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック

- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加、編集した接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリック

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリック→［OK］をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③「接続名」を入力→［アカウント・パスワードの設定］をクリック

- 「接続名」に次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥/:*?!<> | ”
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［アカウント・パスワードの設定］はしなくてもかまいません。その場合は［OK］をクリックし、操作⑤に進みます。

④「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック

- Windows XP、2000の場合は、「使用可能ユーザー」を選択してください。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑥［はい］をクリック

お知らせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。
- 通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得、書き込みができません。その場合は「パケット通信の接続先（APN）を設定する」を参照して設定してください。→P402

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P390

アンインストールを実行する前に

タスクトレイにが表示されている場合は、を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、W-TCP設定の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］をクリック→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000、Me、98のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［変更と削除］（Me、98の場合は［追加と削除］）をクリック

3 **削除するプログラム名を確認して［はい］をクリック**

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■「W-TCP最適化」を解除するとき

W-TCPが最適化されている場合は最適化を解除するかどうかを確認する画面が表示されます。
［はい］をクリックすると、再起動後に「W-TCP最適化」の解除が行われます。

4 **［OK］をクリック**

FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信または64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P390

接続先（APN）を設定する→P402
※ 64Kデータ通信の場合と、パケット通信で接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する→P403
※ 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	参照先	
	接続先の設定 ▶	TCP/IP設定
Windows XP	P404 ▶	P405
Windows 2000	P405 ▶	P407
Windows Me	P408 ▶	P408
Windows 98	P409 ▶	P409

※ 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

設定するためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P391

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSの場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98ではさらに［Hypertrm］アイコンをダブルクリック）

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

- 「接続名」に次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/:＊?!<>｜"

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」が「FOMA F902i」に設定されていることを確認します。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=<cid>,"PPP","<APN>"」の形式で入力→⏎

<cid>　：2または4～10の範囲で任意の番号
<APN>：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P417「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

1 P403の操作1～5を行う

2 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（通知）
2　：186を付けて接続（非通知）

3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

- ＊DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIR コマンドによる設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

Windows XPで「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリック

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリック

「準備」画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリック

「インターネット接続」画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリック

7 「モデム－FOMA F902i（COMx）」のみを選択して［次へ］をクリック

- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。
- インストールされているモデムが 1 台の場合、この画面は表示されません。

8 「ISP名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

9 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力→［次へ］をクリック

■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊＜cid＞＃」を入力します。
＜cid＞:「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号
mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3＃」を、moperaへ接続する場合は「＊99＊＊＊1＃」を入力します。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。

10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 ［完了］をクリック

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム-FOMA F902i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」欄の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、［プロパティ］をクリックして必要な情報を設定してください。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

6 ［OK］をクリック

通信を実行する→P398

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows 2000で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

- 「所在地情報」画面が表示された場合は以下の操作を行います。
  ①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→［OK］をクリック
  ②「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリック

2 ［次へ］をクリック

「ネットワーク接続の種類」画面が表示されます。

3 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリック

「インターネット接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

4 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリック

「インターネット接続の設定」画面が表示されます。

5 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリック

「モデムの選択」画面が表示されます。

6 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F902i」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック

「インターネットアカウントの接続情報」画面が表示されます。

- インストールされているモデムが1台の場合、この画面は表示されません。

7 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力→［詳細設定］をクリック

■パケット通信のとき

「＊99＊＊＊＜cid＞#」を入力します。
＜cid＞:「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号
mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3#」を、moperaへ接続する場合は「＊99＊＊＊1#」を入力します。

■64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」は非選択（☐）にします。

8 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定

9 ［アドレス］タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は必要な情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

10 ［OK］をクリック

「インターネットアカウントの接続情報」画面に戻ります。

11 ［次へ］をクリック

「インターネットアカウントのログオン情報」画面が表示されます。

12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

13 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

「インターネット メール アカウントの設定」画面が表示されます。

14 「いいえ」を選択して［次へ］をクリック

15 ［完了］をクリック

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム-FOMA F902i (COMx)」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4 ［設定］をクリック→すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。

5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P398

Windows Meでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 [スタート]をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリック

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

- 「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示された場合は[次へ]をクリックします。

2 [新しい接続]アイコンをダブルクリック

3 「接続名」に任意の接続名を入力→[次へ]をクリック

- 「接続名」に次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥/:＊?"<>|
- 「モデムの選択」が「FOMA F902i」に設定されていることを確認します。

4 「電話番号」に接続先の番号を半角で入力→[次へ]をクリック

■ パケット通信のとき

「＊99＊＊＊<cid>#」を入力します。
<cid>:「パケット通信の接続先(APN)を設定する」で登録したcid番号
mopera Uへ接続する場合は「＊99＊＊＊3#」を、moperaへ接続する場合は「＊99＊＊＊1#」を入力します。

■ 64Kデータ通信のとき

接続先の電話番号を入力します。
mopera Uへ接続する場合は「＊8701」を、moperaへ接続する場合は「＊9601」を入力します。
- 「市外局番」には何も入力しません。

5 接続先名を確認して[完了]をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 [全般]タブの各項目の設定を確認

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択(□)にします。
- 「接続方法」が「FOMA F902i」に設定されていることを確認します。

3 [ネットワーク]タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は[TCP/IP設定]をクリックし、必要な情報を設定してください。

4 ［セキュリティ］タブをクリック→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。

5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P398

Windows 98でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

操作方法はWindows Meの接続先設定と同様です。
→P408

TCP/IPプロトコルを設定する

1 P408「TCP/IPプロトコルを設定する」の操作1～2を行う

2 ［サーバーの種類］タブをクリック→各項目の設定を確認

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。
- プロバイダから、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は［TCP/IP設定］をクリックし必要な情報を設定してください。

3 ［OK］をクリック

通信を実行する→P398

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合があります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

  ※：USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO ↵」と入力します。

データ通信

ATコマンド一覧

- FOMA F902i Modem Portで使用できるATコマンドです。
- ATコマンド入力時に、使用しているパソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「＼」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	実行すると"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT%V ↵ Ver1.00 OK
AT&C<n>	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1	n=0：常にON n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の"CONNECT"を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、"NO CARRIER"を送出する直前にCD信号をOFFにします。	AT&C1 ↵ OK
AT&D<n>	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。※1	n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）	AT&D1 ↵ OK
AT&E<n>	接続時の速度表示仕様を選択します。※1	n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）	AT&E1 ↵ OK
AT&F	FOMA端末のATコマンド設定値をお買い上げ時の状態にリセットします。通信中に実行した場合は、回線を切断してからリセットします。	―――	AT&F ↵ OK
AT&S<n>	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1	n=0：常時ON（お買い上げ時） n=1：回線接続時にON	AT&S0 ↵ OK
AT&W	現在の設定値をFOMA端末に記録します。	―――	AT&W ↵ OK
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベルを数字で表示します。	実行すると"＊DANTE:<n>"の形式で表示します。 n=0：圏外 n=1：[アンテナ1本] n=2：[アンテナ2本] n=3：[アンテナ3本]	AT＊DANTE ↵ ＊DANTE:3 OK AT＊DANTE=? ↵ ＊DANTE:(0-3) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
AT＊DGANSM=<n>	パケット着信呼に対する着信拒否/許可設定のモードを設定します。※2	n=0：着信拒否設定 OFF、着信許可設定 OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON n=2：着信許可設定ON	AT＊DGANSM=0 ↵ OK AT＊DGANSM? ↵ ＊DGANSM:0 OK
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>]	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。※2 APN設定は「+CGDCONT」コマンドで定義された<cid>パラメータを使用します。	<n>パラメータによって着信許可リストへの追加または削除を指定します。<cid>パラメータを省略した場合は、<cid>のすべてをリストに追加または削除します。追加または削除する<cid>が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加または削除します。 n=0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加 n=1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除	AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK AT＊DGAPL? ↵ ＊DGAPL:1 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT*DGARL=<n> [, <cid>]	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先(APN)を設定します。※2 APN設定は「+CGDCONT」コマンドで定義された＜cid＞パラメータを使用します。	＜n＞パラメータによって着信拒否リストへの追加または削除を指定します。＜cid＞パラメータを省略した場合は、＜cid＞のすべてをリストに追加または削除します。追加または削除する＜cid＞が「+CGDCONT」コマンドで定義されていない場合でも、リストへ追加または削除します。 n=0：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストに追加 n=1：＜cid＞で定義されたAPNを着信拒否リストから削除	AT*DGARL=0,1 ↵ OK AT*DGARL？ ↵ *DGARL:1 OK
AT*DGPIR=<n>	パケット通信確立時に、番号を通知するかどうかを設定します。※2発信時、着信時に有効です。	n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時） n=1：APNに「184」を付けて接続 n=2：APNに「186」を付けて接続 本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186」（通知）/「184」（非通知）を設定した場合→P404	AT*DGPIR=0 ↵ OK AT*DGPIR? ↵ *DGPIR:0 OK
AT*DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。	実行すると"*DRPW:＜n＞"の形式で表示します。	AT*DRPW ↵ *DRPW:0 OK AT*DRPW=？ ↵ *DRPW:(0-75) OK （表示可能な値の範囲を表示する）
+++	FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。 エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。	――	――
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	切断理由一覧→P417	AT+CEER ↵ +CEER:36 OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2	ATコマンドの補足説明→P417	ATコマンドの補足説明→P417
AT+CGEQMIN	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を登録します。※2	ATコマンドの補足説明→P417	ATコマンドの補足説明→P417
AT+CGEQREQ	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。※2	ATコマンドの補足説明→P417	ATコマンドの補足説明→P417
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	――	AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK
AT+CGREG=<n>	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。※1通知される内容は圏内/圏外です。	＜n＞ 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり n=1に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CGREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 ＜stat＞ 0：圏外 1：圏内（home） 4：不明 「AT+CGREG?」のとき"+CGREG:<n>, <stat>"を表示します。	AT+CGREG=1 ↵ OK AT+CGREG? ↵ +CGREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	――	AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CLIP=＜n＞	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示します。※1	＜n＞ 0：リザルトを表示しない（お買い上げ時） 1：リザルトを表示する 「AT＋CLIP？」のとき、"+CLIP：＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 1：発信時に相手に番号を通知するNW設定 2：不明	AT+CLIP=0 ↵ OK AT+CLIP? ↵ +CLIP：0,2 OK
AT+CLIR=＜n＞	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。※2	＜n＞ 0：サービスご契約の設定に従う 1：通知しない 2：通知する（お買い上げ時） 「AT+CLIR？」のとき、"+CLIR：＜n＞,＜m＞"を表示します。 ＜m＞ 0：CLIRは未起動（常時通知） 1：CLIRは常時起動（常時非通知） 2：不明 3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） 4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=2 ↵ OK AT+CLIR? ↵ +CLIR：2,2 OK
AT+CMEE=＜n＞	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1	エラーを"ERROR"のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。 ＜n＞ 0：リザルトコードを使用せずに"ERROR"を表示（お買い上げ時） 1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 2：リザルトコードを使用し、文字で理由を表示 n=1またはn=2でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは次のように表示されます。 "+CME ERROR：xxxx"（xxxxには、数字または文字が表示されます。→P417「エラーレポート一覧」）	AT+CMEE=0 ↵ OK AT+CNUM ↵ ERROR AT+CMEE=1 ↵ OK AT+CNUM ↵ +CME ERROR:10
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	実行すると"+CNUM：,＜number＞,＜type＞"の形式で表示されます。 ＜number＞電話番号 ＜type＞ 129：国際アクセスコード+を含まない 145：国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM ↵ +CNUM：,"+819012345678",145 OK
AT+CR=＜mode＞	回線接続時に"CONNECT"のリザルトコードが表示される前に、パケット通信/64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1	＜mode＞ 0：表示しない（お買い上げ時） 1：表示する パケット通信のときは、"GPRS"と表示され64Kデータ通信のときは"SYNC"と表示されます。	AT+CR=1 ↵ OK ATD＊99＊＊＊1# ↵ +CR:GPRS CONNECT
AT+CRC=＜n＞	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。※1	n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：使用する	AT+CRC=0 ↵ OK
AT+CREG=＜n＞	ネットワークの圏内/圏外情報を表示するかを設定します。※1	<n> 0：通知なし（お買い上げ時） 1：通知あり 「AT+CREG＝1」に設定すると、圏内から圏外、または圏外から圏内へ移動したときに"+CREG:<stat>"の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4」をサポートします。 <stat> 0：圏外 1：圏内 4：不明 「AT+CREG?」のとき"+CREG：<n>, <stat>"を表示します。	AT+CREG=1 ↵ OK AT+CREG？ ↵ +CREG:1,0 OK （通知あり、圏外を意味している）
AT+GMI	FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。	――――	AT+GMI ↵ FUJITSU OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+GMM	FOMA端末の製品名の略称が半角英数字で表示されます。	―――――	AT+GMM ↵ FOMA F902i OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	FOMA端末のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示します。	AT+GMR ↵ Ver1.00 OK
AT+IFC=＜n,m＞	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1	DCE by DTE（＜n＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） DTE by DCE（＜m＞） 0：フロー制御を行わない 1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時）	AT+IFC=2,2 ↵ OK
AT+WS46=＜n＞	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。	n=22：FOMAネットワーク（固定値）	AT+WS46=22 ↵ OK
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。	パケット着信中には、「ATA184 ↵」（発信者番号通知なし着信動作）および「ATA186 ↵」（発信者番号通知あり着信動作）を入力できます。	RING ATA ↵ CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。	前の応答が"ERROR"の場合"ERROR"が返ります。	A/ OK
ATD	発信処理を行います。	パケット通信：「ATD＊99＊＊＊＜cid＞# ↵」 「ATD＊99#」を入力した場合は「＜cid＞=1」を使います（＜cid＞を省略した場合は、「＜cid＞=1」になります）。 「ATD184＊99」で始まる書式を入力した場合は指定した＜cid＞に設定したAPNに対して"184"が付加されます（186でも同様の操作ができます）。 64Kデータ通信：「ATD[パラメータ][電話番号] ↵」 電話番号に「0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、空白、T、t、P、p、!、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。　の文字は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 「ATDN」または「ATDL」でリダイヤル発信ができます。	ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT
ATE＜n＞	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1	n=0：エコーバックなし n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。	ATE1 ↵ OK
ATH	通信中に入力すると、回線を切断します。	―――――	（通信中） +++ OK ATH ↵ NO CARRIER
ATI＜n＞	確認コードを表示します。	n=0：NTT DoCoMo n=1：製品名の略称を表示する（FOMA F902i） n=2：製品のバージョンを"VerX.XX"などの形式で表示する	ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。	―――――	ATO ↵ CONNECT
ATQ＜n＞	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1	n=0：表示する（お買い上げ時） n=1：表示しない	ATQ0 ↵ OK
ATV＜n＞	リザルトコードの表示方法を設定します。※1	すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。 n=0：数字表記で表示する n=1：英文字表記で表示する（お買い上げ時）	ATV1 ↵ OK

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATX<n>	接続の"CONNECT"表示に速度を表示するかどうかを設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1 ビジートーン検出： 接続先が通話中の場合は、"BUSY"応答を送出します。 ダイヤルトーン検出： FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、「AT&E」コマンドおよび「AT¥V」コマンドが無効になります。	ATX1 ↵ OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※3	FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に実行した場合は、回線を切断してからリセットします。	（オンライン時） ATZ ↵ NO CARRIER （オフライン時） ATZ ↵ OK
ATS0=<n>	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。※1	n=0　　：自動着信なし（お買い上げ時） n=1～255：指定したリング数で自動着信	ATS0=0 ↵ OK ATS0? ↵ 000 OK
ATS2=<n>	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=0～127（お買い上げ時n=43） n=127に設定するとエスケープは無効になります。	ATS2=43 ↵ OK ATS2? ↵ 043 OK
ATS3=<n>	復帰（CR）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=13）。	ATS3=13 ↵ OK ATS3? ↵ 013 OK
ATS4=<n>	改行（LF）キャラクタの設定を行います。	英文でリザルトコードを表示する場合、[CR]キャラクタの後に付きます。設定値は変更できません（お買い上げ時n=10）。	ATS4=10 ↵ OK ATS4? ↵ 010 OK
ATS5=<n>	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません（お買い上げ時n=8）。	ATS5=8 ↵ OK ATS5? ↵ 008 OK
ATS6=<n>	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：2～10（お買い上げ時n=5）	ATS6=5 ↵ OK ATS6? ↵ 005 OK
ATS7=<n>	接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1	n：1～255（お買い上げ時n=60） 64Kデータ通信およびパケット通信の発呼時に、FOMA端末がパソコンから「ATD」入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに"CONNECT"を送出できない場合は、"NO CARRIER"のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121～255」に設定した場合、"OK"のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。	ATS7=60 ↵ OK ATS7? ↵ 060 OK
ATS8=<n>	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。	本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。 n=0：ポーズしない n　：1～255（お買い上げ時n=3）	ATS8=3 ↵ OK ATS8? ↵ 003 OK

次ページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATS10=<n>	自動切断の遅延時間（秒）を設定します。(1/10秒) ※1	本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。 n：1～255（お買い上げ時n=1）	ATS10=1 ↵ OK ATS10? ↵ 001 OK
ATS30=<n>	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。	n：0～255（お買い上げ時n=0） n=0は不活動タイマオフ	ATS30=3 ↵ OK ATS30? ↵ 000 OK
ATS103=<n>	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	n=0：＊アスタリスク n=1：/スラッシュ（お買い上げ時） n=2：￥マークあるいはバックスラッシュ	ATS103=0 ↵ OK ATS103? ↵ 001 OK
ATS104=<n>	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。	n=0：#シャープ n=1：%パーセント（お買い上げ時） n=2：&アンド	ATS104=0 ↵ OK ATS104? ↵ 001 OK
AT￥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。	――――	AT￥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ￥V0 S000=000　S002=043 S003=013　S004=010 S005=008　S006=005 S007=060　S008=003 S010=001　S030=000 S103=001　S104=001 OK
AT￥V<n>	接続時の応答コード仕様を選択します。※1	n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する	AT￥V0 ↵ OK

※1：「&W」コマンドでFOMA端末に記録されます。
※2：「&F」「Z」コマンドによるリセットは行われません。
※3：「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
- **書式**
  +CGDCONT＝[＜cid＞[,"PPP"[,"＜APN＞"]]] ⏎
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞　：1～10
  ＜APN＞：任意
  ※ ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ⏎
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=
  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞
  指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=？
  設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT？
  現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=[＜cid＞[,,＜Maximum bitrate UL＞[,＜Maximum bitrate DL＞]]] ⏎
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞
  　：なし（お買い上げ時）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞
  　：なし（お買い上げ時）または384
  ※ ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

次ページへ続く

- **実行例**
(1)上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGEQMIN=2 ↵
OK
(2)上り64 kbps、下り384 kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384 ↵
OK
(3)上り64kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64 ↵
OK
(4)上りすべての速度、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384 ↵
OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■ **コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］**

- **概要**
パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
AT+CGEQREQ=［<cid>］↵
- **パラメータ説明**
上り64kbps、下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>：1～10
※ <cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
- **実行例**
（<cid>=3の場合）
AT+CGEQREQ=3 ↵
OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ **リザルトコード**

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ **拡張リザルトコード**

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ
- 「ATV」コマンドがn=1に設定されている場合には英文字表記（お買い上げ時）、n=0に設定されている場合には数字表記でリザルトコードが表示されます。→P414
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続(BC=UDI、+CBST=116,1,0)
2	AV32K	32Kテレビ電話で接続
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

「AT¥V」コマンドの設定に関わらず、接続完了の際に"CONNECT"のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1

ATX 1が設定されているとき

- ATX1、AT¥V0 が設定されている場合（お買い上げ時）
  接続完了のときに、"CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>"の書式で表示します。
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  1 21
- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  "CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>"※2
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
  （mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  1 21 5

※1： ATX 1、AT¥V 1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2： AT¥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

文字入力

文字入力について

ここでは、電話帳やメールなどで文字を入力する方法を説明します。

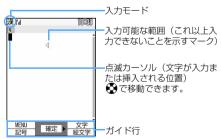
- 文字の入力方式には、かな入力方式とスロット入力方式があります。
  かな入力方式では、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。
  文字の割り当て→P441「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」
  スロット入力方式では、上下2段の入力バーに表示された文字から、を使って入力文字を指定します。
- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号／絵文字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。
  全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- スロット入力方式では、全角文字のカタカナ、英字、数字は入力できません。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力と、画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて文字を直接入力するインライン入力の2種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方の方法しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。
- 本書では最後にを押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

■全画面入力

入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。

■インライン入力

入力欄にカーソルを合わせて～、、を押し、文字を直接入力します。

- 日付・時刻など数字を入力する入力欄によっては、入力欄を選択してを押しても数字を入力できる場合があります。

文字入力画面での操作について

サブメニューから次の操作ができます。

項　目	参照先
1 コピー	P427
2 切り取り	P427
3 貼り付け	P427
4 電話帳引用	P426
5 単語登録	P427
6 定型文登録	P426
7 入力設定	P429
8 データ引用	P426
9 編集終了※	—

※：スロット入力方式で入力中にのみ表示されます。

- 文字を確定する前やデコメールの装飾画面では、サブメニューは表示されません。
- メール本文の入力画面では、サブメニューの項目が異なります。ただし、次の画面が表示されているときのみ、上記のサブメニューを表示できます。

- 入力モードが半角数字、全角数字以外のときに文字を入力または確定すると、上の画面が表示されます。
- お買い上げ時は、ひらがな／漢字モードで文字を入力すると、候補選択リストが表示されます。

入力モードを切り替える

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

〔キー〕で切り替えるには

〔キー〕を押すたびに次のように切り替わります。

ひらがな／漢字（全角）　カタカナ（半角）

数字（半角）※　英字（半角）

※：スロット入力方式では表示されません。

入力モードリストで切り替えるには

文字入力画面で〔キー〕を押すと、次の入力モードを選択できます。

項　目	モード	
かな	ひらがな／漢字	漢
カナ※	全角カナ	全カナ
ＡＢＣ※	全角英字	全英
１２３※	全角数字	全数
ｶﾅ	半角カナ	半ｶﾅ
ABC	半角英字	半英
123※	半角数字	半数

※：スロット入力方式では表示されません。

- ひらがなのみの入力が指定されている場合は〔ひらがな〕が表示されます。入力モードリストから選択できません。

入力モード

かな入力方式

スロット入力方式

- 対応するダイヤルキーまたは〔キー〕を押して入力モードを選択します。
- 入力モードリストから選択して、次の操作もできます。

記号→P425　絵文字→P425
定型文→P425　区点入力→P427

かな入力方式

かな入力方式で文字を入力する

文字を入力する＜かな漢字変換＞

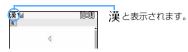
〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択

漢と表示されます。

2 「すずき」と入力

「す」：〔3〕（3回）
「ず」：カーソルが右に移動したら〔3〕（3回）→〔＊〕
「き」：〔2〕（2回）

- 入力中は次の操作ができます。
  〔menu〕：全角カタカナに変換
  〔キー〕：大文字と小文字の切り替え
  〔キー〕：1つ前の文字に戻す
  （例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
  〔ch クリア〕：文字の取り消し
  〔＊〕：濁点、半濁点の付加
  （例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

3 〔キー〕を押す

- 候補選択リストが表示されていないときは、〔キー〕を押してもかな漢字変換されます。
- 〔ch クリア〕を押すと、変換前の状態に戻ります。
- ひらがなのまま変換しないときは、〔キー〕を押さずに操作4に進みます。

文字入力

■ 変換候補を一覧表示するとき

を押しても目的の文字が表示されないときは、またはもう一度を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、を押すと次ページ、を押すと前ページに切り替わります。各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押すか、を押して変換候補を選択します。

4 を押す

文字が確定します。

■ 文字を挿入するとき

を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき

- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：鈴木一郎）
  - を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：鈴木一郎）
  - を押すと、カーソル位置の左の1文字が削除されます。
  - を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行するとき

改行する位置にカーソルを移動し、を押します。

- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 ［確定］を押す

文字入力が終了します。

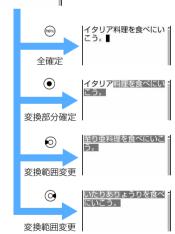
お知らせ

- 濁点、半濁点を入力してからを押しても、1つ前の文字には戻せません。
- 入力中にを押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  :大文字と小文字の切り替え（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英字）
  :1つ前の文字に戻す
- ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などに変換できます。
  読みと文字の対応→P448「特殊記号入力変換表」、P449「絵文字入力変換表」

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。

- 全角で最大24文字変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力するとき

入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - かな漢字変換で入力した単語
  - 単語登録した文字列
- 入力予測機能は、ひらがな／漢字モードでのみ利用できます。ただし、次の場合は利用できません。
  - インライン入力の場合
  - スロット入力方式の場合
- 候補選択リストを表示しないように設定できます。→P429

1 文字を入力

候補選択リストが表示されます。

- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 ▶ で候補を選択

- 候補選択リストにカーソルがあるときは、次の操作ができます。
  ／：前ページ／次ページ切り替え
  ：かな漢字変換（候補選択リストの表示は消えます）
  ：文字確定
- 該当する用語がない場合はを押し、かな漢字変換から目的の文字を選択します。

3 「閉じる」を選択

候補選択リストが消えます。

定型文を入力する

定型文を一覧から入力します。

- 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。
- 定型文一覧→P442

1 文字入力画面で ▶ ～

「顔文字」を選択した場合

- 定型文を作成・登録した場合は、を押して選択できます。

2 ～

定型文が入力されます。

定型文の種類によっては複数ページあります。でページを切り替えられます。

- 定型文の内容を確認するときは、定型文にカーソルを合わせてを押します。を押すと定型文が入力されます。

お知らせ

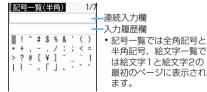
- 顔文字は「かお」または「かおもじ」の変換候補で表示されます。→P442

記号・絵文字を入力する

記号または絵文字を一覧から入力します。

- 記号・絵文字一覧→P447
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- ひらがな／漢字モードで読みを入力して、記号や絵文字に変換できます。→P448「特殊記号入力変換表」、P449「絵文字入力変換表」

〈例〉記号を入力するとき

1 文字入力画面で

- 記号一覧では全角記号と半角記号、絵文字一覧では絵文字1と絵文字2の最初のページに表示されます。
- 絵文字を入力するときはを押します。
- メール本文の入力画面ではまたはを押します。
- 記号一覧画面でを押すと、全角と半角が切り替わります。
- 絵文字一覧画面でを押すと、絵文字1と絵文字2が切り替わります。
- またはを押すとページが切り替わります。

2 **入力する記号を選択 ▶ ⓜ［確定］**

- 記号は全角で最大10文字、半角で最大20文字まで、絵文字は最大10文字まで、連続して選択できます。選択した文字は連続入力欄に表示されます。
- 入力履歴欄には、最近使用した記号または絵文字が10文字まで表示され、ここから文字を選択できます。
- 次のカッコの左側（例：｛）を選択した場合は、右側のカッコ（例：｝）も自動的に入力されます。
()　[]　{}「」（　）〔　〕［　］｛　｝〈　〉《　》
「　」『　』【　】

お知らせ

- 記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データやプロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。

- 引用できない文字入力画面では、メニューがグレーなどで表示されたり、メニュー自体が表示されないため操作できません。
- メール本文の入力画面での操作→P422「文字入力画面での操作について」

電話帳データの内容を引用する

- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 **文字入力画面でⓜ ▶ ④ ▶ 引用する電話帳データを選択**

2 **引用する内容を選択**

引用した内容が入力されます。

プロフィール情報の内容を引用する

- プロフィール情報の文字入力画面では、プロフィール情報を引用できません。

1 **文字入力画面でⓜ ▶ ⑧①▶ 認証操作**

2 **引用するプロフィール情報を選択**

引用した内容が入力されます。

電卓の計算結果を引用する

- 電卓の計算結果を引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 **文字入力画面でⓜ ▶ ⑧② ▶ 計算する**

2 **●［挿入］を押す**

計算結果が入力されます。

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

- バーコードリーダーの読み取りデータを引用できるのは、InternetメニューのURL入力画面とｉモード中の文字入力画面です。

1 **文字入力画面でⓜ ▶ ⑧②**

起動時に接写撮影になります。

2 **JANコードまたはQRコードを読み取る ▶ ●［確定］**

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文登録

定型文を登録する

登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 最大50件登録できます。

1 **ⓜ ▶ ⑧⑨②⑨ ▶「<新しい定型文>」を選択**

- 登録済みの定型文を確認するときは、定型文の一覧で定型文にカーソルを合わせてⓜを押します。●を押すと編集できます。
- 登録した定型文を削除するときは、削除する定型文にカーソルを合わせてⓜを押し、「はい」を選択します。

2 **定型文を入力**

- 全角で最大64文字、半角で最大128文字入力できます。

3 **ⓜ［登録］を押す**

- 登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面でⓜ ▶ ⑥**

- メール本文の入力画面ではⓜ⑥②を押します。
- 文字を入力していないときは、定型文編集画面が表示されます。本文を入力し、操作4に進みます。

2 開始位置を選択

- 全文を選択する場合は、[menu]を押して[●]を押します。操作4に進みます。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[メール]を押します。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、[menu]を押して[●]を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[i]を押して[●]を押します。

4 [i]［登録］を押す

お知らせ

- 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
  文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
  文字と文字の間に空白：空白も有効
- 定型文がすでに50件登録されている場合は、定型文登録の一覧が表示されます。新たに登録する場合は一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を修正してください。

文字コピー

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと、前に記録していた文字は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

入力済みの文字を選択してコピーしたり切り取ったりします。

〈例〉文字をコピーするとき

1 文字入力画面で[menu]▶[1]

- 文字を切り取るときは[menu][2]を押します。
- メール本文の入力画面では[menu]を押し、[2]または[3]を押します。

2 開始位置を選択

- 全文を選択する場合は、[menu]を押して[●]を押します。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[メール]を押します。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーされます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、[menu]を押して[●]を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[i]を押して[●]を押します。

文字を貼り付ける

コピーまたは切り取りした文字を文字入力画面に貼り付けます。

- 貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて[menu]▶[3]

文字がカーソル位置に挿入されます。

- メール本文の入力画面では[menu][4]を押します。

お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 区点コード一覧→P454

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で[i][8]▶4桁の区点コード（この場合は[2][3][4][0]）を入力▶[●]［確定］

「携」が入力されます。

- 有効な区点コードは0101～8406です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。

1 [menu] ▶ [8] [9] [1] ▶「<新しい単語>」を選択

単語を登録するときに選択

登録済みの単語
・読みの50音順に並びます

行の先頭を示すマーク

- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて[ch]を押します。●を押すと編集できます。
- 単語を削除するときは、削除する単語にカーソルを合わせて[menu]を押し、「削除」を選択します。登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

2 **単語の入力欄にカーソルを合わせて登録する単語を入力**

単語編集

単語

読み

- 全角で最大12文字、半角で最大24文字入力できます。
- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ひらがな／漢字
  - 全角／半角カタカナ
  - 全角／半角英字
  - 全角／半角数字
  - 全角／半角記号
  - 絵文字

3 **読みの入力欄にカーソルを合わせて読みを入力**

- ひらがなで最大8文字入力できます。
- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、ゃ、ゅ、ょ、っ、゛(濁点)、゜(半濁点)、ー(長音)
- 空白を入力すると、登録後に削除されます。

4 [ch]［登録］を押す

- 登録済みの単語を修正したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

お知らせ

- 単語と読みの組み合わせで、同じ単語がすでに登録されている場合は、登録できません。
- 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更するか、同じ読みの不要な単語を削除してください。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 **文字入力画面で** [menu] ▶ [5]

- メール本文の入力画面では[menu] [6] [1]を押します。
- 文字を入力していないときは、単語編集画面が表示されます。単語を入力し、操作4に進みます。

2 **開始位置を選択**

- 全文を選択する場合は、[menu]を押して●を押します。操作4に進みます。
- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[↓]を押します。操作4に進みます。

3 **終了位置を選択**

選択した範囲の文字が単語入力欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、[menu]を押して●を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[ch]を押して●を押します。

4 **読みを入力** ▶ [ch]［登録］

お知らせ

- 単語がすでに200件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの単語を修正してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

スロット入力方式

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力ボードに表示された文字から、[✥]を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P429
- スロット入力方式では入力予測機能は利用できません。
- 文字の割り当て→P442「入力バーの文字割り当て一覧」

- 上段と下段の入力バーを切り替えるときは、[↑]を押します。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字のコピーやカーソル移動など）をするときは、[↓]を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときはもう一度[↓]を押します。

〈例〉電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択 ▶「すずき」と入力

「す」：◎を2回→◎を2回→●
「ず」：●→◎を3回→●
「き」：◎を4回→◎→●

メール本文の入力画面では、1～0、＊を押すと、スロット入力ボードが表示されます。

2 ◎を押す

変換されます。

- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるにはchを押します。
- ひらがなのまま確定するときはmenuを押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

3 ●を押す

文字が確定します。

- 続けて文字を入力できます。

4 menu ▶ 9

文字入力が終了します。

- ◎●を押しても同様に操作できます。

入力設定

入力方法を設定する

お買い上げ時　入力方式：かな入力　入力予測：ON
自動カーソル：普通

文字を入力するときの入力方法を設定します。

1 menu ▶ 8 9 3 ▶ 下記の各項目を選択して設定 ▶ ◎［登録］

入力方式：
「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。

- 「スロット入力」に設定した場合は、入力予測、自動カーソルを設定できません。

入力予測：
候補選択リストを表示するかどうかを設定します。

自動カーソル：
カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。

- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約1.5秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約1秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約0.5秒経過するとカーソルが移動します。

文字入力中に設定を変更するには

- 文字が確定される前やデコメール装飾選択画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面でmenu ▶ 7 ▶ 1～3

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは1を押します。
- 入力予測のON／OFFを切り替えるときは2を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは3を押し、1～4を押して設定します。

お知らせ

- 自動カーソルを「OFF」に設定した場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後◎を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、1◎1 1の順に押します。

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

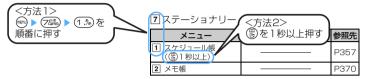
待受画面からショートカット操作で選択できるメニューの一覧です。

一覧表の見かた

- 　は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- menuを押してからメニューの左に記載されている数字（項目番号）を順番に押すと、メニューが選択できます。メニューの項目番号を選択する以外の方法がある場合には、（　）内に該当するキーを記載しています。

〈例〉スケジュール帳のカレンダー画面を表示する方法

次の2とおりがあります。

メニュー		参照先
1 スケジュール帳（1秒以上）	―	P357
2 メモ帳	―	P370

1 メール（）

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 受信メール	―	P249
2 新規メール（1秒以上）	―	P227
3 チャットメール	―	P266
4 未送信メール	―	P249
5 送信メール	―	P249
6 問合せ		
1 iモード問合せ（サイドキー［▼］1秒以上）	―	P243
2 SMS問合せ	―	P273
3 メール選択受信	―	P243
4 iモード問合せ設定	すべて選択	P261
7 SMS		
1 SMS作成	―	P271
2 FOMAカード（UIM）受信SMS	―	P274
3 FOMAカード（UIM）送信SMS	―	P274
4 SMS設定	送信文字種：日本語※1 送達通知：要求しない 有効期間：3日※1 SMSC：ドコモ※1 アドレス ：81903101652※1 Type of Number ：international※1	P273
8 テンプレート読込み	―	P238
9 メール設定		
1 メール着信設定	着信音選択 ：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定 ：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P265
2 チャットメール着信設定	着信動作設定 ：メール着信動作に従う	P270
3 メール振り分け設定	振り分け：ON	P259
4 署名設定	自動挿入：する 署名：値なし	P261
5 メール返信設定		
1 メール返信引用設定	引用：する 引用文字：>（半角）	P263
2 クイック返信設定	ON	P263

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 メール設定		
5 メール返信設定		
3 クイック返信本文登録	了解です 後で連絡します ごめんなさいm(_ _)m ありがとう(^-^)　OK	P263
6 メールグループ	―	P262
7 受信・表示設定		
1 受信表示設定	通知優先	P266
2 メール選択受信設定	OFF	P262
3 メール受信添付ファイル設定	画像、メロディ、トルカ受信	P264
4 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P264
5 メール一覧表示設定	2行表示	P264

2 iモード（）

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 i Menu	―	P193
2 Bookmark	―	P199
3 Internet		
1 URL入力	―	P198
2 URL履歴	―	P199
4 画面メモ	―	P202
5 ラストURL	―	P194
6 iモード問合せ（サイドキー［▼］1秒以上）	―	P243
7 メッセージ		
1 メッセージR	―	P211
2 メッセージF	―	P211
3 メッセージ設定		
1 メッセージ自動表示	メッセージR優先	P211
2 iモード問合せ設定	すべて選択	P261
3 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P264

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 メッセージ		
3 メッセージ設定		
4 メッセージ着信設定	着信音選択 ：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定 ：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P211
8 iチャネル		
1 iチャネル一覧（ch クリア）	―――――	P295
2 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P295
9 iモード設定		
1 ツータッチサイト表示	―――――	P200
2 表示・効果設定	画像、アニメーション ：表示する 端末情報データ利用設定 ：利用する 照明設定：常灯 効果音設定：ON	P209
3 iモーション設定	自動再生設定 ：自動再生する iモーションタイプ設定 ：標準タイプ	P219
4 iモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P100
5 接続待ち時間設定	60秒間	P208
6 接続先設定	iモード（FOMAカード）	P208
7 証明書設定		
1 証明書表示／使用設定※2	CA証明書1～9 ドコモ証明書1※1	P214
2 ユーザ証明書操作	―――――	P214
3 証明書発行接続先設定	接続先：ドコモ	P215

3 iアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 ソフト一覧（◎1秒以上）	―――――	P280
2 iアプリ設定		
1 ソフトの並べ替え	ダウンロード日時順	P291
2 自動起動設定	ON	P287
3 ソフト情報表示設定	OFF	P280
4 照明設定	端末設定に従う	P282
5 バイブレータ設定	ON	P282
6 ツータッチiアプリ表示	―――――	P287
3 履歴表示	―――――	P281 P288 P289

4 電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳検索	全件表示（50音）	P107
2 電話帳登録	―――――	P103
3 FOMAカード（UIM）登録	―――――	P105
4 プッシュトーク電話帳（プッシュトークキー［P］）	―――――	P95
5 着信履歴（◎）	―――――	P62
6 リダイヤル（◎）	―――――	P53

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 伝言メモ／音声メモ（サイドキー［▲］1秒以上）		
1 伝言メモ設定	停止する	P70
2 伝言メモ一覧	―――――	P72
3 音声メモ録音	―――――	P367
4 音声メモ一覧	―――――	P367

5 データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 マイピクチャ	―――――	P306
2 iモーション	―――――	P312
3 メロディ	―――――	P322
4 キャラ電	―――――	P319
5 マイドキュメント	―――――	P348

6 生活ツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 バーコードリーダー	―――――	P183
2 赤外線／PCデータ連携		
1 赤外線全件送信		
1 電話帳	―――――	P341
2 スケジュール	―――――	P341
3 受信メール	―――――	P341
4 送信メール	―――――	P341
5 未送信メール	―――――	P341
6 メモ	―――――	P341
7 Bookmark	―――――	P341
2 赤外線受信	―――――	P342
3 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P344
4 USBモード設定	通信モード	P391
3 トルカ		
1 トルカ一覧	―――――	P300
2 トルカ取得設定	トルカ取得設定、イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー ：アクア トルカ取得音量：レベル4	P303
4 ICカード一覧	―――――	P299
5 miniSDカード	―――――	P332
6 カメラ（◎）	―――――	P165
7 ビデオカメラ（◎1秒以上）	―――――	P172
8 サウンドレコーダー	―――――	P345
9 ミュージックプレイヤー	―――――	P326

7 ステーショナリー

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 スケジュール帳（◎1秒以上）	―――――	P357
2 メモ帳	―――――	P370
3 アラーム	―――――	P356
4 電卓	―――――	P369

8 設定

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
1 着信音設定	電話：メロディ／着信音１ メール、メッセージR/F ：メロディ／着信音２ チャットメール：メール連動 通話保留音：ENTERTAINER テレビ電話 ：メロディ／ハープ プッシュトーク ：メロディ／着信音３	P120
2 着信音量調整	LEVEL4	P64
3 受話音量調整	LEVEL4	P64
4 キー確認音設定	エレクトロニック	P122
5 電池アラーム音設定	ON	P44
6 マナーモード選択	通常マナーモード	P124
7 バイブレータ設定	すべてOFF	P122
8 呼出動作開始時間設定	着信呼出動作：OFF	P156
9 充電確認音設定	ON	P123
2 ディスプレイ		
1 待受画面設定	待受画面選択、時計表示設定：トータルコーディネイト設定に従う テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P126
2 発着信画面選択		
1 電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P131
2 電話着信設定	着信音：メロディ／着信音１ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション ：点滅／ライム	P132
3 テレビ電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P131
4 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション ：点滅／ライム	P132
5 人物画像表示設定	ON	P133
6 メール送信画像設定	イメージ表示：標準画像	P133
7 メール受信画像設定	イメージ表示：標準画像	P133
8 問合せ画像設定	イメージ表示：標準画像	P133
3 スクリーン設定	トータルコーディネイト設定に従う	P135
4 電池マーク設定	トータルコーディネイト設定に従う	P136
5 照明設定	照明方法：点灯 点灯時間：10秒 範囲：ディスプレイ+キー ディスプレイの明るさ：トータルコーディネイト設定に従う ACアダプタ接続時動作 ：端末設定に従う	P135

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 ディスプレイ		
6 イルミネーション設定	新着通知：OFF すべてのイルミネーションパターン：点滅 電話、テレビ電話、プッシュトーク着信のイルミネーションカラー：ライム メール、チャットメール、メッセージR/F着信イルミネーションカラー ：アクア 通話中イルミネーション ：OFF トルカ取得イルミネーション：ON トルカ取得イルミネーションカラー：アクア	P137
7 背面ディスプレイ設定		
1 背面情報表示設定	相手情報表示あり	P134
2 背面画像設定	待受画像、時計デザイン、発着信画像、メール受信画像：トータルコーディネイト設定に従う 時計形式：24時間表示	P133
3 背面コントラスト調整	レベル8	P134
4 背面常時時計表示設定	OFF	P135
8 文字表示設定		
1 文字サイズ設定	トータルコーディネイト設定に従う	P138
2 フォント選択	トータルコーディネイト設定に従う	P138
3 バイリンガル	Japanese※1	P139
9 トータルコーディネイト設定	FOMA端末のカラーと同じ	P125
3 セキュリティ／ロック		
1 ロック		
1 オールロック	――――	P148
2 PIMロック	OFF	P150
3 遠隔ロック	遠隔ロック：OFF	P149
4 ICカードロック	OFF	P303
5 開閉ロック	OFF	P153
2 シークレットモード	――――	P154
3 ダイヤル発信制限	OFF	P151
4 FOMAカード(UIM)	PIN1コード／PIN2コード ：0000※1 PIN1コードON/OFF ：OFF※1	P143
5 暗証番号変更	0000	P143
6 指紋設定	――――	P146
7 プライバシーモード設定	電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、iモーション、スケジュール、iアプリ ：表示する 自動起動：OFF	P152
8 スキャン機能		
1 パターンデータ更新	――――	P478
2 自動更新設定	――――	P478
3 スキャン機能設定	有効	P478
4 バージョン表示	――――	P479
4 情報表示／リセット		
1 通話時間	――――	P368
2 設定状況確認	――――	P372
3 電池レベル表示	――――	P44

メニュー	お買い上げ時	参照先
4 情報表示／リセット		
4 通話料金		
1 通話料金表示	――――――	P368
2 通話料金上限通知	通話料金上限通知：OFF	P369
3 上限通知アイコン消去	――――――	P369
4 通話料金自動リセット設定	OFF	P368
5 各種設定リセット	――――――	P373
6 データ一括削除	――――――	P373
5 時計		
1 日付時刻設定※3	自動時刻補正：ON	P46
2 自動電源ON設定	自動電源ON：OFF	P355
3 自動電源OFF設定	自動電源OFF：OFF	P355
4 時計表示設定	トータルコーディネイト設定に従う	P138
5 アラーム自動電源ON設定	OFF	P357
6 発着信・通話機能		
1 電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P131
2 電話着信設定	着信音：メロディ／着信音1 イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション ：点滅／ライム	P132
3 発番号なし動作設定	設定解除	P155
4 応答保留ガイダンス設定	保留音：内蔵音	P66
5 エニーキーアンサー設定	ON	P61
6 イヤホン機能設定		
1 イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	P372
2 オート着信機能設定	自動着信機能：OFF	P372
3 イヤホンスイッチ設定	イヤホンスイッチ設定 ：OFF	P371
7 メモリ着信拒否／許可		
1 メモリ別着信拒否／許可	設定解除	P155
2 メモリ登録外着信拒否	OFF	P157
8 発着信詳細設定		
1 優先通信モード設定	設定なし	P65
2 プレフィックス設定	プレフィックス1 ：009130010	P57
3 国際ダイヤル自動付加	自動付加	P57
4 サブアドレス設定	ON	P57
9 通話詳細設定		
1 ノイズキャンセラ設定	ON	P58
2 再接続アラーム設定	アラーム高音	P58
3 通話保留音設定	ENTERTAINER	P67
4 通話品質アラーム設定	アラーム高音	P123
5 通話中クローズ設定	切断	P61

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 テレビ電話		
1 テレビ電話発信設定	イメージ表示：標準画像	P131
2 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション ：点滅／ライム	P132
3 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準） スピーカーホン設定：ON	P86
4 テレビ電話画像選択	代替画像のイメージ表示 ：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像のイメージ表示：標準画像	P87
5 テレビ電話使用機器設定	本体	P88
6 テレビ電話切替機能通知		
1 切替機能通知開始	――――――	P88
2 切替機能通知停止	――――――	P88
3 切替機能通知設定確認	――――――	P88
8 プッシュトーク		
1 プッシュトーク着信設定	着信音 ：メロディ／着信音3 バイブレータ：OFF 着信イルミネーション ：点滅／ライム	P99
2 プッシュトーク呼出時間設定	呼出時間（秒）：30	P99
3 プッシュトーク番号通知設定	通知しない	P98
4 プッシュトーク自動応答設定	自動応答なし	P99
5 プッシュトーク中着信設定	着信拒否	P99
6 プッシュトーク中クローズ設定	スピーカー通話	P100
7 iモード中プッシュトーク着信	プッシュトーク着信優先	P100
9 文字入力／その他		
1 単語登録	――――――	P427
2 定型文登録	――――――	P426
3 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P429
4 セルフモード設定（CLR 1秒以上）	OFF	P150
5 NW検索方法	検索方法 ：ネットワーク自動検索	P372
6 ソフトウェア更新	――――――	P475
7 クイック起動設定	OFF	P372

9 NWサービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 留守番電話		
1 留守番サービス		
1 留守番サービス開始	――――――	P376
2 留守番呼出時間設定	――――――	P377

次ページへ続く

9 NWサービスの続き

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 留守番電話		
1 留守番サービス		
3 留守番サービス停止	――	P377
4 留守番設定確認	――	P377
5 留守番メッセージ再生	――	P377
6 留守番サービス設定	――	P377
7 メッセージ問合せ	――	P377
2 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：着信音1	P377
3 着信通知		
1 着信通知開始	――	P378
2 着信通知停止	――	P378
3 着信通知開始設定確認	――	P378
4 表示消去	――	P378
2 キャッチホン		
1 キャッチホン開始	――	P378
2 キャッチホン停止	――	P378
3 キャッチホン設定確認	――	P378
3 転送でんわ		
1 転送サービス開始	――	P380
2 転送サービス停止	――	P380
3 転送先変更	――	P380
4 転送先通話中時設定	――	P380
5 転送サービス設定確認	――	P380
4 迷惑電話ストップ		
1 迷惑電話着信拒否登録	――	P380
2 電話番号指定拒否登録	――	P380
3 迷惑電話全登録削除	――	P381
4 迷惑電話1登録削除	――	P381
5 拒否登録件数確認	――	P381
5 発信者番号通知		
1 発信者番号通知設定	――	P47
2 発信者番号通知確認	――	P47
6 番号通知お願いサービス		
1 番号通知開始	――	P381
2 番号通知停止	――	P381

メニュー	お買い上げ時	参照先
6 番号通知お願いサービス		
3 番号通知確認	――	P381
7 通話中着信設定		
1 通話中着信設定開始	――	P383
2 通話中着信設定停止	――	P383
3 通話中着信設定確認	――	P383
8 通話中着信動作選択	通常着信	P383
9 その他のNWサービス		
1 USSD登録	――	P384
2 応答メッセージ登録	――	P384
3 遠隔操作設定		
1 遠隔操作開始	――	P383
2 遠隔操作停止	――	P383
3 遠隔操作設定確認	――	P383
4 英語ガイダンス		
1 ガイダンス設定	――	P382
2 ガイダンス設定確認	――	P382
5 デュアルネットワーク		
1 デュアルネットワーク切替	――	P382
2 デュアルネットワーク状態確認	――	P382
6 サービスダイヤル		
1 ドコモ故障問合せ	――	P382
2 ドコモ総合案内・受付	――	P382
7 マルチナンバー		
1 通常発信番号設定	――	P384
2 通常発信番号設定確認	――	P384
3 電話番号設定	基本契約番号 名称 ：基本契約番号 基本契約番号 電話番号 ：ご契約電話番号 付加番号1 名称：付加番号1 付加番号2 名称：付加番号2 付加番号1、2電話番号 ：未登録 マルチナンバー発信：無効	P383
4 着信設定	個別設定：OFF	P384
8 規制	※本端末ではご利用になれません	
0 プロフィール情報	あなたの名前、メールアドレス：－ 自局電話番号 ：ご契約電話番号	P47 P366

※1：お使いのFOMAカードが新規ご契約のものではないときは、FOMAカードの設定によって異なる場合があります。

※2：各種設定リセットを行うと、FOMAカードの設定もすべて選択になります。

※3：各種設定リセットを行っても、設定されていた日付と時刻は保持されます。

お買い上げ時に登録されているデータ

待受用の画像／ｉモーション

■待受画像（ディスプレイ用）

メタル
ブロンズ

フェアリー
ラベンダー

グロッシー
ルージュ※

プラチナ
ミラー※

アドバンスト
モード

和※

スカイ

ライム

©BVIG
ブンブン
（Dimo）

※：「グロッシールージュ」は電波状態、「プラチナミラー」は電池残量、「和」は日付によって画像が変化します。

■時計デザイン（ディスプレイ用）

アナログ1

アナログ2

デジタル1

デジタル2

デジタル3

デジタル4

■ｉモーション

leaf

■待受画像（背面ディスプレイ用）

メタル
ブロンズ

フェアリー
ラベンダー

グロッシー
ルージュ

プラチナ
ミラー

アドバンスト
モード

和

スカイ

ライム

■時計デザイン（背面ディスプレイ用）

アナログ1

アナログ2※
（全画面）

アナログ3※
（全画面）

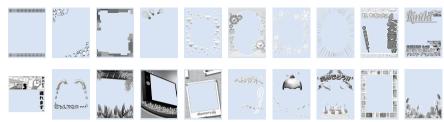
デジタル1

デジタル2※
（全画面）

※：待受画像の設定に関わらず、「アナログ2（全画面）」には待受画像の「フェアリーラベンダー」が、「アナログ3（全画面）」と「デジタル2（全画面）」には専用の待受画像が表示されます。

フレーム

- ［水色の枠］の部分に映像が入ります。

■ 待受用（240×320）サイズ

■ QCIF（176×144）サイズ

- お買い上げ時に登録されているフレームを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P440

デコメールピクチャ

• お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P440

メールテンプレート

メタルブロンズ

フェアリーラベンダー

グロッシールージュ

プラチナミラー

アドバンストモード

便箋1

便箋2

ふきだし1

ふきだし2

ありがとう

ごめんなさい

遊ぼう

おはよう

おやすみ

誕生日

変更のお知らせ

OK

NG

喜び

怒り

哀しみ

楽しみ

好き

疑惑の目

驚き

微妙

お疲れさま

©BVIG
Hello

©BVIG
Love

©BVIG
Fight!

スタンプ

@Fケータイ応援団へのアクセス方法（2005年11月現在）

iMenu → メニューリスト → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

※ 右のQRコードをバーコードリーダーで読み取ると、「@Fケータイ応援団」のサイトに接続できます。

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

かな入力方式では、ダイヤルキーには次のように文字が割り当てられています。
カナ、英字、数字モードでは、入力モードに従って全角文字または半角文字が入力されます。

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角または半角）	英字モード（全角または半角）	数字モード（全角または半角）※3
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ￣※2 － : ＿ [￥] ＾ ｀ { ｜ } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ + , ; < = > ? □ 0	0 +※4
＊	゛ ゜	゛ ゜	※半角の場合のみ、次の文字列が入力できます。 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※4
#	改行	改行	改行	# T※4

□：空白を示します。
（網掛け）：文字入力後に（A／a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。
※2：半角の英字モードは「 ˜ 」で入力されます。
※3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※4：該当するキーを1 秒以上押すと入力できます。

入力バーの文字割り当て一覧（スロットル入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ 1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜※	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよ ゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、。？！「」 全角空白 0
	↲	改行

※：◉を押すたびに「゛」「゜」が切り替わります。

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣ 半角空白 0
	↲	改行

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	. / @ ˜ — : _ [¥] ^ ` { | } 1
	A	A B C a b c 2
	D	D E F d e f 3
	G	G H I g h i 4
	J	J K L j k l 5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	M N O m n o 6
	P	P Q R S p q r s 7
	T	T U V t u v 8
	W	W X Y Z w x y z 9
	!	! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? 半角空白 0
	↲	改行

定型文一覧

- **顔文字（60件）**

  ひらがな／漢字モードで、「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換されます。

顔文字	読み
(^-^)	にこっ、わらう
(^-^)v	にこっ、うれしい
(^-^)/~~	ばい、あいさつ
(^o^)	うほほ、にこっ、わーい、うれしい
(>_<)	あいた、いたい、いてー、ひぇー、なく
(T^T)	うるうる、なく
(T_T)	しくしく、なく
(/_;)	しくしく、なく
(^^ゞ	ぽりぽり、てれる
m(_ _)m	ぺこり
f(^_^)	てへ、てれる
(^_-)	ういんく
(*_*)	びくっ、おどろき
(･･?	めがてん、おどろき
(･･;)	めがてん、おどろき
(゜-゜)	うーん、おどろき
(^^;)	ぎくっ、あせ、あせり
(?_?)	なぜ、ぎもん
(p_-)	むしめがね
(+_+)	びくっ、かなしい

顔文字	読み
(@_@)	びくっ、おどろき
(x_x;)	がっくり、かなしい
(--;)	ぎくっ、おどろき
(=_=;)	ぎくっ、てつや、おどろき
(-_-)	じとっ
o(^o^)o	うきうき、うれしい
U^I^U	いぬ
ヽ(＾＾)	よしよし、おい
(＾＾)ﾉｼ	ばいばい、あいさつ
p(^-^)q	がんばれ、ふぁいと
(-.-;)y-~~~	いっぷく
(-_-)zzz	ねてる、ねる
(o^_^o)	にこっ、うれしい
(。･_･。)ﾉ	やあ、あいさつ
(/_・、)	くすん、なく
(*^_^*)	にこっ、うれしい
(･∀･)	きたー、にこっ、わらう
ヾ(^▽^)ﾉ	わーい、うれしい
(i_i)＼(^_^)	よしよし
ヽ(´ー｀)ノ	わーい、うれしい
σ(^_^;)?	えっ、ぎもん

顔文字	読み
(°o°;)	ぽかーん、おどろき
(つд｀)	ぐすん、なく
ヽ(*｀Д´)ノ	こら、ごるあ、ごるぁ、おこる
(-.-")凸	ちち
o-_-)=○☆	ぱんち、おこる
(=°ω°)ﾉ	やあ、あいさつ
Σ(￣□￣)!	びっくり、がーん、ぎく、おどろき
(*⌒▽⌒*)	にこっ、うれしい
O(><;)(;><)O	あたふた、あせり
○｜￣｜＿	がっくし、かなしい
(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー、ぎもん
(｀_´)ゞ了解!	りょうかい、へんじ
φ(. _.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも、かきかき
(ノ-"-)ノ~┻━┻	ちゃぶだい、おこる
(°Д°;≡;°Д°)	あたふた、あせり
(>_<。)	なく
(-_☆)	きらーん、おどろき
(*≧m≦*)	ぷっ
(-"-;)	うーん

※ 顔文字の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

- **ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換される顔文字（140件）**

顔文字	読み
(^_^)/~	ばいばい、あいさつ
ヾ(＾_＾) byebye!!	ばいばい、あいさつ
(^^)/	おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ
(^-^)/	おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ
(^^)/~~~	ばいばい、あいさつ
(^_^)/	おーい、あいさつ
(〃⌒ー⌒〃)ゞ	にこっ、あいさつ
～('-'*)	やぁ、あいさつ
(*^-^)ﾉ	ちわっ、あいさつ
ヾ(´ω｀=´ω｀)ﾉ	おはよう、あいさつ
(o^-')b	ぐっ、ぐー、へんじ
(≧ω≦)b	ぐっ、ぐー、へんじ
(・∀・∩)	はい、へんじ
('-^*)ok	おっけー、へんじ
(☆▽☆)	きらーん、うれしい
(^^)v	やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい
(=⌒ー⌒=)	にこっ、うれしい
(≧w≦)	うれしい

顔文字	読み
(≧∀≦)	うれしい
:)	にこっ、すまいる、わらう
V(^0^)	ぴーす、うれしい
(^з^)/ﾁｭｯ	ちゅっ、にこっ、わらう
((o(^-^)o))	わくわく、うれしい
(^^)	にこっ、わらう
v(^o^)	いえい、ぶい、ぴーす、うれしい
(^_^)v	やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい
(^・^)	にこっ、わらう
(^0^)	わーい、わらう
(^0^)/	おーい、はーい、わらう
(^0^)v	やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、わらう
)^o^(	ほっぺがおちる、わらう
＼(^o^)／	わーい、わらう
:-)	にこっ、すまいる、わらう
ヽ(≧▽≦)/	きゃー、うれしい
d=(^o^)=b	ぐー、うれしい
ε=ヾ(*~▽~)ノ	きゃー、うれしい

付録／外部機器連携／困ったときには

次ページへ続く

顔文字	読み
(@^O^@)	うれしい
<{:-)	うれしい、はっと
(´・ω・｀)	しょぼん、かなしい
(;O;)	しくしく、なく
(;_;)	しくしく、なく
(T-T)	なき、うるうる、なく
(TOT)	なき、うるうる、なく
(ノ_・。)	いたい、なく
:<	なく、かなしい
(; ´ д⊂)	なき、ぐすん、なく
° ・(ノД`)・° ・	えーん、なく
(-_-#)	こらっ、おこる
:-(	ふまん、おこる
Ψ(｀◇´)Ψ	こら、おこる
(ノ｀△´)ノ	こらっ、おこる
(●｀ ε ´●)	ぷんぷん、むかっ、おこる
(#^.^#)	にこっ、ぽっ、てれる
(*^.^*)	えへっ、てれる
(〃▽〃)	てれ、てれる
(*'-')	てへっ、てれる
(=° ω° =)	てへっ、てれる
(* ´ д ｀ *)	こまる、てれ、てれる
:p	てへっ、てれる
('∇')	うふふ、てれる
(￣□￣;)!!	がーん、おどろき
(￣◇￣;)	えっ、おどろき
ヽ (° ロ° ;) ノ	えっ、おどろき
(;° ロ°)	えっ、おどろき
((((° д° ;))))	がくがく、おどろき
(・.・;)	めがてん、おどろき
(°o°)	ぎくっ、ぎょ、おどろき
(°o°;	ぎくっ、ぎょ、おどろき
(@_@。	びくっ、ぎょっ、おどろき
(°_°	うーん、おどろき
(°_°)	うーん、おどろき
(・。・;	めがてん、おどろき
(・_・)	めがてん、おどろき
(・_・;	めがてん、おどろき
(・o・)	めがてん、おどろき
(°o°)/	おおー、びっくり、おどろき
(°o°;;	ぎくっ、おどろき
Σ(°□°;)	がーん、おどろき
(-_-;)	ぎくっ、あせ、あせり
w=(°o°)=w	ばたばた、ぎもん
^^;	ぎくっ、あせり

顔文字	読み
(^^;;	ぎくっ、あせ、あせり
(^_^;)	ぎくっ、あせ、あせり
(^-^;	ぎくっ、あせ、あせり
(˜_˜;)	ぎくっ、あせ、あせり
(¥_¥;	ぎくっ、あせ、ぎもん
(*_*;	びくっ、あせり
^_^;	ぎくっ、あせ、あせり
(?_?;	ぎくっ、なぜ、ぎもん
ε= ┌(・_・)┘	にげる、あせり
(° ∇° ;)	ぎくっ、あせ、えっ、あせり
((○(>_<)○))	じたばた、あせり
(;° O°)	ぎくっ、あせ
(˜▽˜@) ♪♪♪	うたう
('◇') ゞ	りょうかい、おっけー、 らじゃ
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと、おねがい、 ごめん、ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ、にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
;)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ、ありがとう
!(^^)!	ぴんぽーん
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦～	どうぞ、おちゃ
(屮° □°)屮	きて、かもん、おいで
♪～(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-～～	たばこ
(｀・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-。-)y-°°°	いっぷく
(￣～￣)	うまい、たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい、なかま、たっち
(^▽^)σ)˜O˜)	つんつん
～～(m ´ Д ｀)m	たすけて
～～(m ｀ ∀ ´)m	いひひ
(°∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┐(￣∇￣;) ┌	やれやれ
(´ ヘ ｀;)	はぁ、ためいき
(; -_-)=3	ためいき

付録／外部機器連携／困ったときには

顔文字	読み
(´ー`)	ふふん、じまん
(´ ¬`)	よだれ
(̄ー+ ̄)ﾌｯ	ふっ
(˜_˜)	ほへー
(˜o˜)	ほへー
(-.-)	じとっ
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ

顔文字	読み
(+。+)	いたい
(_ _).oO	ねむい
(´_ゝ`)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
(=^_^=)	ねこ
くコ:彡	いか
>゜))))彡	さかな

※ 顔文字の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

• **装飾線（5件）**

+−−+−−+−−+−−+−−+−−+−−+	□■□■□■□■□■□	･:*:･゜’★,。･:*:･゜’☆･:
く`)ゞ>く。。o○。o○	♪//♪//♪//♪//♪//♪	

• **アドレス・データ形式（11件）**

http://www.	http://	@docomo.ne.jp	.net
.com	.ne.jp	.co.jp	.or.jp
.go.jp	.ac.jp	xxxx/xx/xx xx:xx～xxxx/xx/xx xx:xx Schedule ↵※	

※：「XXXX/XX/XX XX:XX」には現在の日付・時刻が設定されます。Date To機能用のスケジュールの入力に使用できます。→P370

• **ビジネス（14件）**

いつもお世話になっております。○○の○○です。
本日はお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
本日の会議は○○のため中止となりました。ご周知ください。
本日の会議は○○のため○○に延期となりました。ご確認ください。
只今会議中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
只今移動中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
今、○○です。これから帰社します。帰社予定時刻は○○頃です。
今、○○です。このまま帰宅します。
これから出社します。○○頃になります。
これからお伺いさせていただきます。本日の待ち合わせ時間は○○で変更ございませんでしょうか。
只今○○へ出張中です。会社に戻るのは○○の予定です。
○○の件につき、PC にメールを入れておきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。
○○の件につき、至急確認したいことがございます。ご連絡ください。
本日、○○のため、欠勤させていただいております。

• **プライベート（14件）**

今日は一日お疲れ様でした。明日もお互い頑張りましょう。
今日は一日ありがとう。とても楽しかったです。
○○で○○といういいお店を見つけました。今度一緒に行きませんか？
今日、○○という映画を観てきました。とても良かったです。今度是非観てみてください。
今日のデートはどこに行きたい？○○なんてどうかな？
○月○日にみんなで○○へ行く計画をしています。ご一緒にいかがですか？
アドレスを変更しました。新アドレスは@docomo.ne.jp です。電話帳の登録変更をお願いいたします。
○○で○○時に待ち合わせしましょう。よろしくね。
○月○日、飲みに行きませんか？久しぶりにみんなと楽しく飲みたいです。
○月○日、○○へ遊びに行きませんか？久しぶりにみんなと会いたいです。
○月○日の予定はいかがですか？一緒に○○なんてどうかなと思って。
明日はいよいよ、待ちに待った○○です。今日はゆっくり休んで明日に備えましょう。

次ページへ続く

体調はどうですか？無理しないでゆっくり休んでくださいね。早く良くなりますように。
本日、○○時から○○チャンネルのテレビ番組のビデオ録画をお願いいたします。

- **文例集（16件）**

【寒中見舞】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。御身ご大切になさいますようお祈り申し上げます。
【暑中見舞】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。盛夏
【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度は丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。
【残暑見舞】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。盛夏
【結婚祝】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。
【出産祝】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。
【入学祝】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。
【卒業祝】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝】ご就職おめでとうございます。健康に留意され、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。
【病気見舞】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復を祈念し、心よりお見舞い申し上げます。
【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは追ってお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。
【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝】心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康と御繁栄を祈念いたします。
【成功祝】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍を祈念いたします。
【就任祝】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後ますますのご健勝とご隆盛をお祈りいたします。
【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ移動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

- **絵文字対応（22件）**

おはよう今日も一日頑張ろう	おやすみまた明日ね(-_-) z z z…
おやすみいい夢見てね	ありがとう今日はとても楽しかったですまた連絡してね
m(_ _)mごめんなさい。遅れます	もう少し待ってください
ロ＼(_ _)深く反省してます	さようならまた会える日を楽しみにしてます
今、終わりましたこれから帰ります	お久しぶりです元気
(o^_^o)はじめましてちゃんとメール届いてる？	今日の都合はどう
最近の調子はどう	旅行でも行きませんか？
お腹すいたな。食事に行きませんか？	あとで連絡します
今日何時に終わる？	今日は外食します
連絡ください	あなたにお任せします
了解しましたじゃあね(^o^)/~~	
すぐに戻ります	

- **英語文（46件）**

【おはよう】Good morning. Good luck for today.	【こんにちは】HELLO
【おやすみ①】Good night. See you tomorrow.	【おやすみ②】Good night. Sweet dreams.
【ありがとう①】Thank you. I had a great fun today. Call me again.	【ありがとう②】Thank You
	【おめでとう】☆Congratulations☆
【ごめん】SORRY・・・	【遅れます】Sorry, I'm late.
【反省】I am terribly sorry.	【もう少し待って】Please wait a little longer.
【さようなら①】Good bye. Looking forward to seeing you again.	【さようなら②】BYE BYE
	【またね】SEE YOU

【お久しぶり】Long time no hear. How are you?	【最近どう？】What's up?
【後で連絡します】I will call you later.	【連絡ください】Call me, please.
【メール届いた？】Hello, did you get my mail?	【大丈夫？】ARE YOU OK
【もうダメ】GIVE UP	【あきらめるな①】NEVER GIVE UP
【あきらめるな②】NEVER DON'T STOP	【君ならできるよ】YOU CAN DO IT
【がんばれ】FIGHT	【さぁ】COME ON
【乗って】GET ON	【起きろ】GET UP
【起きて】WAKE UP	【お先に】GO AHEAD
【今から帰宅】I have just finished. I am going home now.	【会社に戻ります】I'll return to the office. 【今日の予定は？】What is your plan today?
【何時に終わる？】What time are you going to be done today?	【食事のお誘い】I'm hungry. Shall we go eat? 【旅行のお誘い】Let's go on a trip!
【外食します】I eat out today.	【了解】Sure. See you.
【任せます】It's up to you.	【ようこそ】WELCOME
【幸せ】HAPPY ＼（*^ε^*）Chuッ	【誕生日】HAPPY BIRTHDAY
【謹賀新年】HAPPY NEW YEAR	【クリスマス①】Merry Christmas
【クリスマス②】Merry X'mas	【バレンタイン】HAPPY VALENTINE

- **ユーザ作成（最大50件）**
  登録した定型文が表示されます。

記号・絵文字一覧

■ 記号一覧

半角	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` {	} ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ
全角	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

■ 絵文字一覧

絵文字1	
絵文字2	

※ 記号一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なる場合があります。

お知らせ
- ｉモード端末以外の相手に絵文字を入力したメールを送信しても、正しく表示されない場合があります。
- 受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合、絵文字2を入力したメールを送信しても、正しく表示されないことがあります。

特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P423

読　み	入力文字
あーる	Ｒｒ ㌃
あい	Ｉｉ
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Α α
あるふぁー	Α α
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ｅｅ
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いこーる	＝
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
うぷしろん	Υ υ
えい	Ａａ
えいち	Ｈｈ
えー	Ａａ
えす	Ｓｓ
えっくす	Ｘｘ
えっち	Ｈｈ
えぬ	Ｎｎ
えふ	Ｆｆ
えむ	Ｍｍ
える	Ｌｌ
えん	￥
おう	Ｏｏ
おー	Ｏｏ
おーむ	Ω ω
おす	♂
おなじ	〃 々
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	χ Χ
かける	×
かっこ	「」 『』 【】 ‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》
かっぱ	Κ κ
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍

読　み	入力文字
から	～
かろりー	㌍
がんま	γ Γ
がんまー	γ Γ
きー	Χ χ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ 〟〝≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑｑ
きゅう	⑨ Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐざい	Ξ ξ
くしー	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Ｋｋ
けー	Ｋｋ
ご	⑤ Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しー	Ｃｃ
じー	Ｇｇ
しーしー	㏄
しーた	Θ θ
じーた	ζ Ζ
じぇい	Ｊｊ
じぇー	Ｊｊ
しかく	◇◆□■

読　み	入力文字
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζ ζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚｚ
せみころん	；
せんち	㎝ ㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	¢ ㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Τ τ
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡
たんい	°′″℃￥ ＄¢£％

付録／外部機器連携／困ったときには

読　み	入力文字
てぃー	Ｔｔ
でぃー	Ｄｄ
てー	Ｔｔ
でるた	Δδ
てん	、，…‥・’” ‘“｀´¨ ヽヾゝゞ ｀'" 、
てんてん	…..
でんわ	℡
ど	℃ °
どう	々〃仝
どしー	℃
どる	＄㌦
とん	㌧
ないし	～
なぜならば	∵
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Ｎν
のま	々
ぱーせんと	％㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Ππ
はいふん	‐
はち	⑧ Ⅷ
ばつ	×
はてな	？
はんだくてん	゜

読　み	入力文字
びー	Ｂｂ
ぴー	Ｐｐ Ππ
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φφ
ぶい	Ｖｖ
ふぃー	Φφ
ぷさい	Ψψ
ぷしー	Ψψ
ふとうごう	≠＜＞≦≧ ≪≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Ｂβ
べーたー	Ｂβ
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	￡
まいなす	－
まる	○ ● ◎ 。 . ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨

読　み	入力文字
みゅー	Ｍμ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀
やじるし	→←↑↓ ⇒⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υυ
よん	④ Ⅳ
らむだ	Λλ
りっとる	㍑
ろー	Ｐρ
ろく	⑥ Ⅵ
わい	Ｙｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
※ 入力文字の中には、半角文字しか存在しないもの、全角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在する場合があります。

絵文字入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。→P423

絵文字	読　み
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち

絵文字	読　み
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	かお、かなしい、こまった、ごめん、がく
	かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ
	かお、だめ、ふら

絵文字	読　み
	どうぶつ、いぬ
	どうぶつ、ねこ
	てんき、はれ、たいよう
	てんき、くもり、くも
	てんき、あめ、かさ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい
	てんき、きり、あめ
	てんき、こさめ、あめ、かさ
	おんぷ、おんがく、うた、るん
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	はな、かわいい
	きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	きらきら、ぴかぴか
	でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき
	いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか
	がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう
	ばくだん、ばくはつ
zzz	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
!	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
!?	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
!!	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	しょっく、ぐらぐら、どん
	あせ、あせる、ひやあせ
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる
	のばす、ちょうおん、ちょーおん
	のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん
OK	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい
	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ
	やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした

絵文字	読　み
	やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ
	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした
	やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと
	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと
	かお、め、からだ
	かお、みみ、からだ
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
	とらんぷ、はーと、あい、こころ
	とらんぷ、すぺーど
	とらんぷ、だいや
	とらんぷ、くらぶ
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき
M	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい
	のりもの、こうつう、ばす
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと
	つりー、くりすます、き
	いえ、うち、おうち、じたく
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	びょういん、びょうき、けが
BK	ぎんこう、ばんく
ATM	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう
H	ほてる
CVS	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
GS	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど
Ⓟ	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ

絵文字	読　み
	しんごう、しんごうき
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ
	かくてる、おさけ、さけ、ばー
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど
	はいひーる、ひーる、くつ、あし
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや
	まいく、からおけ、うた、うたう
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし
	いべんと、はた
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごるふ
	すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと
	すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ
	ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう
	ほん、のーと、しょしんしゃ
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ

絵文字	読　み
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	めーる、てがみ
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	てれび、がめん、ばんぐみ
	げーむ、こんとろーら
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし
	めがね
	くるまいす
	せいざ、おひつじざ、おひつじ
	せいざ、おうしざ、おうし
	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい
	せいざ、かにざ、かに
	せいざ、ししざ、しし
	せいざ、おとめざ、おとめ
	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち
	せいざ、さそりざ、さそり
	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ
	せいざ、やぎざ、やぎ
	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
	せいざ、うおざ、うお、さかな
	つき、しんげつ、まる
	つき
	つき、はんげつ
	つき、みかづき
	つき、まんげつ、まる
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん
	めーる、てがみ、じゅしん
	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	あいもーど、あい、どこも
	あいもーど、あい、どこも
	どこもていきょう、でい、でー、でぃー
	どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー
	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん
	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー

次ページへ続く

絵文字	読　み
ID	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき
CL	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち
NEW	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち
	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
＃	しゃーぷ
	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
1	1、いち、すうじ、ばんごう
2	2、に、すうじ、ばんごう
3	3、さん、すうじ、ばんごう
4	4、よん、し、すうじ、ばんごう
5	5、ご、すうじ、ばんごう
6	6、ろく、すうじ、ばんごう
7	7、しち、なな、すうじ、ばんごう
8	8、はち、すうじ、ばんごう
9	9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう
0	0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ
	ふくろ、つぼ
	ぺんさき、ぺん
	はんこ、ひと、ひとかげ
	いす、ざせき、すわる
	よる、よなか、しんや、れいと
	すぐ、もうすぐ、すーん
	おん
	おわり、えんど
	じかん、じこく、たいむ、とけい
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー
	えんぴつ、ぶんぼうぐ
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
	やじるし、さゆう
	やじるし、じょうげ
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる
NG	えぬじー、だめ
秘	ひみつ、まるひ
禁	きんし、げんきん、だめ
空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から
合	ごうかく
満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる
	けいこく、きけん、びっくり
©	こぴーらいと、しー、まるしー
TM	とれーどまーく、てぃーえむ
®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	どるぶくろ、どる、かね、おかね
	うでどけい、とけい、うぉっち
	すなどけい、とけい
	おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう
	けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし
	ぱん、ぶれっど
	どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば
	ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ
	とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ
	わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ
	ばなな、くだもの
	りんご、あっぷる、くだもの
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの
	くろーばー、よつば、はっぱ
	ちゅーりっぷ、はな
	わかば、ふたば、はっぱ
	もみじ、こうよう、はっぱ
	さくら、はな
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし
	ひよこ、とり、どうぶつ
	ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さかな、おさかな、どうぶつ
	うま、どうぶつ
	ぶた、どうぶつ、ぶー
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ
	おうかん、かんむり、おうさま

絵文字	読　み
	べる、ちゃぺる、かね
	どあ、とびら、と
	がっこう、だいがく
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ
	ふじさん、やま
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、おこる、ぷー、ぶー
	かお、ぽけー、しらー、しらけ
	かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	かお、あっかんべー、べー、いたずら
	かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ
	かお、がまん
	かお、どうぶつ、ねこ
	かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお
	かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお
	かお、おいしい、うまい、まんぞく
	かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし
	かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく
	て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ
	がまぐち、さいふ、おかね、かね

区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作→P427

※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

次ページへ続く

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る				
466	瑠	塁	涙	累	類					
						れ				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辧					
500		辨	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

- 外部機器と接続してテレビ電話を行う場合は、64Kデータ通信中の動作になります。

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できません。

発生・実行する処理 ＼ 現在の状態	音声電話		テレビ電話		プッシュトーク		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話中	×※1	×※1, 2	×	×※3	×	×※4	○	○	○※5
テレビ電話中	×	×※3	×	×※3	×	×	×	×	×
プッシュトーク通信中	×	×※6	×	×※4	×	×※4	×	×	×
iモード中	○	○	×※7	×※4	×※7	×※8	×	○	○
iモードメール送受信中	○	○	×※7	×※4	×※7	×※8	○	○※9	○※9
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○	○	○※9	○※9
iアプリ動作中	○※10	○※10	○※10	○※10	○※11	○※12	×	○	○※5
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	×	○	○
パケット通信中	○	○	×	×※4	×	×	×	×	×
64Kデータ通信中	×	×※2, 14	×	×※3	×	×	×	×	×
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※4	×	×	×	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	×	×	×	×	×	×	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中）	×	×	×	×	×	×	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×	×

発生・実行する処理 ＼ 現在の状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信		データ転送（赤外線通信）	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話中	○	○※5	○	○	×	×※3	×	×
テレビ電話中	×	○※5	×	×	×	×※3	×	×
プッシュトーク通信中	×	○	×	×	×	×	×	×
iモード中	○	○	×	×	×	×※4	×	×
iモードメール送受信中	○※9	○※9	×	×	×	×※4	×	×
SMS送受信中	○※9	○※9	○	○	○	○	×	×
iアプリ動作中	○	○※5	○	○	○	○	○	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	○	×
パケット通信中	○※13	○※5	×	×	×	×※4	×	×
64Kデータ通信中	×	○※5	×	×	×	×※3	×	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×	×	×※4	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	×	×	×	×	×	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中）	×	×	×	×	×	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

- miniSDメモリーカードのデータコピー中・初期化処理中、赤外線通信中、USB接続でデータ転送中、miniSDモード中は、いずれの通信も実行できません。

※1：キャッチホンを「開始」に設定している場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2：留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3：キャッチホンを「開始」に設定している場合、着信履歴に不在着信として記録されます。
※4：着信履歴に不在着信として残ります。
※5：着信音は鳴りません。
※6：プッシュトーク中着信設定の設定に従います。
※7：ｉモード通信中の場合は、ｉモード通信が切断されます。
※8：ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※9：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※10：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード通信中の場合は次のようになります。
- テレビ電話をかけると、ｉモード通信が切断されます。
- テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。

※11：ｉアプリでｉモード通信中は、ｉモード通信が切断されます。
※12：ｉアプリでｉモード通信中は、ｉモード中プッシュトーク着信の設定に従います。
※13：電話帳からSMSを作成・送信できます。
※14：キャッチホンを「開始」に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中または設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能／状態 ＼ メニュー項目	ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3チャットメール	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ 1iモード問合せ	1メール 6問合せ 2SMS問合せ	1メール 6問合せ 3メール選択受信	1メール 7SMS 1SMS作成	1メール 7SMS 2FOMAカード受信SMS	1メール 7SMS 3FOMAカード送信SMS	1メール 8テンプレート読込み	2iモード 1iMenu	2iモード 2Bookmark	2iモード 3Internet 1URL入力	2iモード 3Internet 2URL履歴	2iモード 4画面メモ	2iモード 5ラストURL	2iモード 6iモード問合せ	2iモード 7メッセージ 1メッセージR	2iモード 7メッセージ 2メッセージF	2iモード 8iチャネル一覧
電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール作成／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
ｉモードメール問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
画面メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
ｉアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
ｉアプリ／ｉアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
ｉモーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビデオカメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（通常モード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（参照モード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉモードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
SMS受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉチャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
プッシュトーク	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク（プッシュトークプラス）	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
プッシュトーク電話帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○
PIMロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

メニュー項目／実行中機能／状態	3 iアプリ一覧	4 電話帳／履歴							5 データBOX					6 生活ツール						7 ステーショナリー			0 プロフィール情報
		1 電話帳	2 プッシュトーク電話帳	3 着信履歴	4 リダイヤル	5 伝言メモ・音声メモ			1 マイピクチャ	2 iモーション	3 メロディ	4 キャラ電	5 マイドキュメント	1 バーコードリーダー	2 トルカ	3 カメラ	4 ビデオカメラ	5 サウンドレコーダー	6 ミュージックプレイヤー	1 スケジュール帳	2 メモ帳	3 電卓	
						1 伝言メモ一覧	2 音声メモ録音	3 音声メモ															
電話	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール作成／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／ラストURL	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ一覧	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
iモーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
ビデオカメラ	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
電話帳	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
着信履歴／リダイヤル（通常モード）	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（参照モード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iモードメール受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
トルカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
iチャネル	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プッシュトーク	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
プッシュトーク（プッシュトークプラス）	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
プッシュトーク電話帳	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIMロック中	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

※ 選択可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できる主なサービスは次のとおりです。

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料） 午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2005年11月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2005年11月現在）。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DC アダプタ　01
- FOMA AC アダプタ　01
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック　F07
- 卓上ホルダ　F10
- リアカバー　F12
- キャリングケース　F10
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※2／P002※2
- ステレオイヤホンセット　P001※2
- イヤホンターミナル　P001※2
- FOMA海外兼用 ACアダプタ01
- FOMA室内用補助アンテナ

※1：FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01が必要です。
※2：イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。

FOMA Fシリーズデータリンクソフト

FOMA F シリーズ データリンクソフト※には次の4つの機能があります。これらをまとめて「データリンクソフト」と呼びます。

※：添付のCD-ROMに収録されている他、ホームページからダウンロードすることもできます。

ソフト名	内　容
データリンクソフト	電話帳やメールなどのデータを、USB接続できるパソコンで編集したり、バックアップしたりできます。
データシンクロソフト	Microsoft® Outlook®とデータの同期ができます。
miniSD ユーティリティ	miniSDメモリーカードの電話帳やメールなどのデータを編集したり、バックアップしたりできます。また、ミュージックプレイヤーで再生する音楽データを書き込む場合にも使用します。 ※ FOMA端末でUSBモード設定を行う必要があります。
Fアルバムソフト	パソコンにアルバムを作成して画像などのデータを管理できます。

- データリンクソフトは、次のOSに対応しています。
  - Windows Me
  - Windows 2000
  - Windows XP

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

- データリンクソフトのインストールについては、添付のCD-ROMのDataLinkフォルダ内の「DataLink.txt」をご覧ください。
- 転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細は、添付のCD-ROM、データリンクソフトのヘルプ、ホームページをご覧ください。

お知らせ

- データシンクロソフトで一部同期させられないデータがあります。同期可能なデータについて、詳細はソフトのヘルプをご覧ください。
- データリンクソフトでの各データの呼びかたと、FOMA端末内での呼びかたが異なる場合があります。
- データリンクソフトのカレンダー表示範囲は、FOMA端末のカレンダー画面の表示範囲と異なります。
- F902i以外で撮影された動画／ｉモーションは、転送できない場合があります。
- Microsoft® Exchange Serverなどを使用しているときは、Microsoft® Outlook®と同期できません。Microsoft® Exchange Server などとの共有を解除してからご使用ください。
- FOMA端末外への出力が禁止されている静止画や動画／ｉモーション、メロディは、パソコンへ転送できません。ただし、自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、「データ交換」フォルダ内のデータは転送できます。
- miniSD ユーティリティを使用して読み込み、書き込みを行う場合、データ量によっては転送に時間がかかります。

■データリンクソフトに関するホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/datalink/

■お問い合わせ先：富士通株式会社

0120-176-769

※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：10：00～19：00（日・祝祭日を除く）
※ ダイヤルの電話番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

- FOMA F シリーズデータリンクソフトはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は富士通株式会社に帰属します。使用許諾契約書についてはインストール先のLicense.txtをご覧ください。
- 富士通株式会社は、本ソフトウェアの不稼働、稼働不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。本ソフトウェアの使用または、本ソフトウェアを使用できないことにより生じた直接的損害、間接的損害、特別な事情から生じた損害、お客様のデータ喪失および逸失利益などについて、いかなる責任も負いません。

動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4ファイル、ASFファイル）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。

- miniSD メモリーカード内のマルチメディアデータを再生する→P334
- 再生可能なMP4 ファイル→P162
- 再生可能な ASF ファイルは次のとおりです。ASF ファイルの中にも再生できないものがあります。

ファイル形式	SD-Video（ASF）
符号化方式	映像：MPEG-4 音声：G.726

- miniSDメモリーカード内の動画を再生するには、miniSDユーティリティなどを使って決められたフォルダに動画データを保存する必要があります。
miniSDメモリーカードのフォルダ構成→P329
miniSDメモリーカードの情報更新→P336
- 対応外部機器については、パソコンから次のホームページにアクセスしてご確認いただけます。
http://www.fmworld.net/product/phone/

FOMA 端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をminiSDメモリーカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P162

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。

- ソフトウェアを更新する→P474

■ 電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P39
・電池切れになっていませんか。→P43
・デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

●充電できない

・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P39
・充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
・ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→P42
・卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P43

●充電中に充電ランプが点滅する

・通話、通信中、プッシュトーク通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法でもう一度充電してください。→P42、P43
・以上の操作をしても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

●ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラームが出ている

・電池が少なくなっています。充電してください。→P40、P44

■ 電話関連

●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

・回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消去できます。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●ダイヤルキーを押しても発信できない

・オールロックがかかっていませんか。→P148
・遠隔ロックがかかっていませんか。→P149
・セルフモードを起動していませんか。→P150
・ダイヤル発信制限がかかっていませんか。→P151
・開閉ロックがかかっていませんか。→P153

●ディスプレイに圏外が表示され、話中音（プープー音）が出る

・サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。→P45

●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない

・市外局番を忘れていませんか。→P50
・発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
・「圏外」の表示が出ていませんか。→P45

●着信音が鳴らない

・着信音量調整を「Silent」に設定していませんか。→P64
・次の機能を設定していませんか。
  - メモリ別着信拒否／許可→P154
  - 発番号なし動作設定→P155
  - 呼出動作開始時間設定→P156
  - メモリ登録外着信拒否→P157
・マナーモードを起動していませんか。→P123
・公共モードを起動していませんか。→P67
・オールロックがかかっていませんか。→P148
・セルフモードを起動していませんか。→P150
・留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→P376、P380

●エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない

・エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。→P61

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

・受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。→P64

●リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される

・ダイヤル発信制限がかかっていませんか。→P151
・PIMロックがかかっていませんか。→P150

●電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る

・複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の設定
③FOMA端末電話帳グループ別の設定
④着信音設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
・プライバシーモードがかかっていませんか。→P152

●電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される

・電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／iモーションが設定されている場合は、イメージは設定したiモーションになります。
・複数の機能で着信画像が設定されている場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。
①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の設定
③FOMA端末電話帳グループ別の設定
④電話着信設定／テレビ電話着信設定
・プライバシーモードがかかっていませんか。→P152

●電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターンやイルミネーションカラーで着信ランプが動作する
・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
① FOMA端末電話帳の設定
② FOMA端末電話帳グループ別の設定
③ イルミネーション設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
・プライバシーモードがかかっていませんか。→P152

■ 設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない
・各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが で表示され、選択できません。

●メモリ登録外着信拒否設定が選択できない
・呼出動作開始時間設定を「ON」に設定している場合、メモリ登録外着信拒否設定は設定できません。→P157

●呼出動作開始時間設定が選択できない
・メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定している場合、呼出動作開始時間設定は設定できません。→P156

●PIMロック機能が選択できない
・メモリ登録外着信拒否設定を「ON」に設定している場合、PIMロックは設定できません。→P150

●キー確認音が鳴らない
・キー確認音設定を「OFF」に設定していませんか。→P122
・マナーモードを起動していませんか。→P123

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される
・FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。→P37

●FOMA端末を開くたびに認証画面が表示される
・開閉ロック中です。解除してください。→P153

●ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される
・FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P37

●ディスプレイに「オールロック中」と表示されている
・オールロック中です。解除してください。→P148

●ディスプレイに「遠隔ロック中」と表示され、操作できない
・遠隔ロック中です。解除してください。→P149

●電話帳やメールのキー操作を行うと「暗証番号を入力してください」と表示される
・プライバシーモードが設定されています。暗証番号を入力するか、プライバシーモードを解除してください。プライバシーモードは着信履歴やリダイヤル、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリにも設定できます。→P152

●待受画面に が表示されている
・サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。→P153

●FOMA端末を折り畳んでいるときにサイドキーを押しても操作できない
・サイドキーロック中のため、サイドキーの操作が無効になっています。解除してください。→P153

●待受画面に が表示され、操作できない
・開閉ロック中です。解除してください。→P153

●曜日が英語で表示される
・バイリンガル設定で英語表示に設定していませんか。→P139
・時計表示設定で「英語」に設定していませんか。→P138

●ディスプレイが暗い
・照明設定の明るさの設定を「低輝度」に設定していませんか。→P135
・省電力状態になっていませんか。→P45

●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない
・照明設定の照明方法の設定を「消灯」に設定していませんか。→P135

●自動電源ONを「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない
・電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると、これらの機能は動作しません。

●アラーム設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない
・電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると、これらの機能は動作しません。
・アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。→P357

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」「操作が遅すぎます」のメッセージが表示される
・センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●通話料金が積算されなくなった
・通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。→P368

■ メール・ｉアプリ・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
・近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを利用するか、接写撮影に切り替えてください。→P167、P177

●ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生ができない
・FOMAカード動作制限機能により、FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。→P38

付録／外部機器連携／困ったときには

●メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る

・複数の機能でメール着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
①FOMA端末電話帳の設定
②FOMA端末電話帳グループ別の設定
③着信音設定
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
・メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信音を設定していますか。
・プライバシーモードがかかっていませんか。
→P152

●メール受信時に、電話帳に登録されている名前や着信音が動作しない

・相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください。→P103
・プライバシーモードがかかっていませんか。
→P152

●メール受信時に、設定したメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーと違うパターンや色で点滅する

・複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
①FOMA端末電話帳の設定
②FOMA端末電話帳グループ別の設定
③イルミネーション設定
・複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い、着信イルミネーションパターンと着信イルミネーションカラーで点滅します。
・メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーを設定していますか。
・プライバシーモードがかかっていませんか。→P152

●静止画や動画がやで表示される

・データが壊れている場合は正しく表示できず、やで表示されます。

●キーを押したときの画面の反応が遅い

・FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA端末の画面の反応が遅くなる場合があります。

●ｉアプリ／ｉアプリ待受画面が起動できない

・FOMAカードが正しく取り付けられていますか。FOMAカード動作制限機能により、FOMAカードを差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合は、ｉアプリが起動できません。→P38
・ｉアプリがIP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
・ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P46
・ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。また、有効性の確認が完了するまで、ｉアプリが起動できない場合があります。
・プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）はｉアプリ待受画面を起動できません。→P152

●ｉアプリ動作中にディスプレイの照明が点灯しない

・端末の照明設定を「消灯する」に、ｉアプリの照明設定を「端末設定に従う」に設定している場合は、ディスプレイの照明は点灯しません。→P135、P282
・ｉアプリの照明設定を「ソフトに従う」に設定した場合、公共モード中は、ディスプレイの照明は点灯しません。→P282

■ その他

●おサイフケータイが使えない

・電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、ICカードロックが起動し、おサイフケータイが使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているかを確認し、電源を入れ直してください。→P39

●取扱説明書に記載されていない電池残量マークが表示されている／スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている／メニュー設定のアイコンデザインが増えている／普段とｉモーションの早送りのしかたが違う

・隠し機能が起動しています。隠し機能を起動または解除する場合は、カスタムメニューのグループ名に「和」と入力します。→P364
・パソコンなどの外部機器で作成した900秒以上の動画（ASFファイル）再生中に1～9を押すと、全再生時間の10%までの範囲で10～90秒先に早送りできます。0を押すと全再生時間の10%先に早送りできます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ中の「（数字）」または「XXX」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●FOMAカード（UIM）がいっぱいです

FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。→P275

●FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたデータやメールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロード、メッセージR/Fを保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。
→P38

●FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。→P38

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません

FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。→P37

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。→P38

●ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ICカード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●ICカード内データにエラーがあるため削除できません

ICカード内のデータにエラーがあるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

●ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません　いずれかのソフトを削除しますか？

ICカード内のデータがいっぱいです。ICカード内のデータも一緒に削除するおサイフケータイ対応ｉアプリを削除するか（→P290）、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内の不要なデータを削除してください。→P299

●ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多く、「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」のメッセージが表示された後で、再度ｉアプリが通信しようとしました。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉモーション再生サイズを超えています

標準タイプのｉモーションのデータ取得時に、データが500Kバイトを超えたため取得を中断しました。

●ｉモーション再生サイズを超えました

標準タイプのｉモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが500Kバイトを超えたため取得または再生が完了しませんでした。

●ｉモーション最大サイズを超えています

ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得時にサイズが2Mバイトを超えたため、取得を中断しました。

●ｉモーション最大サイズを超えました

ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得時にサイズが2Mバイトを超えたため、取得が完了しませんでした。

●ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ち下さい（555）

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●miniSDカードが挿入されていません

miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないときは、カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存したり、FOMA端末に保存されているデータをminiSDメモリーカードにコピーまたは移動できません。miniSDメモリーカードを取り付けてから保存、コピーまたは移動してください。→P331
また、ミュージックプレイヤーの起動中にminiSDメモリーカードを取り外すと、操作ができなくなります。

●miniSDカードの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します

カメラの静止画詳細設定および動画／録音詳細設定の保存先を「miniSDカード」に設定しているときにminiSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●miniSDカードの保存領域がいっぱいです

miniSDメモリーカードの保存領域がいっぱいのため、データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→P334

●miniSDカードへの保存はできません。保存先を本体に変更します

ダウンロードしたキャラ電の、撮影後ファイル制限が「あり」に設定されている場合、そのキャラ電を撮影した静止画や動画はminiSDメモリーカードに保存できません。また、撮影後ファイル制限の設定は変更できません。
→P321

●miniSDカード未挿入または[PRIVATE]⇒[DOCOMO]⇒[MMFILE]⇒[F_MUSIC]フォルダにデータがありません

ミュージックプレイヤー起動時に、miniSDメモリーカードが取り付けられていないか、miniSDメモリーカード内に規定のフォルダまたは規定のフォルダ内にデータが存在しません。miniSDメモリーカードを取り付けるか、音楽データを規定のフォルダに保存してください。→P324

●PIMロック中です

PIMロック中は、禁止されている操作ができません。→P150

●PINロック解除コードがロックされています

ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください

SMS設定のうちSMSCの設定が誤っています。設定を確認してください。→P273

●SSL通信が切断されました

SSL通信中にエラーが発生したか、その他のクライアント認証に関わるサーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

●SSL通信が無効です

SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています

FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P214

●SSL通信を切断しました

SSL通信中にサイトの証明書に問題が発生しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。

●URLが正しくありません

入力したURLにエラーがあります。URLを確認してください。

●URLが長すぎて登録できません

URLが登録可能な文字数を超えているためブックマークまたは画面メモに登録できません。

●宛先をご確認ください

SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいかどうか確認してください。

●アドレスが登録されていません

選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。→P262

●アドレスをご確認ください

メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

●次の宛先にはメール送信できませんでした（561）

いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。
◉を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうか確認の上、電波状態のよい所で送信し直してください。

●移動できませんでした

データの複数移動または全件移動時、すべてのデータを移動できませんでした。

●エラーが発生したため保存できません

添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です

遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）

サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●カード情報を認識できません

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。
→P37

●画像に誤りがあり正しく動作しません

画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●画像を表示できません

添付しようとする画像がない、または画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）

10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に、規定のアクセス回数を超えました。

●圏外です

電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした

パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい所で更新し直してください。→P45

●このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？

ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。→P219

●このカードは認識できません

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。
FOMAカードを確認してください。
→P37

●この画像は保存できません

サイトや画面メモ、メッセージR/F内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●このキャラ電は表示できません

データに不正があるキャラ電は表示できません。

●この形式のデータは実行できません

FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをminiSDメモリーカードからFOMA端末にコピーまたは移動したり、検索したりできません。

●このサイトとのSSL通信は無効です

サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。　接続しますか？

サイトの証明書が、FOMA端末で対応していない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●このサイトは安全でない可能性があります。　接続しますか？

サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。→P214

付録／外部機器連携／困ったときには

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

●この接続先の安全性が確認できません。 接続しますか？
FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。
接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します（→P214）。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。→P46

●この接続先は安全でない可能性があります。 接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。→P214

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。再生できない場合があります。

●このデータは表示できません
メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●このデータは保存できません。取得しますか？
ｉモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●このデータを取得するためには時刻設定をしてください
日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。→P46

●コピーできませんでした
・マルチメディアデータの複数コピーまたは全件コピー時に、すべてのデータをコピーできませんでした。
・コピーできない形式のPIMデータをコピーしようとしました。

●これ以上入力できません
入力可能な文字数を超えています。文字数を減らしてください。

●サービス未契約です
・ｉモードの契約がされていないため実行できません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
・ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、もう一度電源を入れ直してください。→P45

●サービス未提供です
SMSが未提供です。

●再生可能日前です。再生できません
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。→P314

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため受信できません。

●再生できません
メロディやｉモーションのデータが再生できません。

●最大サイズを超えたので中断しました
・サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため受信を中断しました。◉を押すと正常に受信した部分までを表示します。
・キャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えているため、受信できません。

●最大文字数を超えたため引用できない部分がありました
SMSの本文が70文字を超える（送信種別が英語の場合は160文字）メールに本文を引用して返信できません。→P263

●最大文字数を超えました
ｉモードメールの本文が全角で5000文字または半角で10000文字を超えるメールに本文を引用して返信できません。→P263

●サイトが移動しました（301）
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行なっているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）
指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

●削除しますか？ICカード内データも削除されます
複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ｉアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●指定サイトがみつかりません（404）
サイトなどが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定先にジャンプできません
ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが256文字を超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

●指定されたソフトがありません
サイトやメール、外部機器から指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●指定されたソフトが起動できませんでした
ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。
サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。もう一度、接続し直してください。

●指定したファイルが見つかりません（492）
10000バイトより大きい静止画のダウンロード時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●しばらくお待ちください
・回線がたいへん混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。
・ｉモードの利用が現在規制されています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります

受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所に移動して、SMS問合せを行ってください。
→P273

●受信メールがいっぱいです

受信メールの保存領域の空きが不足しているため、iモードメールを受信できません。未読のiモードメールを読むか、iモードメールの保護を解除するか、iモードメールを削除してください。

●受信メールのデータが壊れています お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●受信を拒否されました

SMSセンターにSMSの受信を拒否されました。

●情報が正しくないため再生できませんでした

添付されたメロディや動画／iモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●署名をつけることができません

- iモードメールの本文と署名の合計文字数が全角で5000文字、または半角で10000文字を超えるため、署名を添付できません。本文の文字数を減らすか、署名を添付せずに送信してください。
- SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を添付できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。

●既にメッセージをお預かりしています

すでにSMSは送信済みです。

●正常に接続できませんでした(400)

サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうかを確認してください。

●赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにiアプリToが設定されていても、指定されているiアプリを起動できません。

●赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？

赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま5秒以上経過しました。20cm以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。→P341

●赤外線　中断されました

赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。
→P341

●赤外線　認証接続できませんでした

認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。→P342

●セキュリティエラーのため、iアプリ待受画面を解除しました

許可されていない操作をしようとしたため、iアプリ待受画面が終了しました。

●セキュリティエラーのため、終了しました

許可されていない操作をしようとしたため、iアプリが終了しました。セキュリティエラー履歴に記録されます。

●接続が中断されました

電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続できません

iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした

サーバとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした(503)

サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

●接続できませんでした(562)

iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所に移動して操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした

iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●セルフモード中です

セルフモード中は禁止されている操作ができません。→P150

●送信できませんでした

iモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。

●送信できませんでした(552)

iモードセンターまたはSMSセンター側のエラーにより、iモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●送信できません　宛先を確認してください(451)

iモードメールまたはSMSが送信できません。宛先が正しいかどうか確認してください。

●送信メールのデータが壊れています お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●送信を拒否されました

SMSの送信が拒否されました。

●そのソフトは最新です

すでに最新のiアプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●ソフトに誤りがあります

iアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません

iアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください

ICカード内のデータを削除しておく必要があるiアプリです。iアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから、iアプリを削除してください。→P299

●対応機種ではありません

ダウンロードしようとしたiアプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないコンテンツを読み取った場合は、コンテンツ選択による操作は行えません。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P151

●ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

●他の機能が起動中のため起動できません
他に起動している機能をすべて終了してから、パターンデータの更新を行ってください。

●チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
メールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

●データが不正です
ダウンロードしたキャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトより大きい静止画のデータにエラーがあります。

●データまたはminiSDカードが壊れています
miniSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。miniSDメモリーカードを初期化するか、新しいminiSDメモリーカードを取り付けてください。
→P331、P336

●データまたはminiSDカードが壊れています。保存先を本体に変更します
カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「miniSDカード」に指定しているときにminiSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●電話中のため動画撮影・録音はできません。
通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音に切り替えられません。通話を終了してから動画撮影、音声録音に切り替えてください。→P50、P59

●電話帳に登録されていません
入力した番号が電話帳に登録されていません。電話帳に登録をしてください。→P103

●問合せできませんでした
電波状態のよい所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●同時に通話できる人数4人を超えています
5人以上のメンバーを選んでプッシュトーク発信しました。

●登録された指紋と一致しません
指紋認証をするときに登録されている指紋と一致しませんでした。もう一度やり直すか指紋の再登録を行ってください（暗証番号が必要です）。→P147

●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●トルカがいっぱいのため保存できません。いずれかのトルカを削除してください
トルカの保存領域の空きが不足しているため、トルカを保存できません。トルカを削除するか、トルカの保護を解除してから削除してください。

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません。
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。◉を押すと各項目の最大文字数を超えた部分は削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●入力データまたはURLが長すぎます
サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●入力データをご確認ください（205）
サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●認証タイプに未対応です（401）
認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●認証を中止しました
基本認証画面で(ch クリア)を押して認証を中止したときに表示されます。

●バージョン表示できませんでした
パターンデータのバージョンを確認できません。もう一度パターンデータを更新してください。
→P478

●パスワードをご確認ください（401）
サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●発信できません
音声電話中、テレビ電話中、プッシュトークの発信時、プッシュトーク通信中、64Kデータ通信中に、音声電話、テレビ電話、プッシュトークの発信はできません。

●日付時刻が設定されていません。起動できません
日付・時刻が未設定の場合、ｉアプリDX、アラーム、スケジュール帳を起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。→P46

●ファイルを添付することができません
1件のメールに添付可能な最大件数を超えました。添付可能な件数を確認してください。→P235

●不正なデータが含まれています
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときはｉアプリを起動できません。

●不正なデータのため保存できません
ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●保存できないデータです
赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存できません
メールテンプレート保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存できませんでした
10000バイトより大きい静止画の保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存領域がいっぱいです。不要なデータを削除してください
FOMA端末電話帳の保存領域が不足しているため、プッシュトーク電話帳の登録、削除およびプッシュトークグループへのメンバー追加、編集、削除ができません。FOMA端末電話帳の不要なデータを削除してください。

●保存領域がいっぱいで保存できません
FOMA端末またはFOMAカードの保存領域が不足しているため、ｉモードメールまたはSMSを保存できません。SMSをFOMAカードまたはFOMA端末に移動、またはｉモードメールを削除してください。→P255、P273、P275

●保存領域に誤りがあるためプッシュトーク電話帳が読み書きできません。終了します
FOMA端末電話帳およびプッシュトーク電話帳の保存領域に誤りがあるため、プッシュトーク電話帳の読み書きができません。FOMA端末電話帳を起動してください。FOMA端末電話帳を起動すると保存領域の修復が行われます。

●本体の保存件数がいっぱいです
FOMA端末の保存件数がいっぱいのため、miniSDメモリーカードからデータの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、復元ができません。該当する不要なデータを削除してください。

●マイピクチャ／その他の画像／動画／メロディ／PIM／トルカ／マイドキュメントフォルダの保存件数がいっぱいです
miniSDメモリーカードの各フォルダの保存件数がいっぱいのため、各データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→P334

●未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください
赤外線通信のINBOXにデータを保存したまま赤外線通信を終了できません。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。→P344

●無効なデータを受信しました（xxx）
・指定のサイトやインターネットホームページがｉモードに対応していません。
・URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。
・受信データにエラーがあるため表示できません。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません
FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMSを受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。
→P249、P255、P275

●メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります
FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMSをすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してからSMS問合せを行ってください。
→P249、P255、P273、P275

●メールデータを参照できませんでした
・受信、未送信メールまたはフォルダを他の処理で使用しているため、対象のメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。
・チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

●メールを表示できません
受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●メッセージがいっぱいです
保存領域の空きが不足しているため、メッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージR/Fを読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。
→P211、P213

●メモリ不足です
メモリが不足したため処理を中断します。

●メモリ不足です。メインメニューに戻ります
メモリ不足が発生したため処理を中断して、メインメニューに戻ります。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？
ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？
ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。→P214

●料金情報の読込ができませんでした
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P37

●料金情報のリセットができませんでした
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。→P37

●連続撮影はできません
マイピクチャ内の保存領域、保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録されたデータが変化、消失する場合があります。万一に備え、電話帳などのデータはメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows XP、2000、Me）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送、保管していただけます。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行しておりません。

アフターサービスについて

■ **調子が悪いときは**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」を参照してお調べください。→P464

それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ **お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ **次の場合は、修理できないことがあります。**

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露、汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損、変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有償修理となります。

■ **保証期間が過ぎた場合は**

- ご要望により有償修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理できる場合がありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。
- 詳細は、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

■ **お願い**

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換、改造、塗装など）が施された機器は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。

  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の ON ／ OFF 設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなる場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品の修理や点検などの場合において、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。また、当社の都合によりFOMA端末を代替品に交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その場合にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えられません。当社はこれらのデータなどの変化、消失、移し替えられないことについて何らの責任を負うものではありません。

- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報・ICカード内のデータなどについて◆

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータ等は一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像、着信メロディを故障修理時に移し替えします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」でご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  即時更新：
  　更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：
  　更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

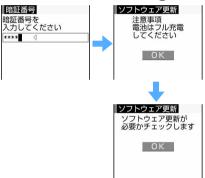
お知らせ

- 接続先設定を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▮）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 他の機能を使用しているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - FOMAカードが未挿入のとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - 圏外が表示されているとき
  - PIMロック中
  - 通話中
  - 電源が入っていないとき
  - セルフモード中
  - 遠隔ロック中
  - パソコンとつないだパケット通信中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P214
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（Y.ıl）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。
  →P242
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する場合があります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したままできますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

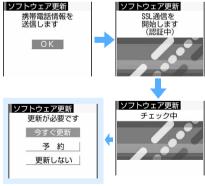
- ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、イメージに動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。
- ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。

ソフトウェア更新を起動する

1 MENU ▶ 8 9 6

2 **認証操作 ▶ 注意事項を確認して●**

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

3 **● ▶ ●［選択］**

ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。

ソフトウェア更新画面

- 携帯電話情報の送信画面で●を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。
- 更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示され、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は下の画面が表示されます。●を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する＜即時更新＞

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 **ソフトウェア更新画面で「今すぐ更新」を選択 ▶ 約5秒後に自動的にダウンロードが開始される**

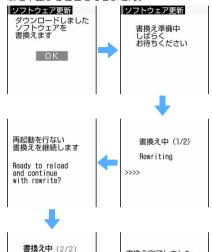
●を押すと、すぐにダウンロードを開始します。ダウンロード中は、着信ランプが点滅します。

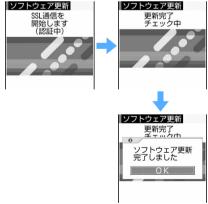
- ダウンロードを中止するときは●を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作なしに更新処理が実行されます。

■ サーバが混み合っているとき

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。→P476

2 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換えが開始される

◉を押すと、すぐに書き換えを開始します。
書き換え中は着信ランプと充電ランプが点滅します。また、すべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

3 書き換え終了後、自動的に再起動する

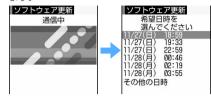
再起動すると再びサーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

4 ◉［選択］を押す

更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する ＜予約更新＞

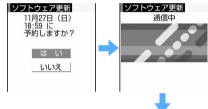
ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選択

■表示されている予約候補から選択するとき

①希望日時を選択▶「はい」を選択

■表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択

② 希望日を選択

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。

○：空きあり　　　△：空きわずか

③ 希望時間帯を選択

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

- ㊞を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④ 希望日時を選択▶「はい」を選択

3 ●［選択］を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

予約を確認・変更・取り消しをする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認するとき

1 MENU▶8 9 6▶認証操作▶内容を確認

- 確認を終了するときは「OK」を選択します。

■ 予約を変更するとき

①「変更」を選択

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② ●を押す

予約候補の選択画面が表示されます。

以降の操作→P476「日時を予約してソフトウェアを更新する」

- 携帯電話情報の送信画面で●を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消すとき

①「取消」を選択▶「はい」を選択

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② ●▶●

予約が取り消され、メニューが表示されます。

- 携帯電話情報の送信画面で●を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

予約日時になると下の画面が表示され、FOMA端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

ソフトウェア更新
予約時刻です
更新を開始します
OK

- ソフトウェア更新を中止する場合は を押し、「はい」を選択します。

お知らせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- PIN1コードON／OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
- 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定を有効にしていれば、パターンデータがバージョンアップされたときに、自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。

- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

パターンデータを更新する

パターンデータが更新されたときに、自動的にサーバとの間でやりとりを行い、最新のパターンデータをダウンロードして更新する機能を利用できます。

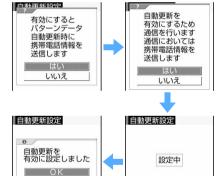
- 自動更新が完了すると、待受画面に が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。
- 自動更新が失敗したときは、待受画面に が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認して「OK」を選択した後、手動でパターンデータを更新してください。

パターンデータの自動更新を設定する＜自動更新設定＞

パターンデータの更新が自動的に行われるように設定します。

1 MENU ▶ 8 3 8 2

2 「有効」を選択 ▶ 「はい」を選択 ▶ 「はい」を選択

- 自動更新を利用しないときは「無効」を選択します。

3 ● ［選択］を押す

パターンデータを手動で更新する

自動更新設定を無効にしているときや、待受画面に （自動更新失敗）が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 MENU ▶ 8 3 8 1

2 「はい」を選択 ▶ 「はい」を選択

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

3 ● ［選択］を押す

パターンデータ更新が終了します。

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻が設定されていない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中にアラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、起動日時を知らせる画面が表示されてアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン機能を設定する＜スキャン機能設定＞

お買い上げ時　有効

スキャン機能を「有効」に設定すると、データの表示やプログラムの実行の際、自動的にチェックします。

1 MENU ▶ 8 3 8 3 ▶ 1 ▶ 「はい」を選択

スキャン機能設定
1 有効
2 無効

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P479
- 解除するときは、2 を押して「はい」を選択します。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

①警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル／表示メッセージ	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 **「詳細表示」**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？	**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 **「いいえ」**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 **「詳細表示」**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 **「詳細表示」**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？	**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 **「いいえ」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 **「詳細表示」**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 **「詳細表示」**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

お知らせ

- スキャン機能によってｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり、起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 MENU ▶ 8 3 8 4

バージョン表示
パターンデータのバージョン
1.1

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F902iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F902iのSARの値は0.743W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/f902i/

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

主な仕様

品名	FOMA F902i
サイズ	高さ106×幅50×厚さ25mm（折り畳み時）
質量	約131g（電池パック装着時）
連続待受時間	移動時：約380時間 静止時：約540時間
連続通話時間	音声電話時　：約180分 テレビ電話時：約100分
電池パック種別	リチウムイオン電池
電池容量	770mAh
FOMA AC アダプタ01での充電時間	約135分
FOMA DC アダプタ01での充電時間	約135分
カメラ画素数	アウトカメラ： 有効画素数約200万画素（記録画素数約400万画素） インカメラ： 有効画素数約32万画素（記録画素数約31万画素）
デジタルズーム	アウトカメラ：最大28倍 インカメラ　：最大2倍

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- ｉモード通信を行うと連続通話（通信）、連続待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもプッシュトーク通信をしたり、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると連続通話、連続待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
メール	受信メール※1、※2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	メールテンプレート※1	最大100件	－
FOMAカードのSMS※3		最大20件	－
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
ブックマーク		最大100件	－
画面メモ※1		最大100件	最大50件
ｉアプリ※4		最大100件	最大100件
画像※1		最大1000件	－
メロディ※1		最大500件	－
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	－
キャラ電※1		最大50件	－
PDFデータ※1		最大100件	－
トルカ※1		最大100件	最大50件

※1：実際に保存・登録できる件数は、データサイズにより少なくなる場合があります。
※2：ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は保存可能件数の20件には含まれません。
※4：メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）。実際に保存できる件数は、ｉアプリのサイズにより少なくなる場合があります。

お知らせ

- FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末に保存したメール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／ｉモーション、PDFデータ、トルカはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。
- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Fシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／ｉモーションなどのデータをパソコンに転送、保管できます。
- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

＊miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。→P327

索引／クイックマニュアル

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

1 **キリトリ線から切り離す（2枚）**

切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

2 **それぞれを縦半分に折る**

3 **それぞれを横半分に折る**

4 **それぞれをさらに横半分に折る**

NTT DoCoMo FOMA® F902i

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

FOMA端末電話帳の登録

1 [menu] ▶ [4] [2]
2 名前を入力 ▶ [電]

名前を入力してください
橋本花子

3 各項目を選択して設定

・撮影 ：[menu]（静止画）／[メール]（動画）
　撮影方法→P7
・着信音など他の項目を登録 ：[マルチ]
4 [電]
5 メモリ番号（0～699）を入力 ▶ [●]

FOMAカード電話帳の登録

1 [menu] ▶ [4] [3]
2 名前を入力 ▶ [電]
3 各項目を選択して設定 ▶ [電]

リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [マルチ]
2 登録する相手にカーソルを合わせて[menu] ▶ [1]
・登録済みの電話帳へ追加 ：[menu] ▶ [2]
3 [1]（FOMA 端末電話帳）または[2]（FOMAカード電話帳）
・登録済みの電話帳へ追加する場合は、追加する相手を選択
4 各項目を選択して設定 ▶ [電]
・FOMA 端末電話帳の場合は、メモリ番号（0～699）を入力 ▶ [●]

電話帳の修正

1 [電]
・電話帳の切り替え ：[電]
2 修正する相手にカーソルを合わせて[menu] ▶ [3]
3 修正 ▶ [電]
4 メモリ番号（0～699）を入力 ▶ [●]
・登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書き確認画面が表示される
・FOMAカード電話帳の場合は[●]

電話帳の検索

1 [menu] ▶ [4] [1]
・電話帳の切り替え ：[電]
2 [1]～[7]
・FOMAカード電話帳は[1]～[4]

文字の入力

文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「す」：[3]（3回）
「ず」：カーソルが右に移動したら[3]（3回）▶ [＊]
「き」：[2]（2回）
・入力した文字の確定前にできる操作
[menu] ：全角カタカナに変換
[ch/クリア] ：入力した文字の取り消し
[メール] ：大文字／小文字の切り替え
[上] ：1つ前の文字に戻す
（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
[＊] ：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加
（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）
・文字の挿入 ：カーソルを挿入位置に移動 ▶ 文字を入力

2 [電]
・変換候補一覧の表示 ：[上下]／[電]
・変換前の状態に戻す ：[ch/クリア]
3 [●]

入力モードの切り替え

文字入力画面で[文字]（複数回）
・[電]を押し、入力モードを選択しても切り替えが可能

文字の削除

カーソルが文中にあるとき

[ch/クリア]：カーソル位置の文字の削除
・1秒以上押すと、カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

カーソルが文末にあるとき

[ch/クリア]：カーソル位置の左側にある文字の削除
・1 秒以上押すと、すべての入力文字を削除

記号・絵文字・定型文の入力

記号を入力する

文字入力画面で[メール] ▶ 記号を選択 ▶ [電]

絵文字を入力する

文字入力画面で[上] ▶ 絵文字を選択 ▶ [電]

定型文を入力する

文字入力画面で[電] ▶ [7] ▶ 定型文種別を選択 ▶ 定型文を選択

区点コードでの入力

文字入力画面で[電][8] ▶ 区点コード（4桁）を入力

文字のコピーと貼り付け

文字をコピーする

文字入力画面で[menu] ▶ [1]（メール本文の入力画面では[2]）▶ 開始位置を選択 ▶ 終了位置を選択

文字を貼り付ける

文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて[menu] ▶ [3]（メール本文の入力画面では[4]）

カメラ機能

静止画／動画の撮影

静止画を撮影する

1 [カメラ]
2 被写体にカメラを向けて[●] ▶ [●]

動画を撮影する

1 [カメラ]（1秒以上）
2 被写体にカメラを向けて[●] ▶ [電] ▶ [●]

キリトリ線

撮影した画像の表示／動画の再生

画像を表示する

1 [menu] ▶ [5][1]
2 「カメラ」フォルダを選択 ▶ 表示する画像を選択

動画を再生する

1 [menu] ▶ [5][2]
2 「カメラ」フォルダを選択 ▶ 再生する動画を選択
・動画再生中にできる操作
[◎]／サイドキー［▲▼］：音量調整
[◎]：早送り再生
[●]：一時停止／再生
[クリア]：停止

テレビ電話

テレビ電話のかけかた

1 電話番号を入力
2 [テレビ電話]
・通信速度を指定して発信：
[menu] ▶ [3] ▶ 発信方法を選択 ▶ [menu] ▶「はい」を選択
3 通話する
・通話中保留 ：[●]
・受話口／スピーカーの切り替え：[切替]
・送信する画像の切り替え ：[テレビ電話]
4 通話が終了したら[電源]

テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる ▶ [テレビ電話]
・応答保留 ：[電源]
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作3と同様
2 通話が終了したら[電源]

i モードメール

送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15文字	30文字
メールアドレス	—	50文字
本文	5000文字	10000文字

i モードメールの作成・送信

1 [メール]（1秒以上）

2 [To]を選択 ▶ 入力方法を選択 ▶ 宛先を入力または選択
3 [Sub]を選択 ▶ 題名を入力
4 [Text]を選択 ▶ 本文を入力
・デコメールの作成 ：[メール] ▶ 装飾方法を選択 ▶ 文字を入力
5 [送信]
・メールの保存 ：[menu] ▶ [3]

ファイルの添付

1 メール作成画面で[添付]を選択
メール作成画面の表示方法→P10
・添付ファイルの解除 ：[メール] ▶「はい」を選択
2 添付するファイルの種類を選択
3 添付元を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ ファイルを選択

送信・保存した i モードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき
1 [メール] ▶ [4]
・送信メールの編集 ：[メール] ▶ [5]
2 フォルダを選択
3 メールを選択
・送信メールの編集 ：メールを選択 ▶ [送信]
4 編集 ▶ [送信]
・送信メールの編集 ：[送信] ▶ 編集 ▶ [送信]

i モードメールの受信

1 メールを受信する
着信音が鳴り、着信ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示される
2 [●]または[1] ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択

i モード問合せ

1 サイドキー［▼］（1秒以上）を押す

キリトリ線

メニュー一覧

・[menu]を押してから、各項目の番号を入力します。
〈例〉メモ帳を起動するとき
[menu] ▶ [7] ▶ [2]

1 メール
- 1 受信メール　2 新規メール
- 3 チャットメール　4 未送信メール
- 5 送信メール
- 6 問合せ
  - 1 i モード問合せ　2 SMS問合せ
  - 3 メール選択受信　4 i モード問合せ設定
- 7 SMS
  - 1 SMS作成　2 FOMAカード（UIM）受信SMS
  - 3 FOMAカード（UIM）送信SMS　4 SMS設定
- 8 テンプレート読込み
- 9 メール設定
  - 1 メール着信設定　2 チャットメール着信設定
  - 3 メール振り分け設定　4 署名設定
  - 5 メール返信設定
    - 1 メール返信引用設定　2 クイック返信設定
    - 3 クイック返信本文登録
  - 6 メールグループ
  - 7 受信・表示設定
    - 1 受信表示設定　2 メール選択受信設定
    - 3 メール受信添付ファイル設定

1 メール
- 7 受信・表示設定
  - 4 添付ファイル自動再生設定
  - 5 メール一覧表示設定

2 i モード
- 1 i Menu　2 Bookmark
- 3 Internet
  - 1 URL入力　2 URL履歴
  - 5 ラストURL
- 4 画面メモ
- 6 i モード問合せ
- 7 メッセージ
  - 1 メッセージR　2 メッセージF
  - 3 メッセージ設定
    - 1 メッセージ自動表示　2 i モード問合せ設定
    - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定
- 8 i チャネル
  - 1 i チャネル一覧　2 テロップ表示設定
- 9 i モード設定
  - 1 ツータッチサイト表示　2 表示・効果設定
  - 3 i モーション設定　4 i モード中プッシュトーク着信
  - 5 接続待ち時間設定　6 接続先設定
  - 7 証明書設定
    - 1 証明書表示／使用設定　2 ユーザ証明書操作
    - 3 証明書発行接続先設定

3 i アプリ
- 1 ソフト一覧
- 2 i アプリ設定
  - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定

3 i アプリ
- 2 i アプリ設定
  - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
  - 5 バイブレータ設定　6 ツータッチ i アプリ表示
- 3 履歴表示

4 電話帳／履歴
- 1 電話帳検索　2 電話帳登録
- 3 FOMAカード（UIM）登録　4 プッシュトーク電話帳
- 5 着信履歴　6 リダイヤル
- 7 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定　2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音　4 音声メモ一覧

5 データBOX
- 1 マイピクチャ　2 i モーション
- 3 メロディ　4 キャラ電
- 5 マイドキュメント

6 生活ツール
- 1 バーコードリーダー
- 2 赤外線／PCデータ連携
  - 1 赤外線全件送信
    - 1 電話帳　2 スケジュール
    - 3 受信メール　4 送信メール
    - 5 未送信メール　6 メモ
    - 7 Bookmark
  - 2 赤外線受信　3 データ送受信設定
  - 4 USBモード設定
- 3 トルカ
  - 1 トルカ一覧　2 トルカ取得設定
- 4 ICカード一覧　5 miniSDカード

6 生活ツール
- 6 カメラ　7 ビデオカメラ
- 8 サウンドレコーダー　9 ミュージックプレイヤー

7 ステーショナリー
- 1 スケジュール帳　2 メモ帳
- 3 アラーム　4 電卓

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 着信音設定　2 着信音量調整
  - 3 受話音量調整　4 キー確認音設定
  - 5 電池アラーム音設定　6 マナーモード選択
  - 7 バイブレータ設定　8 呼出動作開始時間設定
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
  - 2 発着信画面選択
    - 1 電話発信設定　2 電話着信設定
    - 3 テレビ電話発信設定　4 テレビ電話着信設定
    - 5 人物画像表示設定　6 メール送信画像設定
    - 7 メール受信画像設定　8 問合せ画像設定
  - 3 スクリーン設定　4 電池マーク設定
  - 5 照明設定　6 イルミネーション設定
  - 7 背面ディスプレイ設定
    - 1 背面情報表示設定　2 背面画像設定
    - 3 背面コントラスト調整　4 背面常時時計表示設定
  - 8 文字表示設定
    - 1 文字サイズ設定　2 フォント選択
    - 3 バイリンガル
  - 9 トータルコーディネイト設定

8 設定
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック　2 PIMロック
    - 3 遠隔ロック　4 ICカードロック
    - 5 開閉ロック
  - 2 シークレットモード　3 ダイヤル発信制限
  - 4 FOMAカード（UIM）
  - 5 暗証番号変更　6 指紋設定
  - 7 プライバシーモード設定
  - 8 スキャン機能
    - 1 パターンデータ更新　2 自動更新設定
    - 3 スキャン機能設定　4 バージョン表示
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間　2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示
  - 4 通話料金
    - 1 通話料金表示　2 通話料金上限通知
    - 3 上限通知アイコン消去　4 通話料金自動リセット設定
  - 5 各種設定リセット　6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定　2 自動電源ON設定
  - 3 自動電源OFF設定　4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源ON設定
- 6 発着信・通話機能
  - 1 電話発信設定　2 電話着信設定
  - 3 発番号なし動作設定
  - 4 応答保留ガイダンス設定　5 エニーキーアンサー設定

8 設定
- 6 発着信・通話機能
  - 6 イヤホン機能設定
    - 1 イヤホン切替設定　2 オート着信機能設定
    - 3 イヤホンスイッチ設定
  - 7 メモリ着信拒否／許可
    - 1 メモリ別着信拒否／許可　2 メモリ登録外着信拒否
  - 8 発着信詳細設定
    - 1 優先通信モード設定　2 プレフィックス設定
    - 3 国際ダイヤル自動付加　4 サブアドレス設定
  - 9 通話詳細設定
    - 1 ノイズキャンセラ設定　2 再接続アラーム設定
    - 3 通話保留音設定　4 通話品質アラーム設定
    - 5 通話中クローズ設定
- 7 テレビ電話
  - 1 テレビ電話発信設定　2 テレビ電話着信設定
  - 3 テレビ電話動作設定　4 テレビ電話画像選択
  - 5 テレビ電話使用機器設定
  - 6 テレビ電話切替機能通知
    - 1 切替機能通知開始　2 切替機能通知停止
    - 3 切替機能通知設定確認
- 8 プッシュトーク
  - 1 プッシュトーク着信設定
  - 2 プッシュトーク呼出時間設定
  - 3 プッシュトーク番号通知設定
  - 4 プッシュトーク自動応答設定
  - 5 プッシュトーク中着信設定
  - 6 プッシュトーク中クローズ設定
  - 7 ｉモード中プッシュトーク着信

8 設定
- 9 文字入力／その他
  - 1 単語登録　2 定型文登録
  - 3 入力設定　4 セルフモード設定
  - 5 NW検索方法　6 ソフトウェア更新
  - 7 クイック起動設定

9 NWサービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス
    - 1 留守番サービス開始　2 留守番呼出時間設定
    - 3 留守番サービス停止　4 留守番設定確認
    - 5 留守番メッセージ再生　6 留守番サービス設定
    - 7 メッセージ問合せ
  - 2 件数増加鳴動設定
  - 3 着信通知
    - 1 着信通知開始　2 着信通知停止
    - 3 着信通知開始設定確認
  - 4 表示消去
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始　2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始　2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更　4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認

9 NWサービス
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録　2 電話番号指定拒否登録
  - 3 迷惑電話全登録削除　4 迷惑電話1登録削除
  - 5 拒否登録件数確認
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定　2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始　2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始　2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択
- 9 その他のNWサービス
  - 1 USSD登録　2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定
    - 1 遠隔操作開始　2 遠隔操作停止
    - 3 遠隔操作設定確認
  - 4 英語ガイダンス
    - 1 ガイダンス設定　2 ガイダンス設定確認
  - 5 デュアルネットワーク
    - 1 デュアルネットワーク切替　2 デュアルネットワーク状態確認
  - 6 サービスダイヤル
    - 1 ドコモ故障問合せ　2 ドコモ総合案内・受付
  - 7 マルチナンバー
    - 1 通常発信番号設定　2 通常発信番号設定確認
    - 3 電話番号設定　4 着信設定

0 プロフィール情報

その他の主な操作

機　能	操作方法
サイドキーロックの起動／解除	[MENU]（1秒以上）
ｉチャネル一覧の表示	[ch クリア]
セルフモードの起動／解除	[ch クリア]（1秒以上）
公共モードの起動／解除	[＊]（1秒以上）
ｉモードメニューの表示	[ｉ]
「ｉアプリ」フォルダ一覧の表示	[ｉ]（1秒以上）
着信履歴の表示	[←]
プライバシーモードの起動／解除	[←]（1秒以上）※
リダイヤルの表示	[→]
ICカードロックの起動／解除	[→]（1秒以上）※
スケジュール帳の表示	[↑]（1秒以上）
電源ON／OFF	[電源]（2秒以上）
マナーモードの起動／解除	[#]（1秒以上）
新規起動メニュー	[MULTI]
プッシュトーク電話帳の表示	FOMA端末を開いた状態でプッシュトークキー［P］
伝言メモ／音声メモメニューの表示	FOMA端末を開いた状態でサイドキー［▲］を1秒以上

※：解除時は認証操作が必要です。

ネットワークサービス

留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

サービスを開始する

1 [MENU] ▶ [9] [1] [1] [1]
2 「はい」を選択 ▶ 「はい」を選択
3 呼出時間を入力 ▶ [●]

サービスを停止する

1 [MENU] ▶ [9] [1] [1] [3]
2 「はい」を選択

伝言メッセージを再生する

1 [MENU] ▶ [9] [1] [1] [5]
2 「はい」を選択
3 音声ガイダンスに従って操作する

キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

サービスを開始／停止する

1 [MENU] ▶ [9] [2]
2 [1]［開始］または[2]［停止］
3 「はい」を選択

通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に[開始]
・通話相手の切り替え：[メール]

通話中に電話をかける

通話中に[MENU] ▶ [7] ▶ 電話番号を入力 ▶ [開始]
・通話相手の切り替え：[メール]

通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら[電源]
・保留中相手との通話再開：[開始]

キリトリ線

転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

サービスを開始する

1 menu ▶ 9 3 1
2 「はい」を選択 ▶ 「はい」を選択
3 転送先電話番号を入力 ▶ ●
・電話帳から転送先を入力：menu
4 ▶ 「はい」を選択
5 呼出時間を入力 ▶ ●

サービスを停止する

1 menu ▶ 9 3 2
2 「はい」を選択

番号通知お願いサービス

お申し込み不要です（無料）。

サービスの開始／停止

1 menu ▶ 9 6
2 1 ［開始］または 2 ［停止］
3 「はい」を選択

利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

ディスプレイ上部

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

① ：電池残量表示
漢：文字入力モード表示
② ：受信レベル
圏外：圏外表示
Self：セルフモード中
：データ転送モード中など
③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）
：ｉモード中（パケット通信中）
④ ：赤外線通信中など
⑤ ：スピーカーホン機能利用中
：ハンズフリー対応機器で通信中
：積算通話料金が上限を超過

⑥ ：プッシュトーク通信中
：ネットワーク上の電話帳ページ取得中
：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑦ ：未読メール状態表示
⑧ R：未読メッセージR状態表示
⑨ F：未読メッセージF状態表示
⑩ ／ ：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中
：ｉアプリ待受画面表示中など
：ｉアプリDX待受画面表示中など
⑪ ：SSLページ表示中など
：圏内自動送信失敗メールあり
：圏内自動送信メールあり
⑫ ：シークレットモード中
⑬ ：ｉアプリ自動起動失敗

ディスプレイ下部

①②③④⑤
⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰

① ：不在着信
② ：伝言メモ
③ ：留守番電話サービスの伝言メッセージ
④ ：未読メール
⑤ ：未読トルカ
⑥ ：マナーモード中
：オリジナルマナーモード中
⑦ S：電話着信音消音設定中
V：音声電話着信のバイブレータ設定中
SV：電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータ同時設定中
⑧ ：公共モード中

⑨ ：伝言メモ設定中
：伝言メモ満杯
⑩ ：開閉ロック中
⑪ ：USBケーブルで外部機器と接続中
⑫ ：有効マルチカーソルキー
⑬ ：miniSDメモリーカードあり
⑭ ：FOMAカード読み込み中
：ICカードロック中
⑮ ：PIMロック中
：ダイヤル発信制限中
：サイドキーロック中
⑯ ：アラーム設定中
：スケジュールアラーム設定中
：アラームとスケジュールアラーム同時設定中
⑰ ：ソフトウェア更新予約中
：最新パターンデータの自動更新失敗
：最新パターンデータの自動更新成功

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全な所に停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を切ります。→P67

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P70

●着信バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P122

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。
→P123

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P124

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

ｉモードやパソコンから「留守番電話サービス」「キャッチホン」「転送でんわサービス」「迷惑電話ストップサービス」「WORLD CALL」などの便利なサービスをお申し込みいただけます。

ｉモードから　ｉMenu ⇒ 料金＆お申込 ⇒ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ ドコモの携帯電話、PHSからの場合

※ 一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100％再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'05.11 (2.1版)
CA92002-4710